

[illegible]

3

防水改修工事

1

降雨等に対する養生方法

2

既存防水の処理

3

既存下地の処置

4

アスファルト防水

※改修標準仕様書3.1.3(5)⑦～⑨による。

既存保護層の撤去・行う(範囲 ※ 図示) [3.1.4] [3.2.3、4、6] 行わない

既存防水層の撤去・行う(範囲 ※ 図示) 行わない

既存露出防水層表面の仕上り塗装の除去 (・M4S ・M4S1 ・M4C ・M4D1 ・L4X)

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示 (3.2.6) POS工法及びPOS1工法(機械的固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置 ※改修標準仕様書3.2.6(4)⑨⑩⑪～⑬による

設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ※ 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する

屋根保護防水 [3.3.2～5] 防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はクラフト ヤーンクロス 70g/m ² 程度	・乾式保護材 ・コンクリート 押え ・れんが押え ※JIS R 1250
・P1B	・B-1 ※B-2				
・P2A1	・A1-1 ※A1-2 ※A1-3		(材質) JISA9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スチン層付き) (厚さ)(mm) ※25・50	※クラフト ヤーンクロス 70g/m ² 程度	
・P1B1	・B1-1 ※B1-2				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシーの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)

平場の保護コンクリートの厚さにて仕上げ
て仕上げ ※ 水下 80mm以上
床タイル張り ※ 水下 60mm以上

乾式保護材
窯業系バネル：無石棉の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。

(品質・性能)

分類・規格	窯業系バネル I 類	金属複合板
寸法 (mm)	厚さ (mm) 幅 (mm)	
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%	
出荷時の含水率	550以上	300以上
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準時 550以上 (300)	250以上 (300)
単位長さあたりの曲げモーメント	凍結融解 400以上 (300)	250以上 (300)
吸水率 (%)	20以下	1以下
吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.01以下
難燃性	不燃	表面材は不燃
耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。認められるものは耐凍結融解試験を省略できること。
耐衝撃性能	質量500g(窯業系バネル I 類は1,000g)のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。	質量500g(窯業系バネル I 類は1,000g)のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。
剛性 (E×1)	—	80,000N・cm ² 以上

(試験方法)
(1) 寸法の測定方法
(厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めバネルの厚さとする。
(幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの縦寸ベックススルー又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する目量が1mmの縦直尺を用いて測定する。
(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系バネル II 類は200サイクルまでとする。)なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。
(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。
(4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。

5

改質アスファルトシート防水

(5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40mm×長さ160mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥機」に規定する品質に適合するシリカゲルで調整したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の縦横間隔が140mmになるように縦線を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて縦横間の長さ(ΔL)を測定し、それを基準(ΔL)とする。次に試験片の長さ方向を水平に立てし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び縦横間の長さ(ΔL)を測る。
吸水による長さ変化率(ΔL)は、次式によって求める。
(ΔL)＝(ΔL－L1)／L1×100 ΔL：吸水による長さ変化率(%)
L1：乾燥時の縦横間の長さ(mm) L2：吸水時の縦横間の長さ(mm)
(6) 耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(窯業系バネル II 類は200サイクルまでとする。)
凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断面小口面をあらかじめシールし、5～35℃の清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3℃の気中で約2時間の凍結20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。
(7) 衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性能試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持装置による。
試験体の大きさは、4号(長さ400mm、幅300mm)とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号(W1-1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。

屋根露出防水 防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4			種類 ・使用量 ※製造所の仕様	・適用する	
・M3D ・M3D	・D-1 ※D-2			・適用する	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・M3D1 ・M3D1 ・M3D1	・D1-1 ※D1-2 ・M3D1		JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材(種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ)(mm) ※25・50	・適用する	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)

脱気装置の種類 ※アスファルトルーフィング製の製造所の指定
脱気装置の設置数量 ※アスファルトルーフィング製の製造所の指定 (個)

屋根露出防水断熱工法の場合の、ルーフトレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張り
じまい位置 ※ 図示

屋内防水

工法	種別	施工箇所
・P1E ・P2E	・E-1 ※E-2	

E-1の場合で工程3を行う部位 (※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位)
保護層・設ける (※ 図示) 設けない

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
屋上排水溝 ※ 図示

屋根露出防水 [3.4.2、3] 防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
・M4S	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			種類 ・使用量 ※製造所の仕様	・適用する	
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・適用する	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・M3AS1 ・M4AS1 ・POAS1	・AS1-T1 ・AS1-J1		JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材(種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ) ※25mm ・50mm	・適用する	・適用する	脱気装置

[illegible]

[illegible]

19

ガラス

（ 3、7、5、14、2～4 ）（図5、14、1）

下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等
※建具による
合わせガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※下記以外は建具表による

材料板ガラスの種類、組合せ	落球衝撃及び屈特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・フロート板、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類 ・Ⅱ－Ⅰ類 ・Ⅱ－2類 ・Ⅲ類

強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類
※下記以外は建具表による

材料板ガラスによる種類	材料板ガラス	破片の状態及びバニョットバック衝撃特性による種類
・フロート強化ガラス	・フロート板ガラス	・Ⅰ類 ・Ⅲ類

熱線吸収板ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類
※下記以外は建具表による

材料板ガラスによる種類	性能による種類	色 調
・熱線吸収フロート板ガラス	・Ⅰ種 ・Ⅱ種	・グリーン
・熱線吸収網入り磨き板ガラス		

複層ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
※下記以外は建具表による

断熱性による区分	・T 1 ・T 2 ・T 3 ・T 4 ・T 5 ・T 6
----------	-------------------------------

乾燥気体の種類

	・空気 ・アルゴン
--	-----------

日射取得性、日射遮蔽性による区分

	・G ・S
--	-------

熱線反射ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
※下記以外は建具表による

材料板ガラスによる種類	日射熱遮蔽性による区分	耐久性による区分
・色調（ ・ブルー ・グレー ）	・Ⅱ種 ・Ⅲ種	・A類 ・B類 ・B類

反射皮膜面

・内面	・外面
-----	-----

映像調整

・行わない	・行う
-------	-----

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)
アルミニウム製	※ シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※ 建具の製造所の仕様による

鋼製及び鋼製軽量

※ シーリング材	※ 建具の製造所の仕様による
----------	----------------

ステンレス製

※ シーリング材	※ 建具の製造所の仕様による
----------	----------------

樹脂製

※ シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※ 建具の製造所の仕様による
-------------------------------------	----------------

20

ガラスブロック積み

耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

表面形状

呼び寸法 (mm)

厚さ (mm)

色調

クリア

乳白

平積み

曲面積み

目地幅 (mm)

伸縮調整目地位置 (mm)

防火性能

・正方形

・160×160

・95・125

・

※8～15

外側
※標準仕様書5.14.5(2) (イ) (a) ②

・無し
・有り

・200×200

・95・125

・

・

内側
※標準仕様書5.14.5(2) (イ) (a) ②

・

・

壁用金属枠及び補強材の材質・形状

※ 図示

・

カ骨

材質

※ ステンレス鋼 (SUS304)

・

寸法

※ 径5.5mm

・

形状

※ はしご形状模筋及び串筋

・

化粧目地モルタルの色 ()

・

シーリングの種類 ()

・

金属製化粧カバー

材質

・ ステンレス製

・ アルミニウム製

寸法

※ 図示

・

形状

※ 図示

・

工法

1章

適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

目地部の横力骨の納まり

※ガラスブロック製造所の仕様による

・ 図示

・

21

ガラス用フィルム

種 類

記 号

その他性能等

・日射調整フィルム

・SC－1

・SC－2

日射遮へい性能による区分
・A ・B ・C ・D ・E

・低放射フィルム

LE

熱遮流率による区分
・A ・B ・C ・D

・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム

・GI－1

・GI－2

・相間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム

・GD－1

・GD－2

・ガラス貫通防止フィルム

SF

ガラスの貫通防止性能による区分
・A ・B

品質

JIS A 5759

による

2

内装改修工事

①

他の部位との取り合い等

②

既存床の撤去及び下地補修

3 既存壁の撤去及び下地補修

4 製材

5 造作用集成材

6

造作用単板精製材

ホルムアルデヒド放数量

※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6.5.2(1) (イ) (ロ) による

・

・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※2級	※A種 ・B種		
		※2級	※A種 ・B種		

・JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面	※上小節	※A種 ・B種			
見え掛り面以外	※小節以上	※A種 ・B種			

・JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等	※10%以下 ・A種 ・B種		
		※1等	※10%以下 ・A種 ・B種		

・JAS 1083 (製材) 以外の製材

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		() 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	

[6. 5. 2]

ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6.5.2(1) (イ) (ロ) による ・

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等 ・2等	

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	化粧薄板：芯材：				※1等 ・2等		

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下	

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板：芯材：				※15%以下	

6

造作用単板精製材

ホルムアルデヒド放数量

※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6.5.2(1) (イ) (ロ) による

・

・JAS 0701に基づく造作用単板精製材

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用
			・有り (加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・適用する ・適用しない	
			・無し (等級：)		

・JAS 0701以外の造作用単板精製材

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
			・有り (加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・適用する ・適用しない	※14%以下	
			・無し ()			

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の適用

7

合板等

ホルムアルデヒド放数量

※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6.5.2(1) (イ) (ロ) による

・

・普通合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	

・構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※2級以上 ・1級	※1類 ・特種	※C-D以上	※12	・適用する ・適用しない	()		

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			※1類 ・特種	・適用する ・適用しない	

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	
------	--

14

軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類

屋外 (※ 25形) 屋内 (※ 19形 ・ 25形)

・ 工法
1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法
野縁受、つりボルト及びビーンサートの間隔
周辺部の壁からの間隔 ・ 図示
野縁の間隔 ・ 図示
既存の埋込マインサート ・ 使用する ・ 使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認経路
・ 行う (試験箇所数 ※屋内の場合、当該部において3箇所 (確認強度 ※改修標準仕様書6.6.4(1) (イ) による)
・ 行わない

・ つりボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法 ※ 図示
・ 天井のふところか3.0mを超える場合
補強方法 ※ 図示

・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 ※ 高さ6mを超える天井 ・ 図示
補強方法 ※ 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」 (平成25年国土交通省告示第771号) 第3 第2 項第二号に適合させる。
・ 図示

耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

15

軽量鉄骨地下地

スタッド、ランナーの種類

※ 改修標準仕様書表6.7.11によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示
スタッドの高さが5.0mを超える場合 ・ 図示
出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 改修標準仕様書6.7.4.(5) による ・

16

ビニル床シート

種類の記号

色柄

特殊機能

厚さ (mm)

備考

※ F S

○ 無地
・ マーブル柄

・ 帯電防止
・ 難燃性
○ 防滑性

※ 2.0

※接合部の処理 (工法 ※ 熱溶接工法)

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

・ 図示

環境配慮改修工事	1	石綿含有建材の除去工事	<div>〔9. 1. 1、3～5〕</div> <div>・石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点</div> <table><tr><th>適用</th><th>測定名称</th><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点（各施工箇所ごと）</th></tr><tr><td>・測定1</td><td>処理作業前</td><td>処理作業室内</td><td>調査対象室外部の付近</td><td>・計点</td></tr><tr><td>・測定2</td><td></td><td>調査対象室外部の付近</td><td></td><td>・計点</td></tr><tr><td>・測定3</td><td>処理作業中</td><td>処理作業室内</td><td>セキュリティゾーン入口</td><td>・計点</td></tr><tr><td>※測定4</td><td></td><td>集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）</td><td>出口吹出し風速1m/s以下</td><td>・計点</td></tr><tr><td>※測定5</td><td></td><td>処理作業室外</td><td>の位置</td><td>・計点</td></tr><tr><td>※測定6</td><td></td><td>施工区画周辺・敷地境界</td><td></td><td>・計点</td></tr><tr><td>※測定7</td><td>処理作業後（シート養生中）</td><td>処理作業室内</td><td></td><td>・計点</td></tr><tr><td>・測定8</td><td>処理作業後（シート撤去後1週間以降）</td><td>処理作業室内</td><td>調査対象室外部の付近</td><td>・計点</td></tr><tr><td>・測定9</td><td></td><td></td><td></td><td>・計点</td></tr></table> <div>測定方法 ・自動測定器による測定</div> <table><tr><th>測定名称</th><th>測定方法</th></tr><tr><td>・測定4・測定5</td><td>粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td></tr><tr><td>・測定（ ）</td><td></td></tr></table> <div>・JIS K 3850-1に基づいた測定</div> <table><tr><th>測定名称</th><th>メンブレンフィルタ直径（mm）</th><th>試料の吸引流量（l/min）</th><th>試料の吸引時間（min）</th></tr><tr><td>・測定4・測定5・測定（ ）</td><td>25</td><td>5</td><td>30</td></tr><tr><td>・測定（ ）</td><td>47</td><td>10</td><td>120</td></tr><tr><td>・測定（ ）</td><td>47</td><td>10</td><td>240</td></tr><tr><td>・測定（ ）</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <div>石綿含有建材の処理</div> <div>・石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2) (ア)による</div> <div>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化・固形化</div> <div>除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ※ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） なお、工事発注後に明らかになかったやむを得ない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議すること。</div> <div>・石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 図示 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化・固形化</div> <div>除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）</div> <div>・石綿含有成形板等（石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外）の除去 除去対象範囲 ※図示 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有石こうボード ※ 埋立処分（管理型最終処分場） ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）</div> <div>・石綿含有成形板等（石綿含有けい酸カルシウム板第1種）の除去 除去対象範囲 ※図示 養生方法 ・除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）</div> <div>・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去 下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による 除去工法 ※ 石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号）第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法 ・集じん装置併用手工具ケレン工法 ・集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度） ・集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上） ・超音波ケレン工法（HEPAフィルター付き掃除機併用） ・剥離剤併用手工具ケレン工法 ・剥離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa程度） ・剥離剤併用超高圧水洗工法（100MPa以上） ・剥離剤併用超音波ケレン工法 ・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法</div> <div>除去対象範囲 ※ 図示 作業場の隔離 ※ 行わない 試験施工 ※ 行わない 養生方法</div> <div>除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）</div> <div>除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分 ※ 改修標準仕様書9.1.3(3)による 確認及び後片付け ※ 改修標準仕様書9.1.3(4)の(ア)、(イ)、(ロ)及び(ハ)による</div>	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	・測定1	処理作業前	処理作業室内	調査対象室外部の付近	・計点	・測定2		調査対象室外部の付近		・計点	・測定3	処理作業中	処理作業室内	セキュリティゾーン入口	・計点	※測定4		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/s以下	・計点	※測定5		処理作業室外	の位置	・計点	※測定6		施工区画周辺・敷地境界		・計点	※測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内		・計点	・測定8	処理作業後（シート撤去後1週間以降）	処理作業室内	調査対象室外部の付近	・計点	・測定9				・計点	測定名称	測定方法	・測定4・測定5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	・測定（ ）		測定名称	メンブレンフィルタ直径（mm）	試料の吸引流量（l/min）	試料の吸引時間（min）	・測定4・測定5・測定（ ）	25	5	30	・測定（ ）	47	10	120	・測定（ ）	47	10	240	・測定（ ）				2	外断熱改修工事	<div>〔9. 2. 1～4〕</div> <div>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示</div> <div>断熱材 断熱材の種類（ ）、断熱材の厚さ（ mm） 施工箇所 ※ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆</div> <div>外装材</div> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 下地面の清掃 欠損部がある場合の改修工法</td><td>・あり ・なし ・行方 ・行わない ※ 4章外壁改修工事による</td><td></td></tr></table> <div>工法 1章 適用区分による風圧力（ ・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ※ 図示 通気層の有無 ※ あり（ mm） 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による</div>	種類	防火性能	備考	既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 下地面の清掃 欠損部がある場合の改修工法	・あり ・なし ・行方 ・行わない ※ 4章外壁改修工事による		3	断熱・防露改修工事	<div>〔9. 3. 2～4〕</div> <div>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ ・断熱材打込み工法</div> <table><tr><th>種類</th><th>厚さ（mm）</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td><td>・25</td><td>・</td></tr><tr><td>※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）</td><td>※ 2種b A ・ ※ 3種b A ・</td><td>※ 外壁 ・ ※ スラブ ・</td></tr><tr><td>・硬質ウレタンフォーム断熱材</td><td>・25</td><td>・</td></tr><tr><td>・フェノールフォーム断熱材</td><td>・25</td><td>・</td></tr></table> <div>施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による</div> <div>・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※ A種1 ・ A種1 H 吹付け厚さ（mm） ・25 ・30 施工箇所 ※ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンド回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・図示</div> <div>現場発泡断熱材（品質・性能）</div> <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>難燃性</td><td>下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験（コーンカロリー試験）に適合していること。</td></tr><tr><td>発熱性</td><td>準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は45分において次の（1）～（3）に適合していること。 (1) 総発熱量が9MJ/m²以下であること。 (2) 防火上有害な表面まで貫通する亀裂及びひびきがないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200kW/m²を超えないこと。</td></tr></table> <div>（試験方法） (1) 原液試験（原液粘度試験） JIS K 7117-1「プラスチック-液状、乳濁状又は分散状の樹脂-ブルックフィールド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。 (2) 発泡品試験 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 6) 接合強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7) 透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 (3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。</div> <div>・断熱材後張り工法 断熱材の種類（ ） 断熱材の厚さ（ mm） ・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル（材質 厚さ mm）</div> <div>・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張り付け工法</div> <div>植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム・適用する ・適用しない 芝及び地被類の種類等 ※ 図示 見切り材、舗装材、排水材、マルチング材等 ※ 図示</div> <div>〔9. 4. 2～4〕</div> <div>（品質・性能等）</div> <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>透水、排水層等構成材の主要材質</td><td>合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 （保水層を有する場合は、保水層欠）</td></tr><tr><td>透水層</td><td>目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。</td></tr><tr><td>排水層</td><td>植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び飽込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。</td></tr><tr><td>排水層の鉛直方向の排水性能</td><td>240L/m²・h以上</td></tr><tr><td>耐荷重性能</td><td>一般メンテナンス時の上部歩行に腐し破壊しないこと。 3×10⁴ N/m²以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。</td></tr><tr><td>耐根層</td><td>重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td></tr><tr><td>耐根層保護層</td><td>材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護シート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。</td></tr></table> <div>（試験方法） (1) 排水基盤の耐荷重性能 (イ) 3×10⁴ N/m²の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み（%）を測定する。（保水層を有する場合は保水層も対象とする。） (ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。 加圧速度は10mm/min以下とする。 1章 適用区分による風圧力の（ ・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・設置する（種類 ） 既存保護層の撤去 ・行う ・行わない</div> <div>新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引き渡しの日から1年</div> <div>下記以外は、1章その他による</div> <div>既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示</div>	種類	厚さ（mm）	施工箇所	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・25	・	※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）	※ 2種b A ・ ※ 3種b A ・	※ 外壁 ・ ※ スラブ ・	・硬質ウレタンフォーム断熱材	・25	・	・フェノールフォーム断熱材	・25	・	項目	品質・性能	難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験（コーンカロリー試験）に適合していること。	発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は45分において次の（1）～（3）に適合していること。 (1) 総発熱量が9MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な表面まで貫通する亀裂及びひびきがないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200kW/m ² を超えないこと。	項目	品質・性能	透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 （保水層を有する場合は、保水層欠）	透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び飽込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。	排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² ・h以上	耐荷重性能	一般メンテナンス時の上部歩行に腐し破壊しないこと。 3×10 ⁴ N/m ² 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。	耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護シート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。	4	屋上緑化改修工事	<div>〔9. 4. 2～4〕</div> <div>植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム・適用する ・適用しない 芝及び地被類の種類等 ※ 図示 見切り材、舗装材、排水材、マルチング材等 ※ 図示</div> <div>〔9. 4. 2～4〕</div> <div>（品質・性能等）</div> <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>透水、排水層等構成材の主要材質</td><td>合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 （保水層を有する場合は、保水層欠）</td></tr><tr><td>透水層</td><td>目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。</td></tr><tr><td>排水層</td><td>植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び飽込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。</td></tr><tr><td>排水層の鉛直方向の排水性能</td><td>240L/m²・h以上</td></tr><tr><td>耐荷重性能</td><td>一般メンテナンス時の上部歩行に腐し破壊しないこと。 3×10⁴ N/m²以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。</td></tr><tr><td>耐根層</td><td>重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td></tr><tr><td>耐根層保護層</td><td>材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護シート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。</td></tr></table> <div>（試験方法） (1) 排水基盤の耐荷重性能 (イ) 3×10⁴ N/m²の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み（%）を測定する。（保水層を有する場合は保水層も対象とする。） (ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。 加圧速度は10mm/min以下とする。 1章 適用区分による風圧力の（ ・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・設置する（種類 ） 既存保護層の撤去 ・行う ・行わない</div> <div>新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引き渡しの日から1年</div> <div>下記以外は、1章その他による</div> <div>既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示</div>	項目	品質・性能	透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 （保水層を有する場合は、保水層欠）	透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び飽込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。	排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² ・h以上	耐荷重性能	一般メンテナンス時の上部歩行に腐し破壊しないこと。 3×10 ⁴ N/m ² 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。	耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護シート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。	5	透水性アスファルト舗装改修工事	<div>〔9. 5. 2～5、9〕</div> <div>下記以外は、1章その他による</div> <div>既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示</div>	10 その他	1	フリーアクセスフロア	<div>〔2.0. 2. 2〕</div> <table><tr><th>構造</th><th>・置数式</th><th>・支柱調整式</th></tr><tr><td>所定荷重</td><td>※ 3,000N ・5,000N</td><td>※ 3,000N ・5,000N</td></tr><tr><td>耐震性能</td><td>・1.0 ・0.6</td><td>・1.0 ・0.6</td></tr></table> <div>パネル寸法（mm）</div> <div>高さ（mm）</div> <div>表面仕上材</div> <div>※ タイルカーベット ・帯電防止床タイル</div> <div>※ タイルカーベット ・帯電防止床タイル</div> <div>施工箇所</div> <div>※ 図示</div> <div>※ 図示</div> <div>寸法精度 ※ 標準仕様書20.2.2(2) (イ) (a)～(c)による</div> <div>スロープ及びボーダー ※ 製造所の仕様による ・図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※ 製造所の仕様による ・20～30パーセント 配線取り出し開口 ※ 製造所の仕様による ・パネル枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上 ・</div> <div>空調用吹き出し（吸い込み）パネル ・なし ・あり（形式、施工箇所：※ 図示 ・）</div> <div>（性能） (1) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下 (2) 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと (3) ローリングロード性能 所定荷重1,000N（5,000Nの積載荷重は1,000N以上で任意）による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下 (4) 耐震性能</div> <div>イ）固定台試験による耐震性能</div> <table><tr><th>項目</th><th>性能</th></tr><tr><td>①ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき</td><td>水平荷重の1/2が下記の＜適用地震時水平力＞以上</td></tr><tr><td>②上記①以外の部分で耐力に達したとき</td><td>水平荷重の1/1.5が下記の＜適用地震時水平力＞以上</td></tr><tr><td>③適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位</td><td>構造床面からの高さの1/50以下</td></tr></table> <div>＜適用地震時水平力＞ 3,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重 [（m²当り自重+3,000N）/m²当りの支柱本数]×0.6 3,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重 [（m²当り自重+3,000N）/m²当りの支柱本数]×1.0 5,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重 [（m²当り自重+5,000N）/m²当りの支柱本数]×0.6 5,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重 [（m²当り自重+5,000N）/m²当りの支柱本数]×1.0 ロ）振動台試験による耐震性能（設計床高さ≦300mmの場合のみ） 振動台試験において、パネルの脱落や使用上又は避難上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。 (5) 耐燃焼性能 建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炎時間が0秒 (6) 帯電防止性能評価値（U） 0.6以上 (7) 感電防止性能 漏えい抵抗(R) ≧1×10⁶ Ω (8) 歩行感 通常の歩行において空洞音やたつきがなく、歩行感に違和感がない (9) メンテナンス性 交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。 （試験方法） (1) 耐震性能 1) 設計床高さ≦300mmの場合 試験体ユニット1000mm×2500mm程度 所定の重りの質量 3000N：200kg 5000N：350kg 加振 0.6：所定加速度600cm/s² 1.0：所定加速度1000cm/s² 2) 300mm＜設計床高さ≦600mmの場合 ①固定台による耐震性能試験 イ、支柱調整式－支柱分組型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法－1又は、試験方法－2による。 ロ、原則として、試験方法－1はパネル単体設置（Aタイプ）に適用し、試験方法－2はパネル連続設置（Bタイプ）に適用するものとする。 ②試験方法－1 イ、試験は、コンクリート（JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類：N300）に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。 ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。 ③試験方法－2 イ、試験は、コンクリート（JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類：N300）に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。 ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。又、800mm×800mmに荷重1,900N（3,000N/1m²相当）を1箇所設ける。 ④零点補正及び測定記録 試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を零点とする。又、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。 (3) 共通事項 試験に使用する表面仕上材 種類：タイルカーベット バイル形態：ルーパバイル バイル長：3.0mm～4.0mm 全厚：6.0mm～7.0mm 人体耐圧値：2KV以下 繊維素材：ナイロン100 % バックング素材：塩化ビニル樹脂 単位質量：4.0kg/m²～6.0kg/m²</div>	構造	・置数式	・支柱調整式	所定荷重	※ 3,000N ・5,000N	※ 3,000N ・5,000N	耐震性能	・1.0 ・0.6	・1.0 ・0.6	項目	性能	①ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の＜適用地震時水平力＞以上	②上記①以外の部分で耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の＜適用地震時水平力＞以上	③適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下
		適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）																																																																																																																																																																					
・測定1	処理作業前	処理作業室内	調査対象室外部の付近	・計点																																																																																																																																																																							
・測定2		調査対象室外部の付近		・計点																																																																																																																																																																							
・測定3	処理作業中	処理作業室内	セキュリティゾーン入口	・計点																																																																																																																																																																							
※測定4		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/s以下	・計点																																																																																																																																																																							
※測定5		処理作業室外	の位置	・計点																																																																																																																																																																							
※測定6		施工区画周辺・敷地境界		・計点																																																																																																																																																																							
※測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内		・計点																																																																																																																																																																							
・測定8	処理作業後（シート撤去後1週間以降）	処理作業室内	調査対象室外部の付近	・計点																																																																																																																																																																							
・測定9				・計点																																																																																																																																																																							
測定名称	測定方法																																																																																																																																																																										
・測定4・測定5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																																										
・測定（ ）																																																																																																																																																																											
測定名称	メンブレンフィルタ直径（mm）	試料の吸引流量（l/min）	試料の吸引時間（min）																																																																																																																																																																								
・測定4・測定5・測定（ ）	25	5	30																																																																																																																																																																								
・測定（ ）	47	10	120																																																																																																																																																																								
・測定（ ）	47	10	240																																																																																																																																																																								
・測定（ ）																																																																																																																																																																											
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																									
既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 下地面の清掃 欠損部がある場合の改修工法	・あり ・なし ・行方 ・行わない ※ 4章外壁改修工事による																																																																																																																																																																										
種類	厚さ（mm）	施工箇所																																																																																																																																																																									
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・25	・																																																																																																																																																																									
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）	※ 2種b A ・ ※ 3種b A ・	※ 外壁 ・ ※ スラブ ・																																																																																																																																																																									
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・25	・																																																																																																																																																																									
・フェノールフォーム断熱材	・25	・																																																																																																																																																																									
項目	品質・性能																																																																																																																																																																										
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験（コーンカロリー試験）に適合していること。																																																																																																																																																																										
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は45分において次の（1）～（3）に適合していること。 (1) 総発熱量が9MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な表面まで貫通する亀裂及びひびきがないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200kW/m ² を超えないこと。																																																																																																																																																																										
項目	品質・性能																																																																																																																																																																										
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 （保水層を有する場合は、保水層欠）																																																																																																																																																																										
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。																																																																																																																																																																										
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び飽込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。																																																																																																																																																																										
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² ・h以上																																																																																																																																																																										
耐荷重性能	一般メンテナンス時の上部歩行に腐し破壊しないこと。 3×10 ⁴ N/m ² 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。																																																																																																																																																																										
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																																																																																																																																																										
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護シート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。																																																																																																																																																																										
項目	品質・性能																																																																																																																																																																										
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 （保水層を有する場合は、保水層欠）																																																																																																																																																																										
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。																																																																																																																																																																										
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び飽込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。																																																																																																																																																																										
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² ・h以上																																																																																																																																																																										
耐荷重性能	一般メンテナンス時の上部歩行に腐し破壊しないこと。 3×10 ⁴ N/m ² 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。																																																																																																																																																																										
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																																																																																																																																																										
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護シート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。																																																																																																																																																																										
構造	・置数式	・支柱調整式																																																																																																																																																																									
所定荷重	※ 3,000N ・5,000N	※ 3,000N ・5,000N																																																																																																																																																																									
耐震性能	・1.0 ・0.6	・1.0 ・0.6																																																																																																																																																																									
項目	性能																																																																																																																																																																										
①ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の＜適用地震時水平力＞以上																																																																																																																																																																										
②上記①以外の部分で耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の＜適用地震時水平力＞以上																																																																																																																																																																										
③適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下																																																																																																																																																																										
2	表示	<div>〔2.0. 2. 1〕</div> <div>案内用図記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用出入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 壁名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示</div>																																																																																																																																																																									
3	ブラインド	<div>〔2.0. 2. 1.4〕</div> <table><tr><th>形式</th><th>操作方法</th><th>種類</th><th>スラットの材質</th><th>スラット幅（mm）</th><th>ボックスレールの材質</th><th>幅・高さ</th></tr><tr><td>・横形</td><td>※手動 ・電動</td><td>※ギア式 ・コード式 ・操作棒式</td><td>※アルミニウム合金製</td><td>※ 25</td><td>※鋼製</td><td>※図示</td></tr><tr><td>・縦形</td><td>※手動 ・電動</td><td>※2本操作 コード式 ・1本操作 コード式</td><td>※アルミスラット ・クロススラット</td><td>・80 ・100</td><td>アルミニウム合金製</td><td>※図示</td></tr></table> <div>アルミスラットの材質 焼付け塗装仕上げ クロススラットの材質 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工</div>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅（mm）	ボックスレールの材質	幅・高さ	・横形	※手動 ・電動	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※ 25	※鋼製	※図示	・縦形	※手動 ・電動	※2本操作 コード式 ・1本操作 コード式	※アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	※図示																																																																																																																																																				
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅（mm）	ボックスレールの材質	幅・高さ																																																																																																																																																																					
・横形	※手動 ・電動	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※ 25	※鋼製	※図示																																																																																																																																																																					
・縦形	※手動 ・電動	※2本操作 コード式 ・1本操作 コード式	※アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	※図示																																																																																																																																																																					
4	ロールスクリーン	<div>〔2.0. 2. 1.5〕</div> <table><tr><th>材質</th><th>操作方式</th><th>透光性能</th><th>寸法（mm）</th><th>取付箇所</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製</td><td>・電動式 ・スプリング式 ※ チェーン式</td><td>・1級 ・2級 ・3級</td><td>※ 図示 ・</td><td>※ 図示 ・</td><td></td></tr></table> <div>巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※ 製造所の仕様</div>	材質	操作方式	透光性能	寸法（mm）	取付箇所	備考	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	・電動式 ・スプリング式 ※ チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	※ 図示 ・	※ 図示 ・																																																																																																																																																														
材質	操作方式	透光性能	寸法（mm）	取付箇所	備考																																																																																																																																																																						
・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	・電動式 ・スプリング式 ※ チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	※ 図示 ・	※ 図示 ・																																																																																																																																																																							
5	カーテン	<div>〔2.0. 2. 1.6〕</div> <table><tr><th>形式</th><th>開閉操作</th><th>ひだの種類</th><th>生地の種類、品質、特殊加工等</th><th>取付箇所</th><th>備考</th></tr><tr><td>・シングル ・ダブル</td><td>・手引き ・引分け ・電動</td><td>・つまみひだ ・ひも引き ・ブレンひだ</td><td></td><td>※図示 ・</td><td></td></tr></table> <div>（暗幕）</div>	形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル ・ダブル	・手引き ・引分け ・電動	・つまみひだ ・ひも引き ・ブレンひだ		※図示 ・																																																																																																																																																														
形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																																																																																																																																																						
・シングル ・ダブル	・手引き ・引分け ・電動	・つまみひだ ・ひも引き ・ブレンひだ		※図示 ・																																																																																																																																																																							
6	カーテンレール	<div>〔2.0. 2. 1.6〕</div> <div>材料による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 強さによる区分 ※ 10-90 仕上げ ※ アルマイト 形状 ※ 角形</div>																																																																																																																																																																									
7	ブラインドボックス及びカーテンボックス	<div>〔2.0. 2. 1.6〕</div> <div>溝幅×深さ（mm） ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ※ 図示 材質 ・集成材（仕上げ： ・アルミニウム製 押出し型材（市販品） 表面処理 ・BC-1 ・BC-2（※標準色（ ）） ・鋼製（仕上げ： ・</div>																																																																																																																																																																									
8	天井点検口	<table><tr><th>材質</th><th>寸法（mm）</th><th>形式</th><th>外枠</th><th>内枠</th></tr><tr><td>※ アルミニウム製</td><td>※ 450×450 ・600×600</td><td>※ 一般形 ※ 屋内用</td><td>※ 縁縁タイプ ※ 屋内用</td><td>※ 縁縁タイプ ※ 目地タイプ</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・気密形</td><td></td><td></td></tr></table> <div>（品質・性能） 内外枠の材質 アルミニウム製 JIS H 4100 A6063S-5又は同等の性能を有するもの 表面処理 陽酸化皮膜JIS H 8601 (A6) 又は同等の性能を有するもの （外部に用いる場合は、JIS H 8602の8種又は同等以上の性能を有するもの） 内枠及び外枠のコーナードブリス 鋼板に垂鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 外枠の取付け金物 鋼板に垂鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 内枠の仕上げ材留付金物 アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材、垂鉛めっき鋼板又は同等の性能を有するもの 耐久性能（繰り返し開閉試験） (1) 300回の繰返し開閉試験後、内蓋の垂れ下がり、0.5mm以内とする。 (2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。 枠の寸法許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 （試験方法） 内蓋（内枠）の繰り返し開閉試験 (1) 試験体は一般事務用とし、枠見込み40mm程度のものとする。 吊り金物外、外枠を天井下地取付用補装材に直接留付ける方式（天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式）とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井下地開口補装材に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所に各メーカー仕様に従い取付ける。なお、野縁の種類は、19形とし仕上げ材は、せっこうボード厚さ9.5mm（JIS A 6901「せっこうボード製品」の第Ⅰ種の難燃2級又は発熱性2級以上）二重張りとする。 (2) 試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。 (3) 測定は、上記繰り返し試験を300回行い、試験後の内蓋の垂れ下がり寸法を測定する。</div>	材質	寸法（mm）	形式	外枠	内枠	※ アルミニウム製	※ 450×450 ・600×600	※ 一般形 ※ 屋内用	※ 縁縁タイプ ※ 屋内用	※ 縁縁タイプ ※ 目地タイプ	・	・	・気密形																																																																																																																																																												
材質	寸法（mm）	形式	外枠	内枠																																																																																																																																																																							
※ アルミニウム製	※ 450×450 ・600×600	※ 一般形 ※ 屋内用	※ 縁縁タイプ ※ 屋内用	※ 縁縁タイプ ※ 目地タイプ																																																																																																																																																																							
・	・	・気密形																																																																																																																																																																									
9	床点検口	<table><tr><th>材質</th><th>寸法（mm）</th><th>形式</th><th>備考</th></tr><tr><td>○ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製</td><td>・ 450×450 ※ 600×600 ・</td><td>○ 一般形 ・ 密閉形 ○ 屋内用</td><td>・ 鍵付き</td></tr></table> <div>密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造のバックシンを装着したものとする。 （品質・性能）</div>	材質	寸法（mm）	形式	備考	○ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600 ・	○ 一般形 ・ 密閉形 ○ 屋内用	・ 鍵付き																																																																																																																																																																	
材質	寸法（mm）	形式	備考																																																																																																																																																																								
○ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600 ・	○ 一般形 ・ 密閉形 ○ 屋内用	・ 鍵付き																																																																																																																																																																								

株式会社 近代設計コンサルタント	年月日	整理番号	工事名	図面番号
	照査	設計担当	図面名	

広島市中区国泰寺一丁目8番30号 TEL (082) 243-5555 (代)	一級建築士 登録第277978号 小 瀧 宏 治	向原小学校大規模改修工事 建築改修工事特記仕様書（7）	図面番号 A 07
--	-----------------------------	--------------------------------	-----------------

[illegible]

建築非構造部材の耐震性能に係る標準的な特記事項			扉			特定室等及び避難経路の扉 AD SD L SSD			RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉 ・耐震ドア 面内変形追随性の等級（ ） （建具符号：※建具表による ）			その他の建築非構造部材			フリーア ロー			フリーアクセ スフロア			20章 フリーアクセスフロアの特記事項による								
建築設計基準			項目			特記事項																							
外壁	帳壁	CW（メタルPCa）	CW工事 取付方法、性能等																										
			地震力に対する安全性																										
			設計用震度 設計用水平震度（KH）※1.0 設計用鉛直震度（KV）※0.5			帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能 設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。																							
			構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ・1/100 ・1/200			帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能 左記の層間変形角に対して、脱落しないこと																							
ALCパネル	外壁パネルの耐震性	地震力に対する安全性																											
		設計用震度 設計用水平震度（KH）※1.0 設計用鉛直震度（KV）※0.5			帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能 設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。																								
		構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ・1/100 ・1/200			帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能 左記の層間変形角に対して、脱落しないこと																								
		層間変形角1/300に対して、ほとんど補修の必要がなく、継続使用に耐えること。																											
押出成形外板（ECP）	外壁パネルの耐震性	地震力に対する安全性																											
		設計用震度 設計用水平震度（KH）※1.0 設計用鉛直震度（KV）※0.5			帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能 設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。																								
		構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ・1/100 ・1/200			帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能 左記の層間変形角に対して、脱落しないこと																								
		層間変形角1/300に対して、ほとんど補修の必要がなく、継続使用に耐えること。																											
外壁	仕上げ	石工事	—																										
			構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ・1/100 ・1/200			帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能 左記の層間変形角に対して、脱落しないこと																							
			層間変形角1/300に対して、ほとんど補修の必要がなく、継続使用に耐えること。																										
			層間変形角1/300に対して、ほとんど補修の必要がなく、継続使用に耐えること。																										
天井	特定天井	軽量鉄骨天井 下地 (特定天井)	範囲 ※図示 特定天井の設計用震度及びクリアランスは以下による。 特定天井告示（平成25年国土交通省告示第771号）による特定天井の設計用震度 傾記ルート（ ）																										
			天井 特定天井 軽量鉄骨天井 下地 (特定天井)																										
			天井 特定天井 軽量鉄骨天井 下地 (特定天井)																										
			天井 特定天井 軽量鉄骨天井 下地 (特定天井)																										
天井	在来工法の吊り天井	—	範囲 ※図示 標準仕様書14.4.1～14.4.4に加えて、天井下地材における耐震性を考慮した補強は、以下の1)～4)のとおりとする。 1) 野縁受けは、相互にジョイントを差し込んでねじ留め。 2) 野縁受け野縁受けの隅り合うジョイントの位置は、互いに1m以上離し、千鳥状に配置。 3) 野縁受けと吊りボルトの接合に用いるペンギンは、ねじ留め等の措置（開き止め）を講じる。 4) 野縁受けと野縁受けの接合に用いるクリップは、特定天井告示（平成25年国土交通省告示第771号）第3第3項に適合する天井に用いられるもの又は新製品クリップ相当の試験適合を「断たな特定天井の技術基準（天井と周囲の壁等との間に隙間を設けない仕様追加）の解説（平成28年7月版）」（国土交通省国土技術政策総合研究所他）の「付録1クリップの接合部の衝撃試験」により確認されたものを使用する。なお、当該クリップは、JIS A 6517によらなくてもよいものとする。																										
			天井 在来工法の吊り天井																										
			天井 在来工法の吊り天井																										
			天井 在来工法の吊り天井																										
天井	システム天井	※グリッドタイプ ・システム天井 範囲 ※図示 耐震性 以下の設計用震度の地震力及び構造体の層間変形角に対して、脱落しないものとする。 なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 設計用水平震度（KH）※1.0 設計用鉛直震度（KV）※0.5 構造体の層間変形角 ・1/100 ・1/200																											
			天井 システム天井																										
			天井 システム天井																										
			天井 システム天井																										
間仕切り	間仕切り	ALCパネル	間仕切りパネルの耐震性 地震力に対する安全性 設計用震度 設計用水平震度（KH）※1.0 設計用鉛直震度（KV）※0.5 構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ・1/100 ・1/200																										
			間仕切り間仕切り																										
			間仕切り間仕切り																										
			間仕切り間仕切り																										
押出成形外板（ECP）	間仕切りパネルの耐震性	地震力に対する安全性 設計用震度 設計用水平震度（KH）※1.0 設計用鉛直震度（KV）※0.5 構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ・1/100 ・1/200																											
		間仕切りパネルの耐震性																											
		間仕切りパネルの耐震性																											
		間仕切りパネルの耐震性																											
軽量鉄骨壁 下地	—	構造体の層間変形に対する追従性 層間変形角 ・1/100 ・1/200																											
		軽量鉄骨壁 下地																											
		軽量鉄骨壁 下地																											
		軽量鉄骨壁 下地																											

年月日	整理番号	工事名	図面番号
照 査	設 計 担 当	向原小学校大規模改修工事	A
		建築改修工事特記仕様書（9）	SCALE

4	高力ボルト	高力ボルトの種類 ※トルシア形高力ボルト 2種 (S10T) ・ JIS形高力ボルト 2種 (F10T) ・ () ボルトの緑端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 緑端距離及びボルト間隔 ・ 構造図による 摩擦面の処理方法 ※自然発錆 (黒皮等を除去した後)に自然放置して表面に赤さびが発生した状態 ・ プラスト処理 (表面粗度50μmRz以上) ・ すべり試験の実施 ※すべり係数試験 ・ すべり耐力試験 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(イ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。	[8.2.9] [8.13.2] [8.14.2]	11	溶接作業を行う 技能資格者の 技量付加試験	試験の要領 ※構造図による	[8.15.3]	8-4 あと施工アンカー工事	1	あと施工アンカー 材料等 ・ 接着系アンカー アンカーの種類 ※カプセル方式回転・打撃式 ・ () ・ 接着剤の品質 ・ 有機系 ・ 無機系 アンカー筋の径及び埋込み長さ ※構造図による アンカー筋の種類 ・ () アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ※構造図による ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ※構造図による ・ 金属系アンカー アンカー本体の径及び埋込み長さ ※構造図による セット方式 ※本体打込み式改良型 ・ () 接合筋の種類、径、長さ ※構造図による ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ※構造図による	[8.2.4]	8-7 耐震スリット新設工事	1	耐震スリットの 方式、幅及び深さ	方式 ・ 完全 ・ 部分 幅及び深さ ※構造図による 設置箇所 ※構造図による	[8.25.2]
		2	耐震スリットの 施工前の埋め込み 配管等の探査			既存撤去部の埋込み配管等の探査方法 ※鉄筋探査機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつりだしによる	[8.12.4]									
5	溶融亜鉛めっき 高力ボルト	セットの種類 ※1種 (F8T) 相当 ボルトの緑端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 緑端距離及びボルト間隔 ・ 構造図による 摩擦面の処理方法等 ※プラスト処理 (表面粗度50μmRz以上) 又はりん酸塩処理 ・ 構造図による ・ すべり試験の実施 ※すべり係数試験 ・ すべり耐力試験 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(イ)又は(イ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。	[8.13.2] [8.20.5]	13	入熱、バス間温度の 溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-4 ・ 構造図による 適用箇所 ※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 ・ 構造図による	[8.15.7]	2	穿孔	埋込み配管等の探査方法 ※鉄筋探知器 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつり出しによる ・ ()	[8.12.4]	3	耐震スリット充填 材の挿入及び周囲 補修等	・ 耐火材 使用箇所及び仕様 ※構造図による ・ 遮音材 使用箇所及び仕様 ※構造図による 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・ 構造図による	[8.25.2] [8.25.2] [8.25.2]	
		3	施工確認試験			試験方法 ※引張試験機による引張試験 確認強度 ※構造図による (社) 日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー技術管理士」の資格以上の能力を有する者とする。	[8.12.7]									
6	普通ボルト	ボルト及びナットの種類 ※標準仕様書 表7.2.3 (JIS鋼線棒)又は次による ボルトの規格は、JIS B 1180とする。ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は金ねじ六角ボルトとし、 材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4.6又は5.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸 法は、ボルトの径の最大とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。ナットの種類は、六角ナット ・ 0とし、材料は鋼とする。 座 金 ※JIS B 1256による ・ 構造図による ボルトの緑端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 緑端距離及びボルト間隔 ・ 構造図による 母座又は鋼線の取付けに使用するボルトの孔径 ※ねじの呼び径+1.0mm ・ 構造図による	[7.2.3] [7.2.3] [8.13.2] [7.3.8]	14	溶接部の試験	平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・ 抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・ JASS 6 10.4 (受入検査) a 溶接部の外観検査 (1) から (5) までによる。ただし、完全溶込み 溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の 不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・ 工場溶接の場合 ※全数 ・ 工場現場溶接の場合 ※全数	[8.15.12]	8-5 グラウト工事	1	柱底均しモルタル 及びグラウト材 ・ 柱底均しモルタル ※無収縮モルタル () ブリーディング 練り混ぜ2時間後のブリーディング率：2.0%以下 無収縮性 材齢 7日：収縮しない。 圧縮強度 材齢 3日：25 N/mm2 以上 材齢 28日：45 N/mm2 以上 試験方法 NEXCO試験方法 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。 ・ グラウト材 無収縮グラウト材 実験等の資料を監督職員に提出する。	[8.2.12] [8.2.12]	8-8 土工事及び地業工事	1	埋戻し及び盛土	埋戻し及び盛土の材料及び工法 ※改修標準仕様書 8.28.3(2) (ウ) (b) 表8.28.1による ・ A種 適用場所 () ・ B種 適用場所 () ・ C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・ D種 適用場所 () 品質 細粒分 (75μm以下) の含有率 (重量百分率) の上限を50%未満とする ・ 材料 () 工法 ()	[8.28.3]
		2	山留めの撤去			鋼矢板等の抜き跡の処理 ※直ちに砂で充填する ・ 意匠図による 山留めの存置 ・ 行う 存置範囲 ※現場説明書の施工条件明示による	[8.28.3]									
7	アンカーボルト	・ 構造用アンカーボルト セットの種類 (JIS B1220) ・ AB8400 ・ AB8490 ・ () ・ 建方用アンカーボルト 種類 ・ SS400 ・ () アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ・ 構造図による ・ 標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト 適用箇所 ・ 図示による () ・ 種類 ・ SS400 ・ アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による	[7.2.4] [7.3.2] [7.3.2]	15	錆止め塗装	塗料の範囲 ・ 耐火被覆材の接着する面の塗装 範囲 ※構造図による ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装 範囲 ※標準仕様書 8.17.2 (ア)～(オ)以外 ・ 構造図による 塗料種別 下記以外の鉄鋼面は、7章「塗装改修工事」による ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別 ※A種 ・ B種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種別 ・ ()	[8.17.2] [8.17.4] [8.18.2～8]	8-6 連続繊維補強工事	1	連続繊維シート 連続繊維の材料 ・ 炭素繊維 ・ アラミド繊維 ・ () 引張強度 (含浸硬化後) ・ () N/mm ² ヤング係数 (含浸硬化後) ・ () N/mm ² ・ 下地処理 ・ ひび割れ部改修 範囲 ※構造図による 工法の種類 ※構造図による ・ 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ※構造図による 連続繊維補強材の強度試験 ・ 引張強度試験 ※JIS A 1191 (コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法) による ・ 構造図による 試験数量 ※構造図による ・ 付着強度試験 ※JIS A 6909 (建築用仕上塗材) による ・ 構造図による 試験数量 ※構造図による	[8.2.13] [8.2.13] [8.24.6] [8.24.6] [8.24.6] [8.24.6]	4	砂利地業	材料 ・ 再生クラッシュヤラン ・ 切込砂利又は切込砕石 砂利厚さ ※60mm ・ () mm	[8.2.15] [8.28.4]	
		2	仕上げ			補強工事後の仕上げ ※構造図による	[8.24.7]									
8	溶接材料	溶接材料 ・ 改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・ 構造図による	[8.2.10]	16	耐火被覆	種類、材料、工法等 種 類 材料・工法 性能 (耐火時間) 適用箇所 (部位・部分) ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ ・ ・ 繊維混入型耐火カルシウム板 ・ ・ 耐火材巻付け ・ 高断熱ロックウール ・ ・ ラス張りモルタル塗り ・ 耐火塗料 ・	[8.2.11]	8-9 連続繊維補強工事	2	仕上げ	補強工事後の仕上げ ※構造図による	[8.24.7]	5	捨コンクリート地業	捨コンクリートの厚さ ※60mm ・ () mm コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・ () 設計基準強度 ※18N/mm ² ・ () N/mm ² スランプ ※15cm又は18cm ・ () cm	[8.28.4] [8.11.1] [8.11.1]
		9	スタッド			種類等 [8.2.11] 呼 び 名 呼び長さ (mm) 適用箇所 ・ 16 ・ 19 ・ 22 JIS B1198 (頭付きスタッド) 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイアフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ・ H12建告第1464号第二号 (2) による ・ 構造図による アンダーカットの寸法 ・ H12建告第1464号第二号 (3) による ・ 構造図による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 構造図による										
10	製作精度	鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイアフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ・ H12建告第1464号第二号 (2) による ・ 構造図による アンダーカットの寸法 ・ H12建告第1464号第二号 (3) による ・ 構造図による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 構造図による	[8.13.3]	17	アンカーボルト等の 設置等	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ※構造図による 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ※構造図による 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ※構造図による 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ・ A種 ・ B種 柱底均しモルタル厚さ及び工法の種別 厚さ ・ () 種別 ※A種 ・ B種	[7.10.3] [7.10.3] [7.10.3] [7.10.3] [7.10.3]	8-10 連続繊維補強工事	2	仕上げ	補強工事後の仕上げ ※構造図による	[8.24.7]	5	捨コンクリート地業	捨コンクリートの厚さ ※60mm ・ () mm コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・ () 設計基準強度 ※18N/mm ² ・ () N/mm ² スランプ ※15cm又は18cm ・ () cm	[8.28.4] [8.11.1] [8.11.1]
		9	スタッド			種類等 [8.2.11] 呼 び 名 呼び長さ (mm) 適用箇所 ・ 16 ・ 19 ・ 22 JIS B1198 (頭付きスタッド) 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイアフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ・ H12建告第1464号第二号 (2) による ・ 構造図による アンダーカットの寸法 ・ H12建告第1464号第二号 (3) による ・ 構造図による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 構造図による										

株式会社 近代設計コンサルタント 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 TEL (082) 243-5555 (代)	年月日	整理番号	工事名 向原小学校大規模改修工事	図面番号 A 11
	照査	設計担当	図面名 建築改修工事特記仕様書(11)	

名 称		A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理					
記号・仕様		A－1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]		A－2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B－1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4. 2. 5] ひび割れ幅 0. 2～1. 0mm		B－2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4. 2. 6] ひび割れ幅 1. 0mm以上	
改修前	改修後								
工 程		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（＊全面 ・部分） ②高圧水洗浄（150～200kg／cm ² ） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※見上げ面については、③を省略する。 参考数量： 3,483 m ²		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（＊全面 ・部分） ②高圧水洗浄（150～200kg／cm ² ） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※見上げ面については、③を省略する。 参考数量： 419 m ²		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A－1工法を行う場合は、①、④の工程はA－1工法に含む。 参考数量： ひび割れ幅 0. 2～0. 5mm 60.35 m ひび割れ幅 0. 5～1. 0mm 5.90 m （ ）内は挙動ひび割れ数量を示す		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄（150～200kg／cm ² ） ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A－1工法を行う場合は、②、⑤の工程はA－1工法に含む。 参考数量：	
名 称		B ひび割れ部処理						C 錆鉄筋部処理	
記号・仕様		B－4 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2～1. 0mm		B－5 モルタル面躯体部樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2～1. 0mm		B－6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1. 0mm以上		B－7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0. 2～1. 0mm	
改修前	改修後								
工 程		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A－2工法を行う場合は、①、④の工程はA－2工法に含む。 参考数量： ひび割れ幅 0. 2～0. 5mm 9.79 m ひび割れ幅 0. 5～1. 0mm 2.13 m （ ）内は挙動ひび割れ数量を示す		①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A－2工法を行う場合は、⑥の工程はA－2工法に含む。 参考数量：		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄（150～200kg／cm ² ） ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A－2工法を行う場合は、②、⑤の工程はA－2工法に含む。 参考数量：		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄（150～200kg／cm ² ） ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A－2工法を行う場合は、②、④の工程はA－2工法に含む。 参考数量：	
名 称		C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理					
記号・仕様		C－2 モルタル面錆鉄筋部処理		D－1 モルタル面はつり		D－2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 11] D－2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 9]			
改修前	改修後								
工 程		①カッター縁切り ②浮き部はつり ③錆落とし ④高圧水洗浄（150～200kg／cm ² ） ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A－2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA－2工法に含む。 参考数量： 0.1 m		①カッター縁切り ②浮き部はつり ③高圧水洗浄（150～200kg／cm ² ） ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A－2工法を行う場合は、③、⑤の工程はA－2工法に含む。 参考数量：		①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③エポキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入 一般部 16 ケ所 指定部 25 ケ所 一般部 16 ケ所 指定部 25 ケ所 一般部 16 ケ所 指定部 25 ケ所 一般部 16 ケ所 指定部 25 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂] 一般部 16 ケ所 指定部 25 ケ所 ⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄（150～200kg／cm ² ） ⑧セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A－2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA－2工法に含む。 参考数量： ①一般部分： 50.65 m ² ②指定部分： 168.31 m ² ③峽幅部：		①一般部分標準グリッド（250×250） ③峽幅部（幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所） ②指定部分標準グリッド（200×200）（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等） アンカーピン固定部	

株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号

TEL (082) 243-5555 (代)

一級建築士 登録第277978号

小 瀧 宏 治

年月日

照 査

整理番号

設 計 担 当

工事名

図面名

向原小学校大規模改修工事

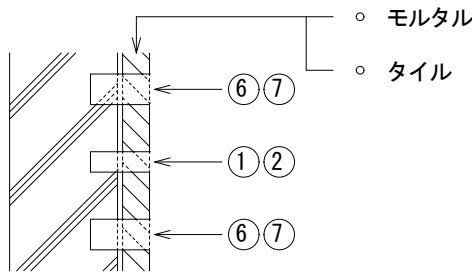
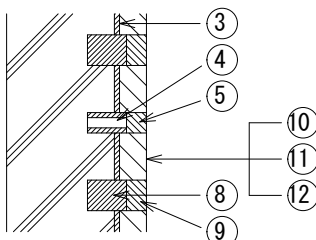
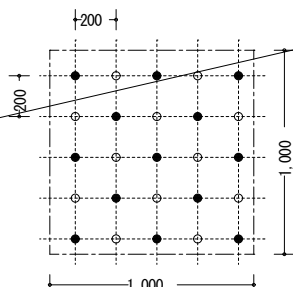
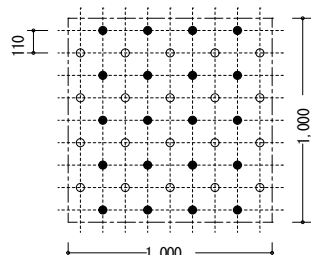
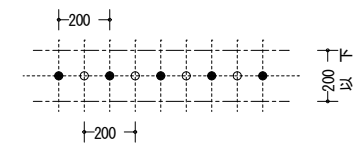
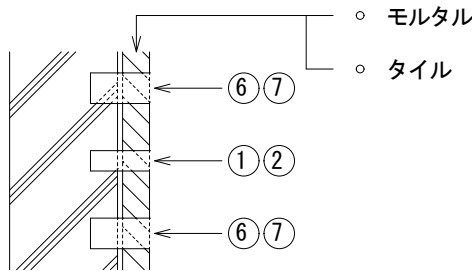
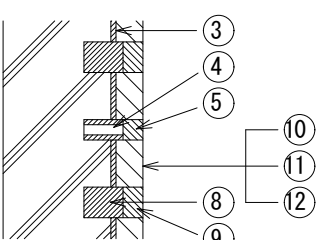
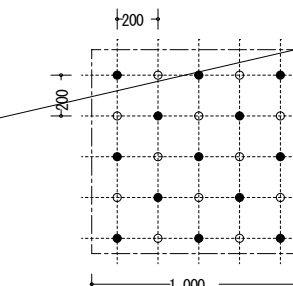
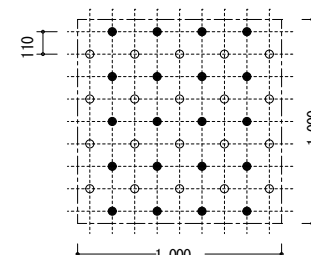
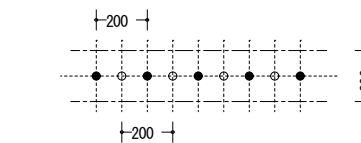
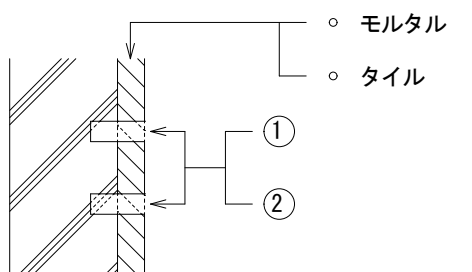
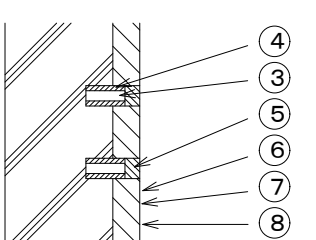
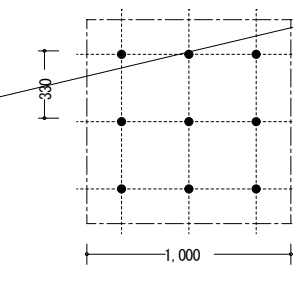
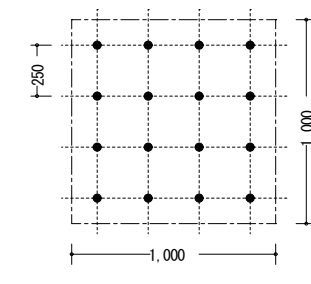
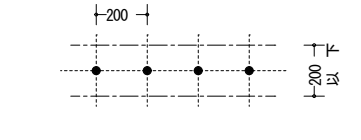
外壁改修工事特記仕様書（1）

図面番号

SCALE

A

12

名 称		D 浮き部処理									
記号・仕様		D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 12] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 10]									
改修前	改修後										
		<div>①ピン固定部穿孔 一般部 13 ケ所 ⑥注入口穿孔 一般部 12 ケ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</div> <div>②孔内エアークリーニング 一般部 13 ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12 ケ所</div> <div>③エポキシ樹脂注入 一般部 13 ケ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 12 ケ所</div> <div>④ステンレスピン挿入 一般部 13 ケ所 ⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 12 ケ所</div> <div>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 13 ケ所 ⑩サンダーケレン 一般部 12 ケ所</div> <div>指定部 20 ケ所 指定部 20 ケ所 指定部 20 ケ所 指定部 20 ケ所 指定部 20 ケ所</div> <div>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</div> <div>※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。</div> <div>参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：</div>									
工 程		<div>①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)</div> <div></div> <div>②指定部分標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</div> <div></div> <div>③峽幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</div> <div></div> <div>● アンカーピン固定部 ○ 注入口</div>									
名 称		D 浮き部処理									
記号・仕様		D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 13] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 11]									
改修前	改修後										
		<div>①ピン固定部穿孔 一般部 13 ケ所 ⑥注入口穿孔 一般部 12 ケ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</div> <div>②孔内エアークリーニング 一般部 13 ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12 ケ所</div> <div>③ポリマーセメントスラリー注入 一般部 13 ケ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 12 ケ所</div> <div>④ステンレスピン挿入 一般部 13 ケ所 ⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー] 一般部 12 ケ所</div> <div>⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー] 一般部 13 ケ所 ⑩サンダーケレン 一般部 12 ケ所</div> <div>指定部 20 ケ所 指定部 20 ケ所 指定部 20 ケ所 指定部 20 ケ所 指定部 20 ケ所</div> <div>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</div> <div>※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。</div> <div>参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：</div>									
工 程		<div>①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)</div> <div></div> <div>②指定部分標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</div> <div></div> <div>③峽幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</div> <div></div> <div>● アンカーピン固定部 ○ 注入口</div>									
名 称		D 浮き部処理									
記号・仕様		D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14] D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]									
改修前	改修後										
		<div>①穿孔 一般部 9 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9 ケ所</div> <div>指定部 16 ケ所 指定部 16 ケ所</div> <div>②孔内エアークリーニング 一般部 9 ケ所 ⑥サンダーケレン 一般部 9 ケ所</div> <div>指定部 16 ケ所 指定部 16 ケ所</div> <div>③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9 ケ所 ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) 一般部 9 ケ所</div> <div>指定部 16 ケ所 指定部 16 ケ所</div> <div>④エポキシ樹脂注入 一般部 9 ケ所 ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 一般部 9 ケ所</div> <div>指定部 16 ケ所 指定部 16 ケ所</div> <div>※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。</div> <div>参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：</div>									
工 程		<div>①一般部分標準グリッド (330×330) (指定部以外の部分)</div> <div></div> <div>②指定部分標準グリッド (250×250) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</div> <div></div> <div>③峽幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</div> <div></div> <div>● 注入口付アンカーピン固定部</div>									

年月日		整理番号		工事名		図面番号
照 査		設 計 担 当		図面名		
				向原小学校大規模改修工事		SCALE
				外壁改修工事特記仕様書(2)		

株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号

TEL (082) 243-5555 (代)

一級建築士 登録第277978号

小 瀧 宏 治

13



株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号
TEL (082) 243-5555 (代) 小 瀧 宏 治

年月日

整理番号

工事名 向原小学校大規模改修工事

図面番号

照 査

設 計 担 当

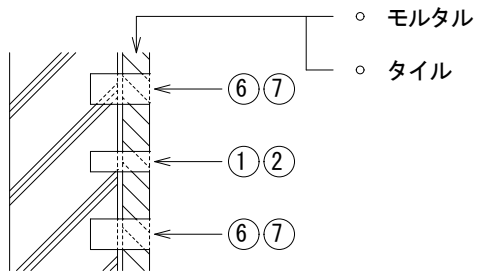
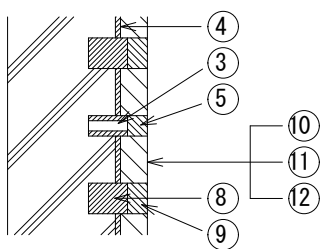
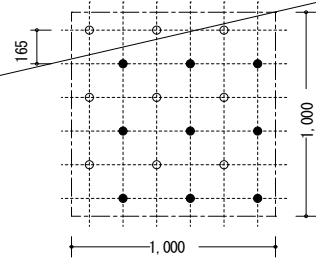
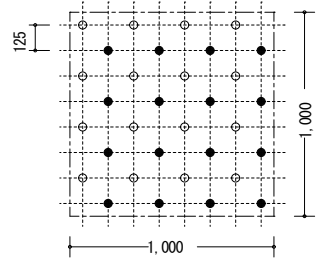
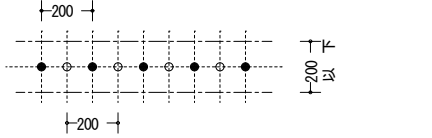
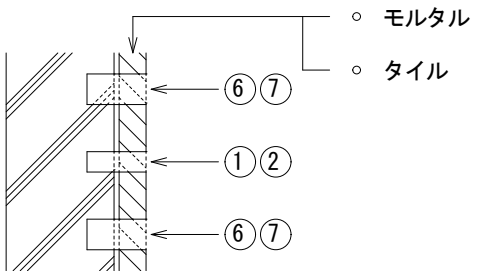
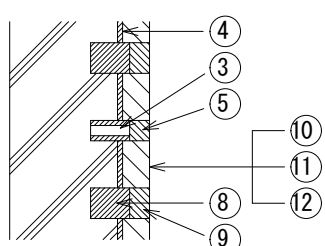
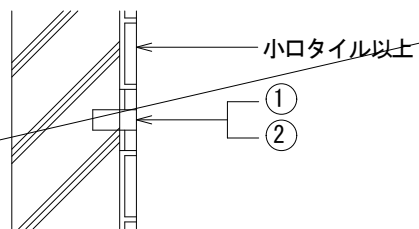
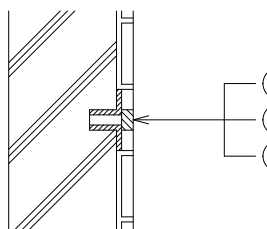
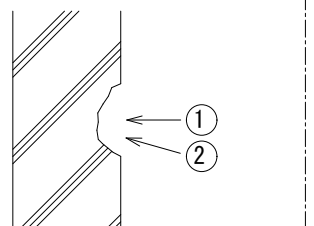
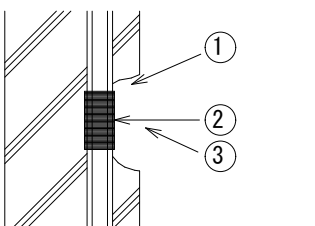
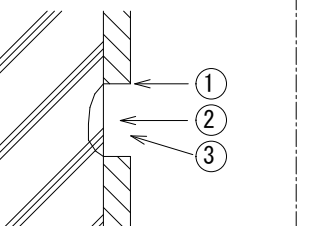
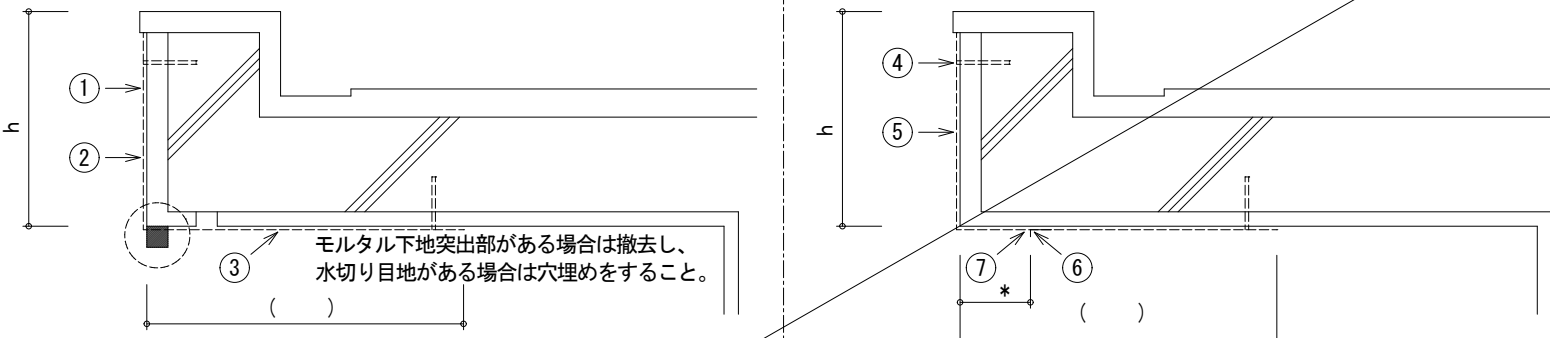
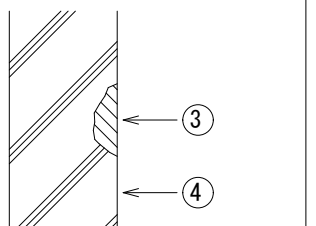
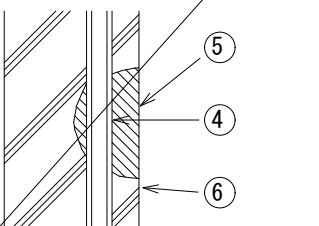
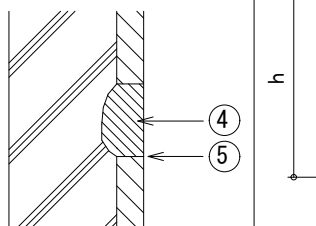
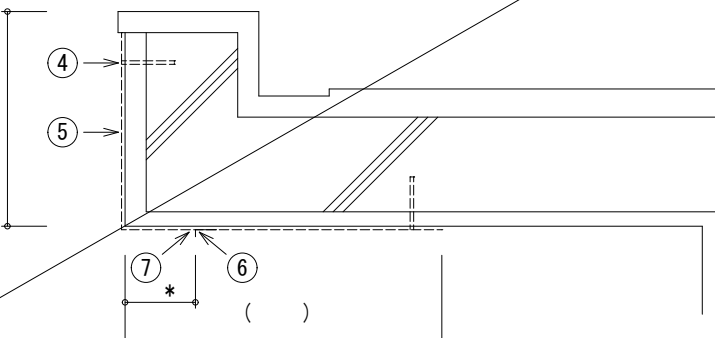




図面名

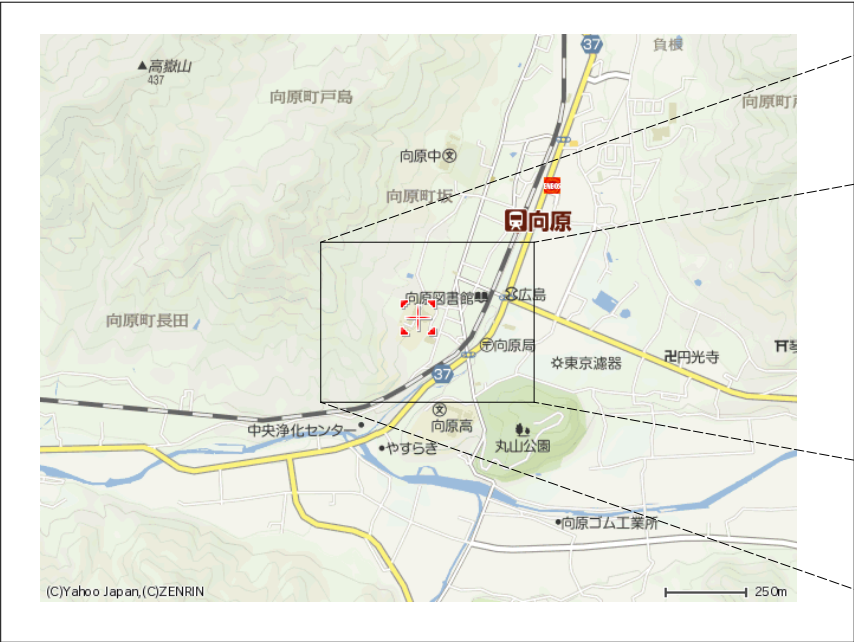
外壁改修工事特記仕様書(2)

SCALE

A

13

名 称		D 浮き部処理																																																																																																																																	
記号・仕様		D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 15] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 13]																																																																																																																																	
改修前	改修後																																																																																																																																		
										<ul style="list-style-type: none">● 注入口付アンカーピン固定部○ 注入口																																																																																																																									
工 程		<table><tr><td>①ピン固定部穿孔</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td>②孔内エアークリーニング</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>⑥注入口穿孔</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>⑩サンダーケレン</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>③ステンレスピン (注入口付) 挿入</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>⑦孔内エアークリーニング</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td>※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>④エポキシ樹脂注入</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>⑧エポキシ樹脂注入</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>参考数量：①一般部分：</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td>②指定部分：</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>③峽幅部：</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										①ピン固定部穿孔	一般部	9	ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部	9	ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部	9	ヶ所		指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	②孔内エアークリーニング	一般部	9	ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部	9	ヶ所	⑩サンダーケレン					指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)				③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部	9	ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部	9	ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)					指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む				④エポキシ樹脂注入	一般部	9	ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部	9	ヶ所	参考数量：①一般部分：					指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	②指定部分：												③峽幅部：															
①ピン固定部穿孔	一般部	9	ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部	9	ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部	9	ヶ所																																																																																																																								
	指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所																																																																																																																								
②孔内エアークリーニング	一般部	9	ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部	9	ヶ所	⑩サンダーケレン																																																																																																																											
	指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)																																																																																																																											
③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部	9	ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部	9	ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)																																																																																																																											
	指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む																																																																																																																											
④エポキシ樹脂注入	一般部	9	ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部	9	ヶ所	参考数量：①一般部分：																																																																																																																											
	指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	②指定部分：																																																																																																																											
								③峽幅部：																																																																																																																											
名 称		D 浮き部処理																																																																																																																																	
記号・仕様		D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 16] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6' と同じ					D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小口タイル以上) [標仕4. 4. 15]																																																																																																																												
改修前	改修後																																																																																																																																		
																																																																																																																																			
工 程		<table><tr><td>①ピン固定部穿孔</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>⑥注入口穿孔</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>②孔内エアークリーニング</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>⑦孔内エアークリーニング</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>③ステンレスピン (注入口付) 挿入</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>⑧ポリマーセメントスラリー注入</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td>参考数量：①一般部分：</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>④ポリマーセメントスラリー注入</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>⑨穿孔跡埋戻し [※※'リマセメントモルタル]</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>②指定部分：</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td>③峽幅部：</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>⑤穿孔跡埋戻し [※※'リマセメントモルタル]</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>⑩サンダーケレン</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										①ピン固定部穿孔	一般部	9	ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部	9	ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)					指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所					②孔内エアークリーニング	一般部	9	ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部	9	ヶ所						指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所					③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部	9	ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部	9	ヶ所	※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む					指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	参考数量：①一般部分：				④ポリマーセメントスラリー注入	一般部	9	ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [※※'リマセメントモルタル]	一般部	9	ヶ所	②指定部分：					指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	③峽幅部：				⑤穿孔跡埋戻し [※※'リマセメントモルタル]	一般部	9	ヶ所	⑩サンダーケレン									指定部	16	ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)							
①ピン固定部穿孔	一般部	9	ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部	9	ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)																																																																																																																											
	指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所																																																																																																																												
②孔内エアークリーニング	一般部	9	ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部	9	ヶ所																																																																																																																												
	指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所																																																																																																																												
③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部	9	ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部	9	ヶ所	※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む																																																																																																																											
	指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	参考数量：①一般部分：																																																																																																																											
④ポリマーセメントスラリー注入	一般部	9	ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [※※'リマセメントモルタル]	一般部	9	ヶ所	②指定部分：																																																																																																																											
	指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	③峽幅部：																																																																																																																											
⑤穿孔跡埋戻し [※※'リマセメントモルタル]	一般部	9	ヶ所	⑩サンダーケレン																																																																																																																															
	指定部	16	ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)																																																																																																																															
名 称		E 欠損部処理																																																																																																																																	
記号・仕様		E-1 打放し面充填工法 [標仕4. 2. 8]		E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4. 2. 3]		E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4. 3. 3]		F 外壁複合改修工法																																																																																																																											
改修前	改修後																																																																																																																																		
																																																																																																																																			
工 程		<p>①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③欠損はつり部埋戻し [※※'リマセメントモルタル ・エポキシ樹脂モルタル] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む</p> <p>参考数量： 0.91 m² </p>		<p>①欠損部・錆鉄筋周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④防錆処理 ⑤欠損はつり部埋戻し [※※'リマセメントモルタル ・エポキシ樹脂モルタル] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む</p> <p>参考数量： </p>		<p>①カッター縁切り ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④欠損はつり部埋戻し [※※'リマセメントモルタル ・エポキシ樹脂モルタル] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による)</p> <p>※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む</p> <p>参考数量： 0.19 m² </p>		<p>下地補修後 ①プライマー下塗り ②ポリマーペースト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーペースト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L-30×15×2.0 ステンレスビス止@450) ⑦シーリング打設 (MS-2)</p> <table><tr><td>参考数量</td><td>ネット張り</td><td>m²</td></tr><tr><td></td><td>水切</td><td>m</td></tr></table>				参考数量	ネット張り	m ²		水切	m																																																																																																																		
参考数量	ネット張り	m ²																																																																																																																																	
	水切	m																																																																																																																																	
 株式会社 近代設計コンサルタント 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号 TEL (082) 243-5555 (代) 小 瀧 宏 治						年月日	整理番号	工事名 向原小学校大規模改修工事		図面番号 A																																																																																																																									
						照 査	設 計 担 当	図面名 外壁改修工事特記仕様書 (3)		SCALE																																																																																																																									
											14																																																																																																																								

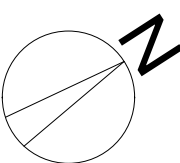
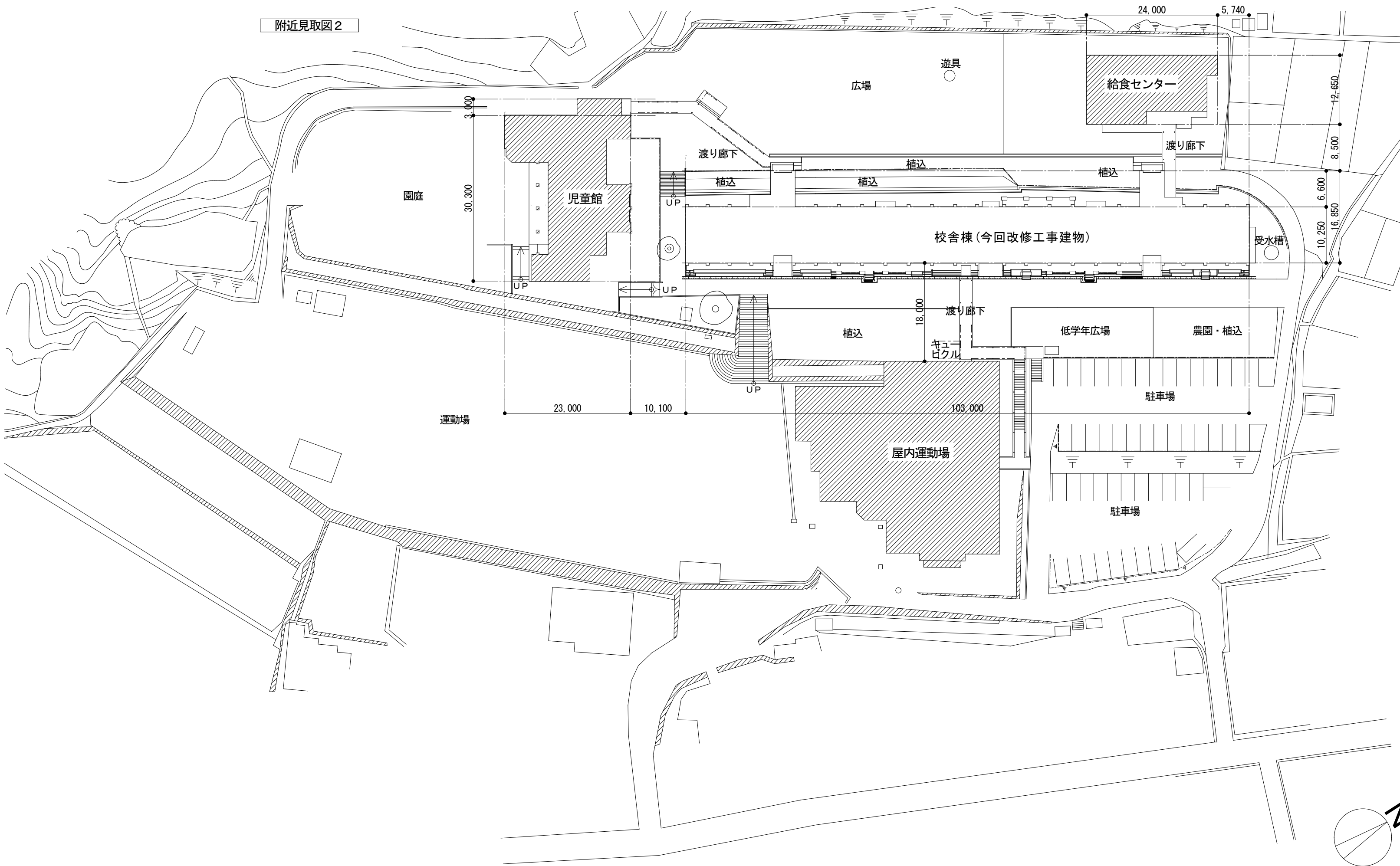
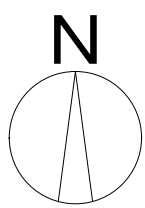


附近見取図 1



附近見取図 2

建物概要	
建設場所	広島県安芸高田市向原町坂10060-1
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上3階建
延床面積	3,246.18㎡

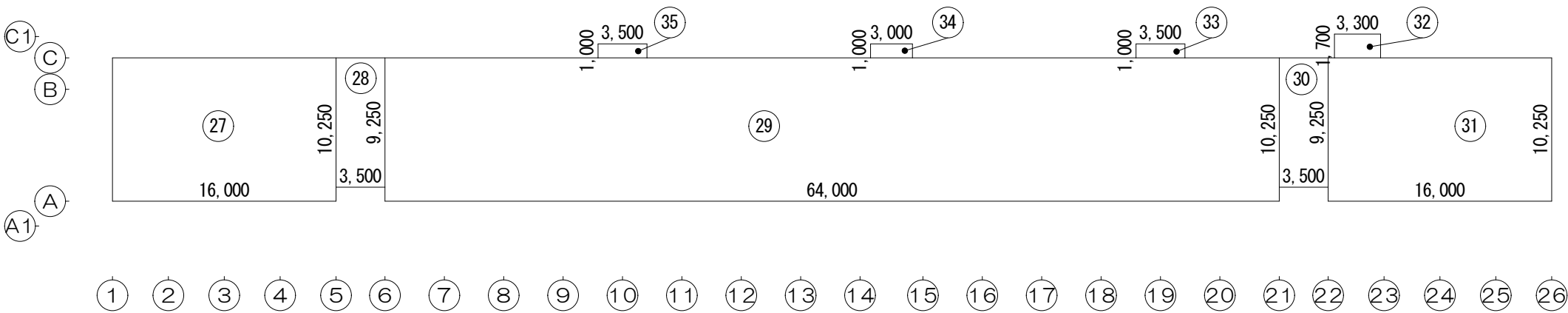
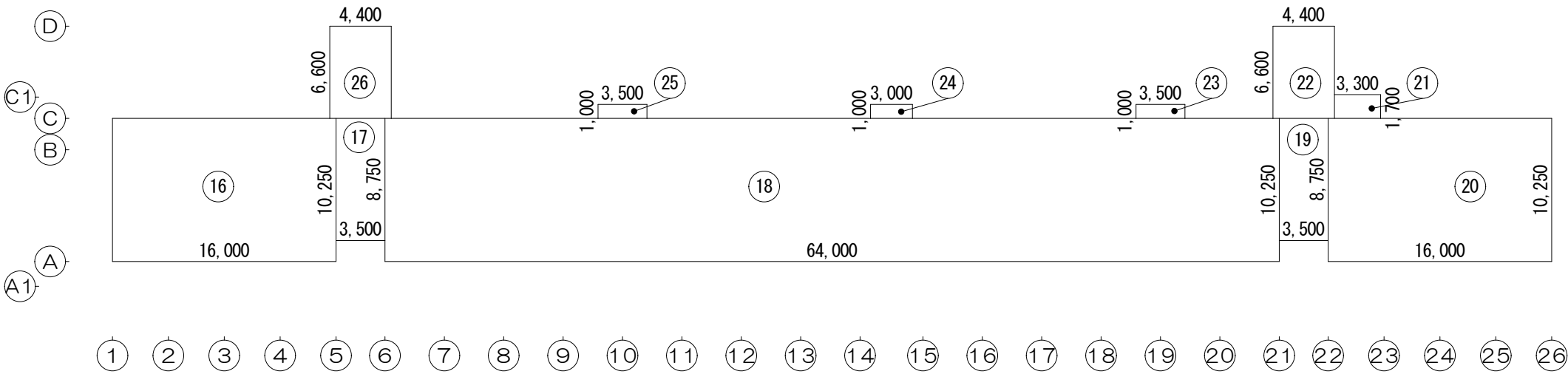
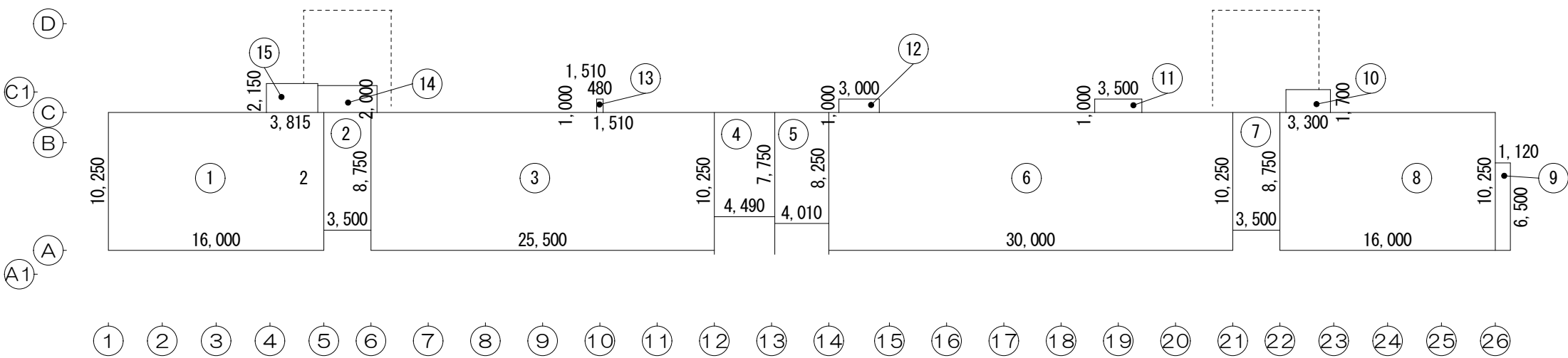


内部改修項目(大規模改修工事)	
1	教室 掃除具入・ロッカー 撤去・新設
2	来客用・職員用・生徒用下足箱 撤去・新設
3	廊下 手洗 撤去・新設
4	廊下 手洗+掃除用流し 撤去・新設
5	教室 床仕上 撤去・新設
6	廊下・階段 床仕上 一部撤去・新設
7	天井仕上 撤去・新設
8	外廻りガラス部 断熱塗材 新設
9	建具改修
10	壁 撤去・新設

外部改修項目(防災機能強化工事)	
A	外壁 塗装替(外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	縦樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング

株式会社 近代設計コンサルタント
広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号
TEL (082) 243-5555(代) 小 瀧 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号
照 査	設 計 担 当	向原小学校大規模改修工事	A
		付近見取図・配置図	15
		SCALE	1/600



符号	計算式			
①	16.0	×	10.25	= 164.0
②	3.5	×	8.75	= 30.625
③	25.5	×	10.25	= 261.375
④	4.49	×	7.75	= 34.7975
⑤	4.01	×	8.25	= 33.0825
⑥	30.0	×	10.25	= 307.5
⑦	3.5	×	8.75	= 30.625
⑧	16.0	×	10.25	= 164.0
⑨	1.12	×	6.5	= 7.28
⑩	3.3	×	1.7	= 5.61
⑪	3.5	×	1.0	= 3.5
⑫	3.0	×	1.0	= 3.0
⑬	0.48	×	1.0	= 0.48
⑭	4.4	×	2.0	= 8.8
⑮	3.815	×	2.15	= 8.20225
⑯	16.0	×	10.25	= 164.0
⑰	3.5	×	8.75	= 30.625
⑱	64.0	×	10.25	= 656.0
⑲	3.5	×	8.75	= 30.625
⑳	16.0	×	10.25	= 164.0
㉑	3.3	×	1.7	= 5.61
㉒	4.4	×	6.6	= 29.04
㉓	3.5	×	1.0	= 3.5
㉔	3.0	×	1.0	= 3.0
㉕	3.5	×	1.0	= 3.5
㉖	4.4	×	6.6	= 29.04
㉗	16.0	×	10.25	= 164.0
㉘	3.5	×	9.25	= 32.375
㉙	64.0	×	10.25	= 656.0
㉚	3.5	×	9.25	= 32.375
㉛	16.0	×	10.25	= 164.0
㉜	3.3	×	1.7	= 5.61
㉝	3.5	×	1.0	= 3.5
㉞	3.0	×	1.0	= 3.0
㉟	3.5	×	1.0	= 3.5

1階床面積 ① ～ ⑮ = 1,062.877250

2階床面積 ⑯ ～ ㉖ = 1,118.940000

3階床面積 ㉗ ～ ㉟ = 1,064.360000

合計 3,246.177250



株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号
TEL (082) 243-5555 (代) 小 瀧 宏 治

年月日

整理番号

工事名

向原小学校大規模改修工事

照 査

設 計

担 当

図面名

求積図

SCALE

1/400

図面番号

A

16

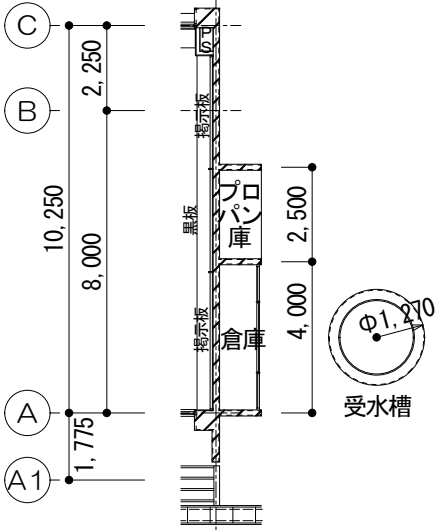
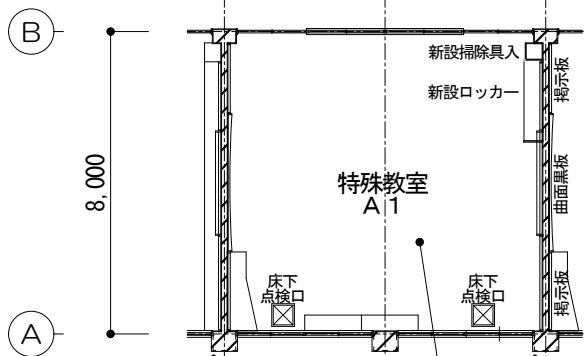
外部仕上表															
外壁 (柱型・梁型共)	改修前	コンクリート打放補修の上 複層塗材E 塗膜除去 窓台：防水モルタル 複層塗材E 塗膜除去 西側梁天：防水モルタル 複層塗材E 塗膜除去 東側梁天・西側地中梁天：防水モルタル	プロパン庫 倉庫 屋根	改修前	モルタルの上 複層塗材E 塗膜除去	バルコニー デッキテラス 手摺壁	改修前	壁：コンクリート打放補修の上 複層塗材E 塗膜除去 巾木：コンクリート打放補修の上 防水モルタル 笠木：防水モルタル ステンレス手摺：笠木Φ60×3.2 堅子：Φ34×2.2 @1000	西側昇降口3 庇補強鉄骨	改修前	梁 H-150×150×7×10 亜鉛メッキ SOP 塗膜除去 柱 H-125×125×6.5×9 亜鉛メッキ SOP 塗膜除去				
		改修後	外壁：防水型複層塗材E 新設 窓台：防水型複層塗材E 新設 西側梁天：防水型複層塗材E 新設 東側梁天・西側地中梁天：防水型複層塗材E 新設	バルコニー デッキテラス 床・巾木	改修前			レンガタイル貼 一部防水モルタル塗		改修後	D P 新設 D P 新設				
	根周り		改修前	モルタル刷毛引き	外部天井 バルコニー デッキテラス 天井			改修前		LGS天井下地 石綿板 t4 EP(1・3階) LGS天井下地 ケイカル板 t6 EP-G(1階6～21通間) コンクリート打放補修の上 複層塗材E(2階) 塗膜除去 塗膜除去 塗膜除去	堅樋	改修前	GPΦ100 F P 塗膜除去 鋳鉄製バルコニードレイン	受水槽	改修前
		改修後	防水型複層塗材E 新設	改修後				ボード部： EP 新設 一部ケイカル板 t6 EP 新設 コンクリート部：防水型複層塗材E 新設		改修後		堅樋：D P 新設 ドレイン：既存のまま	改修後		防水型複層塗材E 新設 スチール製タラップ：D P 新設
内部仕上表															
階	室名		床下地	床仕上	巾木	壁下地	壁仕上	天井下地	天井仕上	天井高	備考				
2	昇降口2・3	改修前	モルタル金コテ押エ タイル下地モルタル	ビニル床シート t2.0 撤去 レンガタイル貼	ビニル巾木 H=100 撤去 レンガタイル H=100	モルタル	複装塗材E 塗膜除去	モルタル	複装塗材E 塗膜除去						
		改修後	下地調整の上 既存のまま	防滑性ビニル床シート t2.0 新設 既存のまま	ビニル巾木 H=100 新設 既存のまま		防水型複層塗材E 新設		防水型複層塗材E 新設						
1～3	廊下	改修前	モルタル金コテ押エ	ビニル床シート t2.0(2・3階) 一部撤去(2階) 防滑性ビニル床シート t2.0(1階)	ビニル巾木 H=100 一部撤去(2階)	モルタル	EP	LGS下地	ジブトーン t9.5	2630	塩ビ廻縁				
		改修後	一部下地調整の上	ビニル床シート t2.0 一部新設(2階) 既存のまま	ビニル巾木 H=100 一部新設(2階)	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		天井点検口 450角 新設(6箇所)				
1～3	手洗 手洗＋掃除用流し	改修前	タイル下地モルタル	丸型モザイクタイル 既存のまま	ビニル巾木 H=100 撤去 陶磁器タイル100角 H=1200	モルタル タイル下地モルタル	EP 陶磁器タイル100角 H=1200	LGS下地	ジブトーン t9.5 撤去	2630	ステンレス床見切 40×20 撤去 塩ビ廻縁 人造研ぎ出し仕上げ手洗い 撤去				
		改修後	下地調整の上	防滑性ビニル床シート t2.0 新設	既存のまま ビニル巾木 H=100 新設 ライニング部 ビニル巾木 H=100 新設	既存のまま 下地調整の上 ライニング部 LGS65形	既存のまま 化粧ケイカル板 t3(直貼工法) 新設 ライニング部 GB-S t12.5+化粧ケイカル板 t3 新設	既存のまま	GB-D t9.5	2630	ステンレス床見切 40×20(への字型) 新設 ライニング天板：ステンレス t1.5 HL 曲加工 新設 天井点検口 450角 新設(10箇所)				
1～3	階段室1・2	改修前	モルタル金コテ押エ	ビニル床シート t2.0(1階踊場～3階) 撤去 防滑性ビニル床シート t2.0(1階～1階踊場)	ビニル巾木 H=100 踊場のみ撤去	モルタル	EP	LGS下地 コンクリート(段裏)	ジブトーン t9.5 パーライトモルタル t10		段鼻ノンスリップ 撤去 塩ビ廻縁				
		改修後	下地調整の上 既存のまま	ビニル床シート t2.0 新設 既存のまま	既存のまま 踊場のみビニル巾木 H=100 新設	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		段鼻ノンスリップ 新設				
1～3	EVホール	改修前	モルタル金コテ押エ	ビニル床シート t2.0 3階のみ撤去	ビニル巾木 H=100 3階のみ撤去	モルタル	EP	LGS下地	ジブトーン t9.5	2630	塩ビ廻縁				
		改修後	3階のみ下地調整の上	3階のみビニル床シート t2.0 新設	3階のみビニル巾木 H=100 新設	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま						
1	特殊教室 A1・A2	改修前	コンクリート金コテ押エ	サクラ複層フローリング直張り t15 撤去 (クッション付)ウレタン樹脂ワニス	ビニル巾木 H=100 撤去	モルタル A1のみ 一部撤去	EP A1のみ 一部撤去	LGS下地 モルタル	炭酸マグネシウム吸音板 t9 EP 撤去 EP(梁型)	3050	A2のみ 天井点検口 450角 撤去(1箇所) 塩ビ廻縁 撤去 床下点検口 600角 撤去(2箇所)				
		改修後	下地調整の上	フローリング t15 新設	ビニル巾木 H=100 新設	既存のまま A1のみ一部 GB-F t12.5(GL工法)新設	A1のみ一部 EP-G 新設	既存のまま 既存のまま	DR t9(直貼工法) 新設 既存のまま	3050	A2のみ 天井点検口 450角 新設(1箇所) 塩ビ廻縁 新設 床下点検口 600角 新設(2箇所)				
2	事務室	改修前	コンクリート金コテ押エ	ブナフローリングブロック t15 足付張り OSCL 撤去	ビニル巾木 H=100 撤去	モルタル	EP	LGS下地 モルタル	炭酸マグネシウム吸音板 t9 EP EP(梁型)	3050	塩ビ廻縁				
		改修後	下地調整の上	フローリング t15 新設	ビニル巾木 H=100 新設	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま						
2	普通教室 2・3	改修前	コンクリート金コテ押エ	サクラ複層フローリング直張り t15 (クッション付)ウレタン樹脂ワニス 撤去	ビニル巾木 H=100 撤去	モルタル 一部撤去	EP 一部撤去	LGS下地 モルタル	炭酸マグネシウム吸音板 t9 EP EP(梁型)	3050	塩ビ廻縁				
		改修後	下地調整の上	フローリング t15 新設	ビニル巾木 H=100 新設	教室3のみ一部 GB-F t12.5(GL工法)新設	教室3のみ一部 EP-G 新設	既存のまま	既存のまま						
2	多目的ホール	改修前	コンクリート金コテ押エ	ブナフローリングブロック t15 足付張り OSCL 撤去	ビニル巾木 H=100 撤去	モルタル	EP	LGS下地 モルタル	炭酸マグネシウム吸音板 t9 EP EP(梁型)	3050	塩ビ廻縁				
		改修後	下地調整の上	フローリング t15 新設	ビニル巾木 H=100 新設	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま						
2・3	普通教室 1・4・6・7 8・PTA室	改修前	コンクリート金コテ押エ	ブナフローリングブロック t15 足付張り OSCL 撤去	ビニル巾木 H=100	モルタル 一部撤去	EP 一部撤去	LGS下地 モルタル	炭酸マグネシウム吸音板 t9 EP EP(梁型)	3050	塩ビ廻縁				
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	一部 GB-F t12.5(GL工法)新設	一部 EP-G 新設	既存のまま	既存のまま						
1～3	手洗PS	改修前			陶磁器タイル100角 H=1200 撤去	GB100+モルタル 撤去 GB100+タイル下地モルタル 撤去	EP 撤去 陶磁器タイル100角 H=1200 撤去								
		改修後			ビニル巾木 H=100 新設	LGS65形 GB-F t12.5 新設 LGS65形 GB-S t9.5+GB-F t9.5 新設	EP-G 新設 化粧ケイカル板 t3 新設				壁点検口 450角 新設(5箇所)				
1～3	身障者トイレ 男子便所	改修前	コンクリート金コテ押エ	ビニル床シート t2.5	ビニル巾木 H=100 撤去	GB-S t9.5 LGS20形 GB120 撤去	化粧ケイカル板 t6 撤去	LGS下地	化粧石こうボード t9.5	2500					
		改修後	既存のまま	既存のまま	ビニル巾木 H=100 新設	GB-S t9.5 LGS65形	化粧ケイカル板 t6 新設	既存のまま	既存のまま		天井点検口 450角 新設(2箇所)				

凡例 EP：合成樹脂エマルジョンペイント 注記 改修後 「フローリング t15」は 「サクラ複層フローリング t15(クッション付)クリア塗装品」を示す
FP：フタル酸樹脂エナメル 家具改修を行う位置は平面図参照
DP：対候性塗料 撤去材の内、 はアスベスト含有建材(レベル3)を示す(みなし含有は：)
DR：ロックウール化粧吸音板
GB-F：強化せっこうボード
GB-S：シージングせっこうボード
EP-G：つや消合成樹脂エマルジョンペイント
段鼻ノンスリップ：ステンレス製・タイヤ付・エンドなし

<div>株式会社 近代設計コンサルタント</div> <div>広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号 TEL(082)243-5555(代) 小 瀧 宏 治</div>	年月日	整理番号		工事名 向原小学校大規模改修工事		図面番号 A 17
	照 査	設 計 担 当	図面名 外部仕上表 内部仕上表		SCALE 1/200	

	外部改修項目 (防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替 (外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	縦樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング

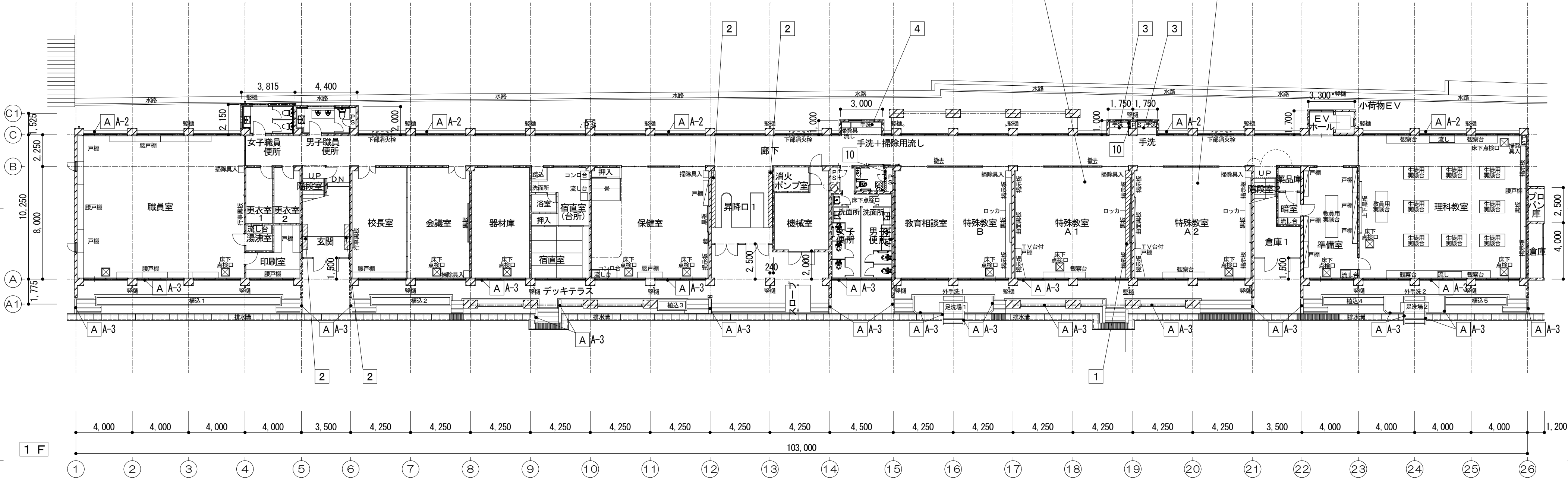
符号	凡例
A-1	既存コンクリート下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
A-2	既存モルタル下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
A-3	既存モルタル下地 防水型複層塗材E 新設



1 F 校舎北側受水槽

5 5-1	特殊教室 A 1	巾木長さ	撤去面積	撤去長さ
			59.88 m ²	12.79 m
			新設面積	新設長さ
			61.88 m ²	17.999 m

5 5-1	特殊教室 A 2	巾木長さ	撤去面積	撤去長さ
			59.83 m ²	12.475 m
			新設面積	新設長さ
			59.83 m ²	12.475 m



	内部改修項目 (大規模改造工事)
1	教室 掃除具入・ロッカー 撤去・新設
2	来客用・職員用・生徒用足箱 撤去・新設
3	廊下 手洗 撤去・新設
4	廊下 手洗+掃除用流し 撤去・新設
5	教室 床仕上 撤去・新設
6	廊下・階段 床仕上 一部撤去・新設
7	天井仕上 撤去・新設
8	外廻りガラス部 断熱塗材 新設
9	建具改修
10	壁 撤去・新設

符号	凡例
5-1	既存 サクラ複層フローリング直張り t15 撤去 床下点検口 600角 撤去・新設 (1階のみ) 下地調整の上 フローリング t15 新設
5-2	既存 ブナフローリングブロック t15 撤去 下地調整の上 フローリング t15 新設
6-1	既存 ビニル床シート t2.0 撤去 下地調整の上 防滑性ビニル床シート t2.0 新設
6-2	既存 ビニル床シート t2.0 撤去 下地調整の上 ビニル床シート t2.0 新設

符号	凡例
6-3	既存 ビニル床シート t2.0 撤去 段鼻ノンスリップ 撤去・新設 下地調整の上 ビニル床シート t2.0 新設

株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号
TEL (082) 243-5555 (代) 小 瀧 宏 治

年月日

照 査

整理番号

設 計 担 当

工事名

図面名

1 階平面図

図面番号

A

18

SCALE

1/200

	外部改修項目(防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替(外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	竖樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング

符号	凡例
A-1	既存コンクリート地下 塗膜の除去 防水型複層塗材 E 新設
A-2	既存モルタル地下 塗膜の除去 防水型複層塗材 E 新設
A-3	既存モルタル地下 防水型複層塗材 E 新設

昇降口 2	巾木長さ
撤去面積	撤去長さ
11.71 m ²	1.2 m
新設面積	新設長さ
11.71 m ²	1.2 m

5	5-2
事務室	巾木長さ
撤去面積	撤去長さ
59.71 m ²	12.76 m
新設面積	新設長さ
59.71 m ²	12.76 m

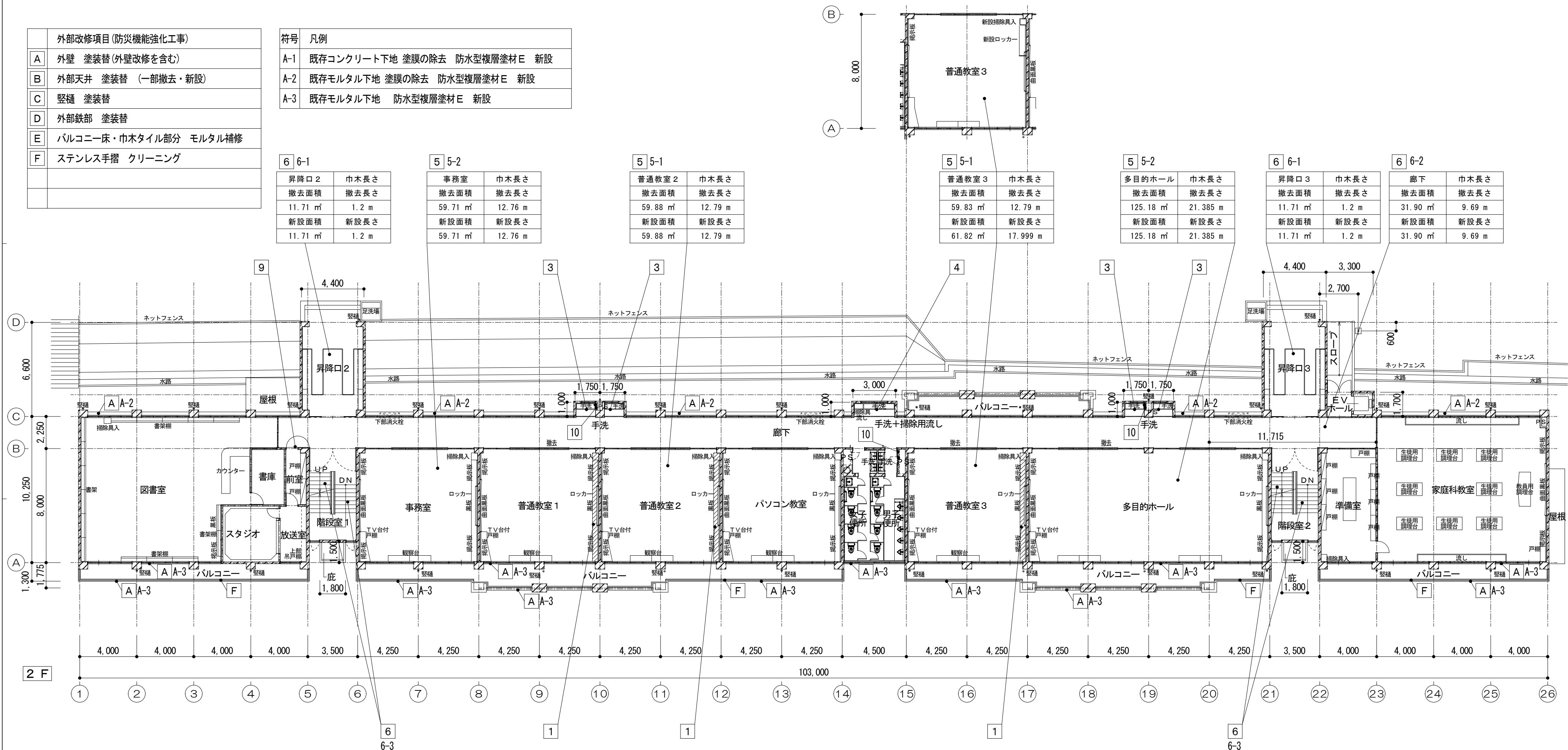
普通教室 2	巾木長さ
撤去面積	撤去長さ
59.88 m ²	12.79 m
新設面積	新設長さ
59.88 m ²	12.79 m

5 5-1	
普通教室 3	巾木長さ
撤去面積	撤去長さ
59.83 m ²	12.79 m
新設面積	新設長さ
61.82 m ²	17.999 m

多目的ホール	巾木長さ
撤去面積	撤去長さ
125.18 m ²	21.385 m
新設面積	新設長さ
125.18 m ²	21.385 m

昇降口 3	巾木長さ
撤去面積	撤去長さ
11.71 m ²	1.2 m
新設面積	新設長さ
11.71 m ²	1.2 m

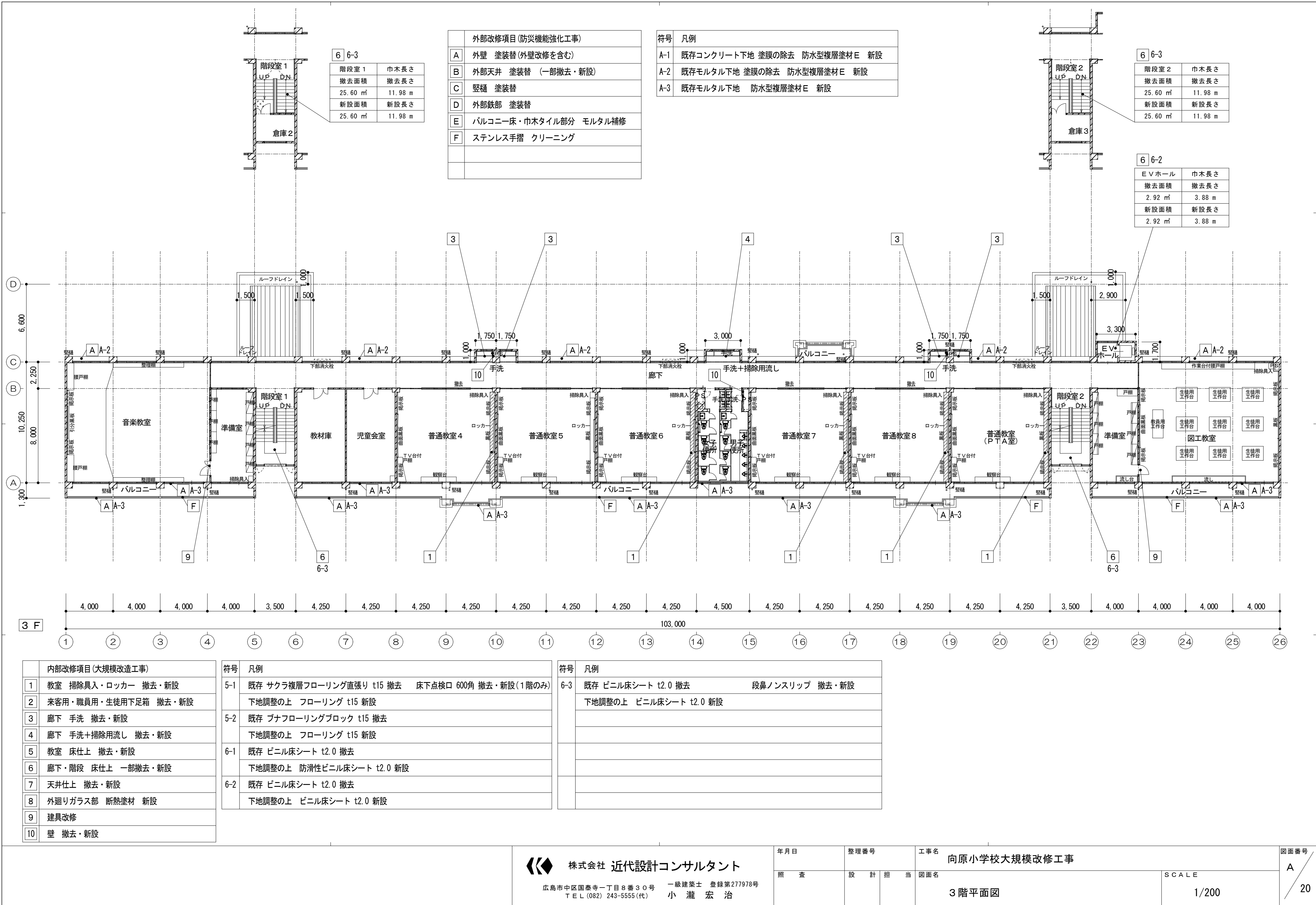
廊下	巾木長さ
撤去面積	撤去長さ
31.90 m ²	9.69 m
新設面積	新設長さ
31.90 m ²	9.69 m



	内部改修項目(大規模改造工事)
1	教室 掃除具入・ロッカー 撤去・新設
2	来客用・職員用・生徒用下足箱 撤去・新設
3	廊下 手洗 撤去・新設
4	廊下 手洗+掃除用流し 撤去・新設
5	教室 床仕上 撤去・新設
6	廊下・階段 床仕上 一部撤去・新設
7	天井仕上 撤去・新設
8	外廻りガラス部 断熱塗材 新設
9	建具改修
10	壁 撤去・新設

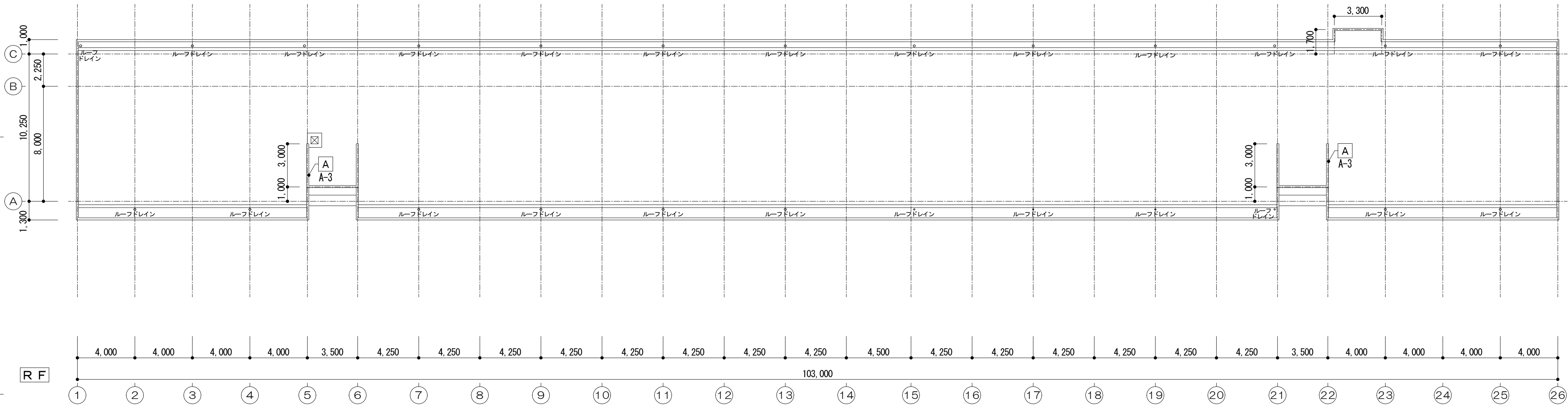
符号	凡例
5-1	既存 サクラ複層フローリング直張り t15 撤去 床下点検口 600角 撤去・新設(1階のみ)
	下地調整の上 フローリング t15 新設
5-2	既存 プナフローリングブロック t15 撤去
	下地調整の上 フローリング t15 新設
6-1	既存 ビニル床シート t2.0 撤去
	下地調整の上 防滑性ビニル床シート t2.0 新設
6-2	既存 ビニル床シート t2.0 撤去
	下地調整の上 ビニル床シート t2.0 新設

符号	凡例	
6-3	既存 ビニル床シート t2.0 撤去	段鼻ノンスリップ 撤去・新設
	下地調整の上 ビニル床シート t2.0 新設	

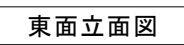


	外部改修項目(防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替(外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	竖樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング

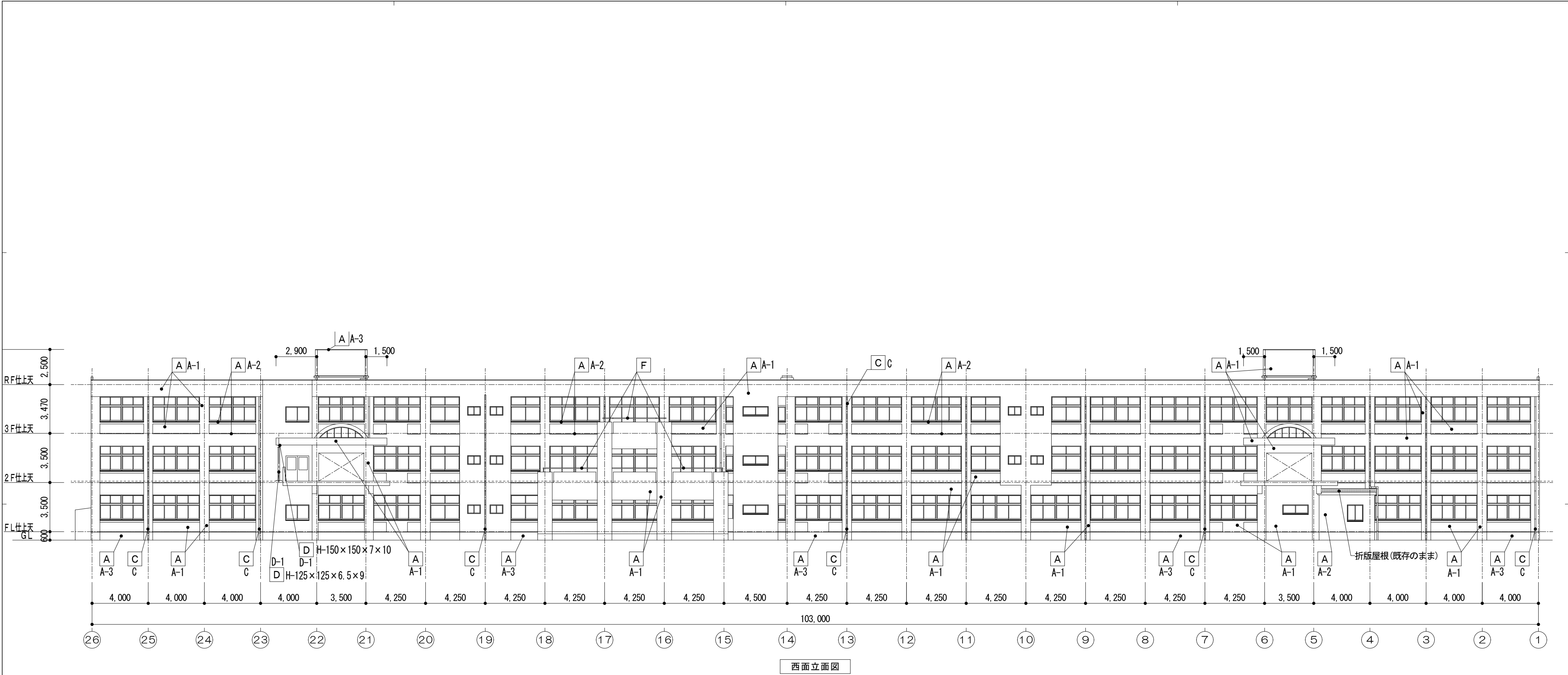
符号	凡例
A-1	既存コンクリート下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
A-2	既存モルタル下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
A-3	既存モルタル下地 防水型複層塗材E 新設



<div>株式会社 近代設計コンサルタント</div> <div>広島市中区国泰寺一丁目 8 番 3 0 号 T E L (082) 243-5555 (代)</div> <div>一級建築士 登録第277978号 小 瀧 宏 治</div>	年月日		整理番号		工事名 向原小学校大規模改修工事		図面番号 A 21
	照 査		設 計 担 当		図面名 R 階平面図		
						SCALE 1/200	




符号	凡例
A-1	既存コンクリート下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
A-2	既存モルタル下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
A-3	既存モルタル下地 下地調整の上 防水型複層塗材E 新設
C	既存壁樋 G P 100 FP 塗膜除去 D P 新設
D-1	鉄骨柱・梁 垂鉛メッキ SOP 塗膜除去 D P 新設
D-2	スチール製タラップ FP 塗膜除去 D P 新設



	外部改修項目(防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替(外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	縦樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング

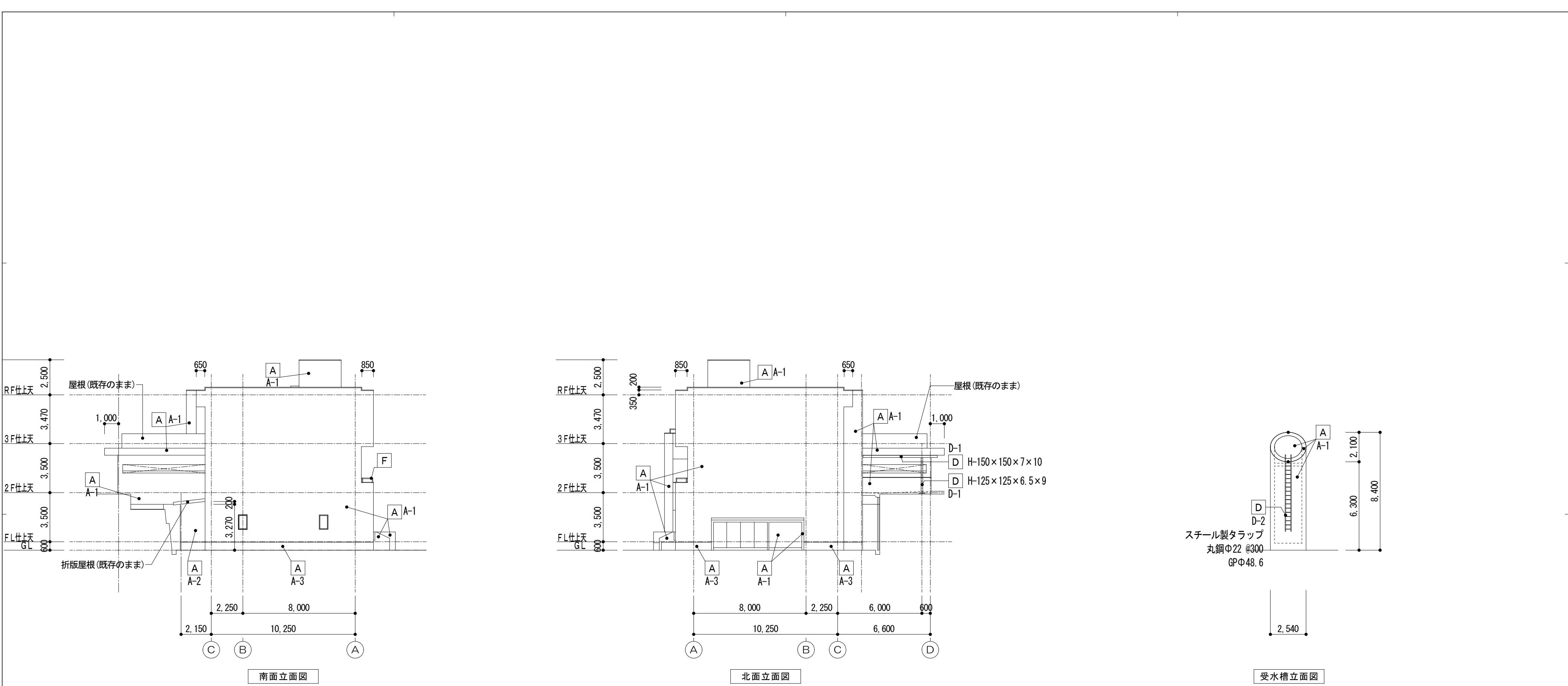
符号	凡例
A-1	既存コンクリート下地 塗膜の除去 防水型複層塗材 E 新設
A-2	既存モルタル下地 塗膜の除去 防水型複層塗材 E 新設
A-3	既存モルタル下地 下地調整の上 防水型複層塗材 E 新設
C	既存縦樋 G P Φ100 FP 塗膜除去 D P 新設
D-1	鉄骨柱・梁 垂鉛メッキ S0P 塗膜除去 D P 新設
D-2	スチール製タラップ FP 塗膜除去 D P 新設

照査	年月日	整理番号	工事名 向原小学校大規模改修工事		図面番号 A 23
			図面名 立面図 2	SCALE 1/200	

 株式会社 近代設計コンサルタント


広島市中区国泰寺一丁目 8 番 3 0 号
TEL (082) 243-5555 (代)

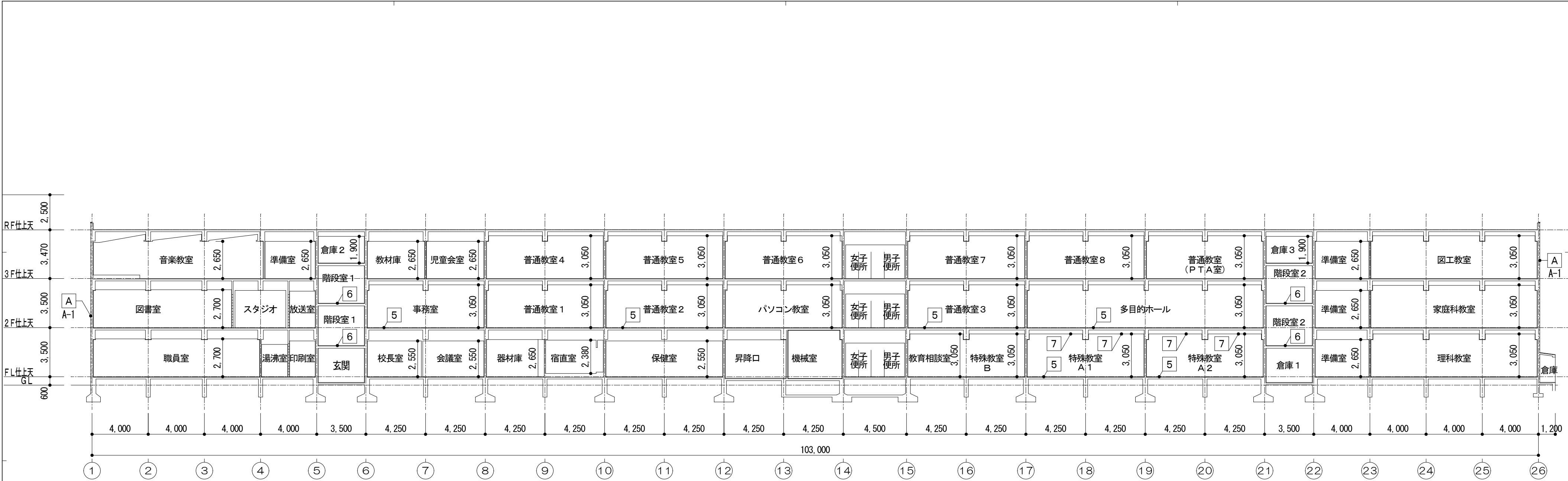
一級建築士 登録第 277978 号
小 瀧 宏 治



	外部改修項目(防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替(外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	縦樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング

符号	凡例
A-1	既存コンクリート下地 塗膜の除去 防水型複層塗材 E 新設
A-2	既存モルタル下地 塗膜の除去 防水型複層塗材 E 新設
A-3	既存モルタル下地 下地調整の上 防水型複層塗材 E 新設
C	既存縦樋 GPΦ100 FP 塗膜除去 DP 新設
D-1	鉄骨柱・梁 垂鉛メッキ SOP 塗膜除去 DP 新設
D-2	スチール製タラップ FP 塗膜除去 DP 新設

	 株式会社 近代設計コンサルタント 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号 TEL (082) 243-5555(代) 小 瀧 宏 治	年月日	整理番号	工事名 向原小学校大規模改修工事		図面番号 A 24
		照 査	設 計 担 当	図面名 立面図 3	SCALE 1/200	

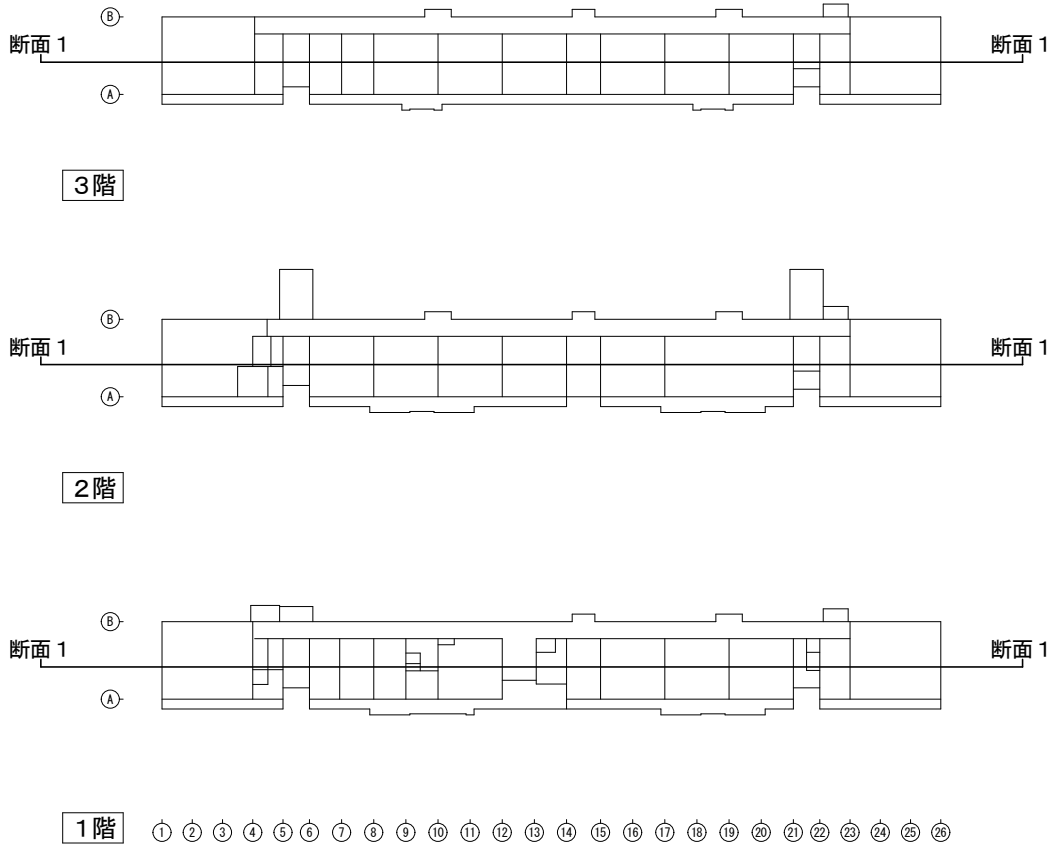


断面図 1 1/200

	外部改修項目 (防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替 (外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	堅樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング

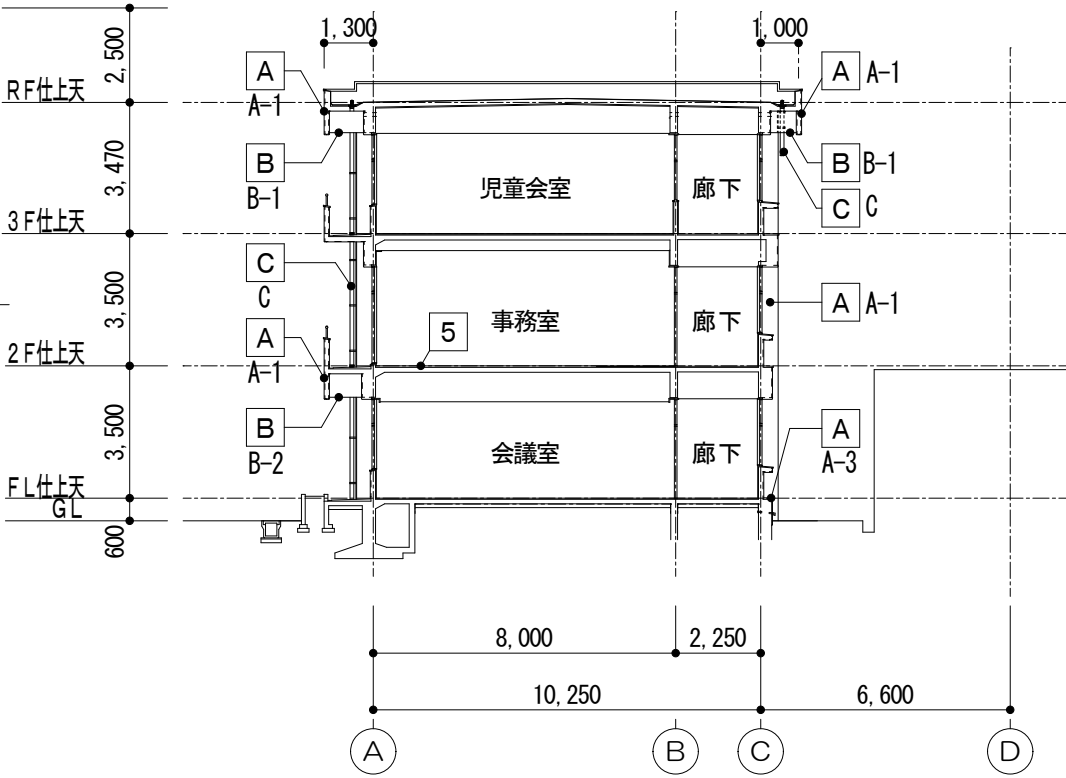
符号	凡例
A-1	既存コンクリート下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
A-2	既存モルタル下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
A-3	既存モルタル下地 防水型複層塗材E 新設
B-1	既存LGS天井下地 石綿板 t4 EP 塗膜除去 EP 新設
B-2	既存 LGS天井下地 ケイカル板 t6 EP-G 塗膜除去 EP 新設
C	既存堅樋 G P Φ100 FP 塗膜除去 DP 新設

	内部改修項目 (大規模改造工事)
1	教室 掃除具入・ロッカー 撤去・新設
2	来客用・職員用・生徒用下足箱 撤去・新設
3	廊下 手洗 撤去・新設
4	廊下 手洗＋掃除用流し 撤去・新設
5	教室 床仕上 撤去・新設
6	廊下・階段 床仕上 一部撤去・新設
7	天井仕上 撤去・新設
8	外廻りガラス部 断熱塗材 新設
9	建具改修
10	壁 撤去・新設

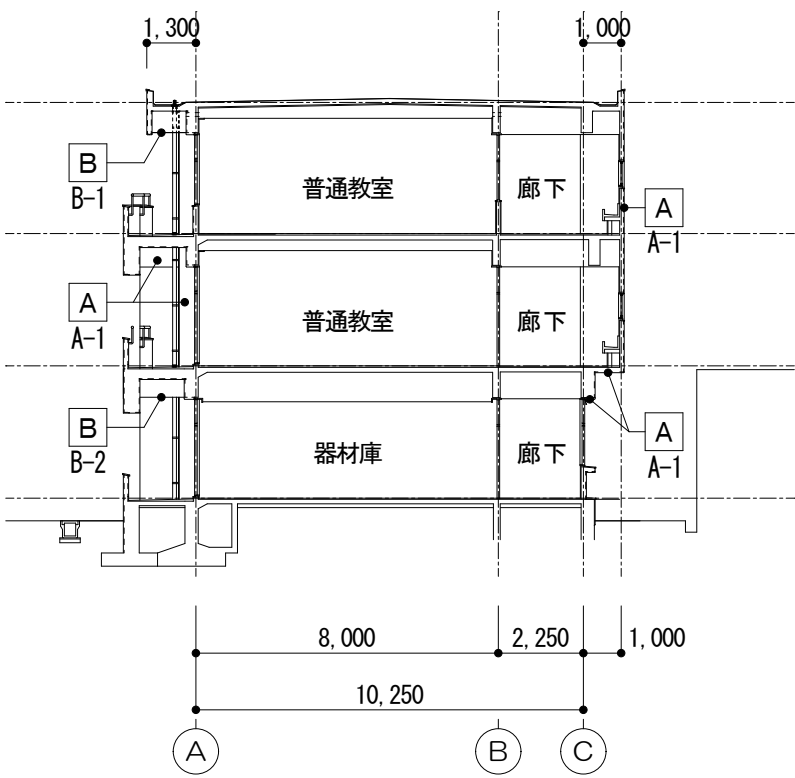


キープラン 1/1000

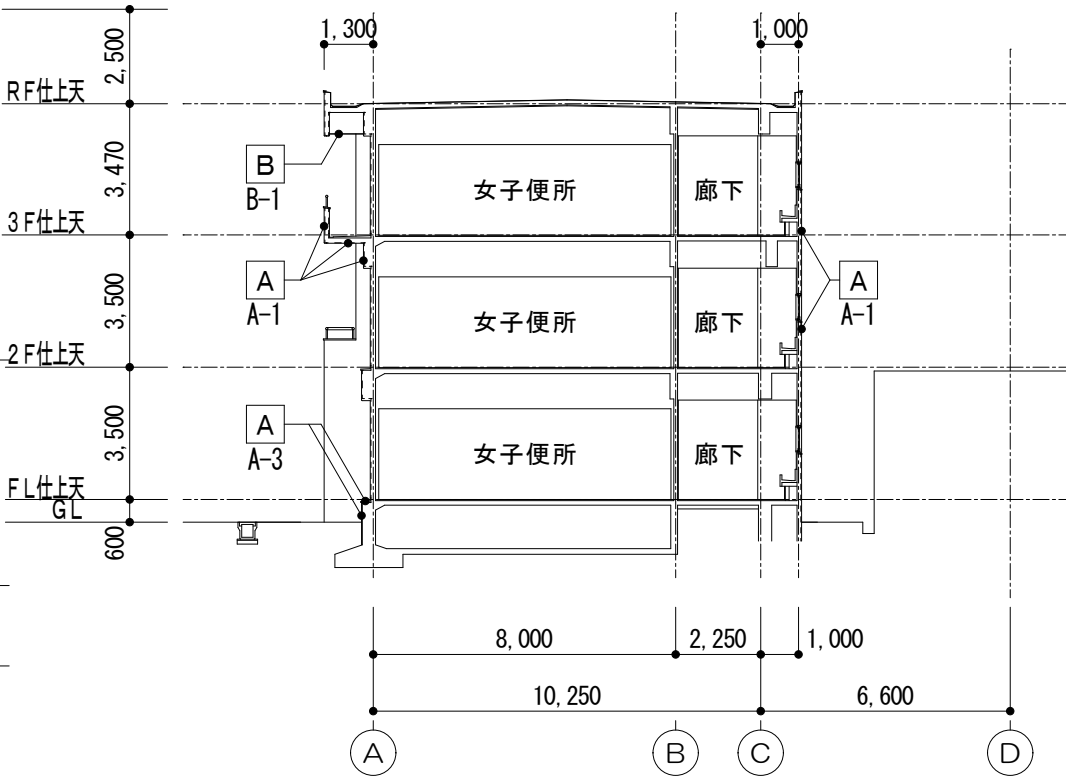
<div>株式会社 近代設計コンサルタント</div> <div>広島市中区国泰寺一丁目8番30号 TEL (082) 243-5555 (代)</div> <div>一級建築士 登録第277978号 小 瀧 宏 治</div>	年月日	整理番号	工事名 向原小学校大規模改修工事		図面番号 A 25
	照 査	設 計 担 当	図面名 断面図 1	SCALE 1/200	



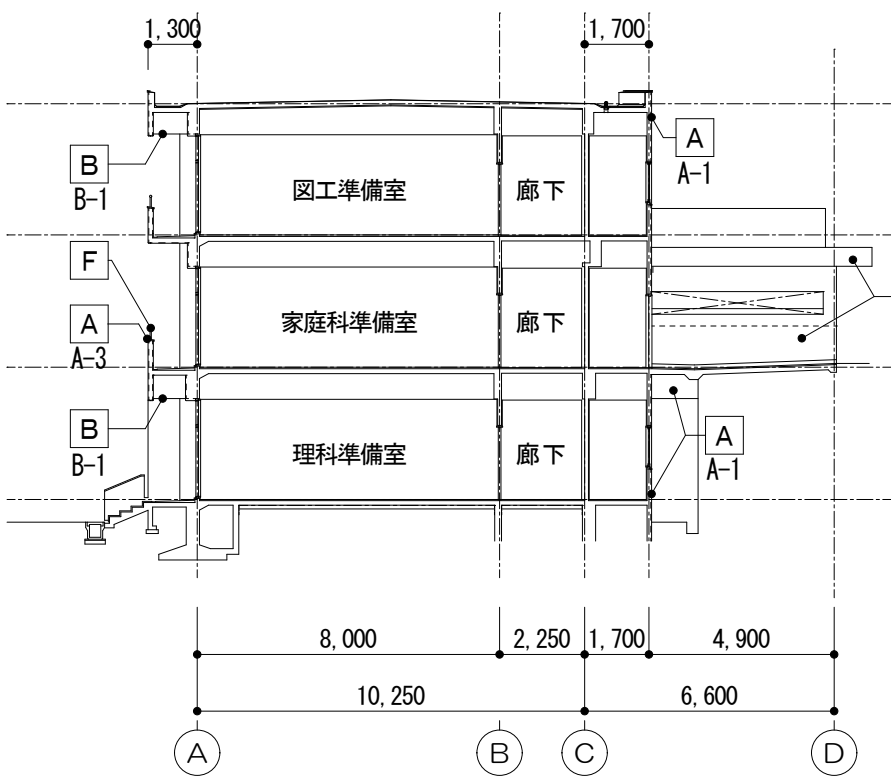
断面図 2 1/200



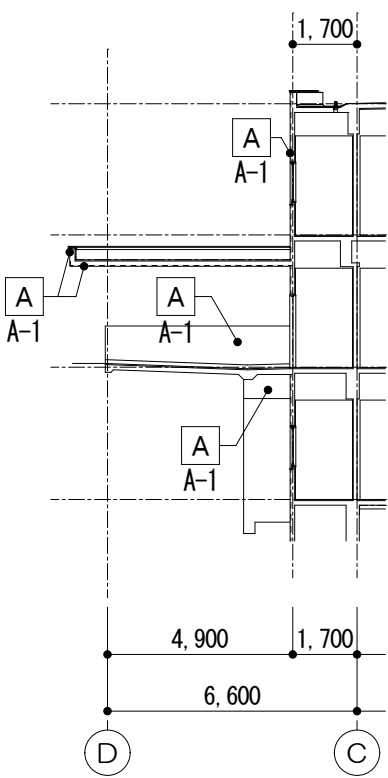
断面図 3 1/200



断面図 4 1/200



断面図 5 1/200

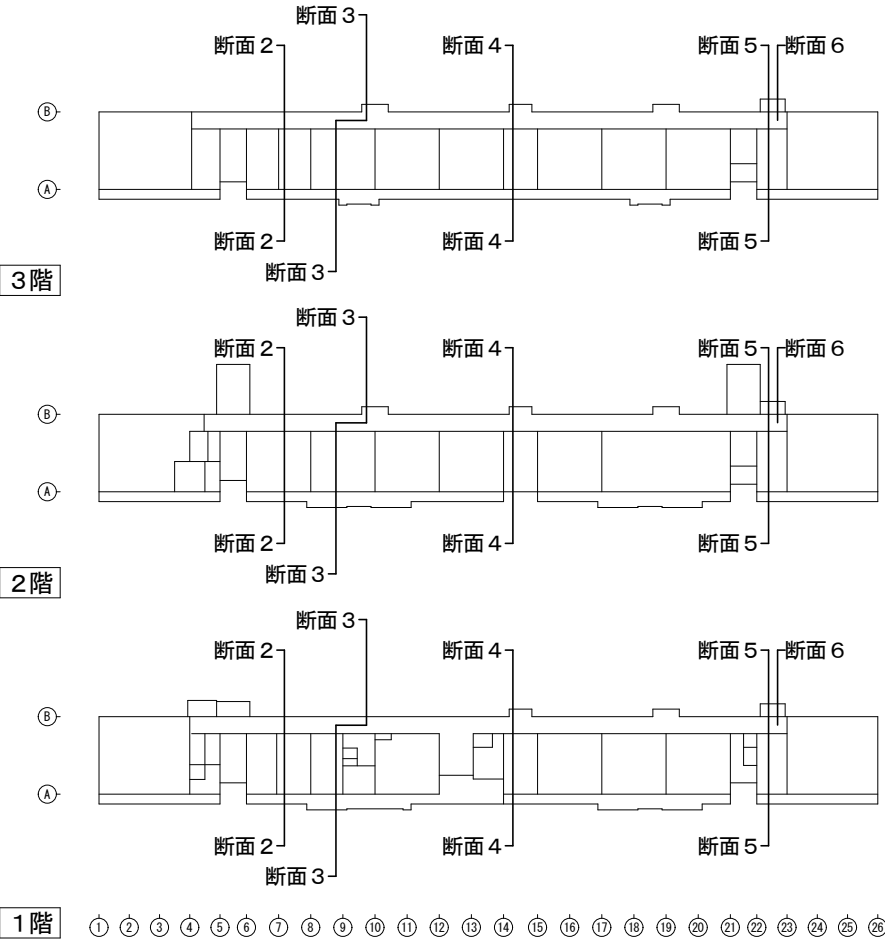


断面図 6 1/200

	外部改修項目 (防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替 (外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	縦樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング

符号	凡例
A-1	既存コンクリート下地 塗膜の除去 防水型複層塗材 E 新設
A-2	既存モルタル下地 塗膜の除去 防水型複層塗材 E 新設
A-3	既存モルタル下地 防水型複層塗材 E 新設
B-1	既存LGS天井下地 石綿板 t4 EP 塗膜除去 EP 新設
B-2	既存 LGS天井下地 ケイカル板 t6 EP-G 塗膜除去 EP 新設
C	既存縦樋 G P Φ100 FP 塗膜除去 DP 新設

	内部改修項目 (大規模改修工事)
1	教室 掃除具入・ロッカー 撤去・新設
2	来客用・職員用・生徒用下足箱 撤去・新設
3	廊下 手洗 撤去・新設
4	廊下 手洗+掃除用流し 撤去・新設
5	教室 床仕上 撤去・新設
6	廊下・階段 床仕上 一部撤去・新設
7	天井仕上 撤去・新設
8	外廻りガラス部 断熱塗材 新設
9	建具改修
10	壁 撤去・新設



キープラン 1/1000

株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号
TEL (082) 243-5555 (代) 小 瀧 宏 治

年月日

照 査

整理番号

設 計 担 当

工事名

図面名

向原小学校大規模改修工事

断面図

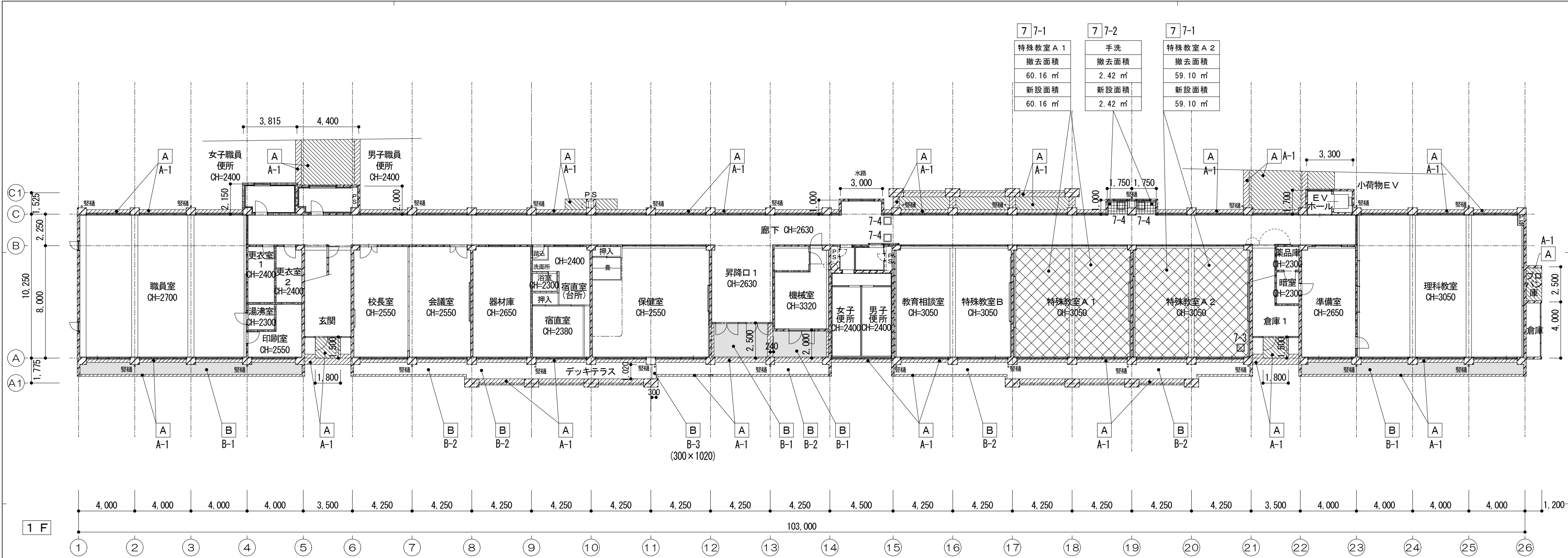
SCALE

1/200

図面番号

A

26



	内部改修項目(大規模改修工事)
1	教室 掃除具入・ロッカー 撤去・新設
2	来客用・職員用・生徒用下足箱 撤去・新設
3	廊下 手洗 撤去・新設
4	廊下 手洗+掃除用流し 撤去・新設
5	教室 床仕上 撤去・新設
6	廊下・階段 床仕上 一部撤去・新設
7	天井仕上 撤去・新設
8	外廻りガラス部 断熱塗材 新設
9	建具改修

記号	凡例
7-1	<div><div></div></div> 天井 撤去・新設の範囲を示す 既存 炭酸マグネシウム吸音版 t9 撤去 DR t9 (直貼工法) 新設
7-2	<div><div></div></div> 既存 ジブトーン t9 撤去 GB-D t9.5 新設
7-3	<div><div></div></div> 天井点検口 450角 撤去・新設
7-4	<div><div></div></div> 天井点検口 450角 新設

	外部改修項目(防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替(外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	堅樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング

	凡例
A-1	<div><div></div><div></div></div> 外壁 塗装替の範囲を示す 既存コンクリート下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
B-1	<div><div></div></div> 既存 LGS天井下地 石綿板 t4 EP 塗膜除去 EP 新設
B-2	既存 LGS天井下地 ケイカル板 t6 EP-G 塗膜除去 EP 新設
B-3	(300×1020) 既存 LGS天井下地 ケイカル板 t6 撤去・新設 EP 新設

株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号

TEL (082) 243-5555 (代)

一級建築士 登録第277978号

小 瀧 宏 治

年月日

照 査

整理番号

設 計 担 当

工事名

向原小学校大規模改修工事

図面名

1階天井伏図

図面番号

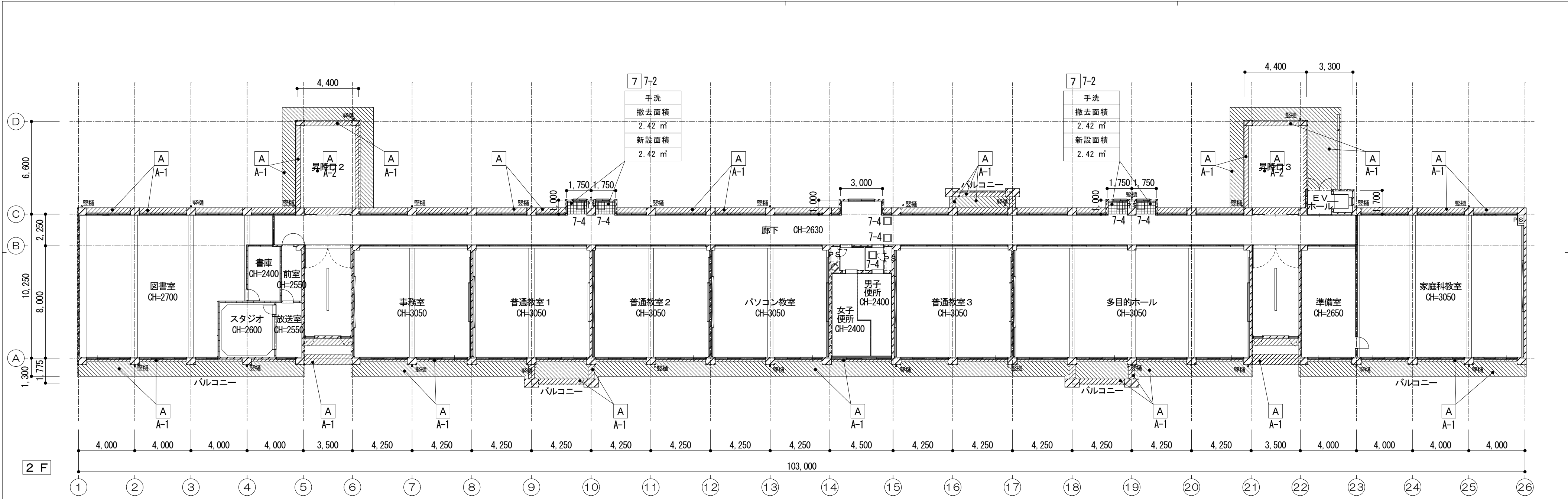
A

27

SCALE

1/200

26/3 /13. 出力



	内部改修項目(大規模改造工事)
1	教室 掃除具入・ロッカー 撤去・新設
2	来客用・職員用・生徒用下足箱 撤去・新設
3	廊下 手洗 撤去・新設
4	廊下 手洗+掃除用流し 撤去・新設
5	教室 床仕上 撤去・新設
6	廊下・階段 床仕上 一部撤去・新設
7	天井仕上 撤去・新設
8	外廻りガラス部 断熱塗材 新設
9	建具改修

記号	凡例
7-1	天井 撤去・新設の範囲を示す
	既存 炭酸マグネシウム吸音版 t9 撤去
	DR t9 (直貼工法) 新設
7-2	既存 ジブトーン t9 撤去 GB-D t9.5 新設
7-3	天井点検口 450角 撤去・新設
7-4	天井点検口 450角 新設

	外部改修項目(防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替(外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	縦樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング

	凡例
A-1	外壁 塗装替の範囲を示す
	既存コンクリート下地 塗膜の除去 防水型複層塗材 E 新設
B-1	既存 LGS天井下地 石綿板 t4 EP 塗膜除去 EP 新設
B-2	既存 LGS天井下地 ケイカル板 t6 EP-G 塗膜除去 EP 新設
B-3	(300×1020) 既存 LGS天井下地 ケイカル板 t6 撤去・新設
	EP 新設

株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号
TEL (082) 243-5555 (代)

一級建築士 登録第277978号
小 瀧 宏 治

年月日

照 査

整理番号

設 計 担 当

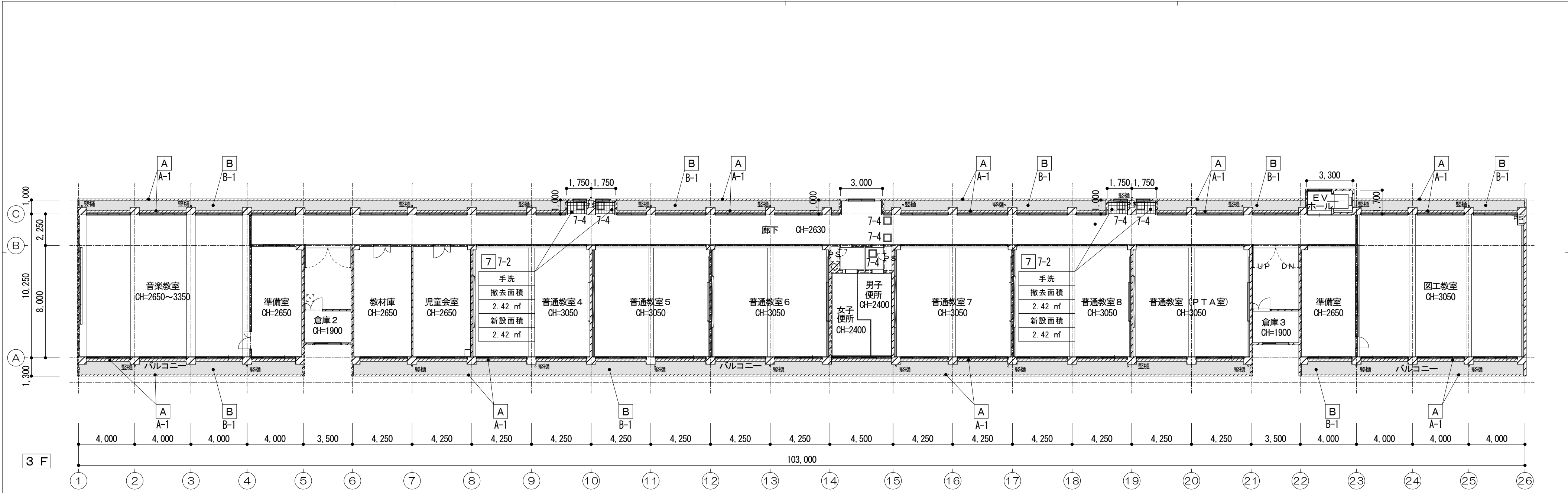
工事名
向原小学校大規模改修工事

図面名
2階天井伏図

図面番号
A

SCALE
1/200

28



	内部改修項目(大規模改修工事)
1	教室 掃除具入・ロッカー 撤去・新設
2	来客用・職員用・生徒用下足箱 撤去・新設
3	廊下 手洗 撤去・新設
4	廊下 手洗+掃除用流し 撤去・新設
5	教室 床仕上 撤去・新設
6	廊下・階段 床仕上 一部撤去・新設
7	天井仕上 撤去・新設
8	外廻りガラス部 断熱塗材 新設
9	建具改修

記号	凡例
7-1	<div><div></div></div> 天井 撤去・新設の範囲を示す 既存 炭酸マグネシウム吸音版 t9 撤去 DR t9 (直貼工法) 新設
7-2	<div><div></div></div> 既存 ジブトーン t9 撤去 GB-D t9.5 新設
7-3	<div><div></div></div> 天井点検口 450角 撤去・新設
7-4	<div><div></div></div> 天井点検口 450角 新設

	外部改修項目(防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替(外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	縦樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング

	凡例
A-1	<div><div></div><div></div></div> 外壁 塗装替の範囲を示す 既存コンクリート下地 塗膜の除去 防水型複層塗材 E 新設
B-1	<div><div></div></div> 既存 LGS天井下地 石綿板 t4 EP 塗膜除去 EP 新設
B-2	既存 LGS天井下地 ケイカル板 t6 EP-G 塗膜除去 EP 新設
B-3	(300×1020) 既存 LGS天井下地 ケイカル板 t6 撤去・新設 EP 新設

株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号

TEL (082) 243-5555 (代)

一級建築士 登録第277978号

小 瀧 宏 治

年月日

照 査

整理番号

設 計 担 当

工事名

向原小学校大規模改修工事

図面名

3 階天井伏図

図面番号

A

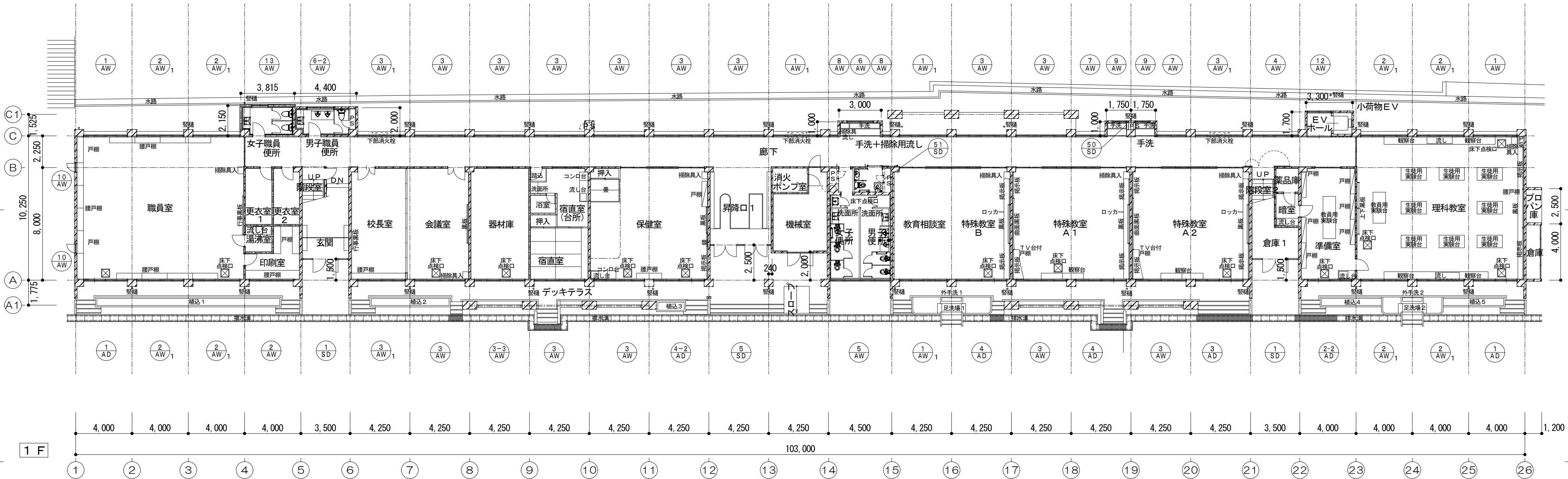
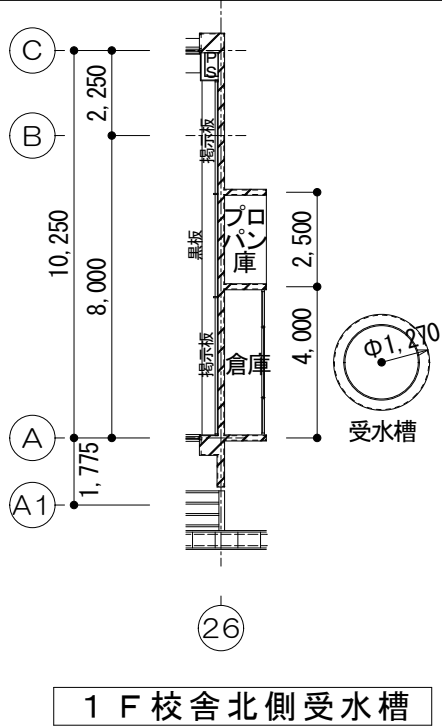
29

SCALE

1/200

26/4 / 1 . 出力

	外部改修項目(防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替(外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	縦樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング

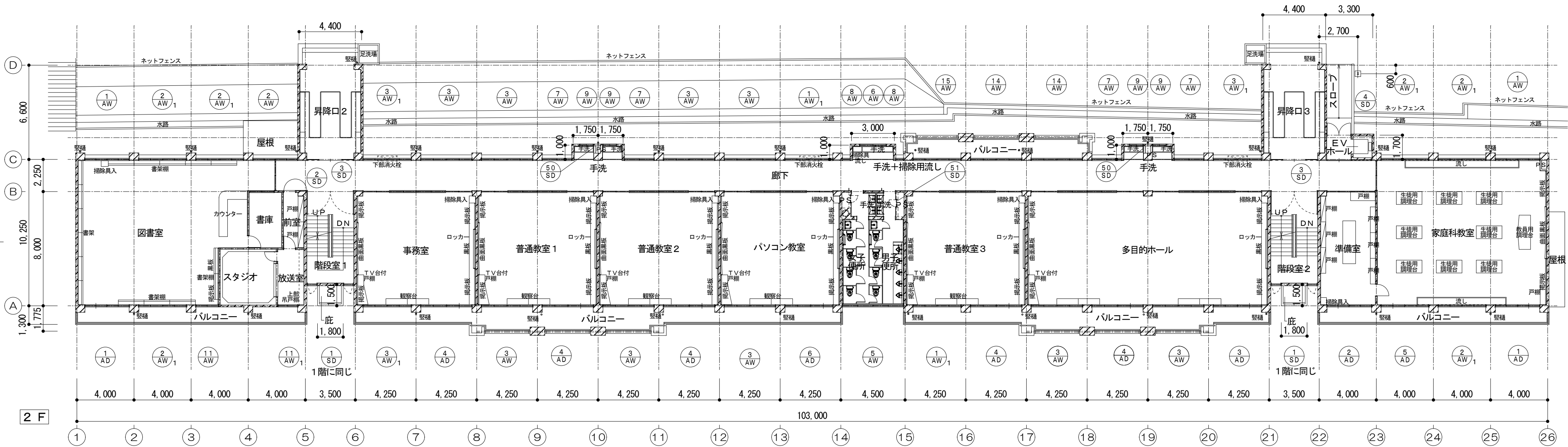


	内部改修項目(大規模改修工事)
1	教室 掃除具入・ロッカー 撤去・新設
2	来客用・職員用・生徒用足箱 撤去・新設
3	廊下 手洗 撤去・新設
4	廊下 手洗+掃除用流し 撤去・新設
5	教室 床仕上 撤去・新設
6	廊下・階段 床仕上 一部撤去・新設
7	天井仕上 撤去・新設
8	外廻りガラス部 断熱塗材 新設
9	建具改修
10	壁 撤去・新設

株式会社 近代設計コンサルタント
広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号
TEL (082) 243-5555(代) 小 瀧 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号
照 査	設 計 担 当	向原小学校大規模改修工事	A
		1階建具配置図	30
		SCALE	1/200

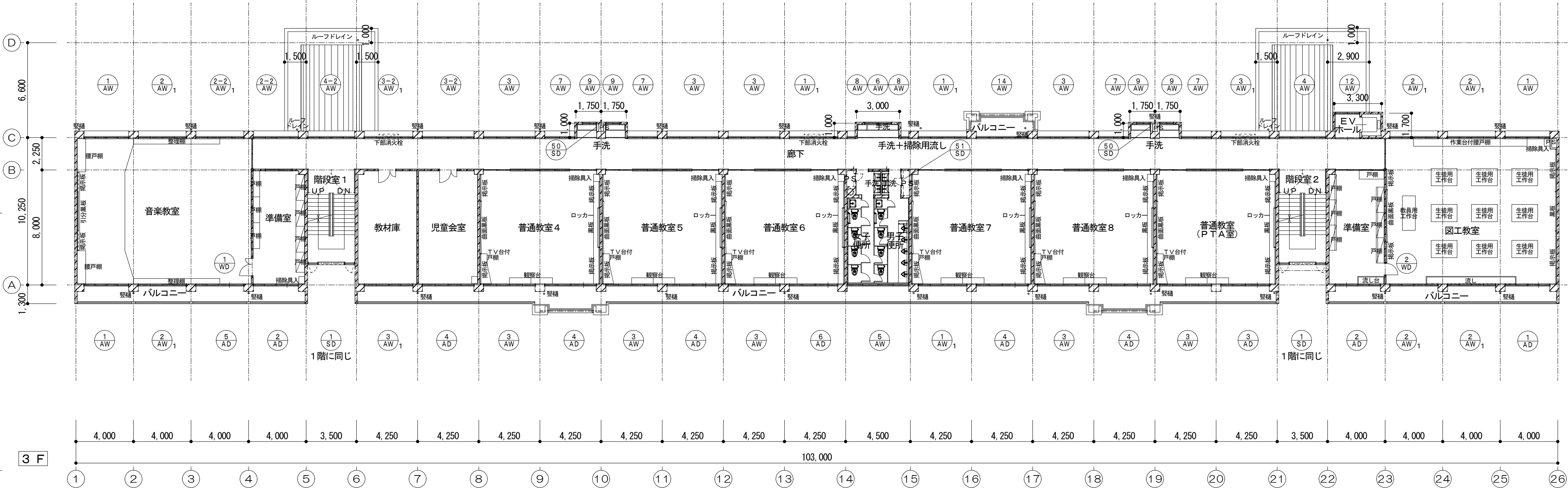
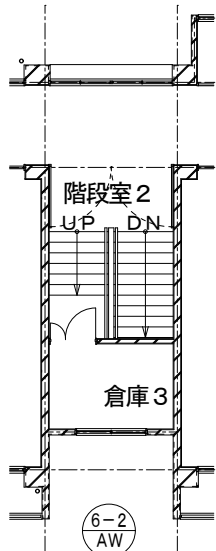
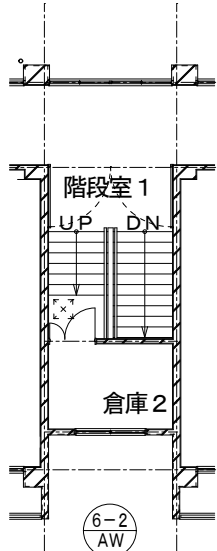
	外部改修項目(防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替(外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	縦樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング



	内部改修項目(大規模改修工事)
1	教室 掃除具入・ロッカー 撤去・新設
2	来客用・職員用・生徒用足箱 撤去・新設
3	廊下 手洗 撤去・新設
4	廊下 手洗+掃除用流し 撤去・新設
5	教室 床仕上 撤去・新設
6	廊下・階段 床仕上 一部撤去・新設
7	天井仕上 撤去・新設
8	外廻りガラス部 断熱塗材 新設
9	建具改修
10	壁 撤去・新設

<div><div></div>株式会社 近代設計コンサルタント</div> <div>広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号 TEL (082) 243-5555(代) 小 瀧 宏 治</div>	年月日 照 査	整理番号 設 計 担 当	工事名 向原小学校大規模改修工事 図面名 2階建具配置図	図面番号 A 31
SCALE 1/200				

	外部改修項目 (防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替 (外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	縦樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング



	内部改修項目 (大規模改修工事)
1	教室 掃除具入・ロッカー 撤去・新設
2	来客用・職員用・生徒用下足箱 撤去・新設
3	廊下 手洗 撤去・新設
4	廊下 手洗+掃除用流し 撤去・新設
5	教室 床仕上 撤去・新設
6	廊下・階段 床仕上 一部撤去・新設
7	天井仕上 撤去・新設
8	外廻りガラス部 断熱塗材 新設
9	建具改修
10	壁 撤去・新設

株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号
TEL (082) 243-5555 (代)

一級建築士 登録第277978号
小 瀧 宏 治

年月日

照 査

整理番号

設 計 担 当

工事名

向原小学校大規模改修工事

図面名

3階建具配置図

SCALE

1/200

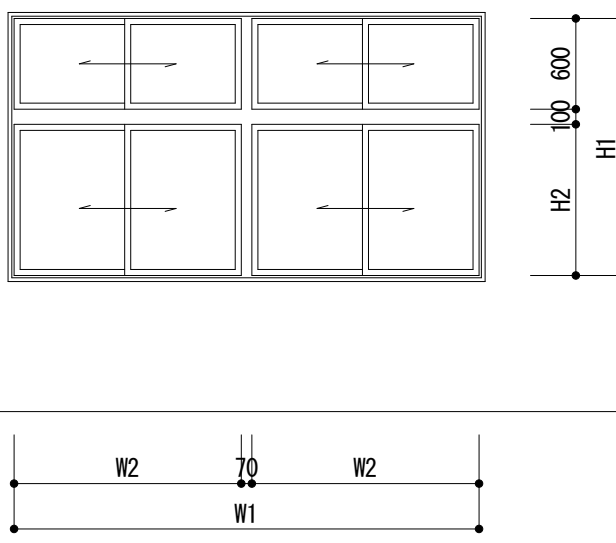
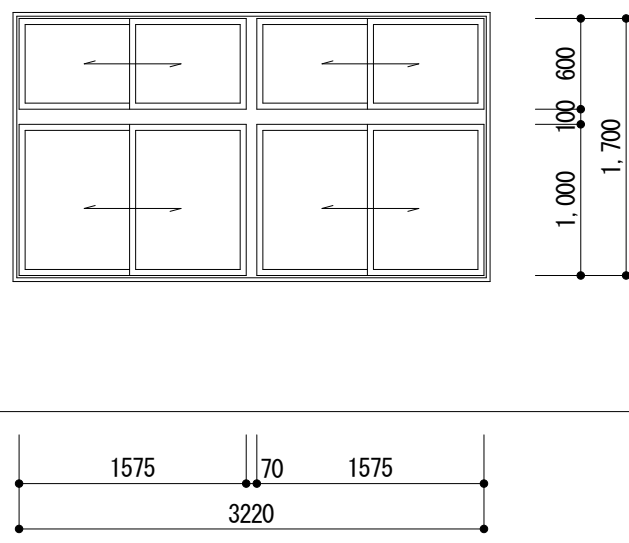
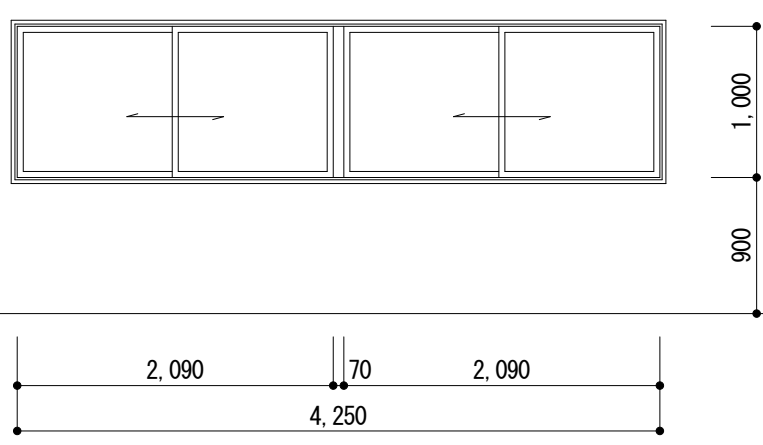
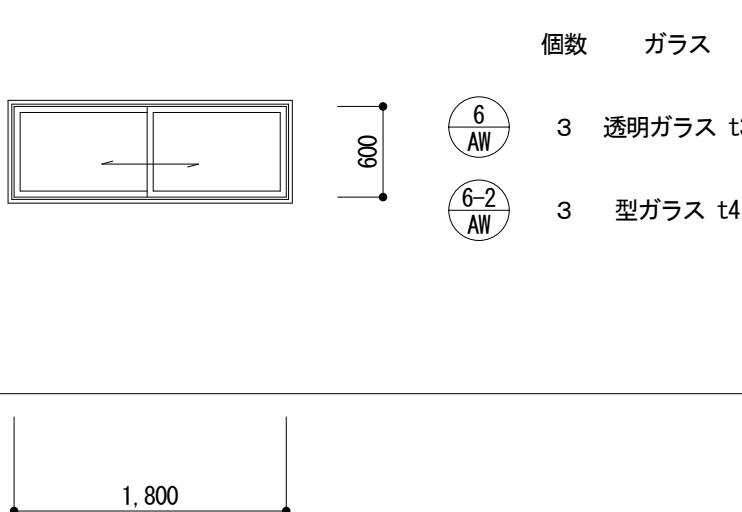
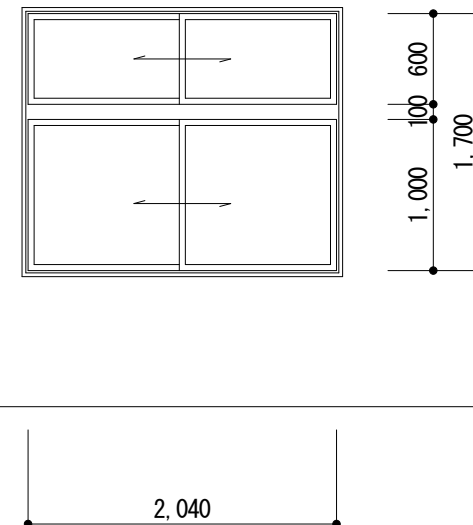
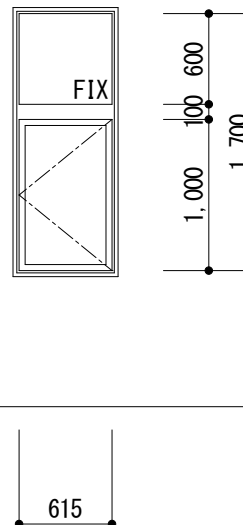
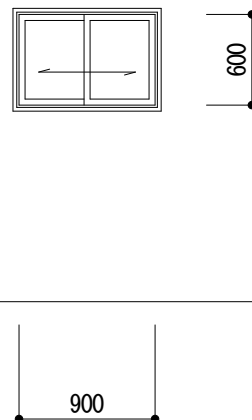
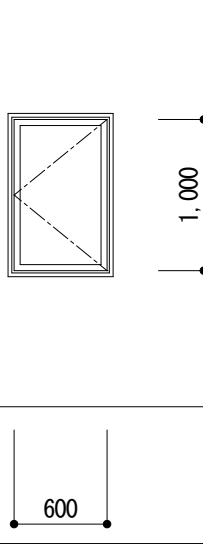
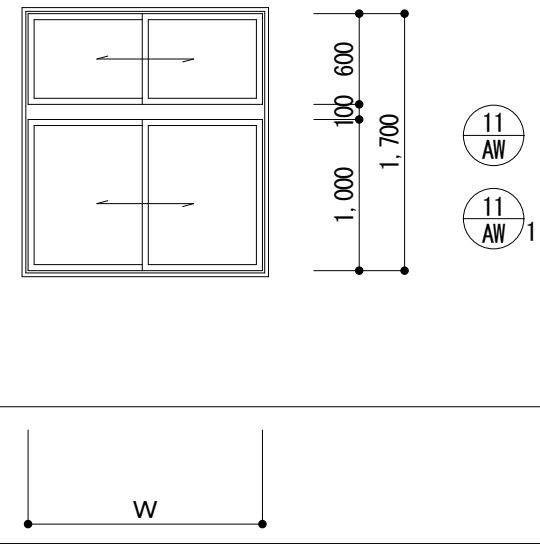
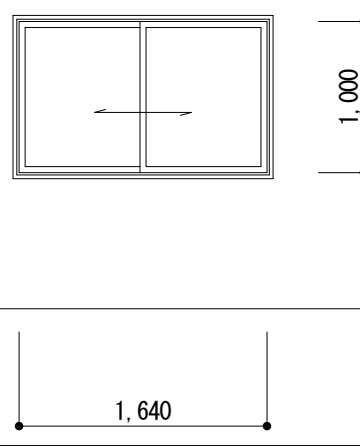
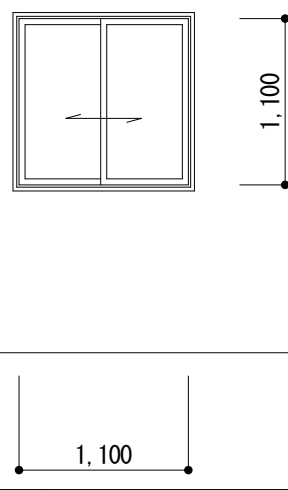
図面番号

A

32

符 号		種 類		① AD		② AD		②-2 AD		③ AD		建具の符号											
姿 図 寸 法																							
		5 職員室・理科教室・図書室・家庭科教室・図工教室				3 家庭科準備室・音楽準備室・図工準備室				1 理科準備室				3 特殊教室A・多目的ホール・普通教室（PTA室）									
		アルミ 70				アルミ 70				アルミ 70				アルミ 70									
		透明ガラス t3 線入型板ガラス t6.8(斜線部)				透明ガラス t3 線入型板ガラス t6.8(斜線部)				透明ガラス t3 線入型板ガラス t6.8(斜線部)				透明ガラス t3 線入型板ガラス t6.8(斜線部)									
		付属金物一式 クレセント				付属金物一式 クレセント				付属金物一式 クレセント				付属金物一式 クレセント									
		ガラス断熱コーティングA・B 新設				ガラス断熱コーティングA・B 新設				ガラス断熱コーティングA・B 新設				ガラス断熱コーティングA・B 新設									
符 号		種 類		④ AD		④-2 AD		⑤ AD		⑥ AD		金物の符号											
姿 図 寸 法																							
		12 特殊教室A、B・事務室・普通教室・多目的ホール・児童会室				1 保健室				2 家庭科教室・音楽教室				2 パソコン教室・普通教室									
		アルミ 70				アルミ 70				アルミ 70				アルミ 70									
		透明ガラス t3 線入型板ガラス t6.8(斜線部)				透明ガラス t3 線入型板ガラス t6.8(斜線部)				透明ガラス t3 線入型板ガラス t6.8(斜線部)				透明ガラス t3 線入型板ガラス t6.8(斜線部)									
		付属金物一式 クレセント				付属金物一式 クレセント				付属金物一式 クレセント				付属金物一式 クレセント									
		クレセント(新設)2箇所				ガラス断熱コーティングA・B 新設				ガラス断熱コーティングA・B 新設				ガラス断熱コーティングA・B 新設									
符 号		種 類		① AW		② AW		② AW		② AW		硝子の符号											
姿 図 寸 法																							
		個数 W1 W2 H1 H2				個数 W1 W2 ガラス				個数 W1 W2 ガラス													
		① AW 7 3075 1502.5 1700 1000				② AW 2 3090 1510 透明ガラス t3				② AW 2 O 3300 1615 透明ガラス t3													
		① AW 1 8 3325 1627.5 1800 1100				②-2 AW 1 3090 1510 線入透明ガラス				②-2 AW 1 3300 1615 線入透明ガラス													
		上記 職員室・理科教室・図書室・家庭科教室・音楽教室・図工教室・廊下				上記 廊下・印刷室・図書室・職員室・理科教室・図書室・家庭科教室・音楽教室・図工教室				上記 廊下・印刷室・図書室・職員室・理科教室・図書室・家庭科教室・音楽教室・図工教室													
材 料 見 込		アルミ 70		アルミ 70		アルミ 70		アルミ 70		アルミ 70		ガラス断熱コーティングA クリアルマイサニー NEO 同等品(TOPPAN(株))											
ガラス		透明ガラス t3		透明ガラス t3		透明ガラス t3 一部線入透明ガラス		透明ガラス t3 一部線入透明ガラス		透明ガラス t3 一部線入透明ガラス		ガラス断熱コーティングB クリアルマイサニー Nano 同等品(TOPPAN(株))											
金 物		付属金物一式 クレセント		付属金物一式 クレセント		付属金物一式 クレセント		付属金物一式 クレセント		付属金物一式 クレセント													
備 考		ガラス断熱コーティングA 新設		ガラス断熱コーティングA 新設		ガラス断熱コーティングA 新設		ガラス断熱コーティングA 新設		ガラス断熱コーティングA 新設													
注記 ガラス断熱コーティングAは透明ガラスへ内部から施工 ガラス断熱コーティングBは網入ガラス・線入ガラス・型ガラスへ内部から施工				株式会社 近代設計コンサルタント 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号 TEL (082) 243-5555(代) 小 瀧 宏 治				年月日 照 査				整理番号 設 計 担 当				工事名 向原小学校大規模改修工事 図面名 建具表 1				図面番号 A 33			
												SCALE 1/50											

ガラス断熱コーティングA
クリアルマイサニー NEO 同等品 (TOPPAN(株))
ガラス断熱コーティングB
クリアルマイサニー Nano 同等品 (TOPPAN(株))

符 号		種 類		3 AW		4 AW		5 AW		建具の符号																																																																					
姿 図 寸 法														STD ステンレス製扉 STW ステンレス製窓 SD 鋼製扉 SW 鋼製窓 LD 鋼製軽量扉 LW 鋼製軽量窓 SS シャッター OH オーバーヘッドドア ACW アルミニウム製カーテンウォール AD アルミニウム製扉 AW アルミニウム製窓 AG アルミニウム製ガラリ SP 鋼製学校間仕切 WD 木製扉 WW 木製窓 F 襖 PT 鋼製可動間仕切 SL 鋼製移動間仕切 AC 大型アコーディオンドア TB トイレブース																																																																	
個 数	場 所	上記	廊下・会議室・器材庫・宿直室・保健室・特殊教室A・普通教室・多目的ホール・校長室・事務室・教材庫・パソコン教室					3	廊下						3	女子便所・男子便所																																																															
材 料	見 込	アルミ	70					アルミ	70						アルミ	70																																																															
ガラス		上記										透明ガラス t3(2箇所) 線入透明ガラス (1箇所)																																																																			
金 物		付属金物一式 クレセント										付属金物一式 クレセント																																																																			
備 考		ガラス断熱コーティングA 新設										ガラス断熱コーティングA 新設																																																																			
符 号	種 類	6 AW				7 AW				8 AW				9 AW				金物の符号																																																													
姿 図 寸 法																		A 額縁取付用アングル PD シリンダー本締り錠 (室内側サムターン) EL 非常用錠 DC ドアチェック (ストップ付) FH フロアヒンジ (ストップ付) AP オートピボット (ストップ付) OH オートヒンジ (ストップ付) PH ピボットヒンジ AS アームストッパー GH グレモンハンドル F フランス落し CU クレセント (大型・ロック付) LH レバーハンドル CH ケースハンドル L 引手 H 丁番 TH 水切 DG 戸当り [] ヒンジ類ストップ無																																																													
個 数	場 所	上記	手洗い・男子職員便所・倉庫					10	廊下					6	廊下					10	手洗い																																																										
材 料	見 込	アルミ	70					アルミ	70					アルミ	70					アルミ	70																																																										
ガラス		上記										透明ガラス t3										透明ガラス t3																																																									
金 物		付属金物一式 クレセント										付属金物一式 クレセント										付属金物一式 レバーハンドル アームストッパー										付属金物一式 クレセント																																															
備 考		ガラス断熱コーティングA×3箇所 B×1箇所 新設										ガラス断熱コーティングA 新設										ガラス断熱コーティングA 新設																																																									
符 号	種 類	10 AW				11 AW				12 AW				13 AW				硝子の符号																																																													
姿 図 寸 法																		FL フロート板ガラス F 型板ガラス PW 網入り磨き板ガラス (クロスワイヤー) FW 網入り型板ガラス (クロスワイヤー) SC 熱線反射ガラス TFL 強化ガラス TF 強化型板ガラス HFL 熱線吸収フロート板ガラス HTFL 熱線吸収強化ガラス FTFL 耐熱強化ガラス P ポリカーボネイト板 (マットクリア) A 空気層 ガラス断熱コーティングA クリアルマイサニー NEO 同等品(TOPPAN(株)) ガラス断熱コーティングB クリアルマイサニー Nano 同等品(TOPPAN(株))																																																													
個 数	場 所	2	職員室					上記	図書室・放送室					2	EVホール					1	女子職員便所																																																										
材 料	見 込	アルミ	70					アルミ	70					アルミ	70					アルミ	70																																																										
ガラス		透明ガラス t3										透明ガラス t3										透明ガラス t3																																																									
金 物		付属金物一式 レバーハンドル アームストッパー										付属金物一式 クレセント										付属金物一式 クレセント																																																									
備 考		ガラス断熱コーティングA 新設										ガラス断熱コーティングA 新設										ガラス断熱コーティングA 新設																																																									
注記										株式会社 近代設計コンサルタント										年月日										整理番号										工事名										図面番号																													
ガラス断熱コーティングAは透明ガラスへ内部から施工										広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号										照 査										設 計 担 当										向原小学校大規模改修工事										A																													
ガラス断熱コーティングBは網入ガラス・線入ガラス・型ガラスへ内部から施工										TEL (082) 243-5555(代) 小 瀧 宏 治																														図面名										建具表 2										SCALE										34									
																																																		1/50																													

符 号	種 類	14 AW	15 AW		1 SD
姿 寸 図 法					
個 数	場 所	3廊下	1廊下		
材 料	見 込	アルミ 70	アルミ 70		
ガラス		強化ガラス t4 (学校用)	強化ガラス t4 (学校用)		
金 物		額縁取付用アンクル (4方)、大型クレセント ステンレス製沓摺	額縁取付用アンクル (4方)、大型クレセント ステンレス製沓摺		
備 考		ガラス断熱コーティングA 新設	ガラス断熱コーティングA 新設		
符 号	種 類	2 SD撤去	3 SD	4 SD	
姿 寸 図 法					
個 数	場 所	1放送室前室	2昇降口2・3	1E Vホール	2玄関・倉庫・階段室
材料・仕上	見 込	鉄製 OP	鉄製 OP	鉄製 OP	鉄製 OP
ガラス		— 86	線入磨板ガラス t6.8	線入磨板ガラス t6.8	透明ガラス 一部型ガラス
金 物		Pヒンジ ドアチェック シリンダー本締錠 掘込引手	戸車 埋込レール フランス落 シリンダー本締錠 取手	ピボットヒンジ フランス落 握玉付シリンダー錠 ドアチェック (ストップ付)	オートヒンジ フランス落 シリンダー本締錠 取手
備 考		SD-4 1箇所 放送室前室 (撤去)	戸車調整 ガラス断熱コーティングB 新設	ガラス断熱コーティングB 新設	ガラス断熱コーティングA・B 新設
符 号	種 類	5 SD		1 WD撤去・新設	2 WD撤去・新設
姿 寸 図 法					
個 数	場 所	1昇降口1		1音楽準備室	1図工準備室
材料・仕上	見 込	鉄製 OP		木製 ポリ合板フラッシュ	木製 ポリ合板フラッシュ
ガラス		線入磨板ガラス t6.8 線入型板ガラス t6.8 (斜線部)		—	—
金 物		オートヒンジ フランス落 シリンダー本締錠 取手		Pヒンジ ドアチェック 握玉付シリンダー錠 フランス落	Pヒンジ ドアチェック 握玉付シリンダー錠
備 考		ガラス断熱コーティングB 新設			
注記 ガラス断熱コーティングAは透明ガラスへ内部から施工 ガラス断熱コーティングBは網入ガラス・線入ガラス・型ガラスへ内部から施工			株式会社 近代設計コンサルタント 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号 TEL (082) 243-5555 (代) 小 瀧 宏 治		年月日 照 査 整理番号 設 計 担 当 工事名 向原小学校大規模改修工事 図面名 建具表 3 図面番号 A 35

建具の符号

- STD ステンレス製扉
STW ステンレス製窓
SD 鋼製扉
SW 鋼製窓
LD 鋼製軽量扉
LW 鋼製軽量窓
SS シャッター
OH オーバーヘッドドア
ACW アルミニウム製
カーテンウォール
AD アルミニウム製扉
AW アルミニウム製窓
AG アルミニウム製ガラリ
SP 鋼製学校間仕切
WD 木製扉
WW 木製窓
F 襖
PT 鋼製可動間仕切
SL 鋼製移動間仕切
AC 大型アコーディオンドア
TB トイレブース

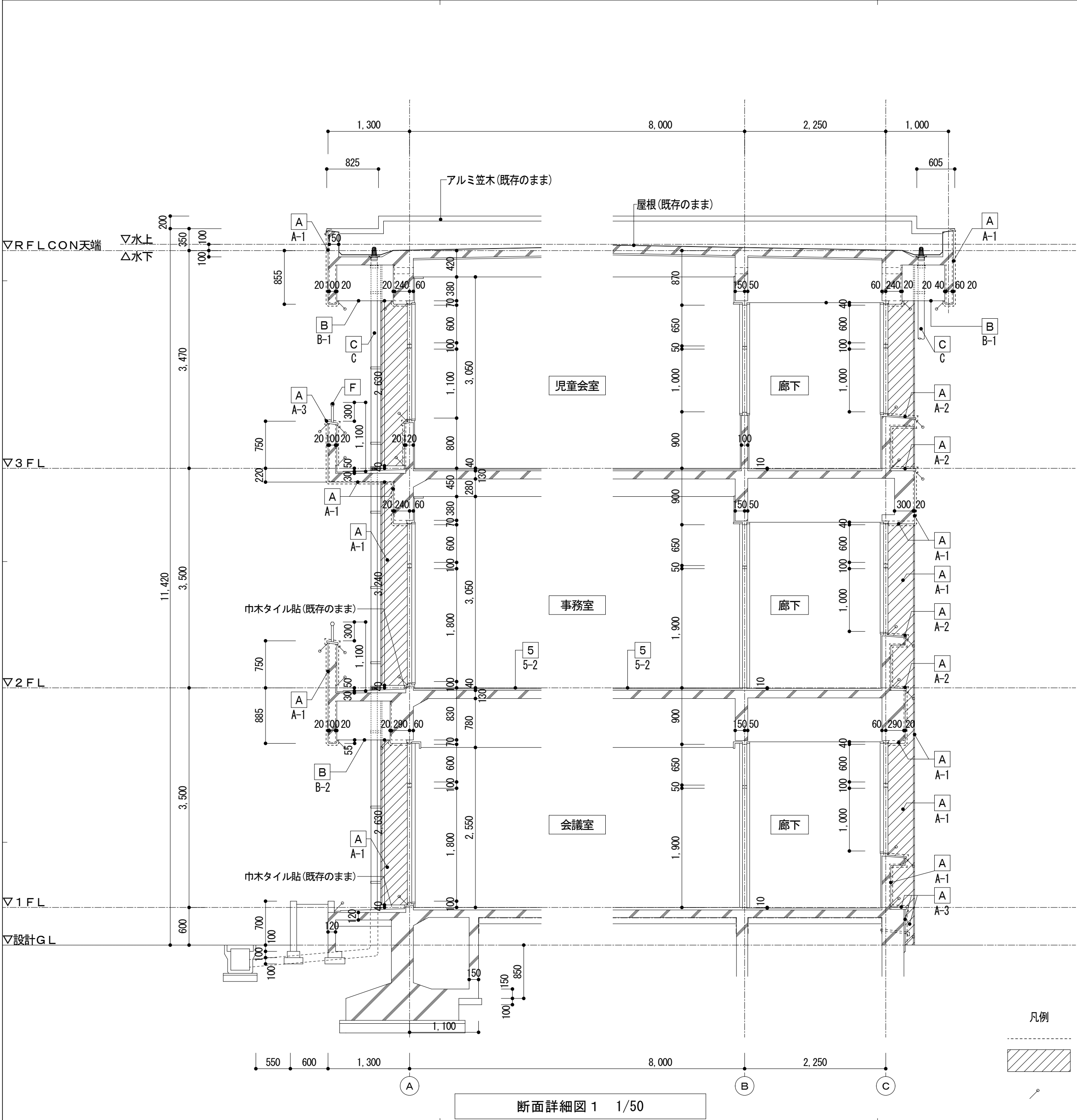
金物の符号

- A 額縁取付用アンクル
PD シリンダー本締り錠
(室内側サムターン)
EL 非常用錠
DC ドアチェック
(ストップ付)
FH フロアヒンジ
(ストップ付)
AP オートピボット
(ストップ付)
OH オートヒンジ
(ストップ付)
PH ピボットヒンジ
AS アームストッパー
GH グレモンハンドル
F フランス落し
CU クレセント
(大型・ロック付)
LH レバーハンドル
CH ケースハンドル
L 引手
H 丁番
TH 水切
DG 戸当り
[] ヒンジ類ストップ無

硝子の符号

- FL フロート板ガラス
F 型板ガラス
PW 網入り磨き板ガラス
(クロスワイヤー)
FW 網入り型板ガラス
(クロスワイヤー)
SC 熱線反射ガラス
TFL 強化ガラス
TF 強化型板ガラス
HFL 熱線吸収フロート板ガラス
HTFL 熱線吸収強化ガラス
FTFL 耐熱強化ガラス
P ポリカーボネイト板
(マットクリア)
A 空気層

ガラス断熱コーティングA
クリアルマイサニー NEO 同等品 (TOPPAN (株))
ガラス断熱コーティングB
クリアルマイサニー Nano 同等品 (TOPPAN (株))

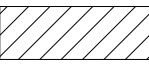



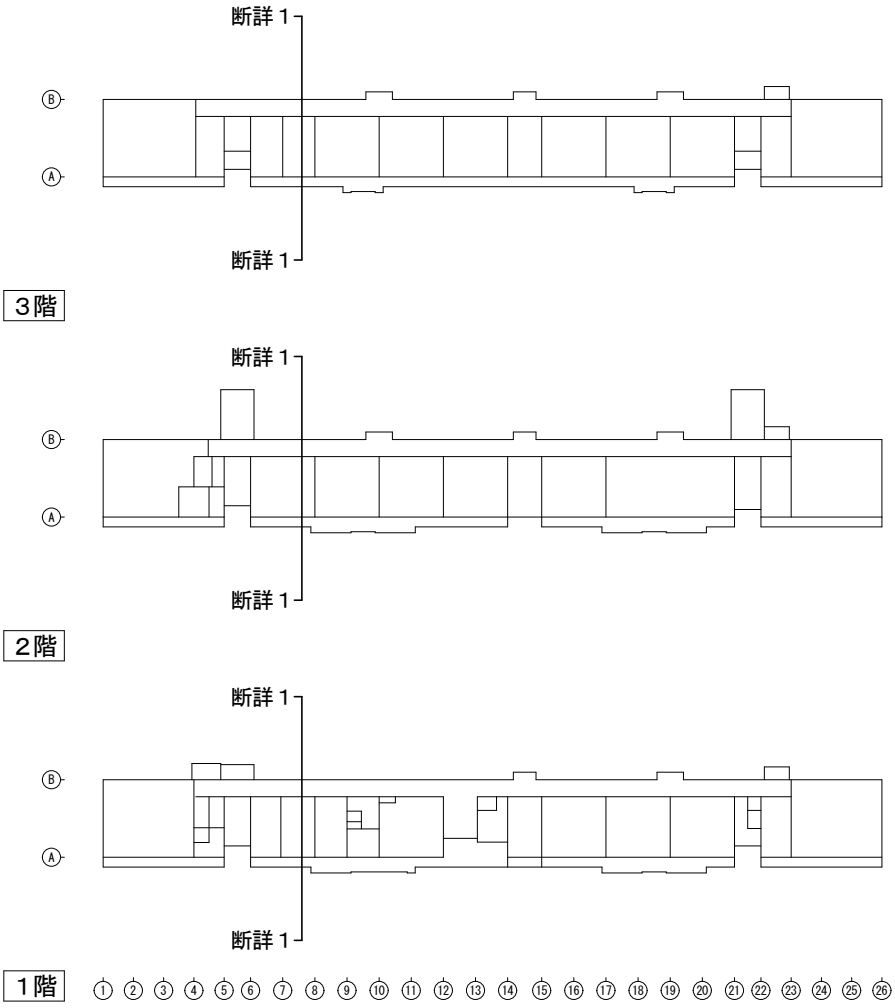
	外部改修項目(防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替(外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	縦樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング

符号	凡例
A-1	既存コンクリート下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
A-2	既存モルタル下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
A-3	既存モルタル下地 防水型複層塗材E 新設
B-1	既存LGS天井下地 石綿板 t4 EP 塗膜除去 EP 新設
C	既存縦樋 G P Φ100 FP 塗膜除去 DP 新設
D-1	鉄骨柱・梁 亜鉛メッキ SOP 塗膜除去 DP 新設
D-2	スチール製タラップ FP 塗膜除去 DP 新設


	内部改修項目(大規模改修工事)
1	教室 掃除具入・ロッカー 撤去・新設
2	来客用・職員用・生徒用下足箱 撤去・新設
3	廊下 手洗 撤去・新設
4	廊下 手洗+掃除用流し 撤去・新設
5	教室 床仕上 撤去・新設
6	廊下・階段 床仕上 一部撤去・新設
7	天井仕上 撤去・新設
8	外廻りガラス部 断熱塗材 新設
9	建具改修
10	壁 撤去・新設

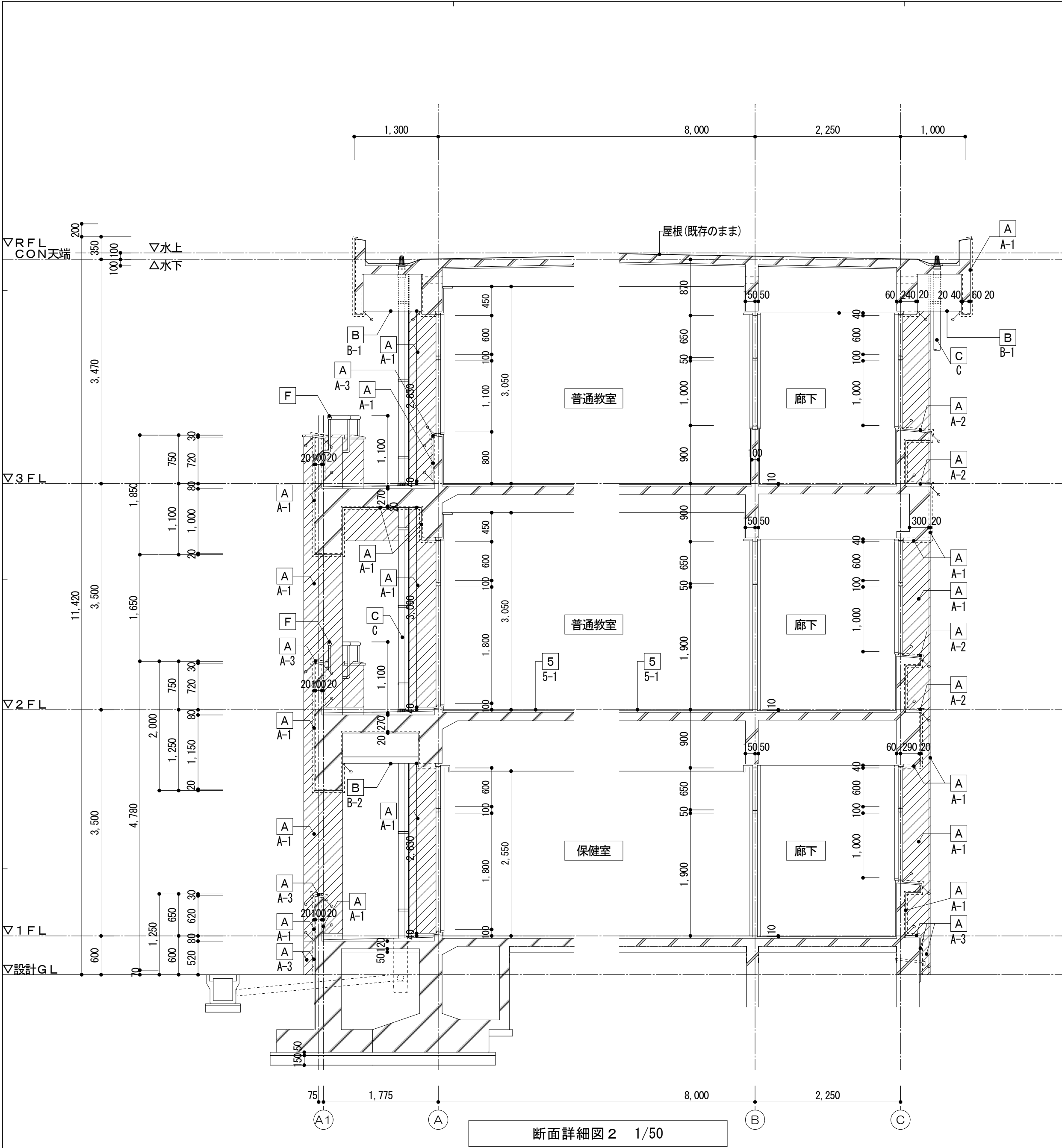
符号	凡例
5-2	既存 プナフローリングブロック t15 撤去
	下地調整の上 フローリング t15 新設

- 凡例
-  外壁 塗装替の範囲を示す
-  既存仕上の区分けを示す



キープラン 1/1000

<div><div></div><div>株式会社 近代設計コンサルタント</div><div>広島市中区国泰寺一丁目 8 番 3 0 号 一級建築士 登録第277978号 T E L (082) 243-5555 (代) 小 瀧 宏 治</div></div>	年月日	整理番号	工事名 向原小学校大規模改修工事		図面番号 A 37
	照 査	設 計 担 当	図面名 断面詳細図 1		



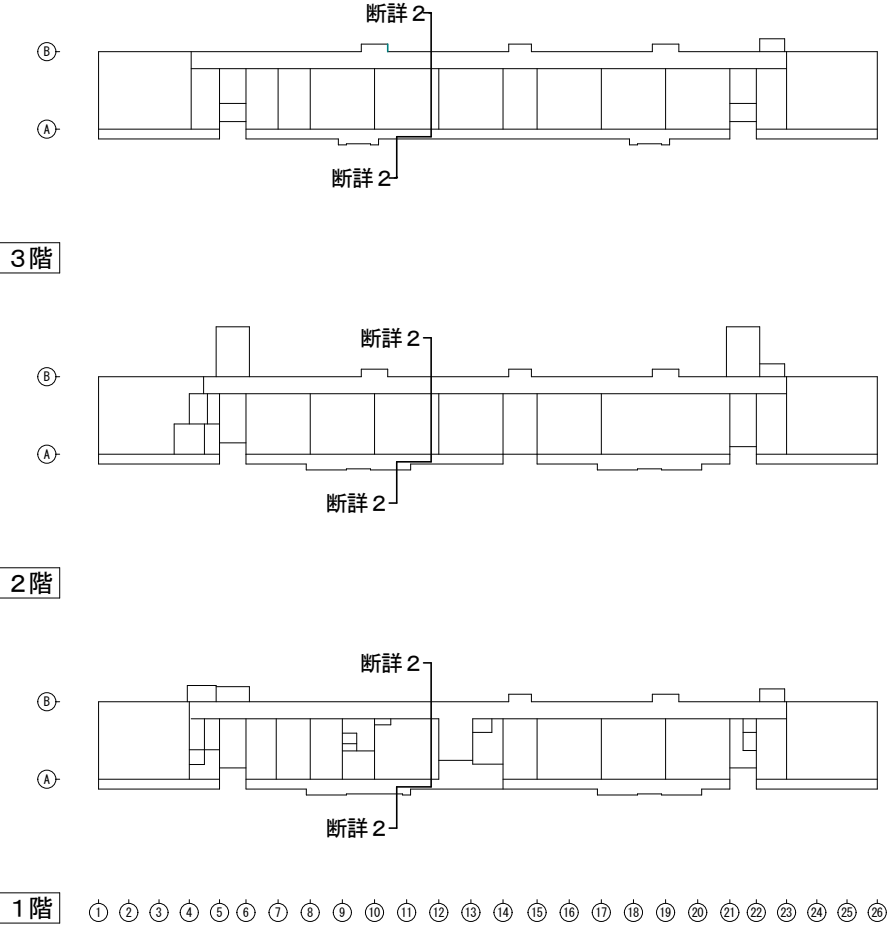
外部改修項目(防災機能強化工事)	
A	外壁 塗装替(外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	縦樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング

符号	凡例
A-1	既存コンクリート下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
A-2	既存モルタル下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
A-3	既存モルタル下地 防水型複層塗材E 新設
B-1	既存LGS天井下地 石綿板 t4 EP 塗膜除去 EP 新設
B-2	既存 LGS天井下地 ケイカル板 t6 EP-G 塗膜除去 EP 新設
C	既存縦樋 G P Φ100 FP 塗膜除去 DP 新設
D-1	鉄骨柱・梁 垂鉛メッキ SOP 塗膜除去 DP 新設
D-2	スチール製タラップ FP 塗膜除去 DP 新設


内部改修項目(大規模改修工事)	
1	教室 掃除具入・ロッカー 撤去・新設
2	来客用・職員用・生徒下足箱 撤去・新設
3	廊下 手洗 撤去・新設
4	廊下 手洗+掃除用流し 撤去・新設
5	教室 床仕上 撤去・新設
6	廊下・階段 床仕上 一部撤去・新設
7	天井仕上 撤去・新設
8	外廻りガラス部 断熱塗材 新設
9	建具改修
10	壁 撤去・新設

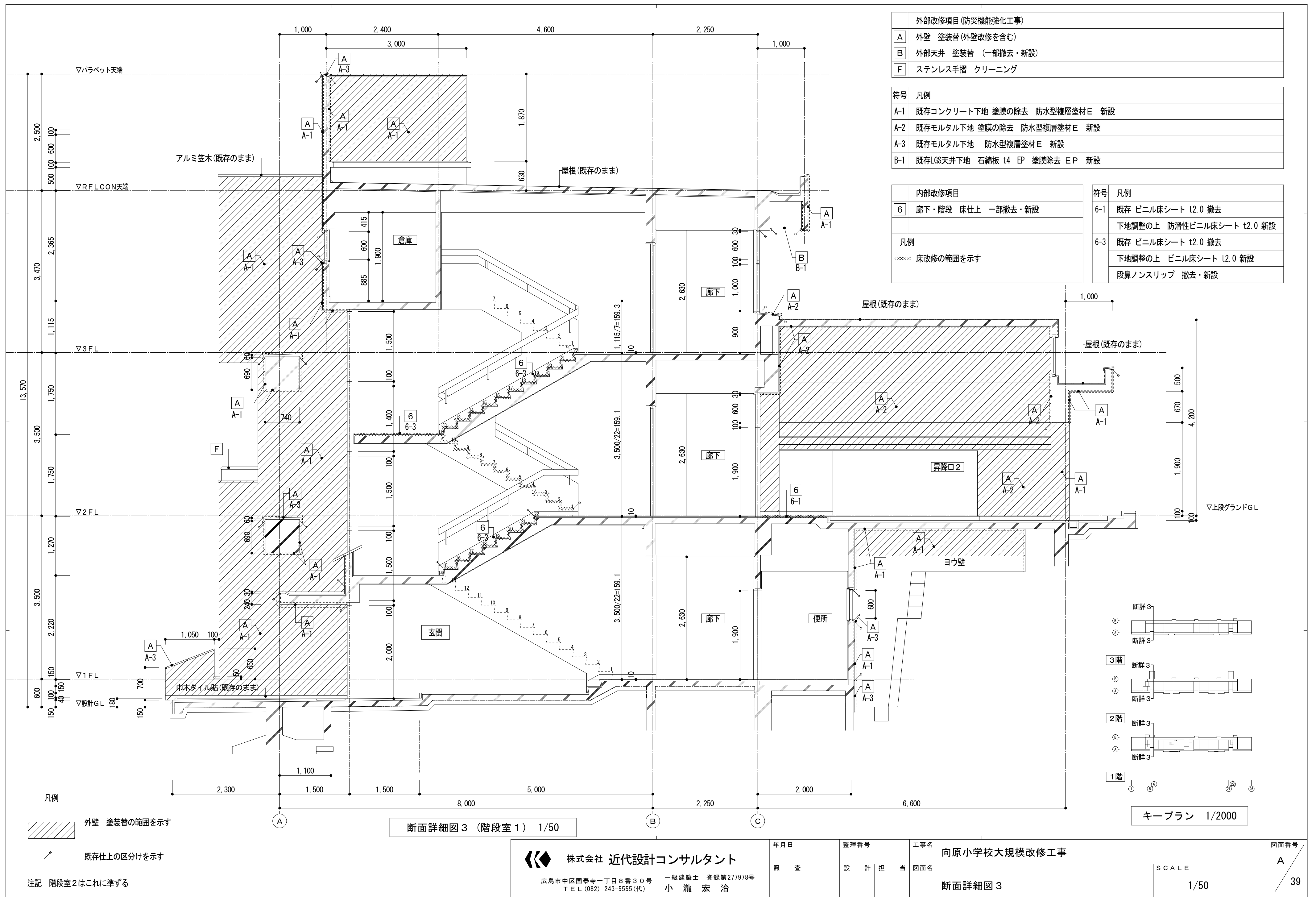
符号	凡例
5-1	既存 サクラ複層フローリング直張り t15 撤去 下地調整の上 フローリング t15 新設

- 凡例
- 外壁 塗装替の範囲を示す
- 既存仕上の区分けを示す



キープラン 1/1000

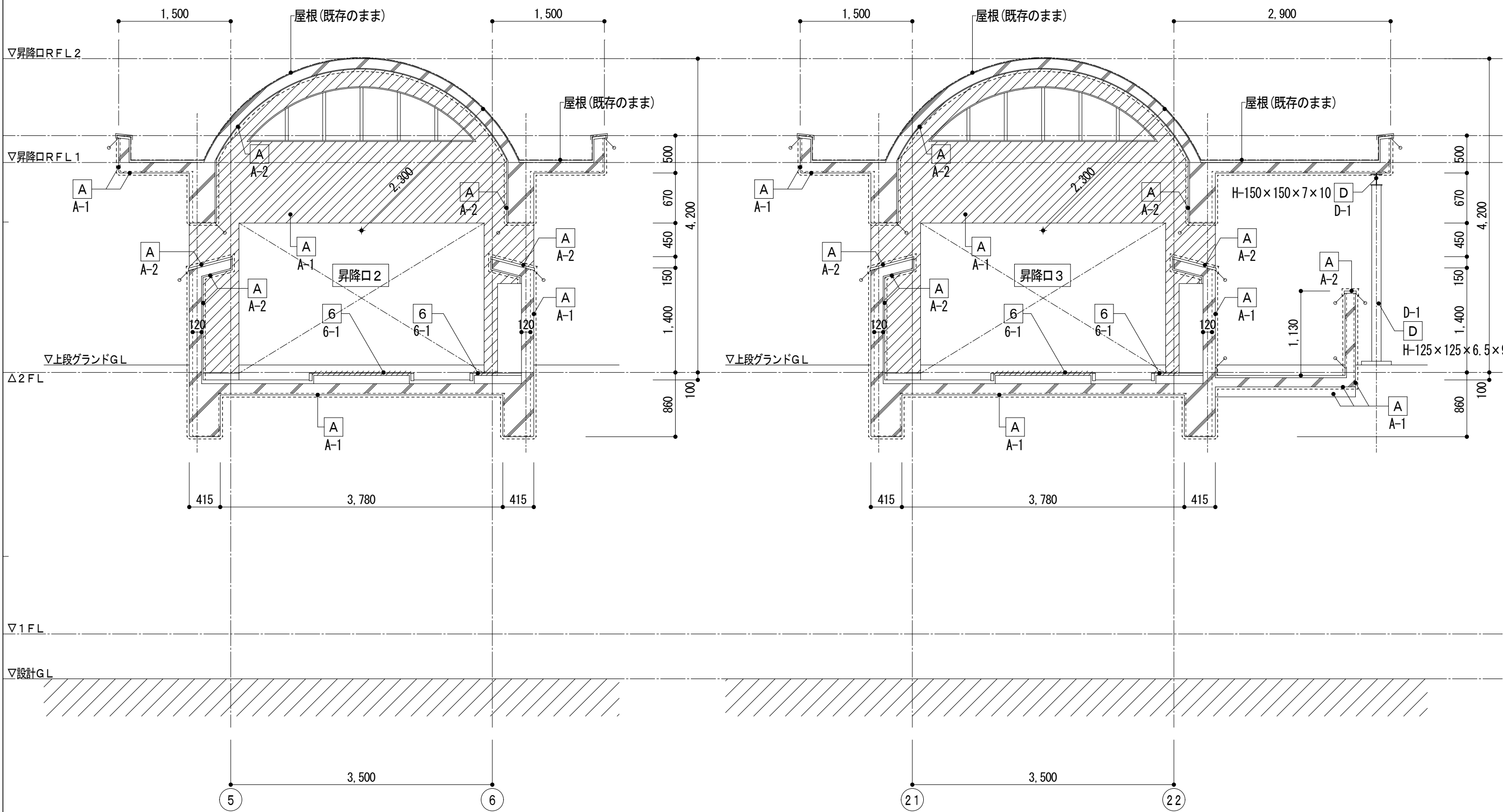
<div></div> <div>株式会社 近代設計コンサルタント</div> <div>広島市中区国泰寺一丁目 8 番 3 0 号 一級建築士 登録第277978号 T E L (082) 243-5555 (代) 小 瀧 宏 治</div>			年月日	整理番号	工事名 向原小学校大規模改修工事		図面番号 A 38
照 査	設 計	担 当	図面名 断面詳細図 2	SCALE 1/50			



	外部改修項目(防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替(外壁改修を含む)
D	外部鉄部 塗装替

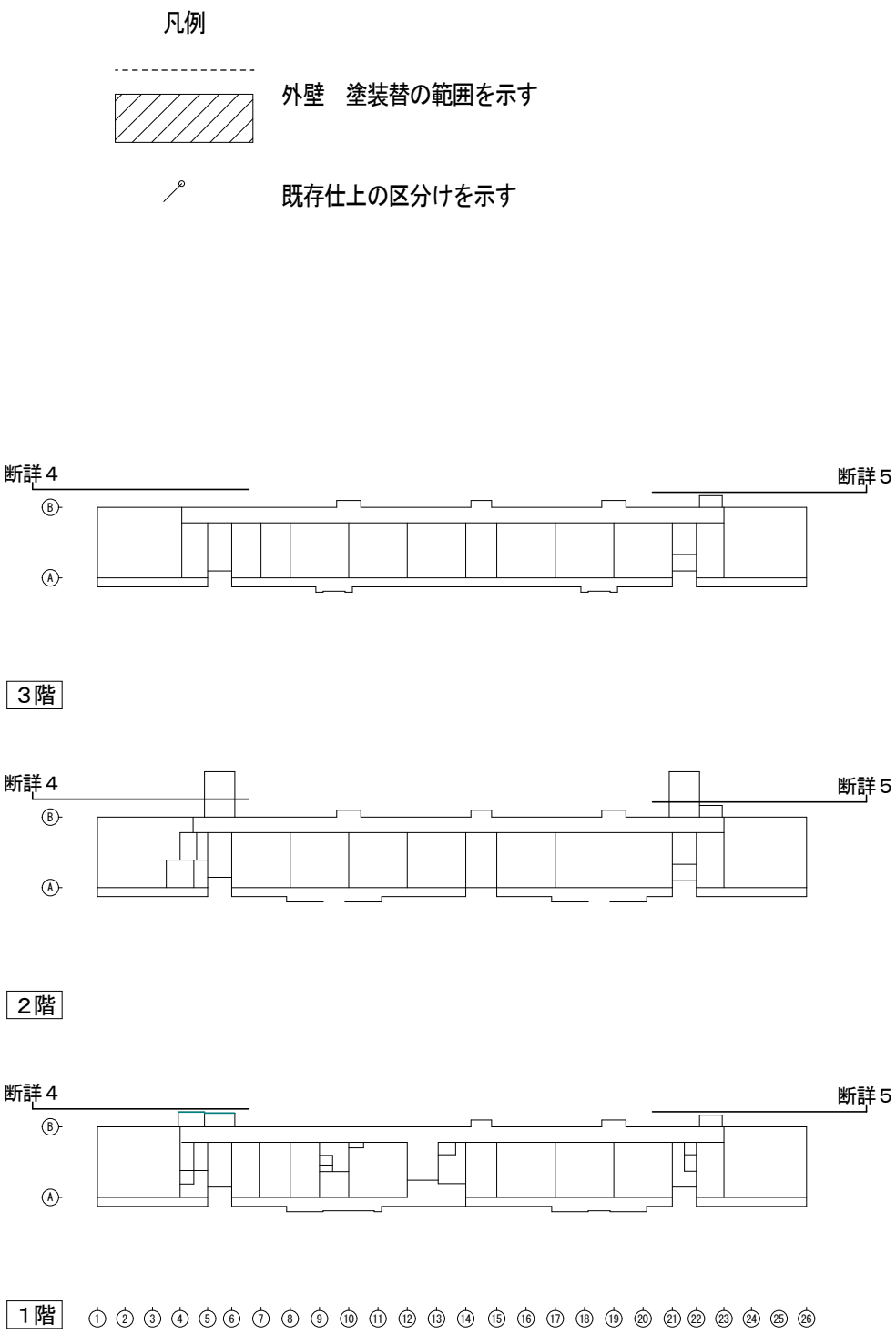
符号	凡例
A-1	既存コンクリート下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
A-2	既存モルタル下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
D-1	鉄骨柱・梁 亜鉛メッキ SOP 塗膜除去 DP 新設

	内部改修項目	符号	凡例
6	廊下・階段 床仕上 一部撤去・新設	6-1	既存 ビニル床シート t2.0 撤去
			下地調整の上 防滑性ビニル床シート t2.0 新設
	凡例		
	床改修の範囲を示す		



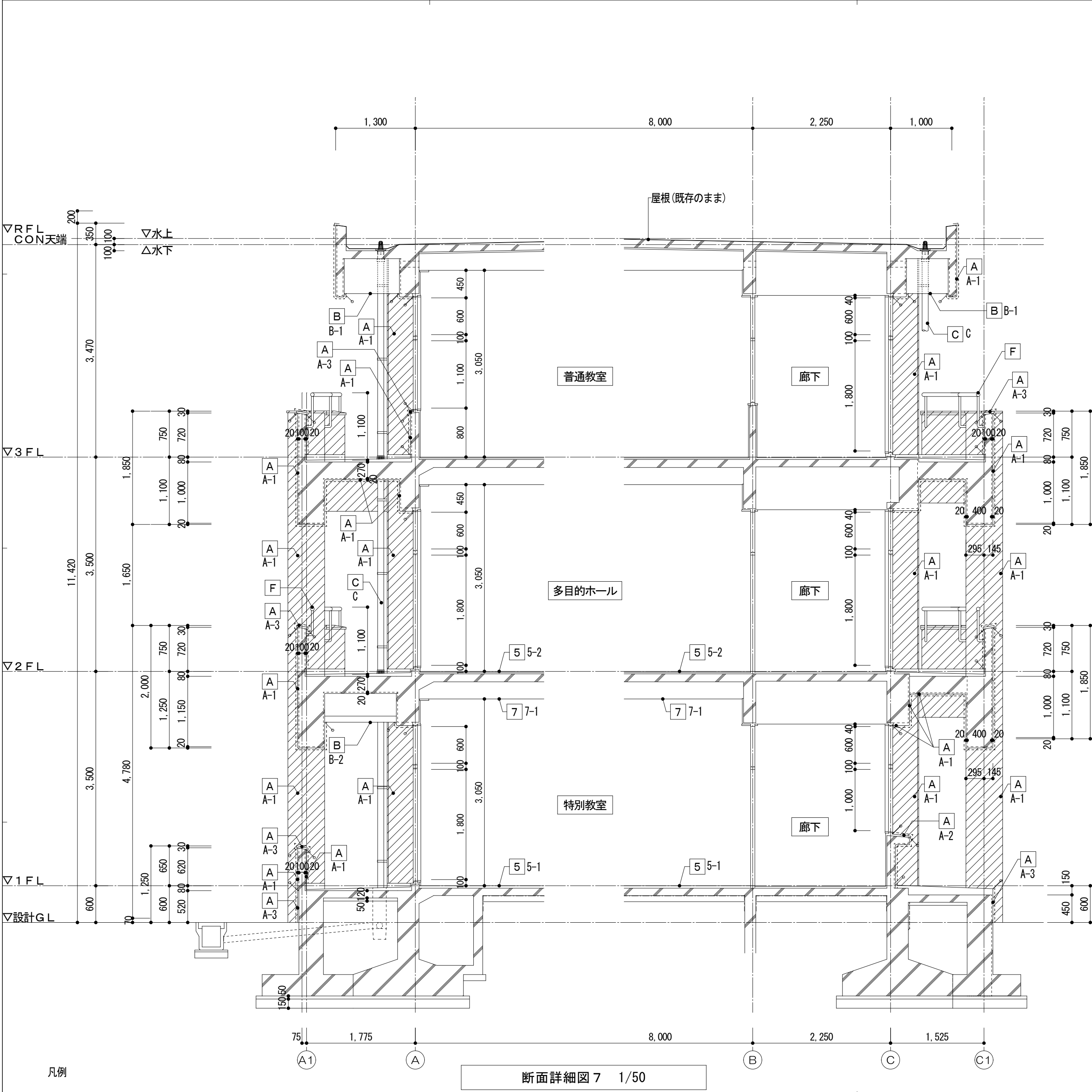
断面詳細図 4 1/50

断面詳細図 5 1/50



キープラン 1/1000

<div><div><div><div></div><div></div></div><div>株式会社 近代設計コンサルタント</div></div><div><div>広島市中区国泰寺一丁目 8 番 3 0 号</div><div>TEL (082) 243-5555 (代)</div></div><div><div>一級建築士 登録第277978号</div><div>小 瀧 宏 治</div></div></div>	年月日	整理番号		工事名 向原小学校大規模改修工事		図面番号 A 40
	照 査	設 計	担 当	図面名 断面詳細図 4 ・ 5	SCALE 1/50	



- 凡例
- 外壁 塗装替の範囲を示す
 - 既存仕上の区分けを示す

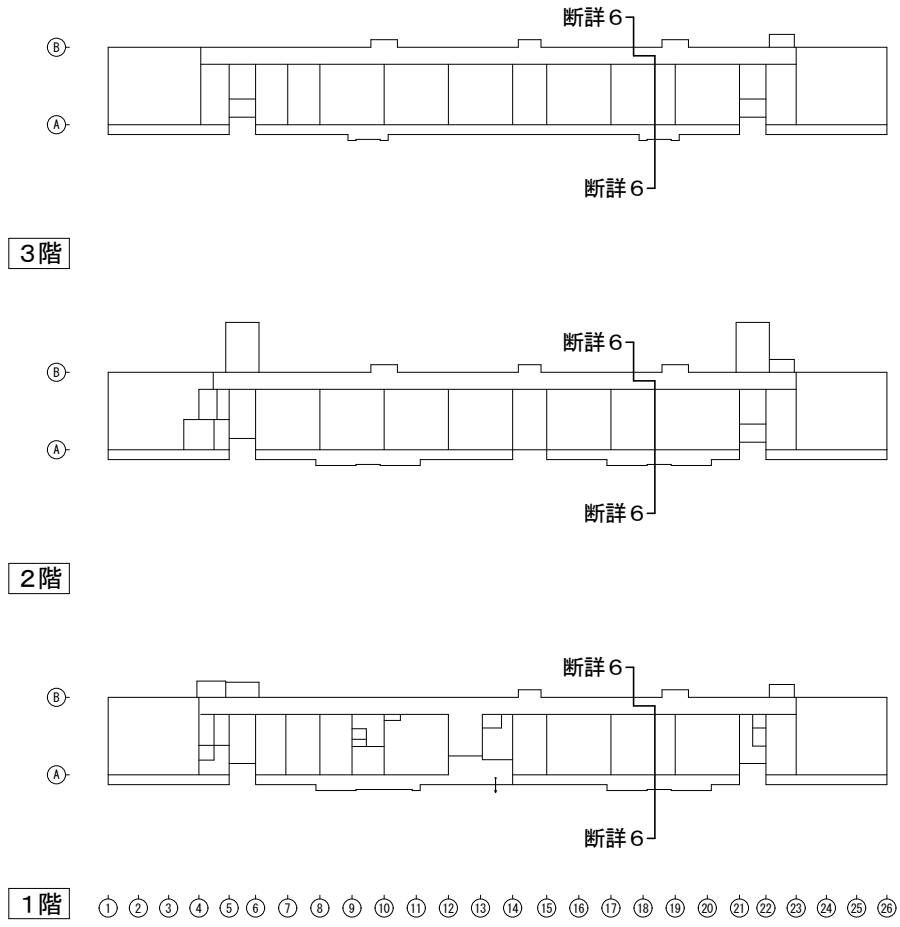
断面詳細図 7 1/50

	外部改修項目 (防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替 (外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	竖樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング

符号	凡例
A-1	既存コンクリート下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
A-2	既存モルタル下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
A-3	既存モルタル下地 防水型複層塗材E 新設
B-1	既存LGS天井下地 石綿板 t4 EP 塗膜除去 EP 新設
B-2	既存 LGS天井下地 ケイカル板 t6 EP-G 塗膜除去 EP 新設
C	既存竖樋 G P Φ100 FP 塗膜除去 DP 新設

	内部改修項目 (大規模改修工事)
1	教室 掃除具入・ロッカー 撤去・新設
2	来客用・職員用・生徒用下足箱 撤去・新設
3	廊下 手洗 撤去・新設
4	廊下 手洗+掃除用流し 撤去・新設
5	教室 床仕上 撤去・新設
6	廊下・階段 床仕上 一部撤去・新設
7	天井仕上 撤去・新設
8	外廻りガラス部 断熱塗材 新設
9	建具改修
10	壁 撤去・新設

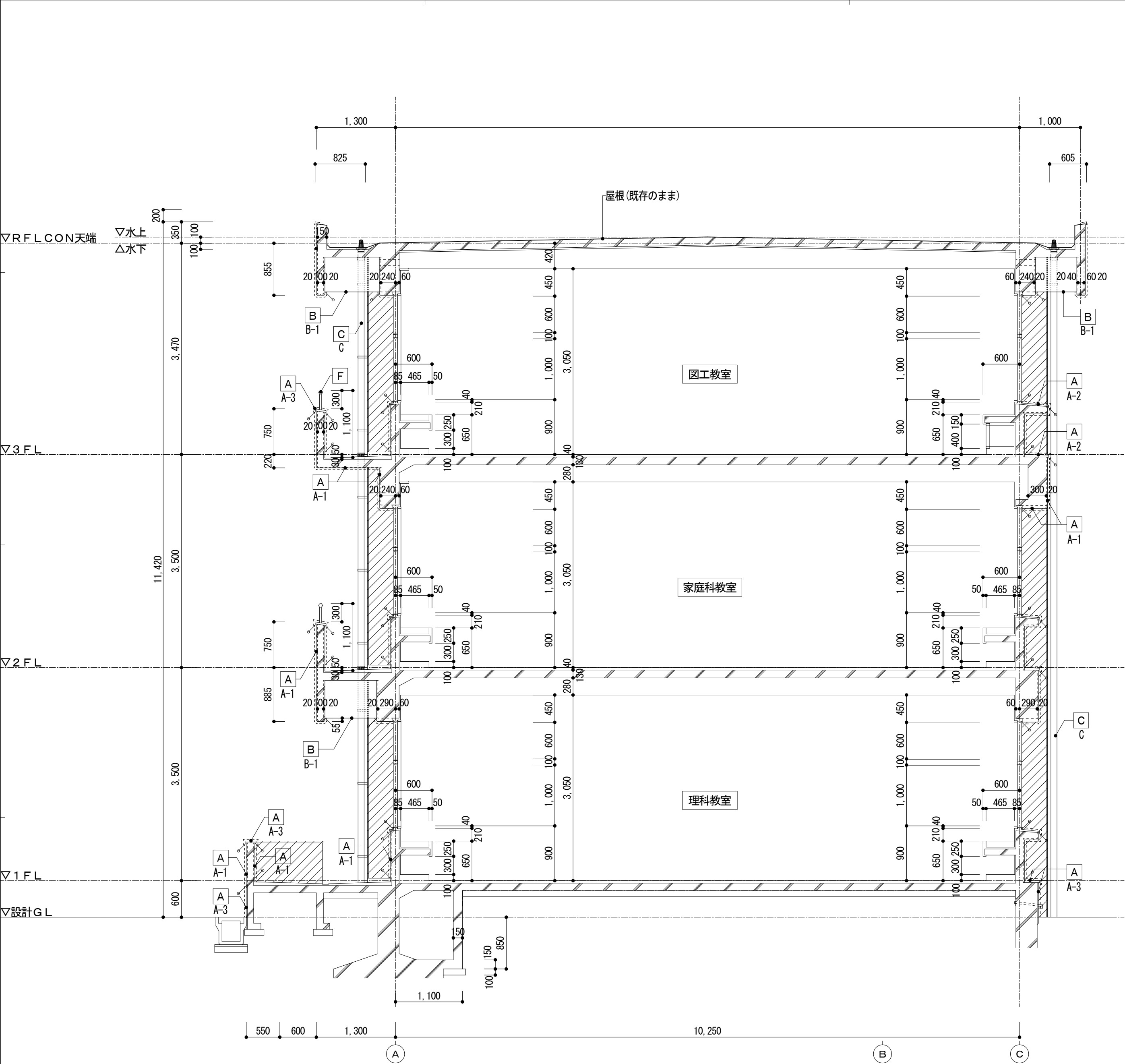
符号	凡例
5-1	既存 サクラ複層フローリング直張り t15 撤去 下地調整の上 フローリング t15 新設
5-2	既存 プナフローリングブロック t15 撤去 下地調整の上 フローリング t15 新設
7-1	既存 放熱マグネシウム吸音版 t9 撤去 QWB t9 (直張り工法) 新設



キープラン 1/1000

株式会社 近代設計コンサルタント
広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号
TEL (082) 243-5555 (代) 小 瀧 宏 治

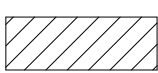
年月日	整理番号	工事名	図面番号
照 査	設 計 担 当	向原小学校大規模改修工事	断面詳細図 6
SCALE			図面番号
1/50			A / 41




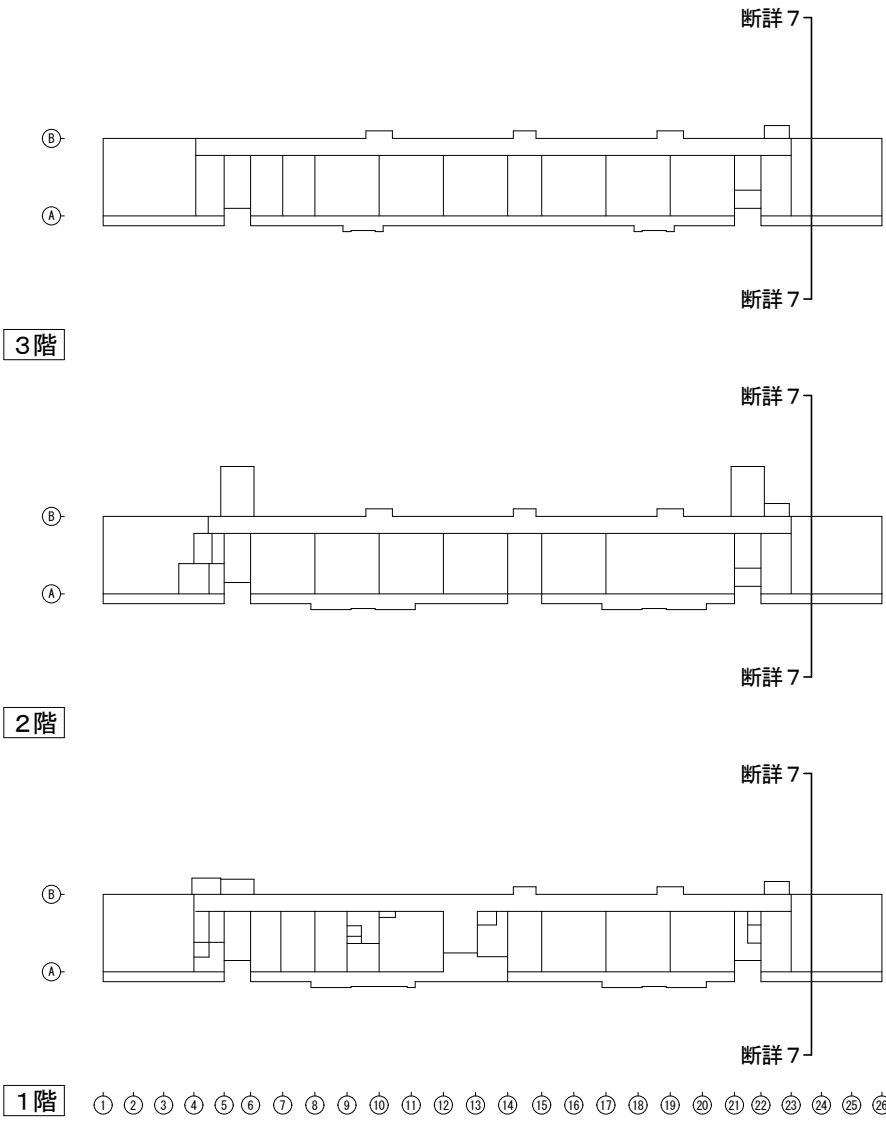
	外部改修項目 (防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替 (外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	竖樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング

符号	凡例
A-1	既存コンクリート下地 塗膜の除去 防水型複層塗材 E 新設
A-2	既存モルタル下地 塗膜の除去 防水型複層塗材 E 新設
A-3	既存モルタル下地 防水型複層塗材 E 新設
B-1	既存LGS天井下地 石綿板 t4 EP 塗膜除去 EP 新設
C	既存竖樋 G P Φ100 FP 塗膜除去 DP 新設

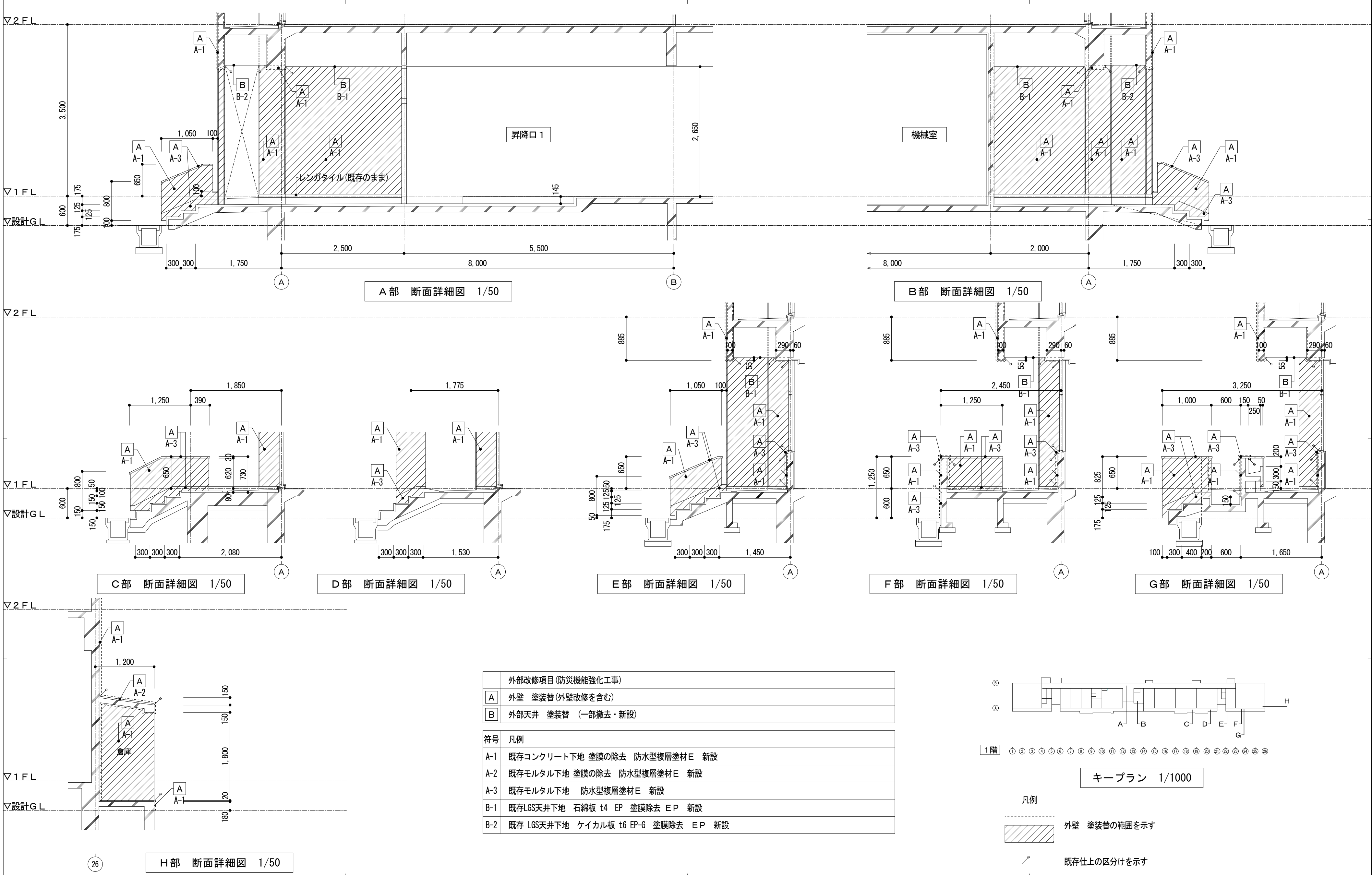
凡例

 外壁 塗装替の範囲を示す

 既存仕上の区分けを示す

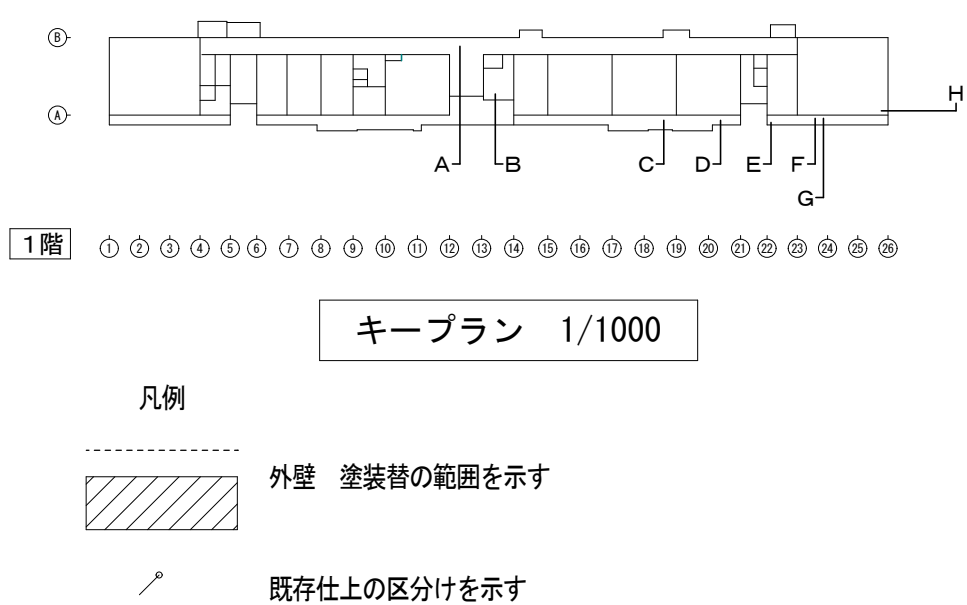


キープラン 1/1000

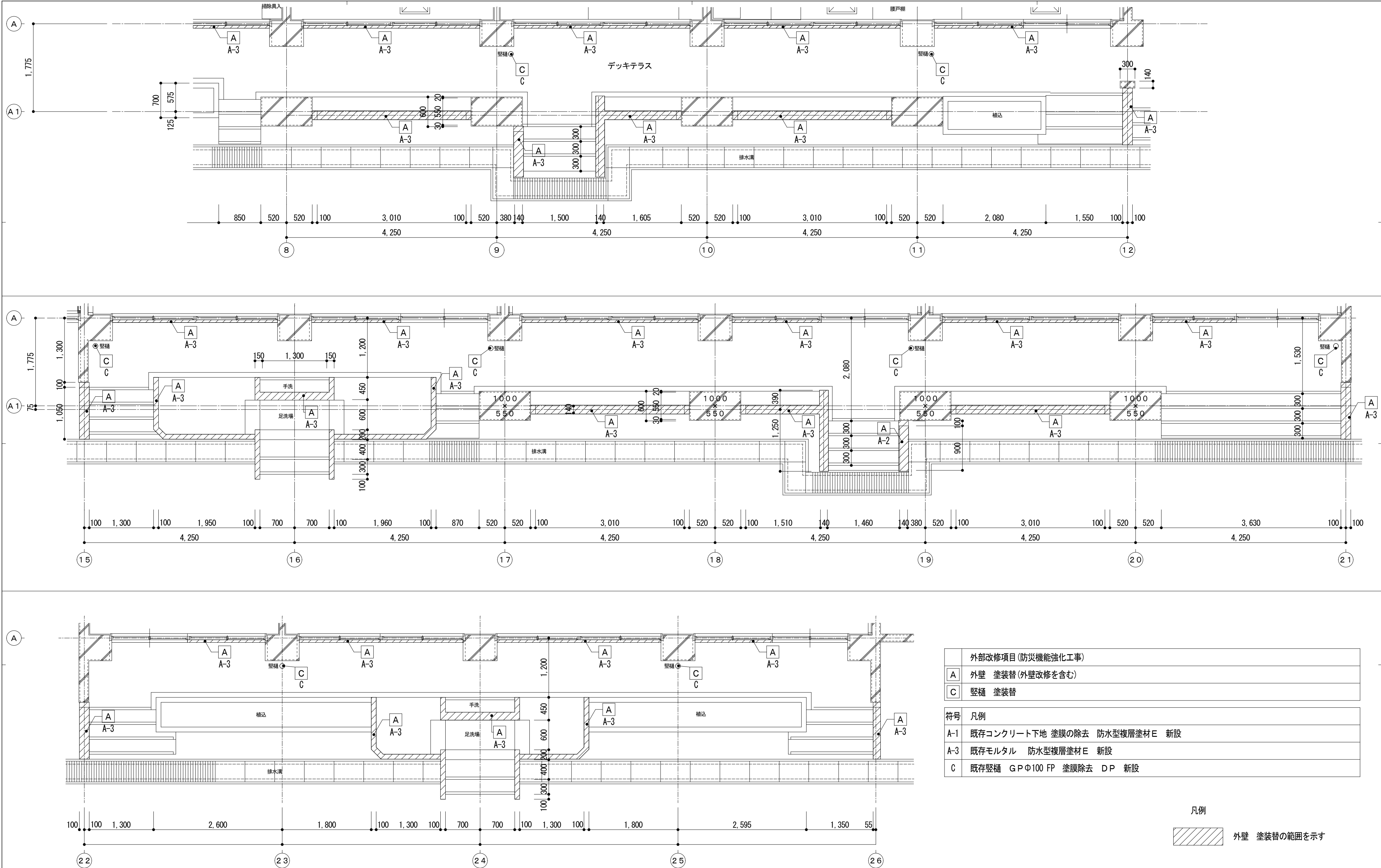


	外部改修項目(防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替(外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)

符号	凡例
A-1	既存コンクリート下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
A-2	既存モルタル下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
A-3	既存モルタル下地 防水型複層塗材E 新設
B-1	既存LGS天井下地 石綿板 t4 EP 塗膜除去 EP 新設
B-2	既存 LGS天井下地 ケイカル板 t6 EP-G 塗膜除去 EP 新設

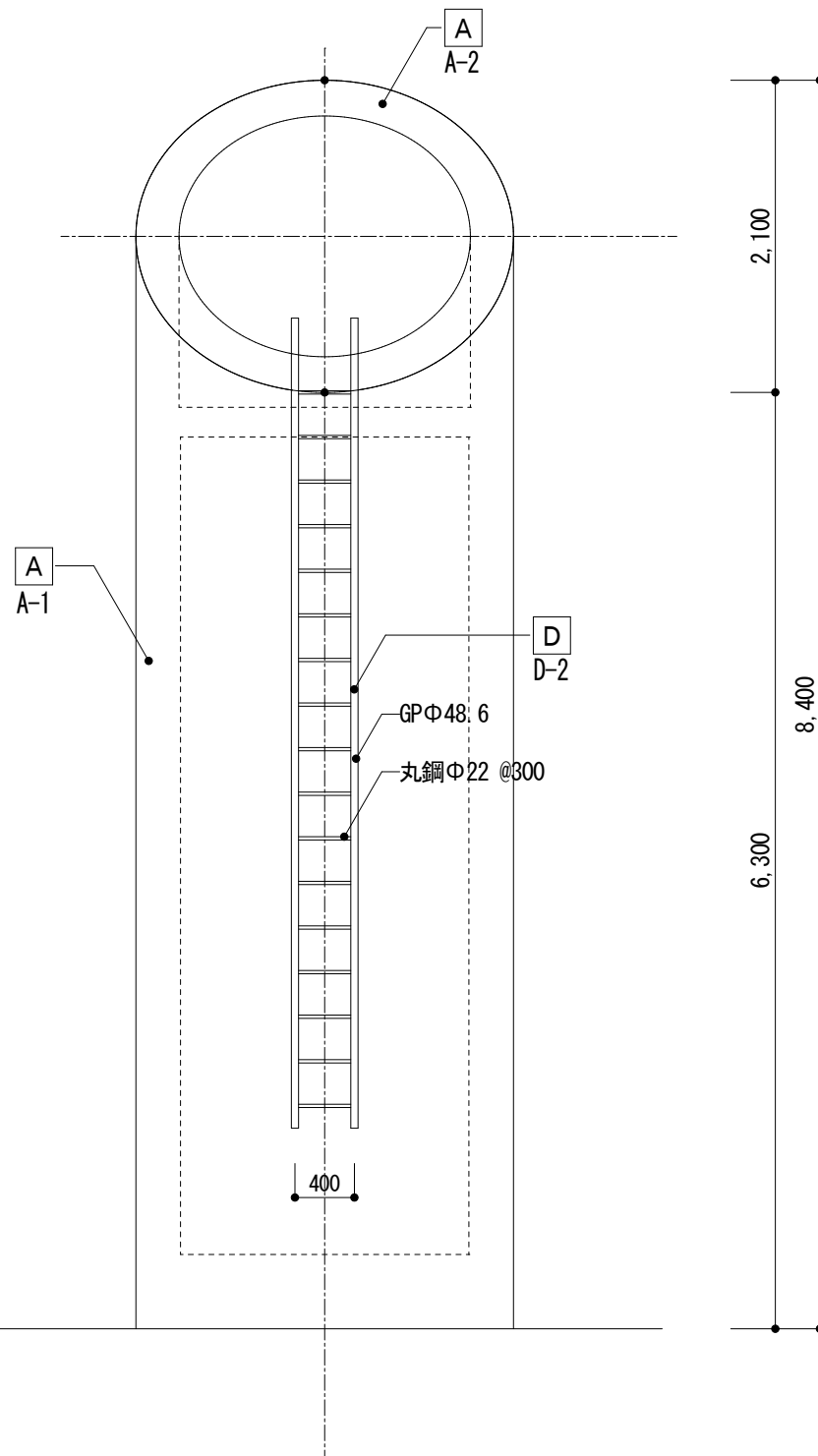
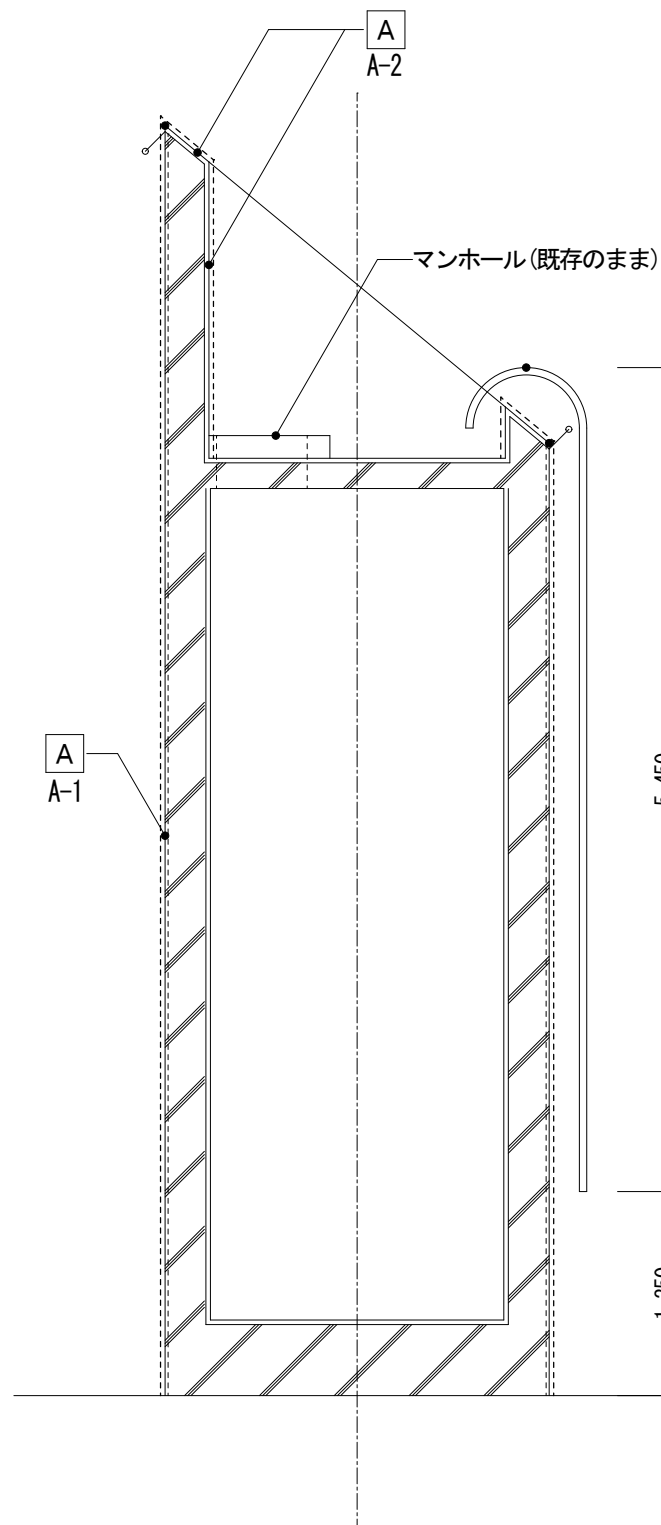
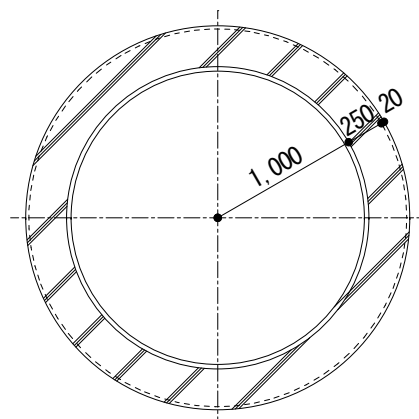
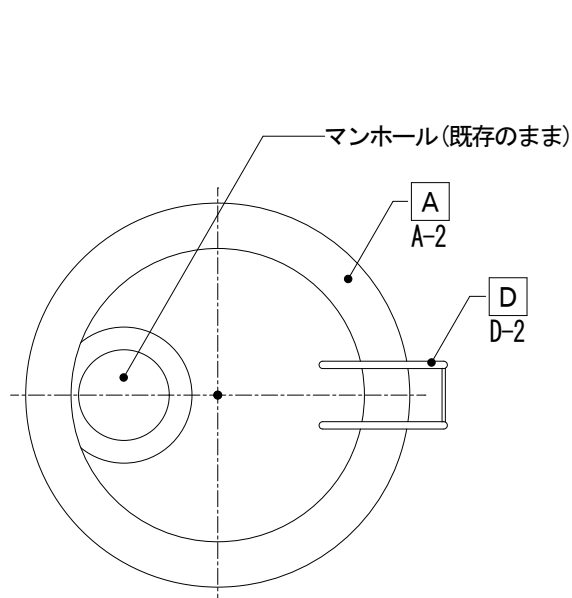


<div><div><div>◀◀</div><div>株式会社 近代設計コンサルタント</div><div>広島市中区国泰寺一丁目 8 番 3 0 号 TEL (082) 243-5555 (代)</div><div>一級建築士 登録第277978号 小 瀧 宏 治</div></div></div>	年月日	整理番号		工事名 向原小学校大規模改修工事		図面番号 A 43
	照 査	設 計 担 当		図面名 A ～ H 部 断面詳細図	SCALE 1/50	



外部改修項目(防災機能強化工事)	
A	外壁 塗装替(外壁改修を含む)
C	縦樋 塗装替
凡例	
A-1	既存コンクリート下地 塗膜の除去 防水型複層塗材E 新設
A-3	既存モルタル 防水型複層塗材E 新設
C	既存縦樋 GΦ100 FP 塗膜除去 DP 新設

凡例
外壁 塗装替の範囲を示す



	外部改修項目(防災機能強化工事)
A	外壁 塗装替(外壁改修を含む)
B	外部天井 塗装替 (一部撤去・新設)
C	縦樋 塗装替
D	外部鉄部 塗装替
E	バルコニー床・巾木タイル部分 モルタル補修
F	ステンレス手摺 クリーニング

符号	凡例
A-1	既存コンクリート下地 塗膜の除去 下地調整の上 防水型複層塗材E吹付 新設
A-2	既存モルタル下地 塗膜の除去、下地調整の上、防水型複層塗材E吹付 新設
D-2	スチール製タラップ FP 塗膜除去 DP 新設

受水槽平面図 1/50

受水槽断面図 1/50

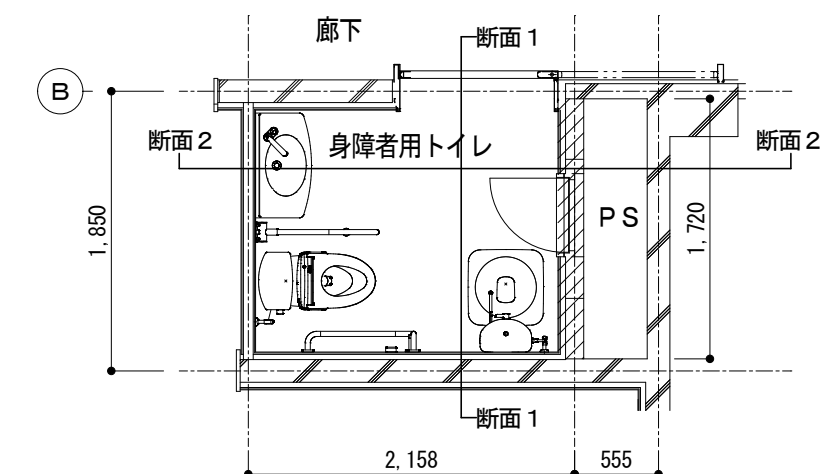
受水槽立面図 1/50

凡例

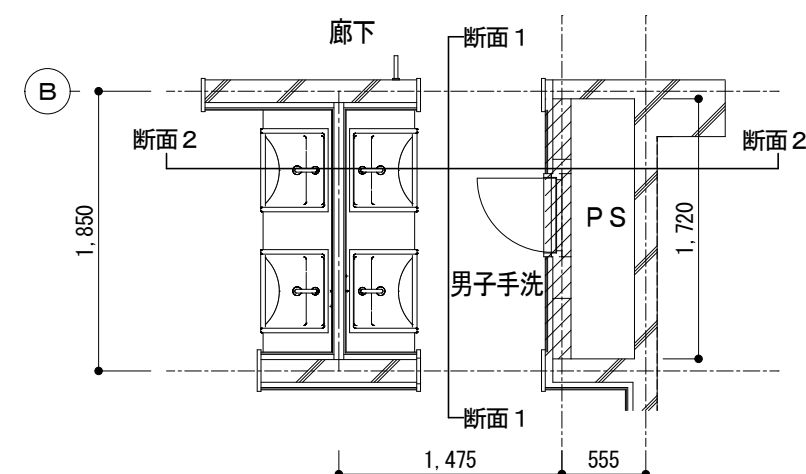
----- 外壁 塗装替の範囲を示す

○ 既存仕上の区分けを示す

トイレ内PS 改修前図 1/50

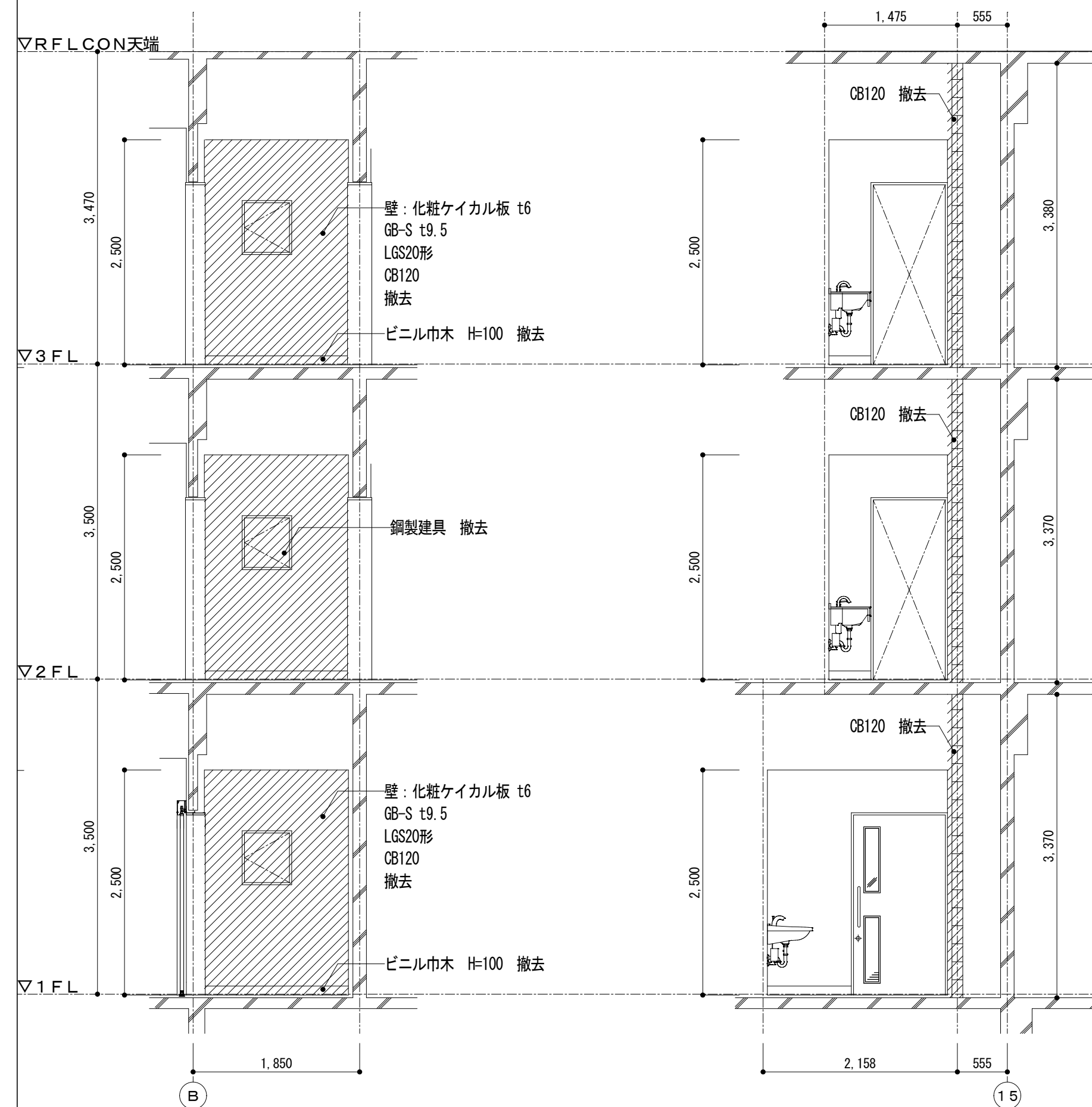


1 階平面図 1/50



2・3階平面図 1/50

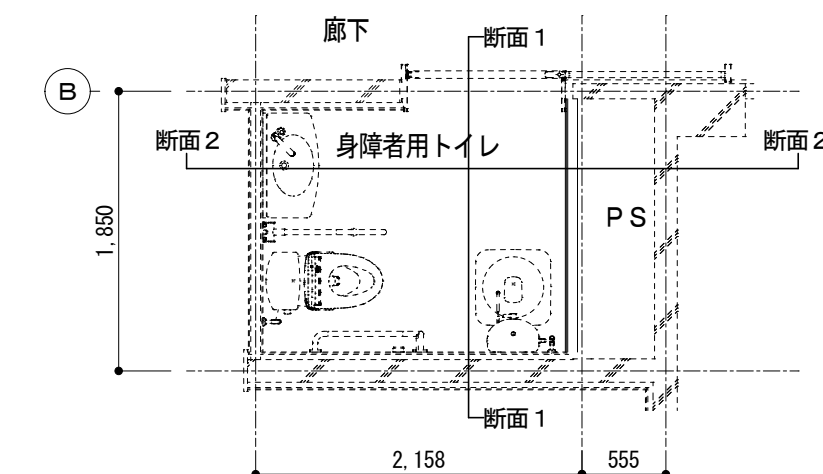
凡例
斜線部は撤去範囲を示す



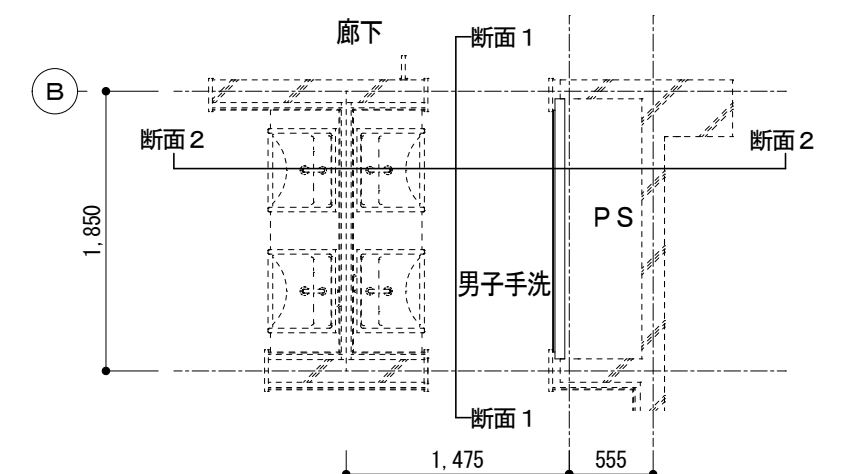
断面図 1 1/50

断面図 2 1/50

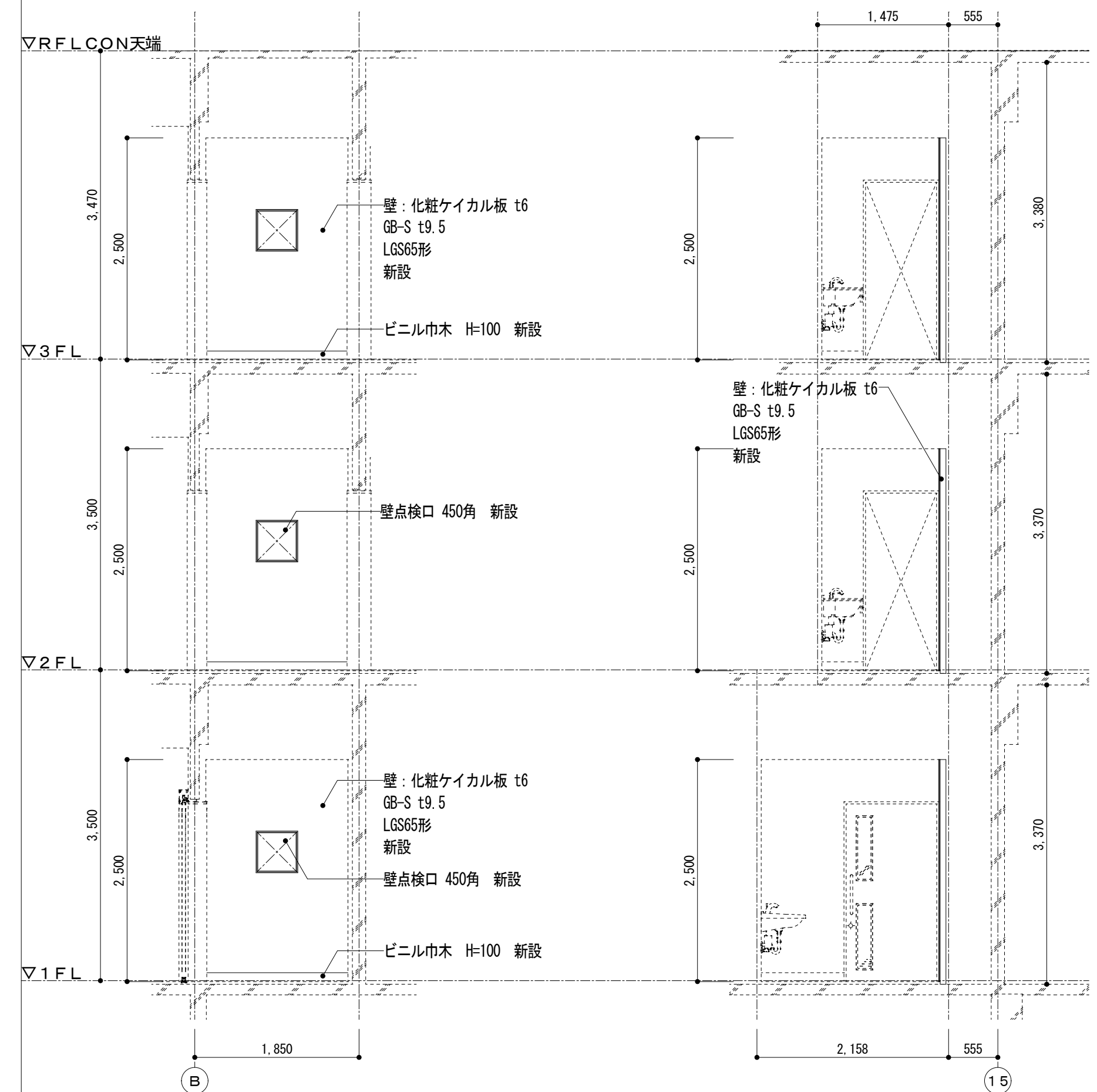
トイレ内PS 改修後図 1/50



1 階平面図 1/50



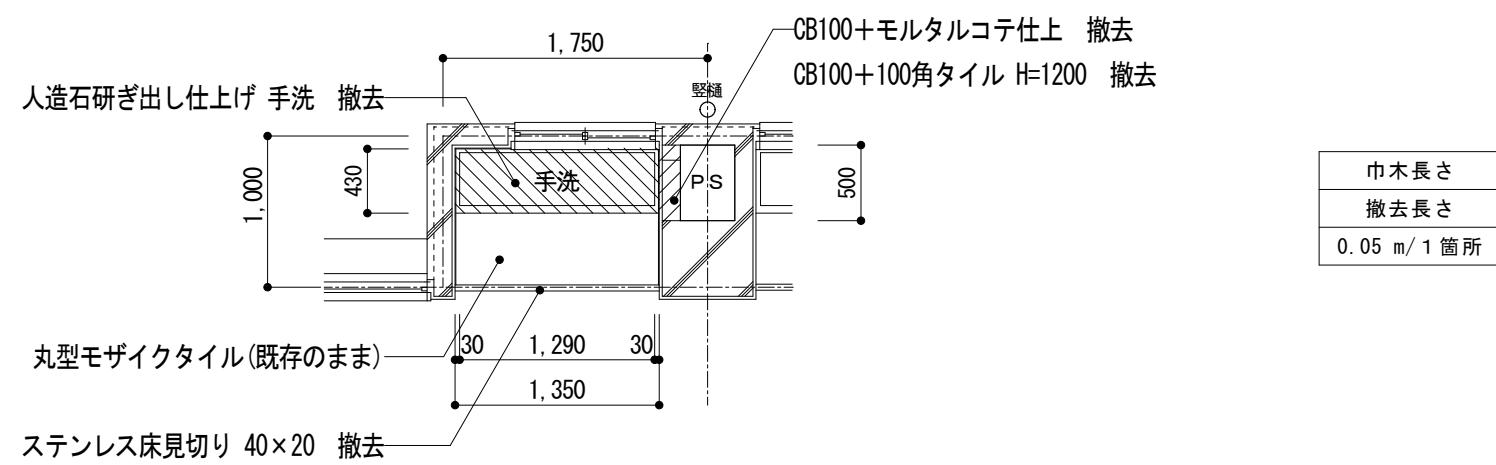
2・3階平面図 1/50



断面図 1 1/50

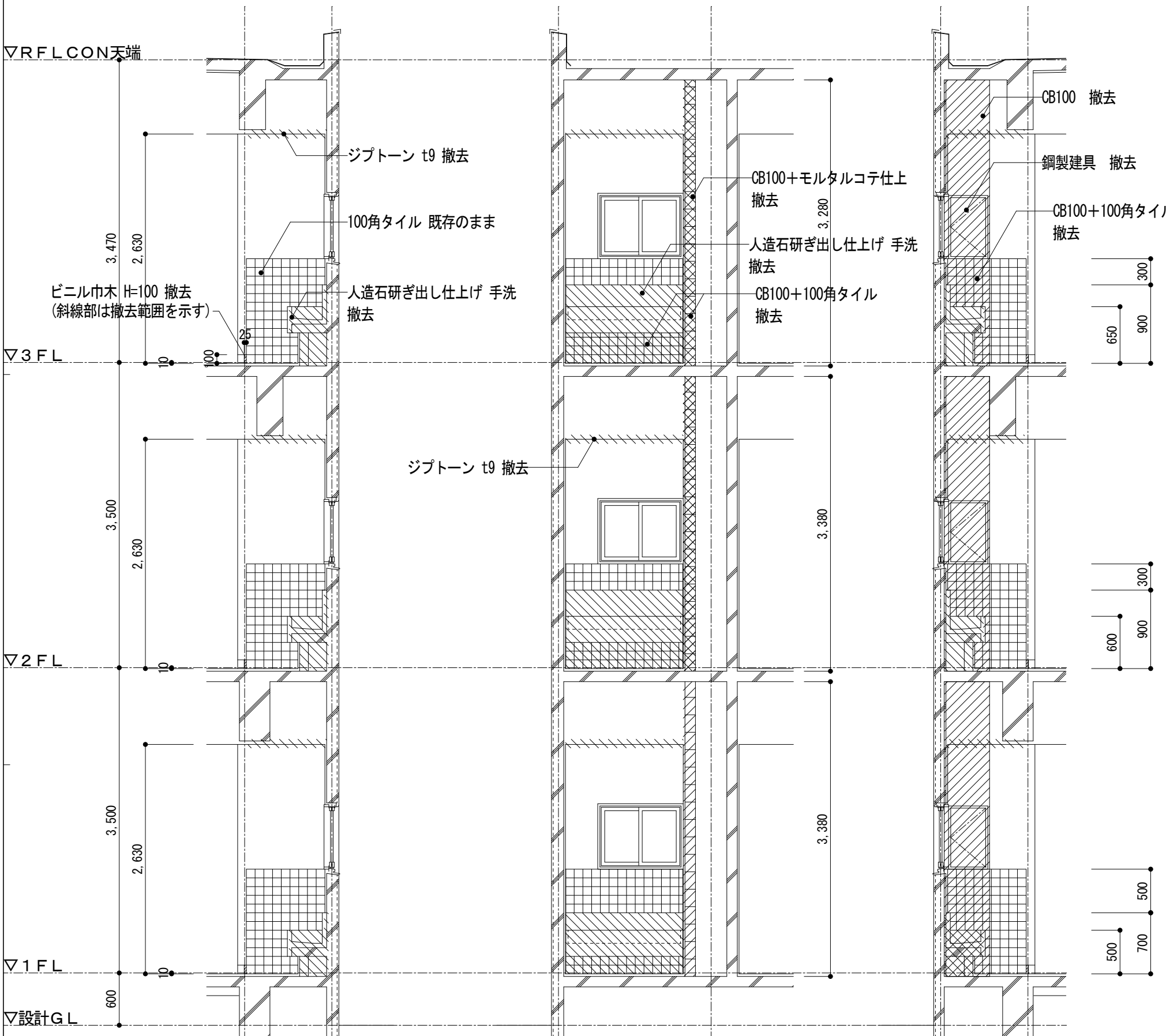
断面図 2 1/50

手洗 改修前図 1/50



手洗 平面図 1/50

凡例
斜線部は撤去範囲を示す

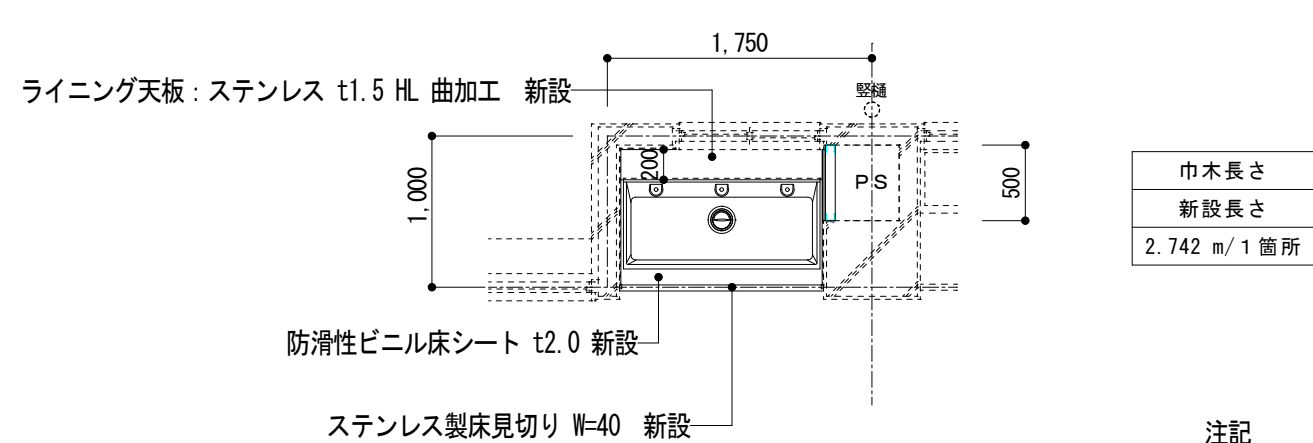


手洗 断面図 1 1/50

手洗 断面図 2 1/50

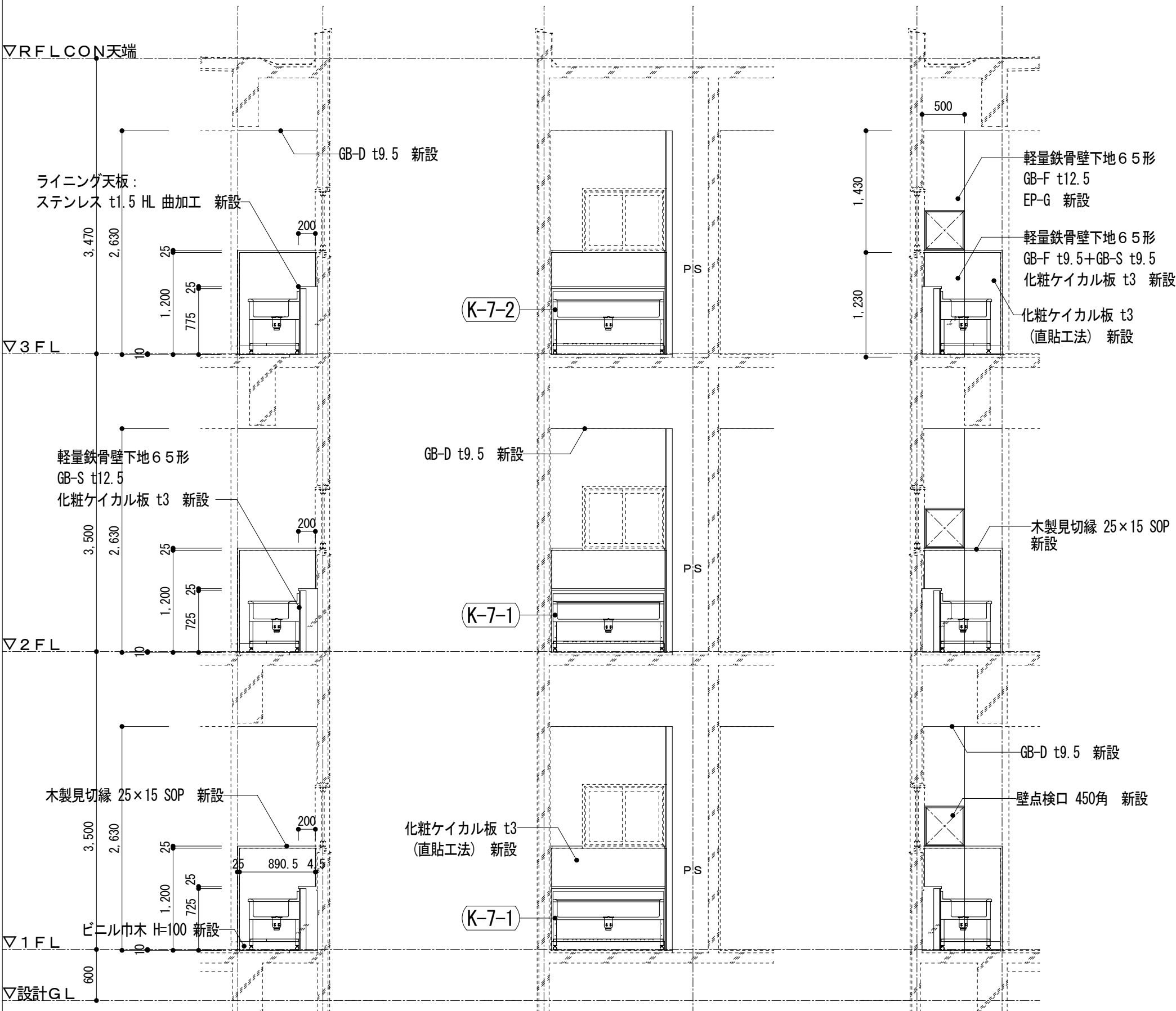
手洗 断面図 3 1/50

手洗 改修後図 1/50



手洗 平面図 1/50

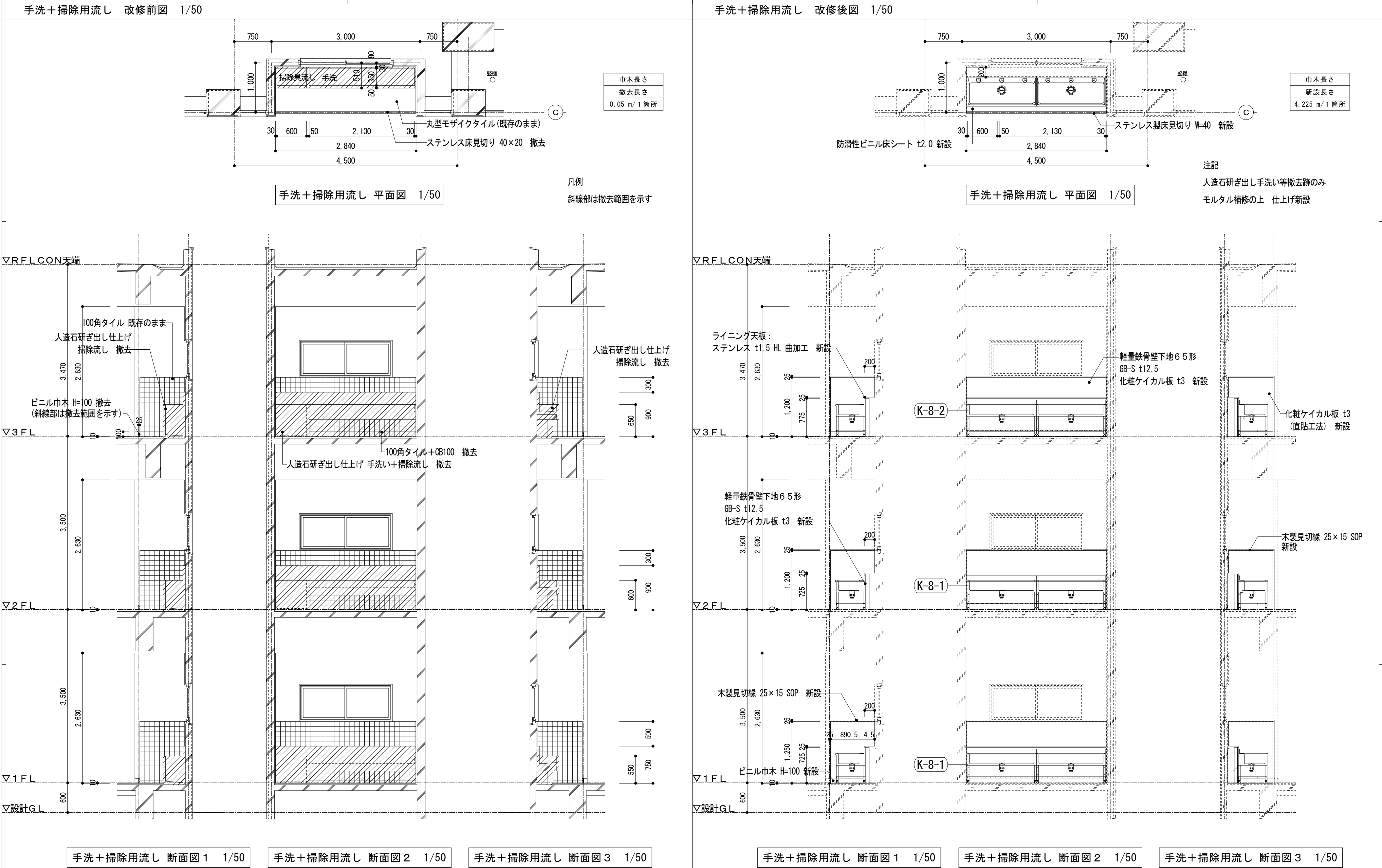
注記
人造石研ぎ出し手洗い等撤去跡のみ
モルタル補修の上 仕上げ新設

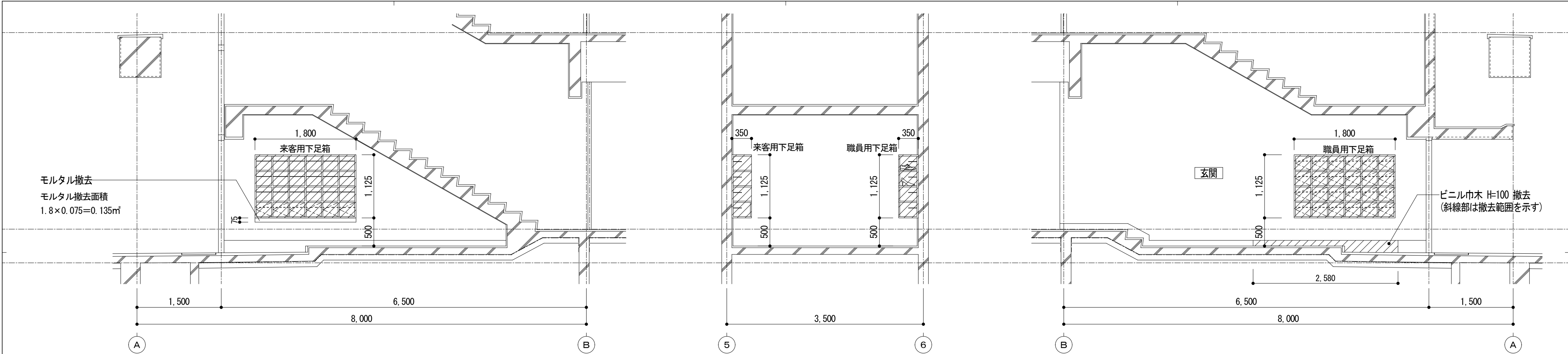


手洗 断面図 1 1/50

手洗 断面図 2 1/50

手洗 断面図 3 1/50



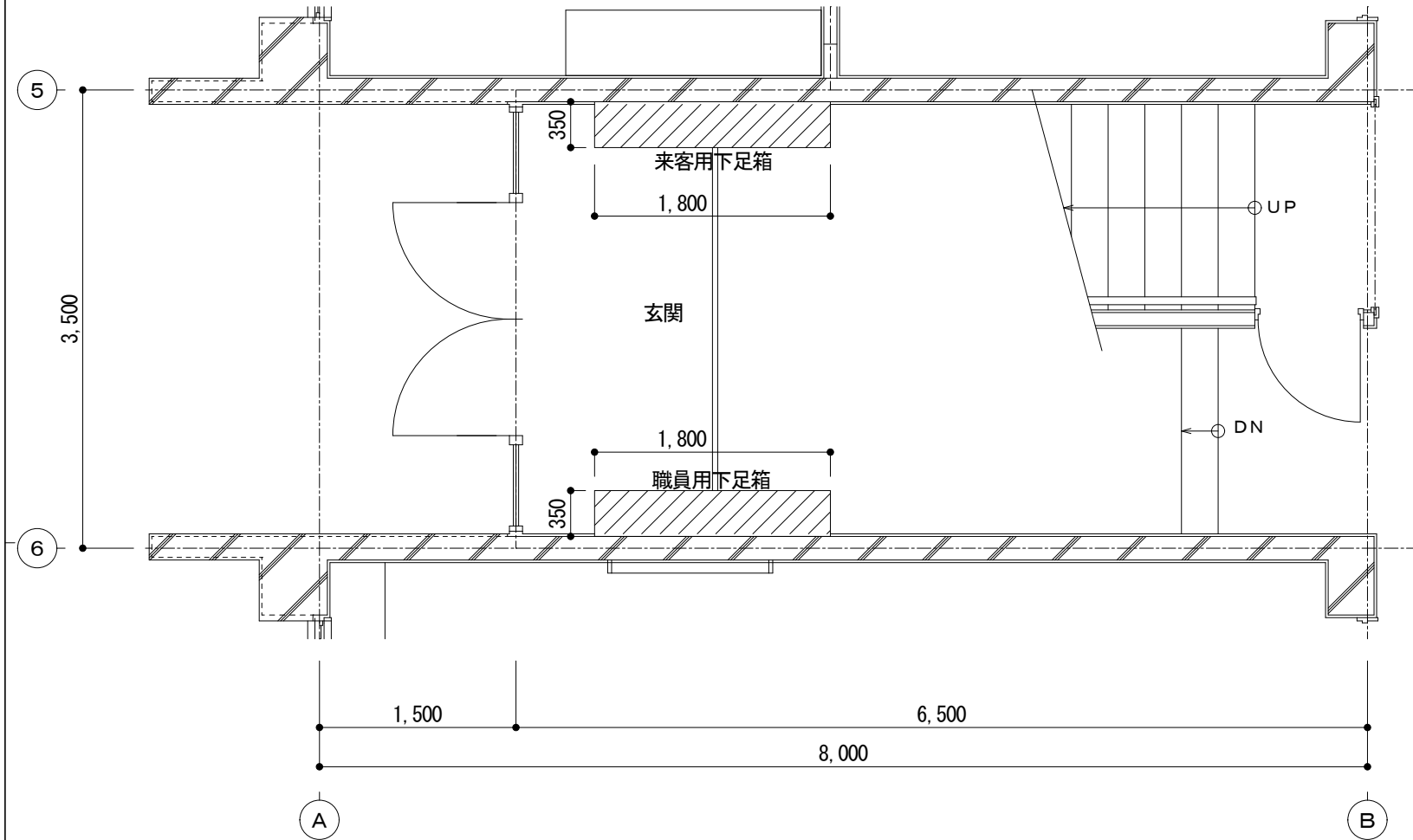


来客用下足箱姿図 1/50

来客用・職員用下足箱断面図 1/50

職員用下足箱姿図 1/50

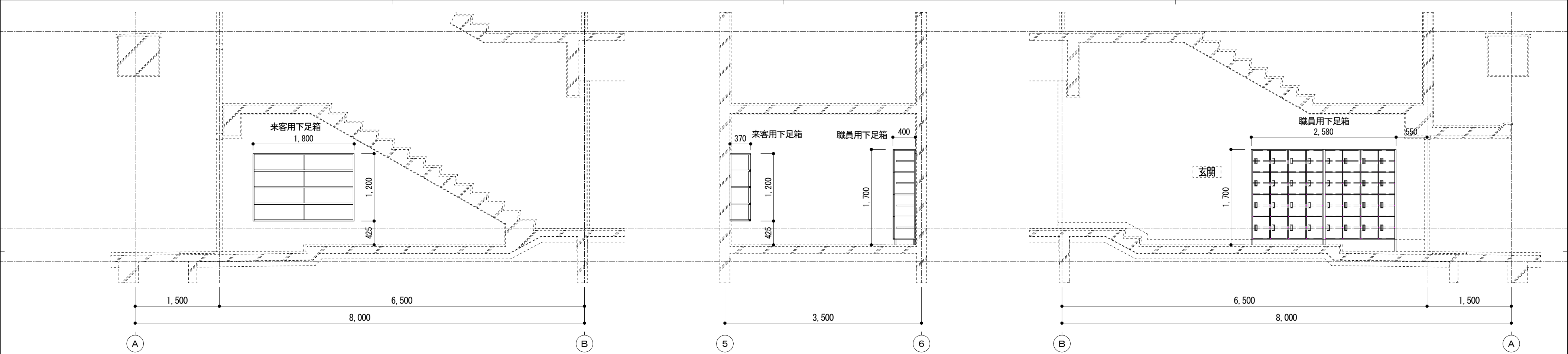
巾木長さ
撤去長さ
2.58 m



来客用・職員用下足箱平面図 1/50

- 下足箱仕様
- 周囲枠 ラワンベニヤフラッシュ t25
 - 天板および側板 ポリ合板貼り
 - 中段・仕切板 ラワンベニヤフラッシュ t25
 - スリッパ棚 ラワンベニヤ t5.5
 - 建具 ポリ合板フラッシュ t20
 - 金物 丁番・取手・名札入れ
 - 見掛け小口 デコラ貼り
 - 下部補強金物 FB-4×40@600

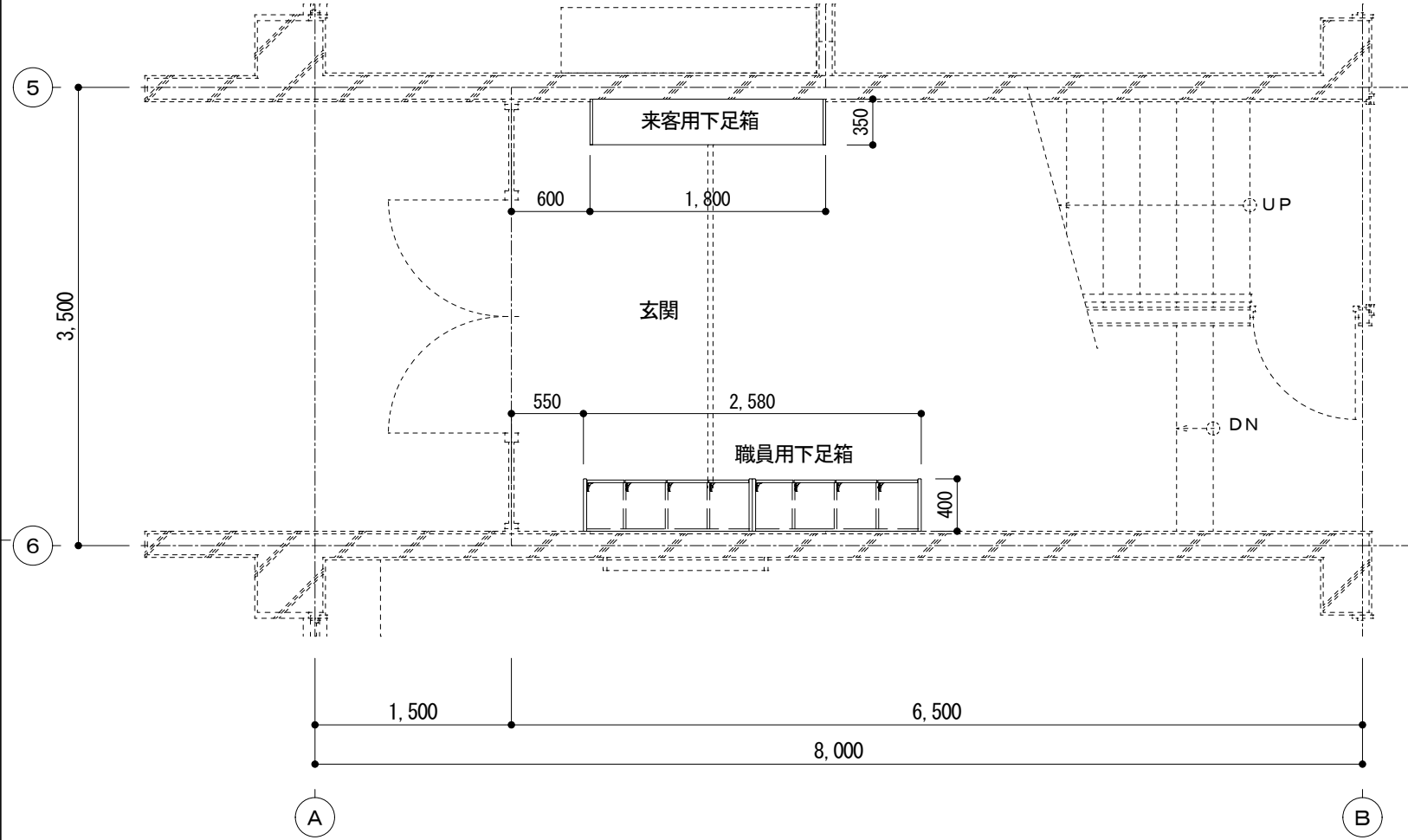
*斜線部の下足箱は撤去とする




来客用下足箱姿図 1/50

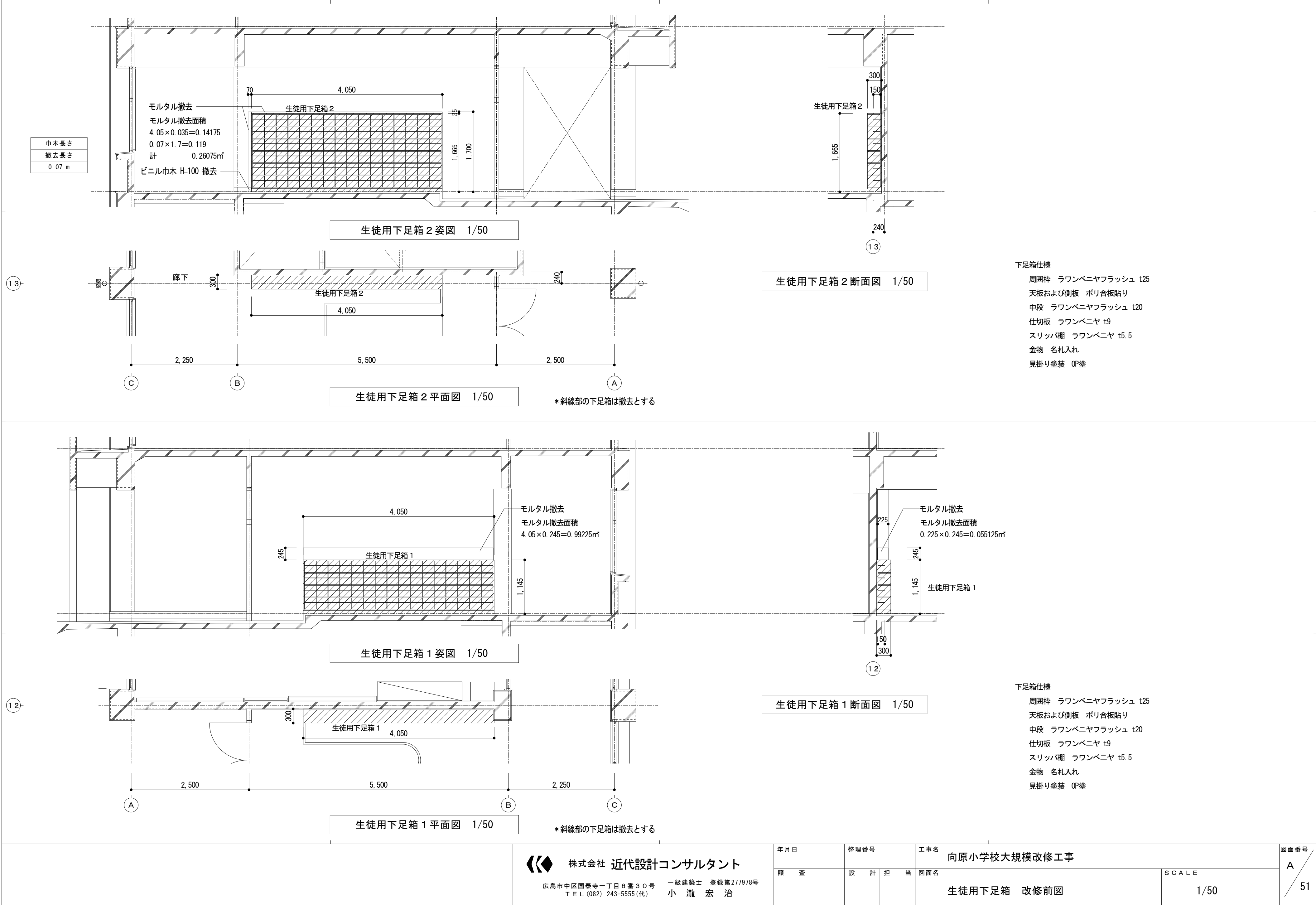
来客用・職員用下足箱断面図 1/50

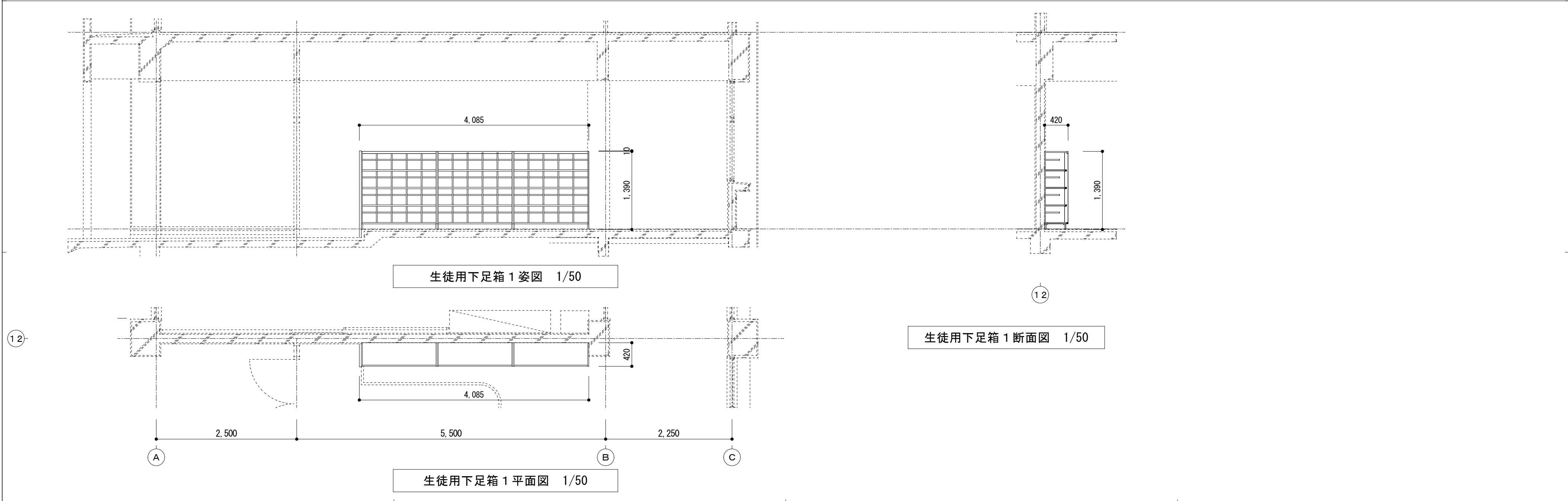
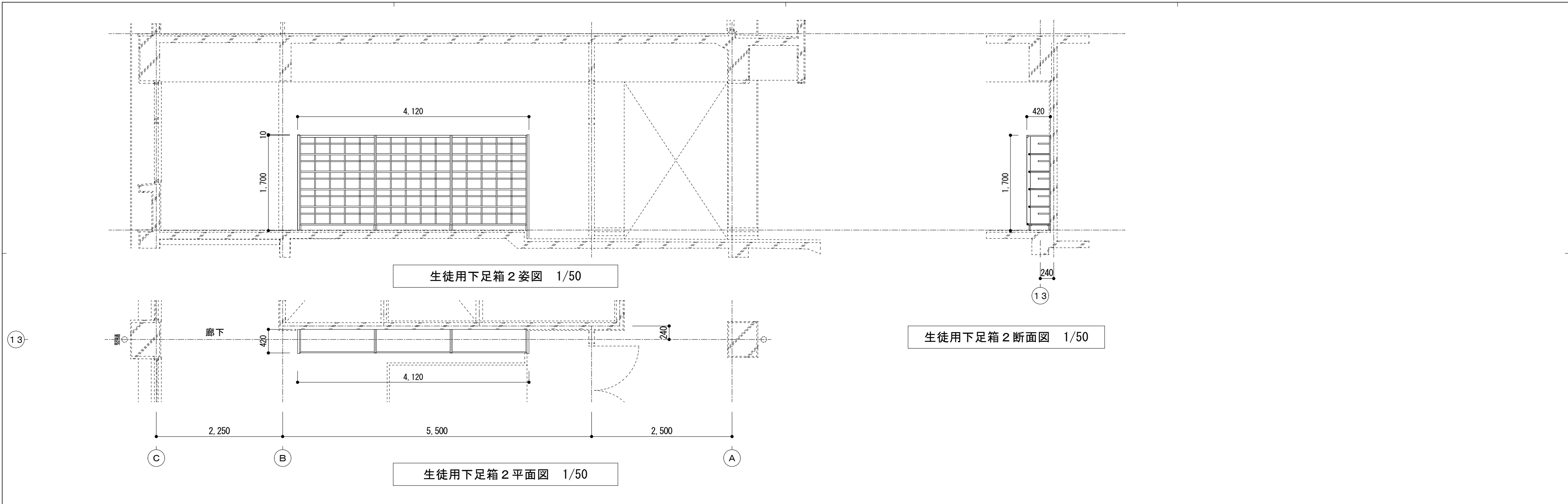
職員用下足箱姿図 1/50




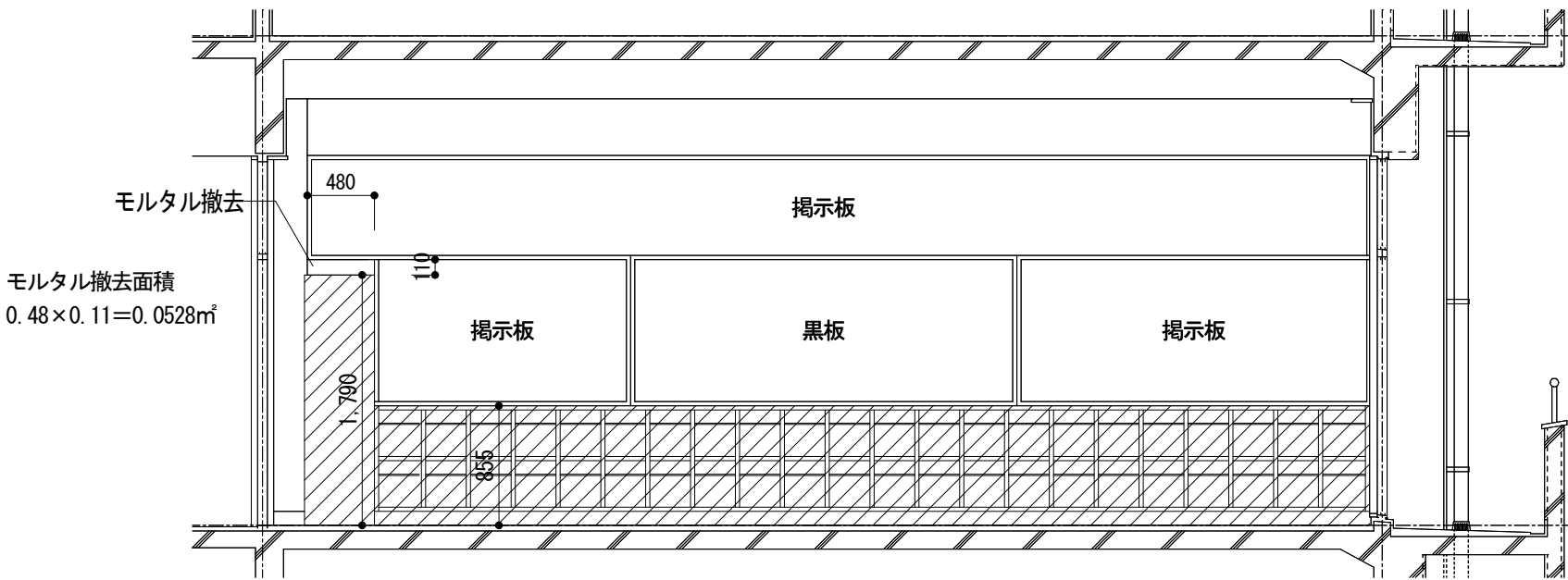
来客用・職員用下足箱平面図 1/50

<div><div></div><div>株式会社 近代設計コンサルタント</div></div> <div>広島市中区国泰寺一丁目 8 番 3 0 号 T E L (082) 243-5555 (代)</div> <div>一級建築士 登録第 277978 号 小 瀧 宏 治</div>	年月日		整理番号	工事名 向原小学校大規模改修工事		図面番号 A 50
	照 査	設 計	担 当	図面名 来客用・職員用下足箱 改修後図		



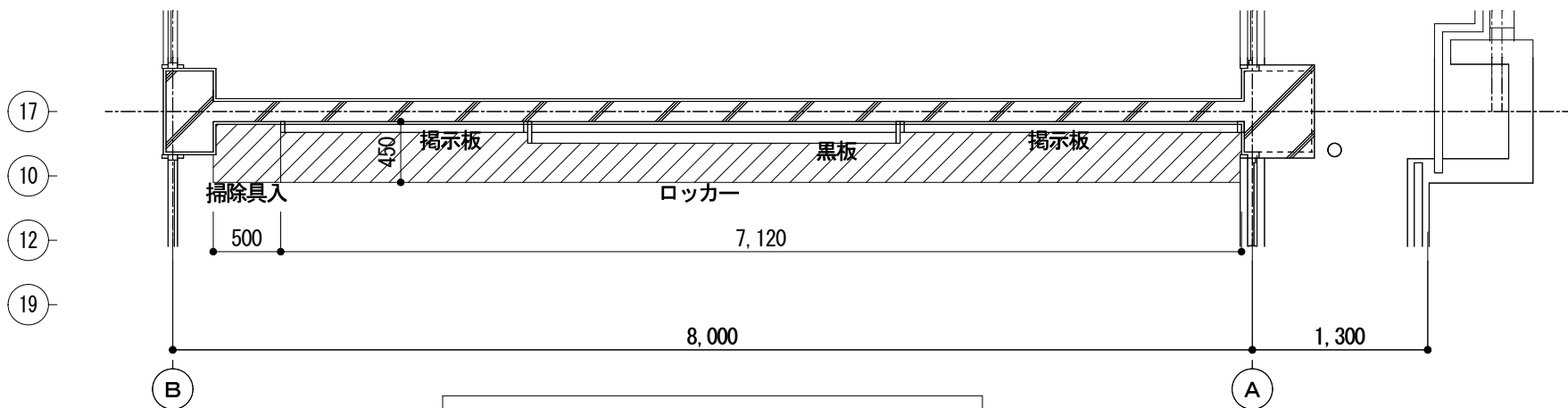


 株式会社 近代設計コンサルタント 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 TEL (082) 243-5555 (代)	年月日	整理番号	工事名	図面番号 A 52
	照 査	設 計 担 当	図面名 生徒用下足箱 改修後図	
SCALE				1/50



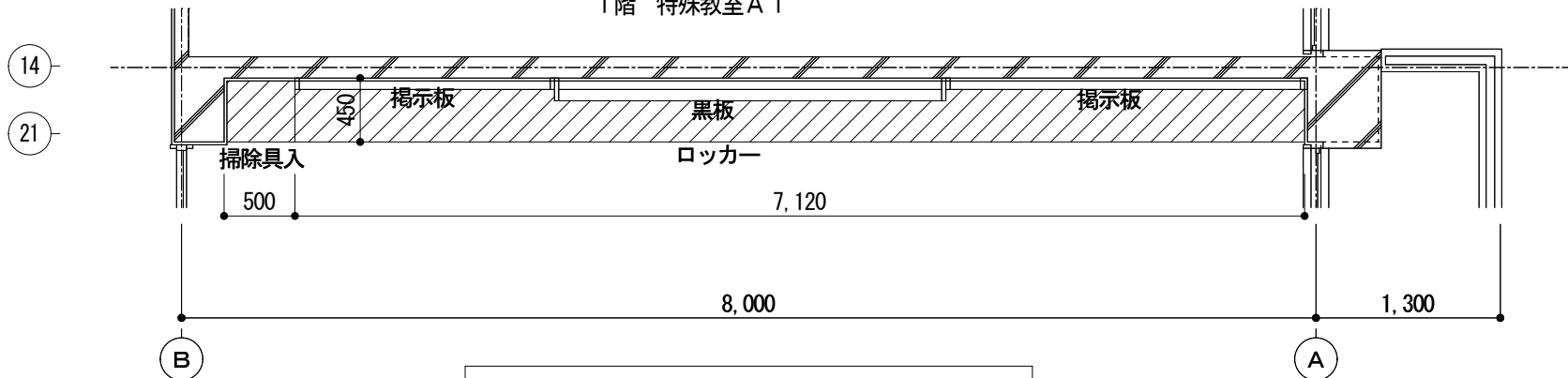
掃除具入・ロッカー姿図 1/50

対象教室 3階 普通教室4・6・7・8・PTA室
2階 普通教室1・2・3
1階 特殊教室A1



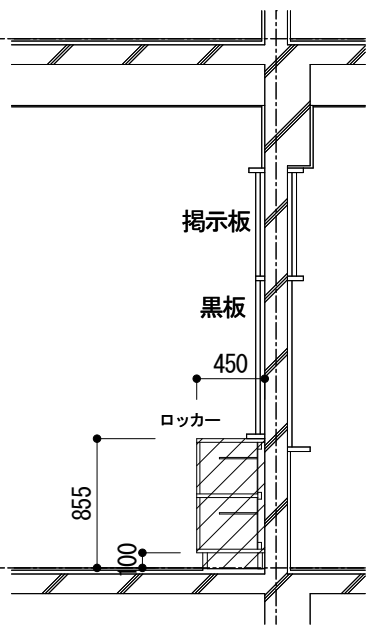
掃除具入・ロッカー平面図 1/50

対象教室 3階 普通教室4・7・8
2階 普通教室1・2・3
1階 特殊教室A1



掃除具入・ロッカー平面図 1/50

対象教室 3階 普通教室6・PTA室

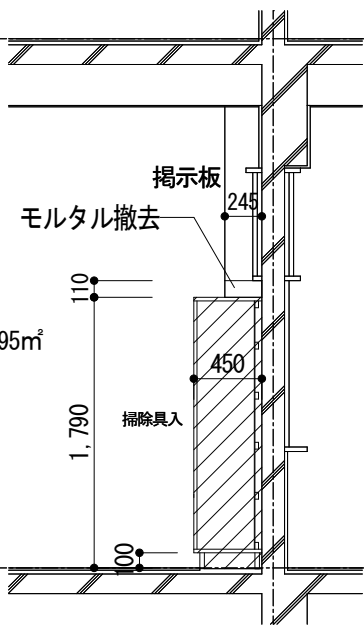


ロッカー断面図 1/50

対象教室 3階 普通教室4・6・7・8・PTA室
2階 普通教室1・2・3
1階 特殊教室A1

ロッカー仕様

天端・底板 ラワンベニヤフラッシュ t24
天端のみデコラ貼り
側・中板・側板 ラワンベニヤフラッシュ t24
背面 ラワンベニヤ t4
巾木 ラワン 30×105
中棚 ラワンベニヤ t9
金物 名札入れ
見掛け塗装 OP塗

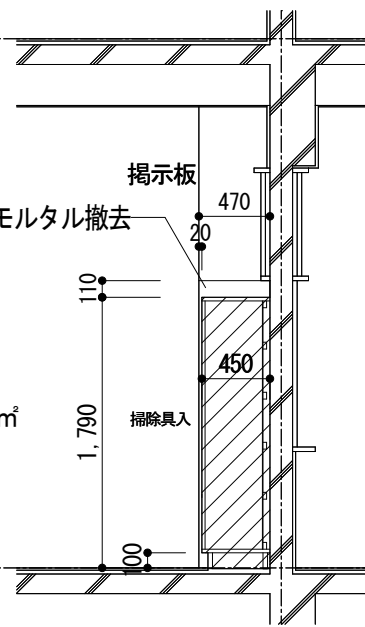


掃除具入断面図 1/50

対象教室 3階 普通教室4・7・8
2階 普通教室1・2・3
1階 特殊教室A1

掃除具入仕様

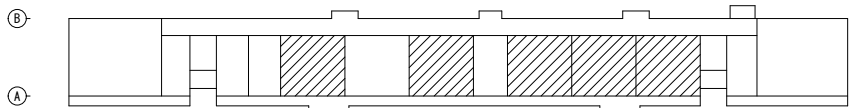
天端・側板・底板 シナベニヤフラッシュ t24
背板 シナベニヤ t4
巾木 ラワン 30×105
建具 ポリエステル化粧合板フラッシュ t21
金物 丁番(3枚吊り)・マグネットキャッチ(上下)・取手
内部備品 雑巾掛け・モップ掛け用ステンレスパイプφ25(座金付)
モップ掛用フック(3個)・名札入れ
棚 ラワンベニヤ t15
見掛け塗装 内外部共 OP塗



掃除具入断面図 1/50

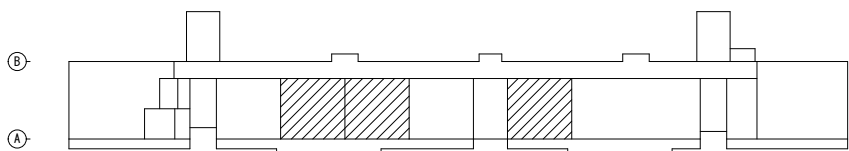
対象教室 3階 普通教室6・PTA室

*斜線部の掃除具入・ロッカーは撤去とする



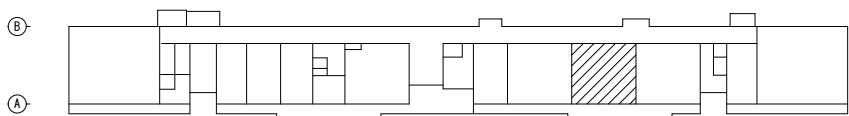
普通教室4・6・7・8・PTA室

3階



普通教室1・2・3

2階



特殊教室A1

1階

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖

対象教室キープラン 1/1000



株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号
TEL (082) 243-5555(代) 小 瀧 宏 治

年月日

整理番号

工事名

向原小学校大規模改修工事

照 査

設 計 担 当

図面名

教室 掃除具入・ロッカー 改修前図

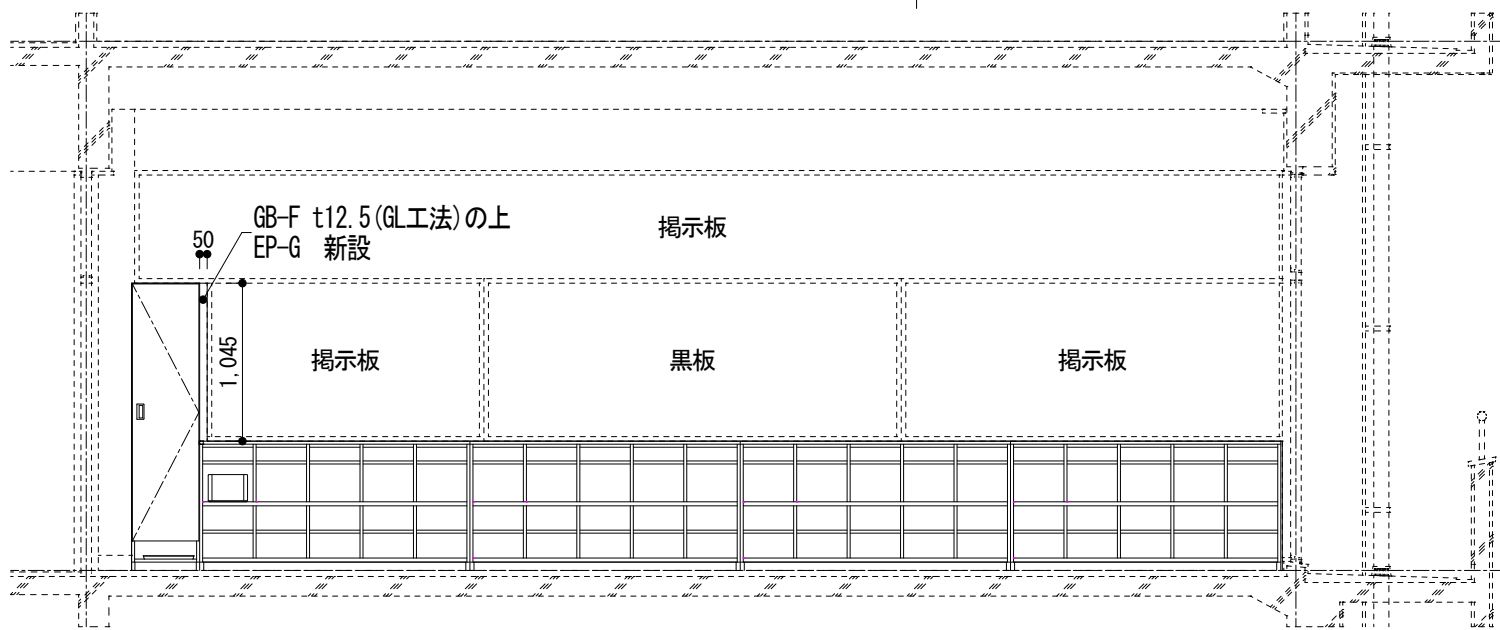
SCALE

1/50

図面番号

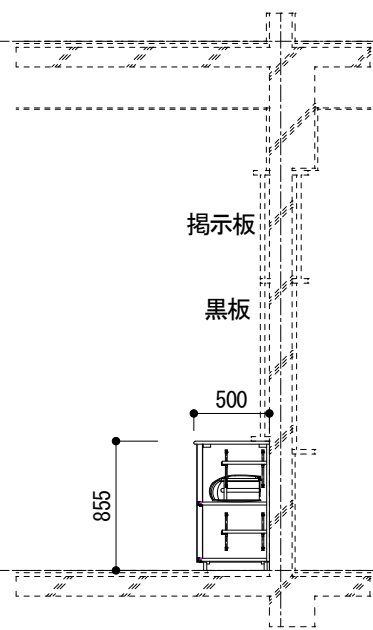
A

53



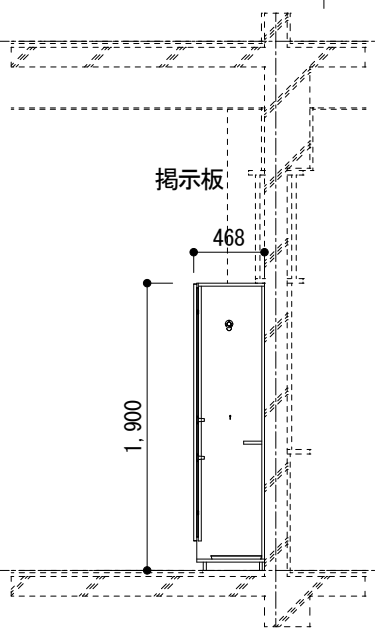
掃除具入・ロッカー姿図 1/50

対象教室 3階 普通教室4・6・7・8・PTA室
2階 普通教室1・2



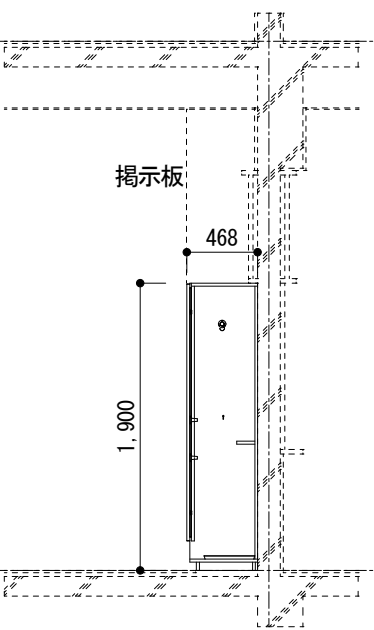
ロッカー断面図 1/50

対象教室 3階 普通教室4・6・7・8・PTA室
2階 普通教室1・2



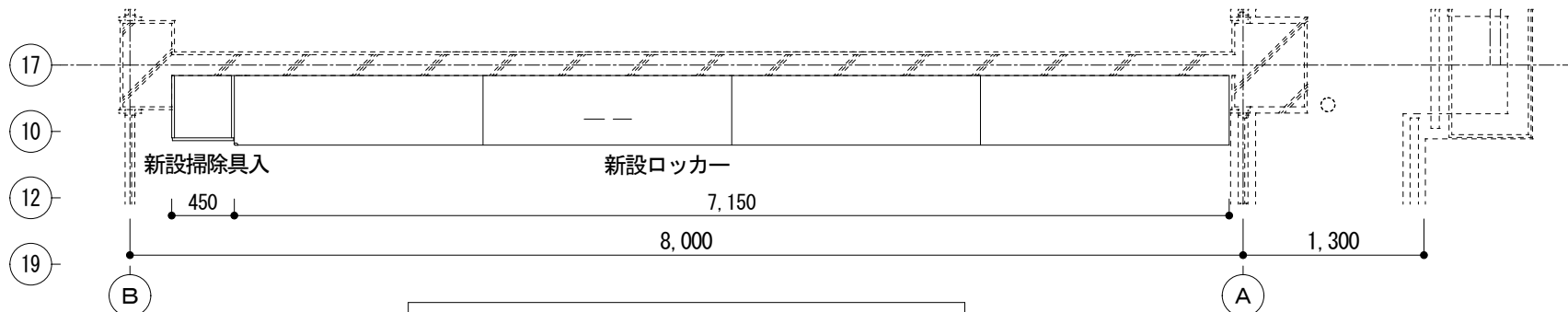
掃除具入断面図 1/50

対象教室 3階 普通教室4・7・8
2階 普通教室1・2



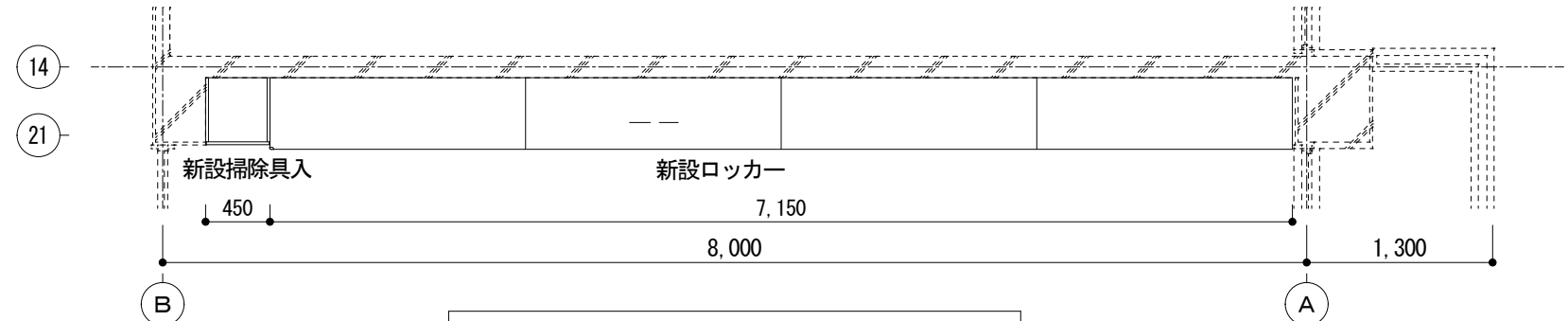
掃除具入断面図 1/50

対象教室 3階 普通教室6・PTA室



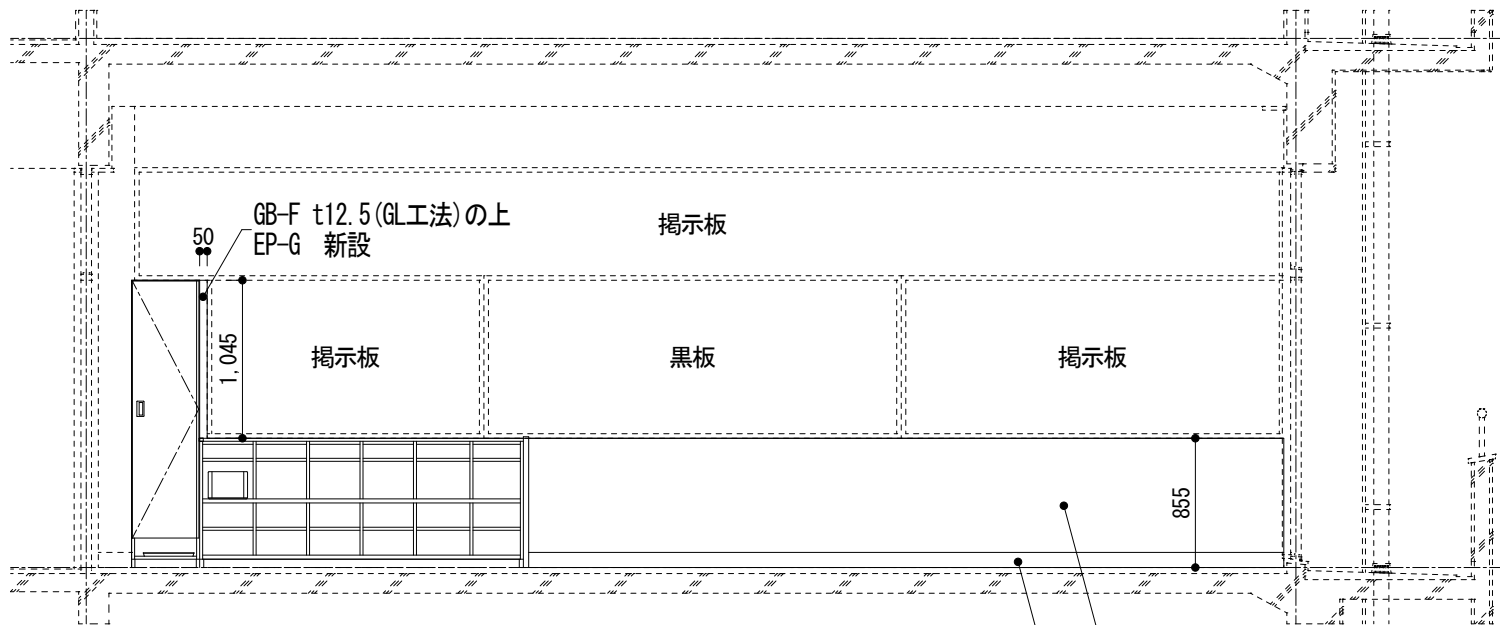
掃除具入・ロッカー平面図 1/50

対象教室 3階 普通教室4・7・8
2階 普通教室1・2



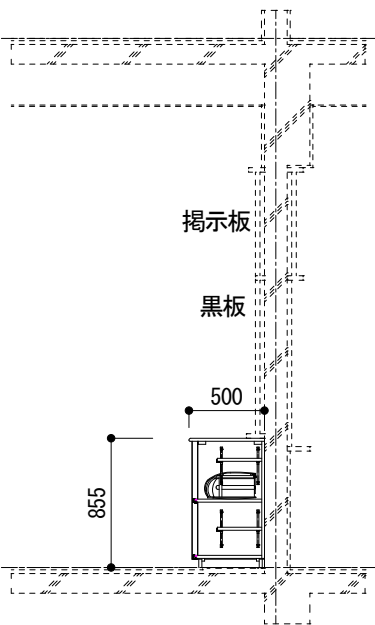
掃除具入・ロッカー平面図 1/50

対象教室 3階 普通教室6・PTA室



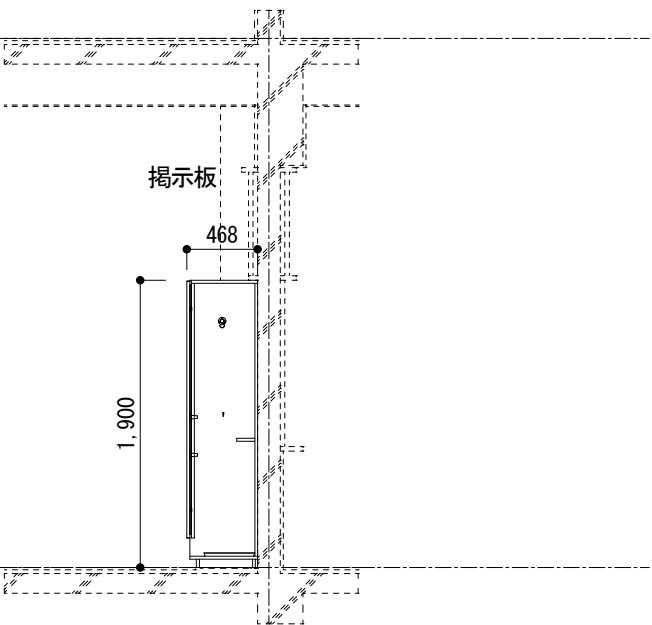
掃除具入・ロッカー姿図 1/50

対象教室 2階 普通教室3
1階 特殊教室A 1



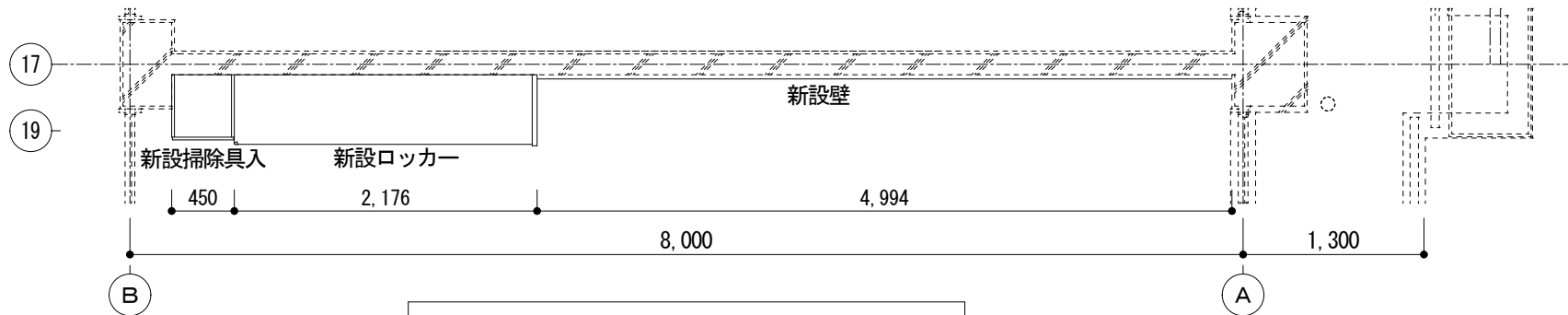
ロッカー断面図 1/50

対象教室 2階 普通教室3
1階 特殊教室A 1



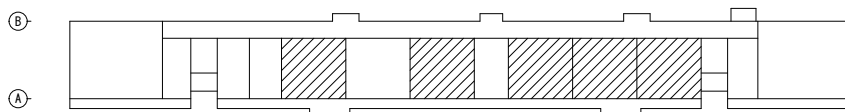
掃除具入断面図 1/50

対象教室 2階 普通教室3
1階 特殊教室A 1



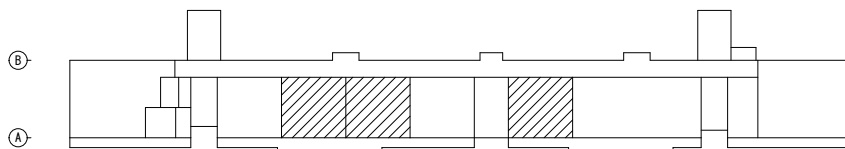
掃除具入・ロッカー平面図 1/50

対象教室 3階 普通教室4・7・8
2階 普通教室1・2



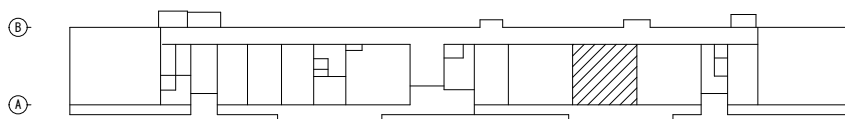
普通教室4・6・7・8・PTA室

3階



普通教室1・2・3

2階



特殊教室A 1

1階

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖

対象教室キープラン 1/1000



株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号
TEL (082) 243-5555 (代) 小 瀧 宏 治

年月日

整理番号

工事名 向原小学校大規模改修工事

図面番号

照 査

設 計 担 当

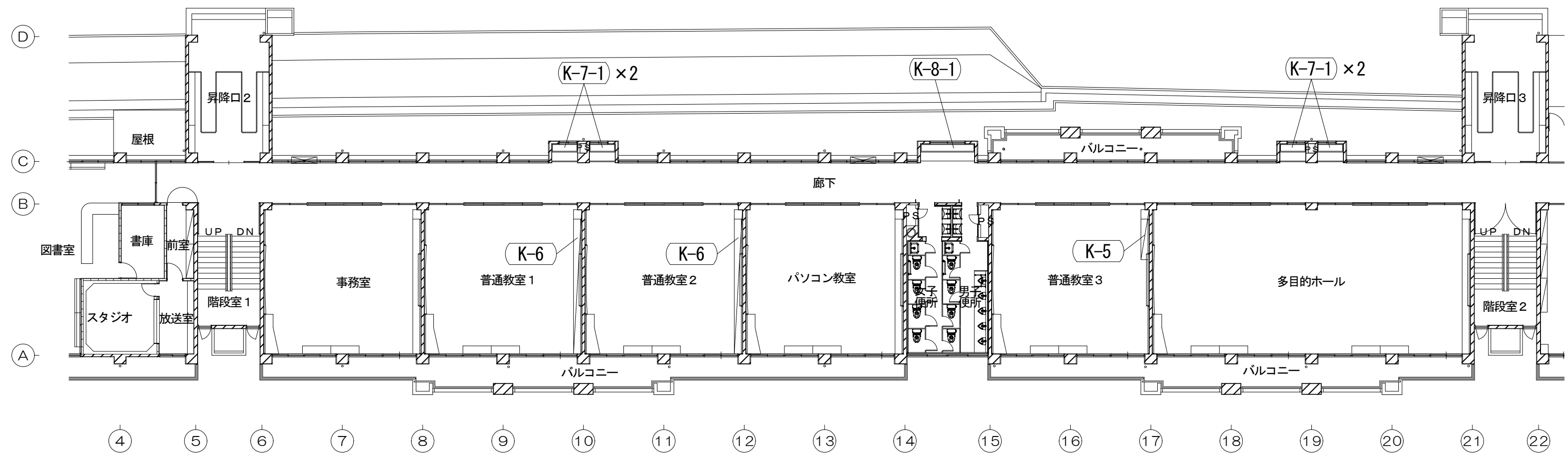
図面名 教室 掃除具入・ロッカー 改修後図

SCALE

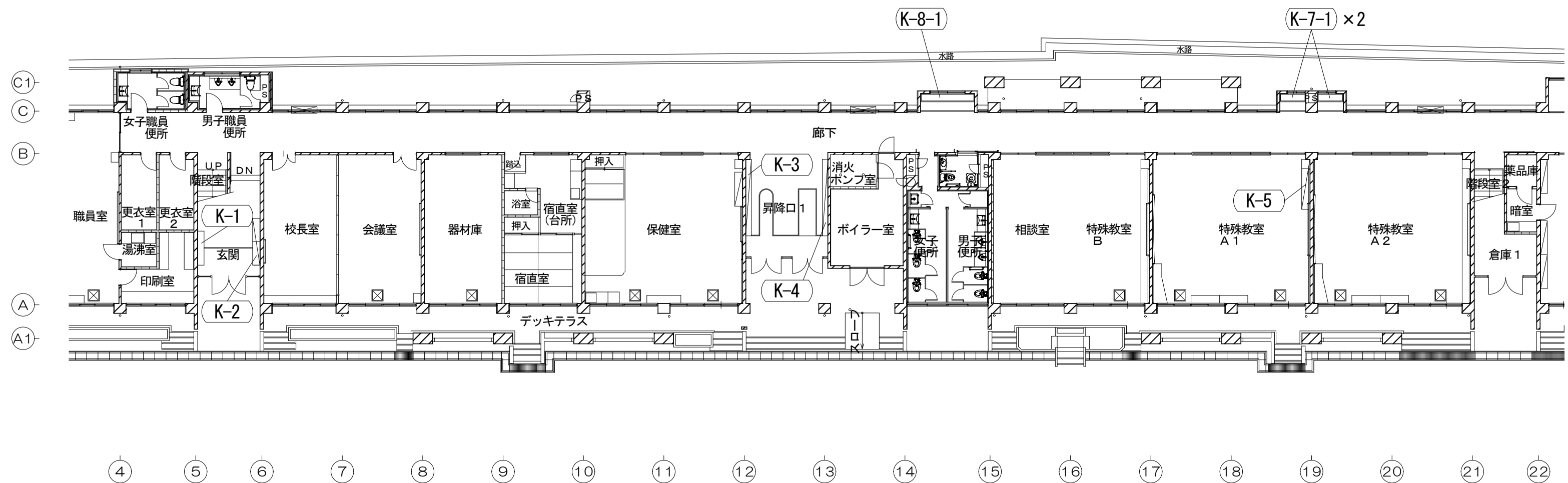
1/50

A

54



2 F



1 F



株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号
TEL (082) 243-5555 (代) 小 瀧 宏 治

年月日

照 査

整理番号

設 計 担 当

工事名

向原小学校大規模改修工事

図面名

家具配置図 1

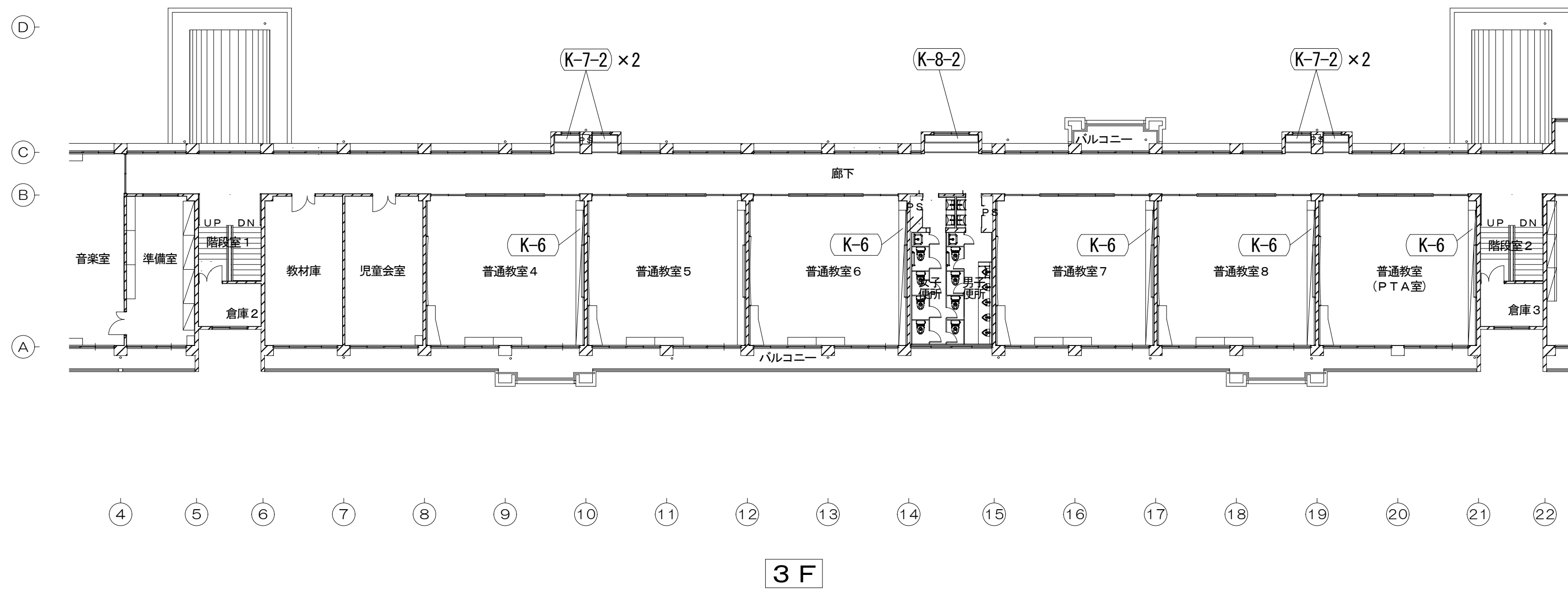
SCALE


1/200

図面番号

A

55



	<div><div></div><div>株式会社 近代設計コンサルタント</div><div>広島市中区国泰寺一丁目 8 番 3 0 号 一級建築士 登録第277978号 T E L (082) 243-5555 (代) 小 瀧 宏 治</div></div>	年月日	整理番号		工事名 向原小学校大規模改修工事		図面番号 A 56
		照 査	設 計 担 当		図面名 家具配置図 2	SCALE 1/200	

側板見付		本体見付		棚 板		作業天板		台輪角部		共 通 仕 様 表	
										木 材	ベタ芯を使用する箇所はファルカタ集成材とする
										外 装	ポリエステル樹脂板 F☆☆☆☆
										内 装	ポリエステル樹脂板 F☆☆☆☆
										接 着 剤	ゼロホルマリン接着剤使用 酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形接着剤 (F☆☆☆☆)
										本体側板見付	硬質耐候性樹脂エッジ (ABS樹脂製)
										本体見付	樹脂エッジ t0.45貼り (ABS樹脂製)
										棚 板	t20 ポリエステル樹脂板 F☆☆☆☆ 木口 : t2 セーフティエッジ (ABS樹脂)
										台 輪	ポリエステル樹脂板 F☆☆☆☆
										角部 : セーフティカバー27L (ABS樹脂製)	
										丁 番	105° 開きダンパー付スライド丁番 オートキャッチ機構付き
										開 戸	t20 ポリエステル樹脂板 F☆☆☆☆
										通気孔付取手 (ABS樹脂製 抗菌処理)	
										作業天板	t20 メラミン化粧板 t0.8 ポストフォーム加工 (PB芯 F☆☆☆☆)
										生産・品質管理	日本家具保証協会認定工場での生産及び管理製品とする
										施 工	建設業法の内装仕上工事業の登録業者又は同等以上の業者にて施工すること
										その他	※特記なき限り商品は単色とする

引出・開戸用取手

K-1. 来客用下足箱 (24足対応) ES-12

1F 玄関 1台

K-2. 教職員用下足入 (30人用) ETX-20

1F 玄関 1台

R付アルミエッジピース図

R付アルミエッジ

R付アルミエッジ詳細図

26.8 1.5 20 5.3

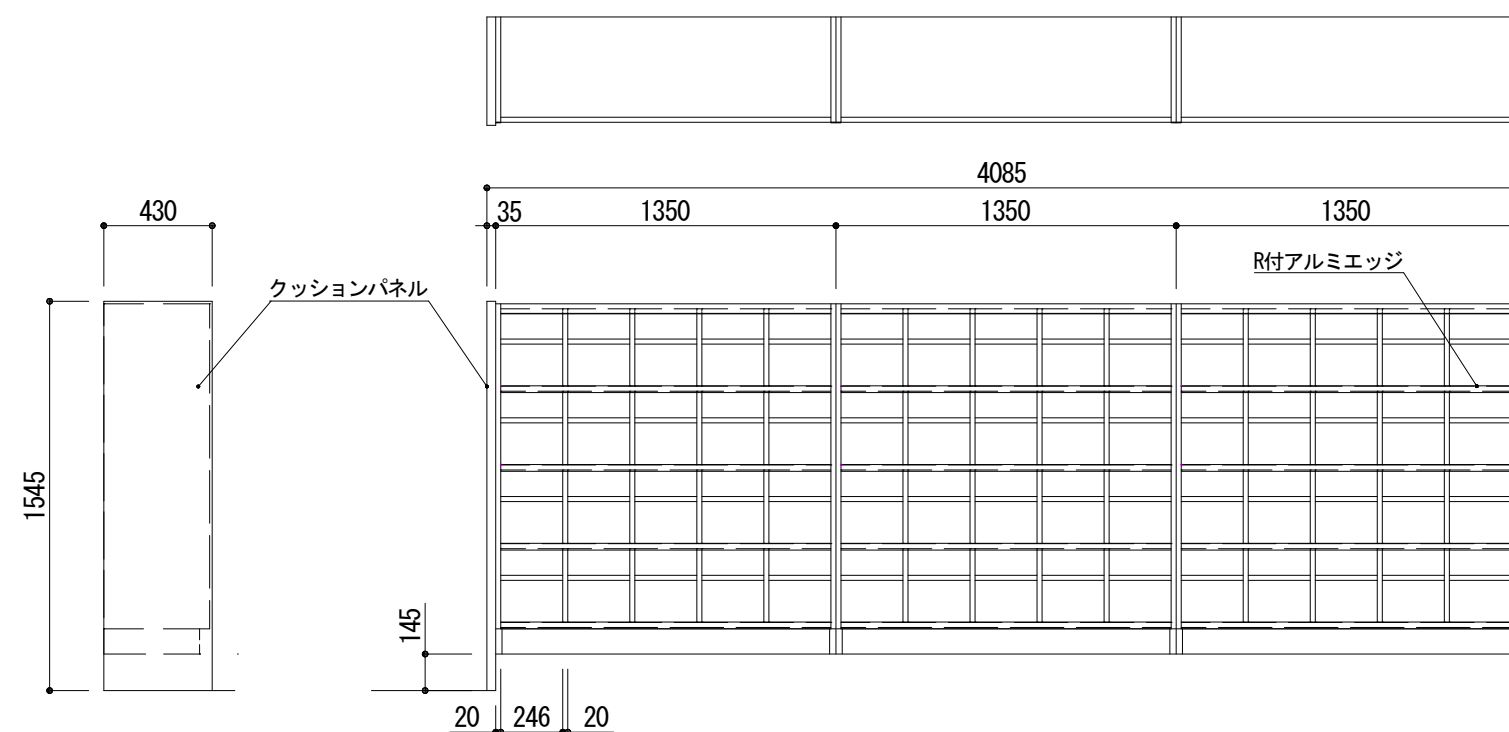
名 称	材 質・仕 様
外 装	ポリエステル樹脂板
内 装	ポリエステル樹脂板
棚 板	t20 メラミン化粧板
見 付	木口: R付アルミエッジ (品名ライン付) t2 セーフティエッジ (ABS樹脂)

VOD氏減素材 (空気調和設備用)

※パーティクルボード 芯材の使用は不可

<div><div><div><div></div></div><div>株式会社 近代設計コンサルタント</div></div><div><div>広島市中区国泰寺一丁目 8 番 3 0 号</div><div>一級建築士 登録第 277978 号</div><div>T E L (082) 243-5555 (代)</div><div>小 瀧 宏 治</div></div></div>	年月日	整理番号		工事名 向原小学校大規模改修工事		図面番号 A 57
	照 査	設 計	担 当	図面名 家具詳細図 1	SCALE 1/30	

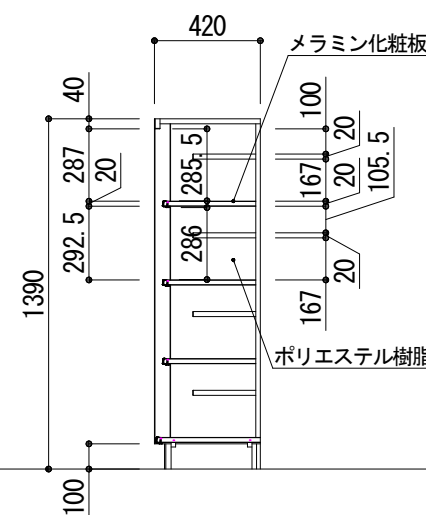
K-3. 低学年用下足入 (60人用) ESA-20L + CP-1



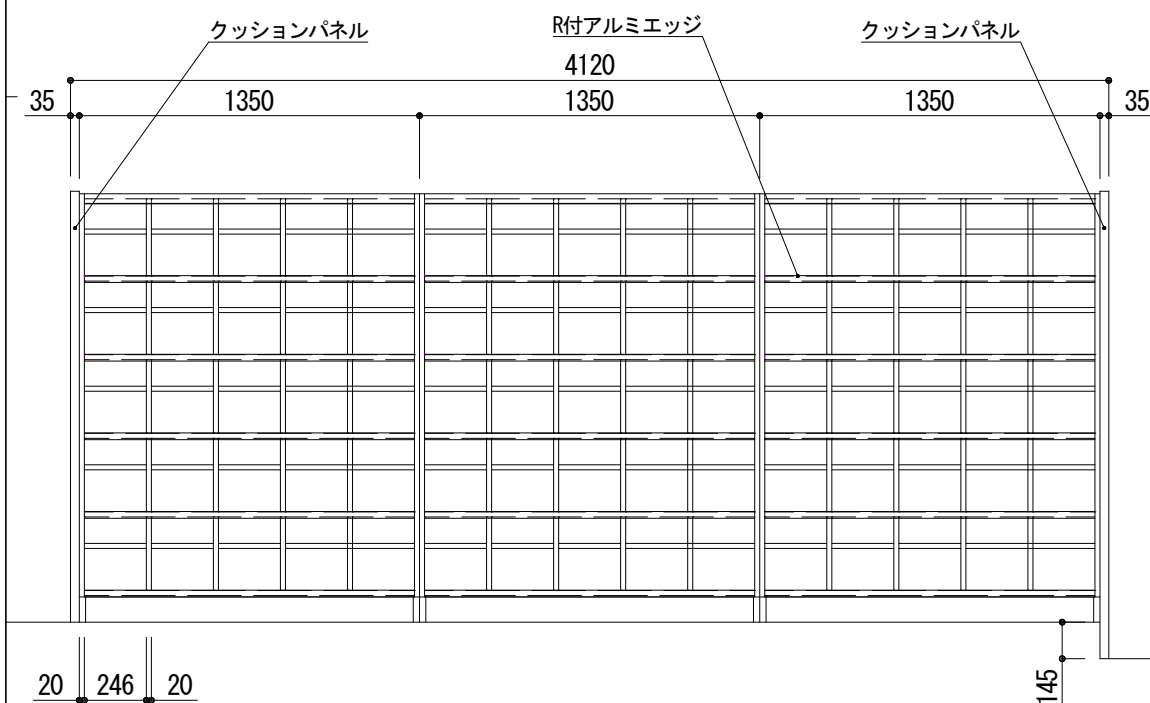
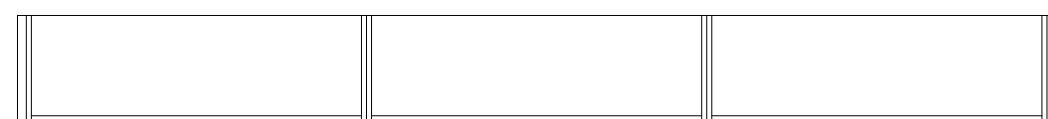
1F 昇降口 1組	
名 称	材 質 仕 様
外 装	ポリエステル樹脂板
内 装	ポリエステル樹脂板
上足樹脂板	t20 ポリエステル樹脂板
	木t12 セーフィエッジ(AE樹脂)
下足樹脂板	t20 メグミン化粧板
	木t12 Rリアルムエッジ(品名ライン付)
見 付	t2 セーフィエッジ(AE樹脂)
	(側板上面) 樹脂t12エッジ(AE樹脂)
	(底板) Rリアルムエッジ(品名ライン付)
台 輪	ポリエステル樹脂板
	角部 セーフィカバー27L(AE樹脂)
クッション パネル	表皮 ビニールレザー
	内部 ウレタン、合板

WQ氏威素材(空気調節機能)

※パーティクルボード芯材の使用は不可



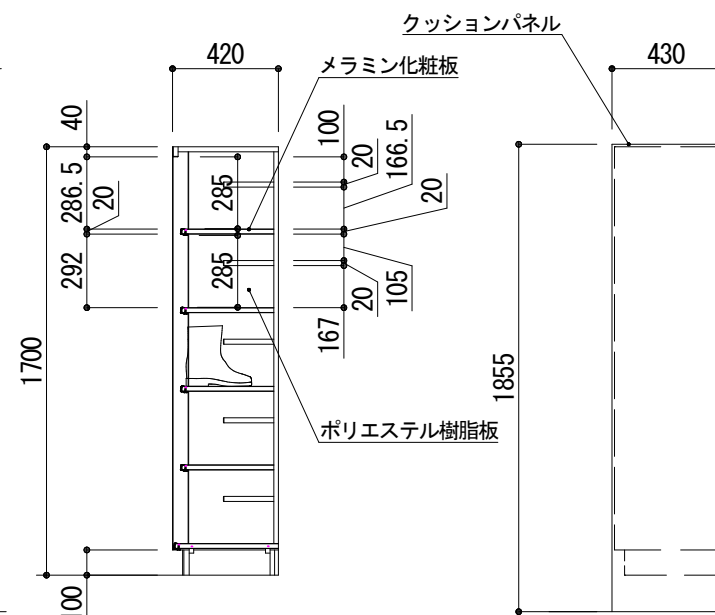
K-4. 高学年用下足入(75人用) ESA-20 + CP-1



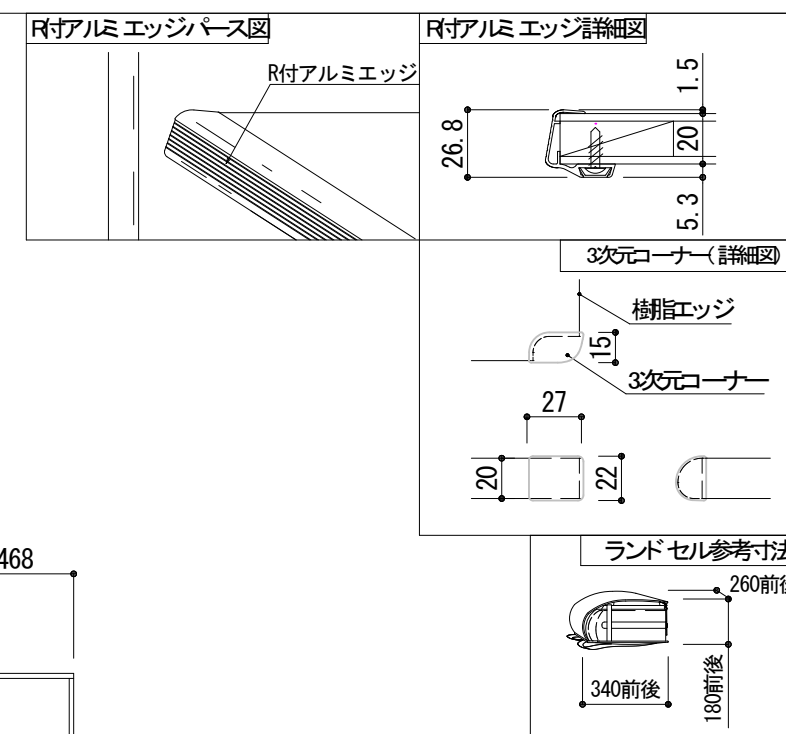
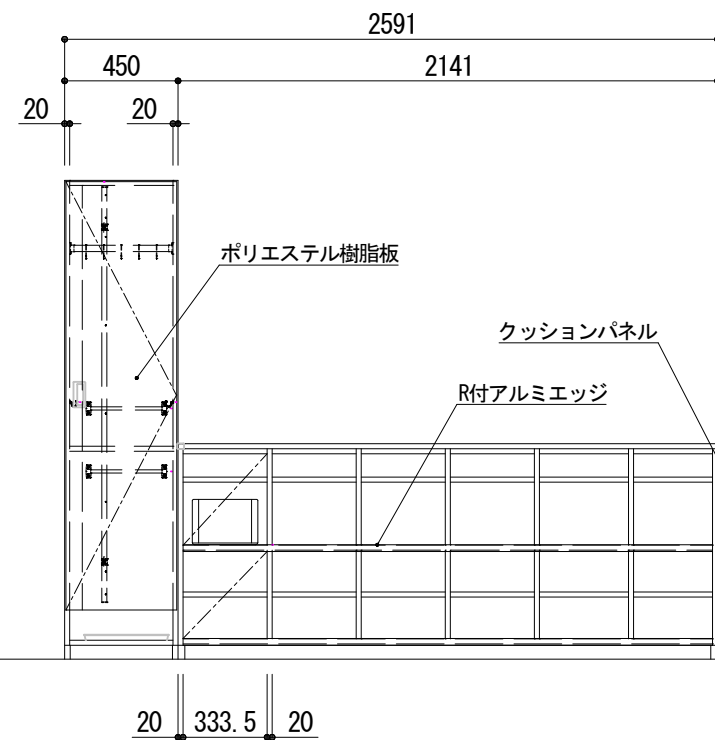
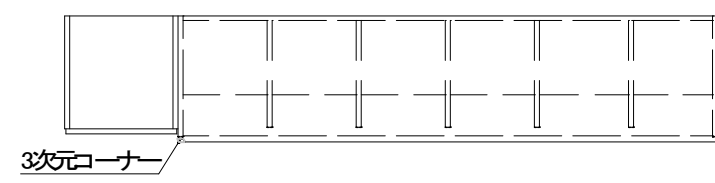
1F 昇降口 1組	
名 称	材 質・仕 様
外 装	ポリエステル樹脂版
内 装	ポリエステル樹脂版
上足脚排板	t20 ポリエステル樹脂版
下足脚排板	木口 t2 セーフティエッジ(A68樹脂)
	t20 メラミン化粧板
見 付	木口: R404に エッジ(品名ライン付)
	t2 セーフティエッジ(A68樹脂) (側板: 木口材に エッジ(A68樹脂)
台 輪	(底板: R404に エッジ(品名ライン付)
	ポリエステル樹脂版
クッション パネル	角部: セーフティカーブ27L(A68樹脂)
	表皮: ビーニールレザー 内装: プランタ、合板

VCE氏威素材 (空気触媒機能付)

※パーティクルボード芯材の使用は不可



K-5. 掃除用具入 + 背面ロッカー EXA-45-II + CXA-1800-I



背面コッカー	
名称	材質 仕様
作業仕様	t20 メラミン化粧板 10.8 ポストフォーム加工 33x75コーナー (H28) 1本
外装	ポリエステル樹脂板
内装	ポリエステル樹脂板
上段収納板	t20 ポリエステル樹脂板 木口: t2セーフティエッジ (ABS樹脂) 全面動画付 (樹脂製 20ピッチ) ・タボ 棚板スレ防止用楔型ナ
下段収納板	t20 ポリエステル樹脂板
底板	木口: R47アルミエッジ (品名ライン付)
見付	t2 セーフティエッジ (ABS樹脂)
台輪	ポリエステル樹脂板 角部 セーフティカーブ27L (ABS樹脂)
クッション ノベル	表皮: ビニールレザー 内装: ウレタン、合板
掃除用具入	
名称	材質 仕様
外装	ポリエステル樹脂板
内装	ポリエステル樹脂板
固定収納板	t20 ポリエステル樹脂板 木口: 樹脂エッジ (ABS樹脂) 樹脂エッジ (ABS樹脂)
見付	t20 ポリエステル樹脂板
開戸	木口: t2セーフティエッジ (ABS樹脂) 通気孔付取手 (ABS樹脂) ダンパー付スライド 丁番 反り矯正金具 L1660 1本
台輪	t20 ポリエステル樹脂板 角部 セーフティカーブ27L (ABS樹脂)
その他	ステンレス巻イブ φ25 (Shin5) 1本 ステンレス製Yボック IF-30 2個 ステンレスタコ1掛 L=300 2本 ステンレスツウ受皿 337×337×22 1個

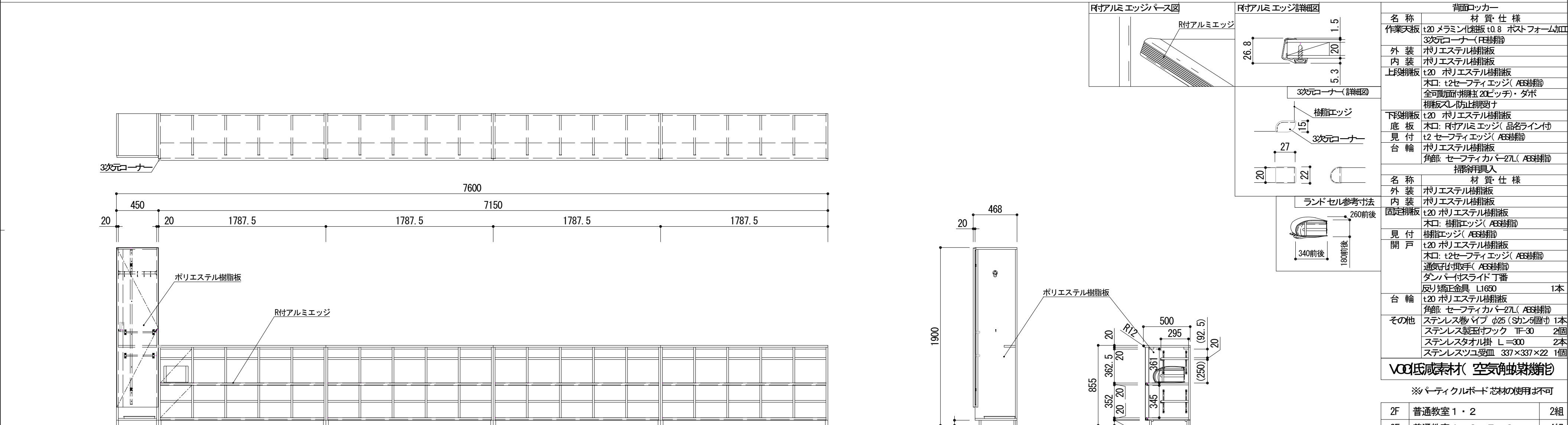
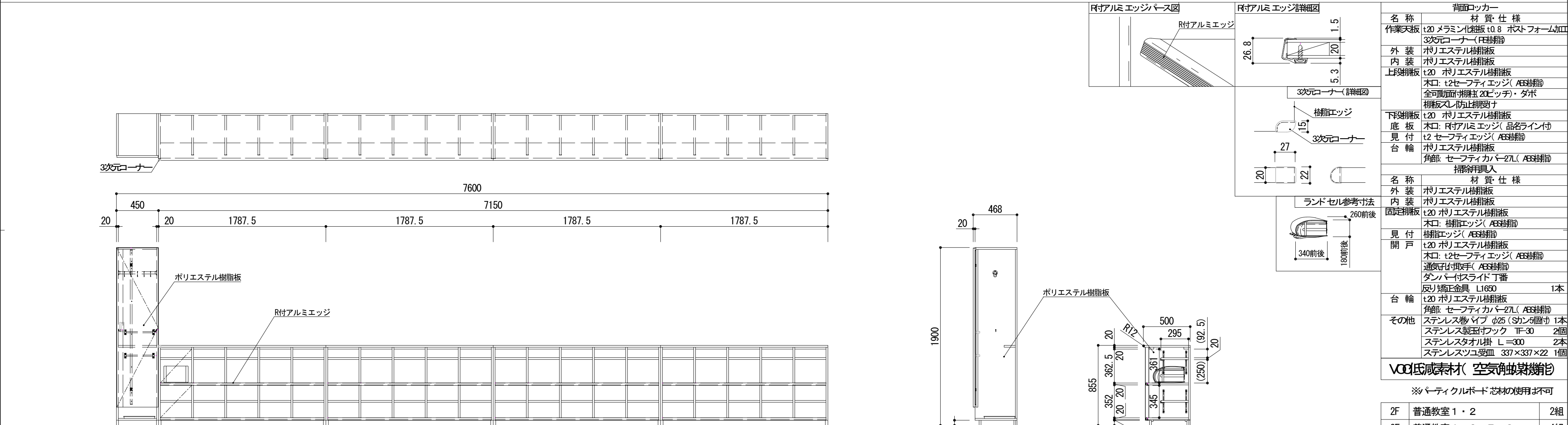
VOD氏威素材 (空気触媒装置)

※パーティクルボード芯材の使用は不可

1F	特殊教室 A 1	1組
2F	普通教室 3	1組
合計		2組

		図面番号 A 58
SCALE	1/30	

K-6. 掃除用具入 + 背面ロッカー EXA-45-II + CXA-1800-I 下記

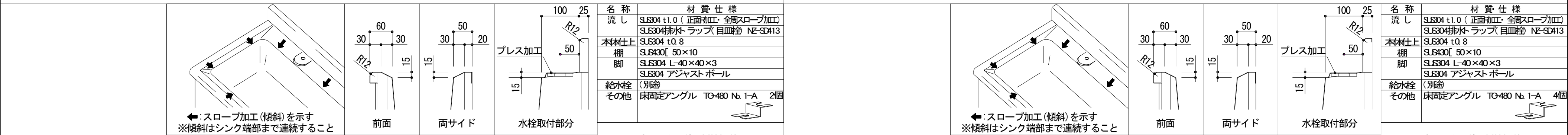


Technical Drawing Details:

- Top View (Bench):** Total length 7600mm. Components include a 3次元コーナー (3D corner), 450mm section, 20mm gaps, and four 1787.5mm sections. A 7150mm section is also indicated.
- Front View (Fume Hood):** Total height 1900mm. Work area height 855mm. Control panel height 362.5mm. Work area width 500mm. Control panel width 295mm. Depth 345mm. R12 radius for the control panel. Materials: ポリエステル樹脂板 (polyester resin plate), R付アルミエッジ (R-shaped aluminum edge).

[illegible]

K-7-1、K-7-2. 廊下手洗い YMD-19	下記	K-8-1、K-8-2. 廊下手洗い YMD-19	下記
---------------------------	----	---------------------------	----



←: スロープ加工 (傾斜) を示す
※傾斜はシンク端部まで連続すること

前面

両サイド

水栓取付部分

名称	材質・仕様
流し	SL6304 t1.0 (正面加工・全周スロープ加工) SL6304排水口 ラップ (目皿全) NZ-SD413
本体土台	SL6304 t0.8
棚	SL6304 50×10
脚	SL6304 L-40×40×3
給水栓	SL6304 アジャスト ボール
その他	(別途) 床固定アングル TO-480 No.1-A 2個

←: スロープ加工 (傾斜) を示す
※傾斜はシンク端部まで連続すること

前面

両サイド

水栓取付部分

名称	材質・仕様
流し	SL6304 t1.0 (正面加工・全周スロープ加工) SL6304排水口 ラップ (目皿全) NZ-SD413
本体土台	SL6304 t0.8
棚	SL6304 50×10
脚	SL6304 L-40×40×3
給水栓	SL6304 アジャスト ボール
その他	(別途) 床固定アングル TO-480 No.1-A 4個

図 1 取付方法				図 2 取付方法			
<p>←: スロープ加工 (傾斜) を示す ※傾斜はシンク端部まで連続すること</p>		<p>前面 両サイド</p>		<p>←: スロープ加工 (傾斜) を示す ※傾斜はシンク端部まで連続すること</p>		<p>前面 両サイド</p>	
<p>水栓取付部分</p>		<p>水栓取付部分</p>					
<p>名称 材質・仕様</p> <p>流し SL6304 t1.0 (正面加工・全周スロープ加工) SL6304排水口 ラップ (目皿全) NZ-SD413</p> <p>本体土台 SL6304 t0.8</p> <p>棚板 SL6304 50×10</p> <p>脚 SL6304 L-40×40×3</p> <p>給水栓 SL6304 アジャスト ボール</p> <p>その他 (別途)</p> <p>床固定アングル TO-480 No.1-A 2個</p>		<p>名称 材質・仕様</p> <p>流し SL6304 t1.0 (正面加工・全周スロープ加工) SL6304排水口 ラップ (目皿全) NZ-SD413</p> <p>本体土台 SL6304 t0.8</p> <p>棚板 SL6304 50×10</p> <p>脚 SL6304 L-40×40×3</p> <p>給水栓 SL6304 アジャスト ボール</p> <p>その他 (別途)</p> <p>床固定アングル TO-480 No.1-A 4個</p>					

←: スロープ加工 (傾斜) を示す
※傾斜はシンク端部まで連続すること

前面

両サイド

水栓取付部分

名称	材質・仕様
流し	SL6304 t1.0 (正面加工・全周スロープ加工) SL6304排水口 ラップ (目皿全) NZ-SD413
本体土台	SL6304 t0.8
棚	SL6304 50×10
脚	SL6304 L-40×40×3
給水栓	SL6304 アジャスト ボール
その他	(別途) 床固定アングル TO-480 No.1-A 2個

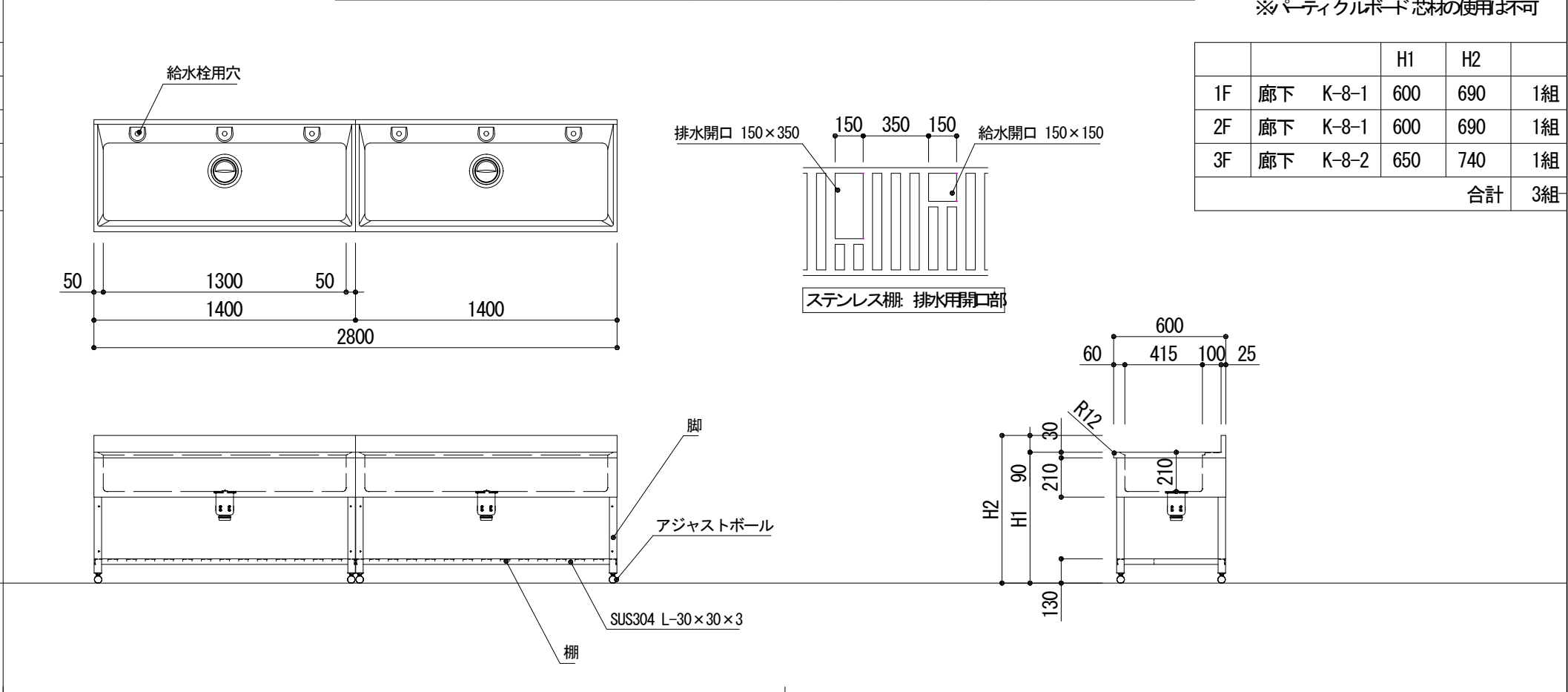
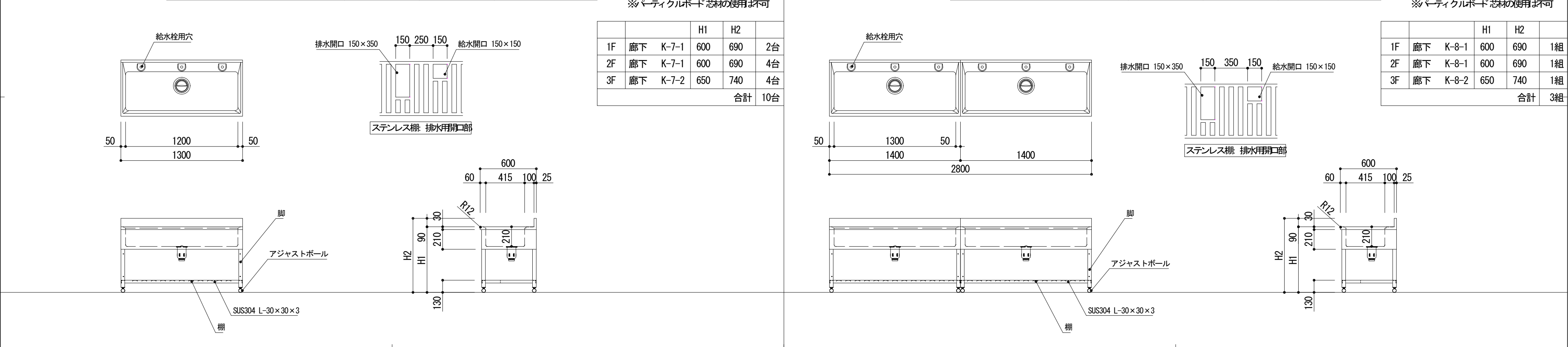
←: スロープ加工 (傾斜) を示す
※傾斜はシンク端部まで連続すること

前面

両サイド

水栓取付部分

名称	材質・仕様
流し	SL6304 t1.0 (正面加工・全周スロープ加工) SL6304排水口 ラップ (目皿全) NZ-SD413
本体土台	SL6304 t0.8
棚	SL6304 50×10
脚	SL6304 L-40×40×3
給水栓	SL6304 アジャスト ボール
その他	(別途) 床固定アングル TO-480 No.1-A 4個



給水栓用穴

排水開口 150×350

150 350 150

給水開口 150×150

ステンレス棚 排水用開口部

50 1300 50 1400 1400 2800

脚

アジャストボール

SUS304 L-30×30×3

棚

600 60 415 100 25

R12

H2 90 30 210 210 130

			H1	H2	
1F	廊下	K-8-1	600	690	1組
2F	廊下	K-8-1	600	690	1組
3F	廊下	K-8-2	650	740	1組
合計					3組

※マーティクルボード 芯材の使用不可

給水栓用穴

排水開口 150×350

150 350 150

給水開口 150×150

ステンレス棚 排水用開口部

50 1300 50 1400 1400 2800

脚

アジャストボール

SUS304 L-30×30×3

棚

600 60 415 100 25

R12

H2 90 30 210 210 130

			H1	H2	
1F	廊下	K-8-1	600	690	1組
2F	廊下	K-8-1	600	690	1組
3F	廊下	K-8-2	650	740	1組
合計					3組

※マーティクルボード 芯材の使用不可

給水栓用穴

排水開口 150×350

150 350 150

給水開口 150×150

ステンレス柵 排水用開口部

			H1	H2	
1F	廊下	K-8-1	600	690	1組
2F	廊下	K-8-1	600	690	1組
3F	廊下	K-8-2	650	740	1組
合計					3組

50 1300 50 1400 1400 2800

脚

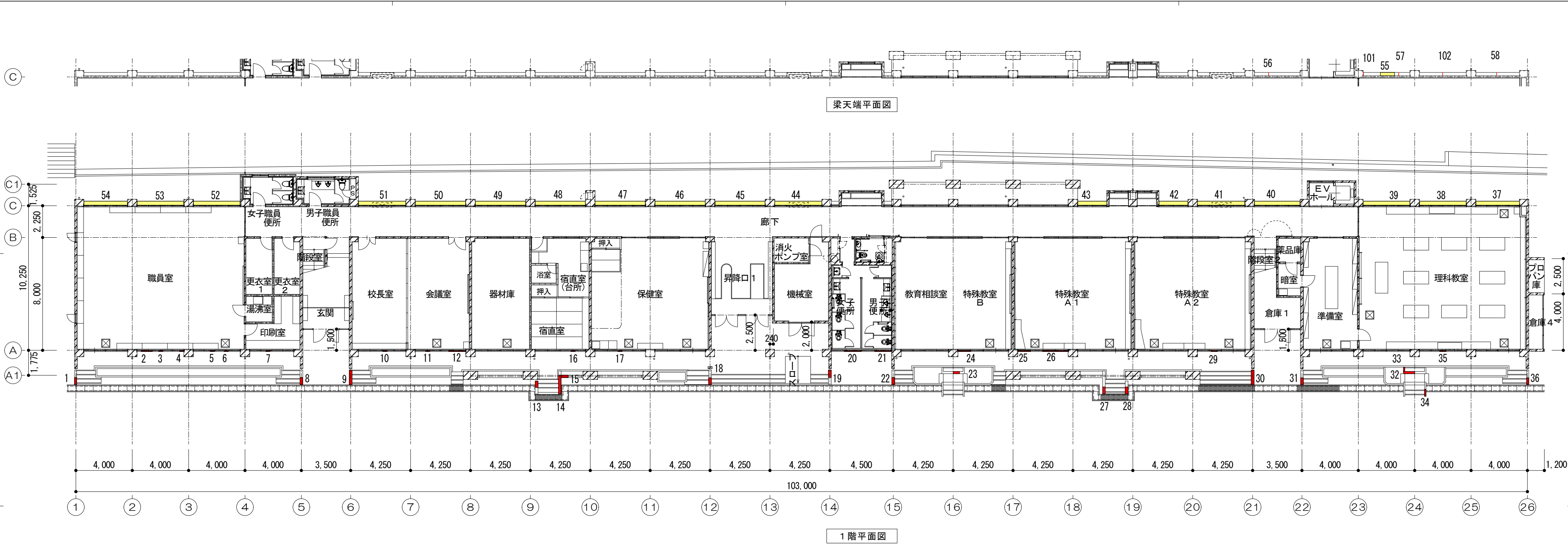
アジャストボール

SUS304 L-30×30×3

柵

600 60 415 100 25

H2 90 30 210 210 130

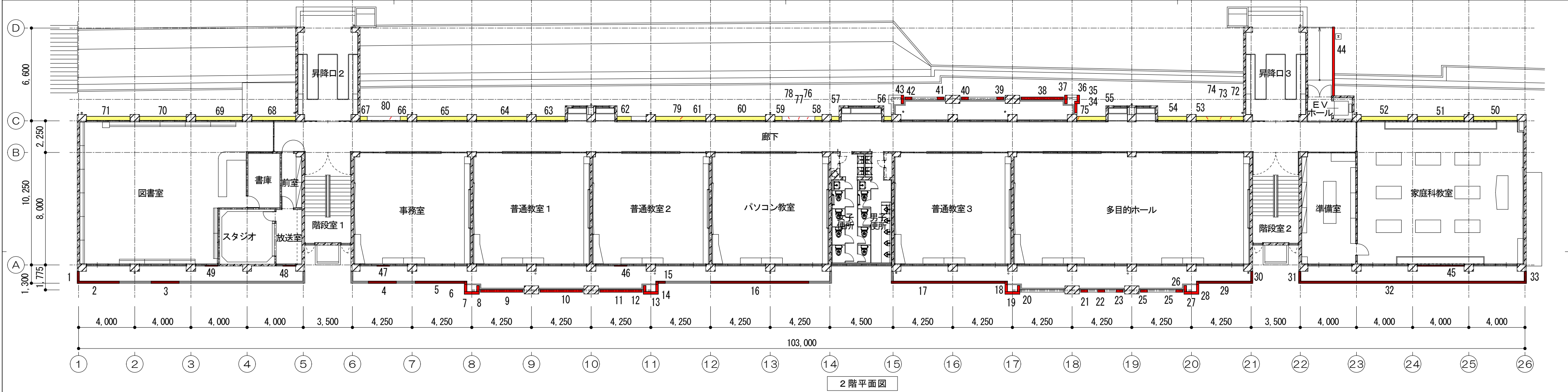


番号	下地	浮き狭幅部長さ m	浮き面積 m ² <small>小数点第三位以下を四捨五入</small>	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m
1	M	0.5				
2	M	0.8				
3	M	0.3				
4	M	0.3				
5	M	0.3				
6	M	0.3				
7	M	0.3				
8	M	0.5				
9	M	1.05				
10	M	0.3				
11	M	0.3				
12	M	1.2				
13	M	0.5				
14	M	1.3				
15	M	0.5				
16	M	0.3				
17	M	0.3				
18	M	0.5				
	小計	9.55	(1)			

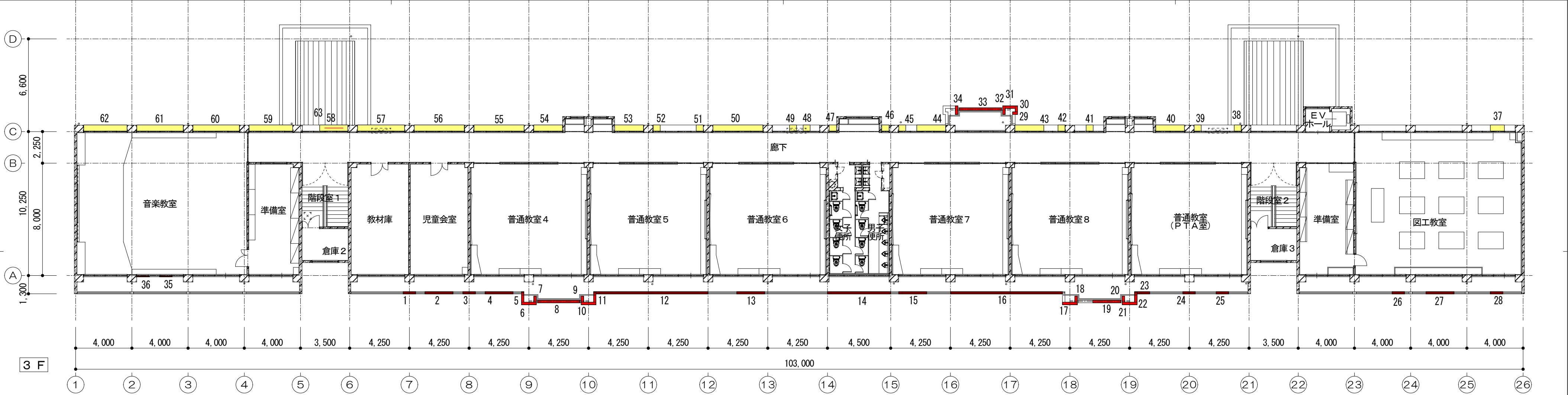
番号	下地	浮き狭幅部長さ m	浮き面積 m ² <small>小数点第三位以下を四捨五入</small>	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m
19	M	0.5				
20	M	1.2				
21	M	1.2				
22	M	0.5				
23	M	0.5				
24	M	0.9				
25	M	0.9				
26	M	1.3				
27	M	0.5				
28	M	0.5				
29	M	0.45				
30	M	1.05				
31	M	0.5				
32	M	0.8				
33	M	0.3				
34	M	0.5				
35	M	0.45				
36	M	0.5				
	小計	12.55	(2)			

番号	下地	計算式	浮き面積 m ² <small>小数点第三位以下を四捨五入</small>	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m
37	M	0.285 × 3.085	0.87			
38	M	0.285 × 3.31	0.94			
39	M	0.285 × 3.31	0.94			
40	M	0.285 × 3.23	0.92			
41	M	0.285 × 3.35	0.95			
42	M	0.285 × 2.05	0.58			
43	M	0.285 × 2.05	0.58			
44	M	0.285 × 3.335	0.95			
45	M	0.285 × 3.56	1.01			
46	M	0.285 × 3.56	1.01			
47	M	0.285 × 3.56	1.01			
48	M	0.285 × 3.56	1.01			
49	M	0.285 × 3.56	1.01			
50	M	0.285 × 3.56	1.01			
51	M	0.285 × 3.35	0.95			
52	M	0.285 × 3.31	0.94			
53	M	0.285 × 3.31	0.94			
54	M	0.285 × 3.085	0.87			
	小計		16.49 (3)			

番号	下地	計算式	浮き面積 m ² <small>小数点第三位以下を四捨五入</small>	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m
55	M	0.24 × 1.0	0.24			
	小計		0.24 (4)			
番号	下地	計算式	浮き面積 m ²	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m
56	M			0.24	0.2~0.5	
57	M			0.24	0.2~0.5	
58	M			0.24	0.2~0.5	
	小計			0.72 (5)		
番号	下地	計算式	浮き面積 m ²	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m
101	M			0.24	0.5~1.0	
102	M			0.24	0.5~1.0	
	小計			0.48 (6)		



浮き狭幅部長さ							浮き面積	ひび割長	ひび割巾	錆鉄筋長	番号	下地	浮き狭幅部長さ	浮き面積	ひび割長	ひび割巾	錆鉄筋長	番号	下地	計算式	浮き面積	ひび割長	ひび割巾	錆鉄筋長	番号	下地	計算式	浮き面積	ひび割長	ひび割巾	錆鉄筋長			
小数点第三位以下切り捨て							小数点第三位以下切り捨て							小数点第三位以下切り捨て							小数点第三位以下切り捨て													
1	M	0.69									27	M	1.06						50	M	0.285 × 3.085	0.87				72	M			0.25	0.2~0.5			
2	M	3.0									28	M	0.75						51	M	0.285 × 3.31	0.94				73	M			0.25	0.2~0.5			
3	M	2.0									29	M	3.68						52	M	0.285 × 3.31	0.94				74	M			0.25	0.2~0.5			
4	M	2.0									30	M	0.69						53	M	0.285 × 3.35	0.95				75	M			0.25	0.2~0.5			
5	M	3.5									31	M	0.69						54	M	0.285 × 2.05	0.58				76	M			0.25	0.2~0.5			
6	M	0.75									32	M	16.22						55	M	0.285 × 2.05	0.58				77	M			0.25	0.2~0.5			
7	M	1.06									33	M	0.69						56	M	0.285 × 0.525	0.14				78	M			0.25	0.2~0.5			
8	M	0.43									34	M	0.66						57	M	0.285 × 0.525	0.14				79	M			0.25	0.2~0.5			
9	M	3.01									35	M	0.355						58	M	0.285 × 0.5	0.14				80	M			0.25	0.2~0.5			
10	M	3.01									36	M	0.43						59	M	0.285 × 0.5	0.14					小計			2.25 (10)				
11	M	3.01									37	M	0.61						60	M	0.285 × 3.56	1.01												
12	M	0.43									38	M	3.01						61	M	0.285 × 3.56	1.01												
13	M	1.06									39	M	0.5						62	M	0.285 × 1.0	0.28												
14	M	0.75									40	M	0.5						63	M	0.285 × 2.05	0.58												
15	M	0.5									41	M	0.5						64	M	0.285 × 3.56	1.01												
16	M	7.0									42	M	0.5						65	M	0.285 × 3.56	1.01												
17	M	8.1									43	M	0.61						66	M	0.285 × 0.5	0.14												
18	M	0.75									44	M	4.9						67	M	0.285 × 0.5	0.14												
19	M	1.06									45	M	3.31						68	M	0.285 × 3.1	0.88												
20	M	0.43									46	M	0.9						69	M	0.285 × 3.31	0.94												
21	M	0.5									47	M	0.9						70	M	0.285 × 3.31	0.94												
22	M	0.5									48	M	0.9						71	M	0.285 × 3.085	0.87												
23	M	0.5									49	M	0.9						小計			14.23 (9)												
24	M	0.5									小計		43.27 (8)																					
25	M	0.5																																
26	M	0.43																																
小計		45.47 (7)																																



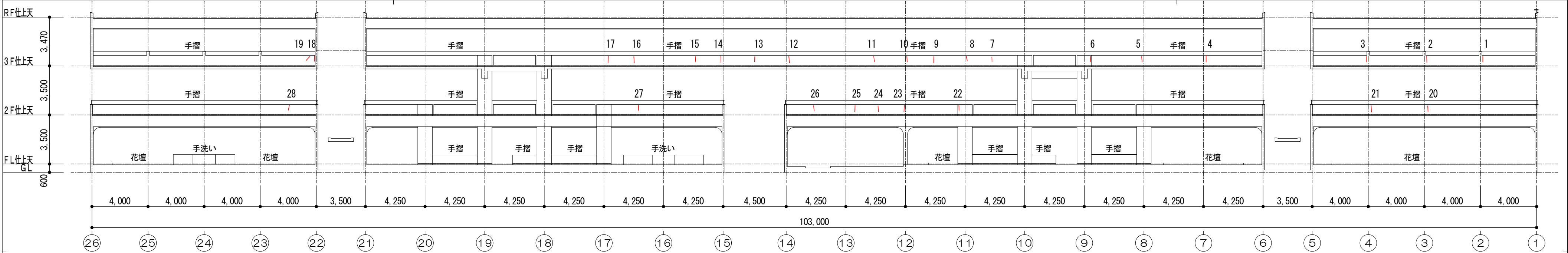
3階平面図

番号	下地	浮き狭幅部長さ m	浮き面積 m ² <small>小数点第三位以下を四捨五入</small>	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m
1	M	0.9				
2	M	2.0				
3	M	0.9				
4	M	2.0				
5	M	0.75				
6	M	1.06				
7	M	0.43				
8	M	3.01				
9	M	0.43				
10	M	1.06				
11	M	0.75				
12	M	7.97				
13	M	2.0				
14	M	4.5				
15	M	2.0				
16	M	7.97				
17	M	1.06				
18	M	0.43				
19	M	2.0				
20	M	0.43				
21	M	1.06				
22	M	0.75				
23	M	0.9				
24	M	0.9				
	小計	45.26	(11)			

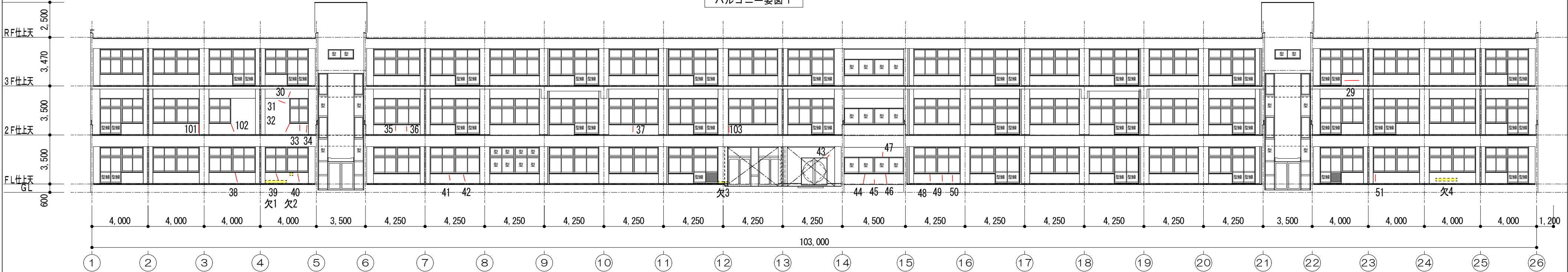
番号	下地	浮き狭幅部長さ m	浮き面積 m ² <small>小数点第三位以下を四捨五入</small>	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m
25	M	0.9				
26	M	0.9				
27	M	2.0				
28	M	0.9				
29	M	0.355				
30	M	0.43				
31	M	0.7				
32	M	0.61				
33	M	3.01				
34	M	0.61				
35	M	0.9				
36	M	0.9				
	小計	12.21	(12)			
番号	下地	計算式	浮き面積 m ² <small>小数点第三位以下を四捨五入</small>	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m
37	M	0.435 × 1.0	0.43			
38	M	0.435 × 0.5	0.21			
39	M	0.435 × 0.5	0.21			
40	M	0.435 × 2.05	0.89			
41	M	0.435 × 0.5	0.21			
42	M	0.435 × 0.5	0.21			
43	M	0.435 × 2.05	0.89			
44	M	0.435 × 2.05	0.89			
45	M	0.435 × 0.5	0.21			
46	M	0.435 × 0.525	0.22			
	小計		4.37	(13)		

番号	下地	計算式	浮き面積 m ² <small>小数点第三位以下を四捨五入</small>	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m
47	M	0.435 × 0.525	0.22			
48	M	0.435 × 0.5	0.21			
49	M	0.435 × 0.5	0.21			
50	M	0.435 × 3.56	1.54			
51	M	0.435 × 0.5	0.21			
52	M	0.435 × 0.5	0.21			
53	M	0.435 × 2.05	0.89			
54	M	0.435 × 2.05	0.89			
55	M	0.435 × 3.56	1.54			
56	M	0.435 × 3.56	1.54			
57	M	0.435 × 3.35	1.45			
58	M	0.435 × 2.0	0.87			
59	M	0.435 × 3.1	1.34			
60	M	0.435 × 3.31	1.43			
61	M	0.435 × 3.31	1.43			
62	M	0.435 × 3.085	1.34			
	小計		15.32	(14)		

番号	下地	計算式	浮き面積 m ²	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m
63	M			1.8	0.2~0.5	
	小計			1.8	(15)	



バルコニー姿図 1



バルコニー姿図 2

表1						表2						表3									
番号	下地	計算式	浮き面積 m ²	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m	番号	下地	計算式	浮き面積 m ²	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m	番号	下地	計算式	浮き面積 m ²	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m	
1	C			0.65	0.2~0.5		19	C			0.65	0.2~0.5		35	C			0.65	0.2~0.5		
2	C			0.65	0.2~0.5		20	C			0.65	0.2~0.5		36	C			0.65	0.2~0.5		
3	C			0.65	0.2~0.5		21	C			0.65	0.2~0.5		37	C			0.65	0.2~0.5		
4	C			0.65	0.2~0.5		22	C			0.65	0.2~0.5		38	C			0.70	0.2~0.5		
5	C			0.65	0.2~0.5		23	C			0.65	0.2~0.5		39	C			0.70	0.2~0.5		
6	C			0.65	0.2~0.5		24	C			0.65	0.2~0.5		40	C			0.70	0.2~0.5		
7	C			0.65	0.2~0.5		25	C			0.65	0.2~0.5		41	C			0.70	0.2~0.5		
8	C			0.65	0.2~0.5		26	C			0.65	0.2~0.5		42	C			0.70	0.2~0.5		
9	C			0.65	0.2~0.5		27	C			0.65	0.2~0.5		43	C			0.45	0.2~0.5		
10	C			0.65	0.2~0.5		28	C			0.65	0.2~0.5		44	C			0.70	0.2~0.5		
11	C			0.65	0.2~0.5			小計			6.50	(17)		45	C			0.70	0.2~0.5		
12	C			0.65	0.2~0.5			番号	下地	計算式	浮き面積 m ²	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m	46	C			0.70	0.2~0.5	
13	C			0.65	0.2~0.5		29	C			1.20	0.2~0.5		47	C			0.45	0.2~0.5		
14	C			0.65	0.2~0.5		30	C			0.80	0.2~0.5		48	C			0.70	0.2~0.5		
15	C			0.65	0.2~0.5		31	C			0.65	0.2~0.5		49	C			0.70	0.2~0.5		
16	C			0.65	0.2~0.5		32	C			0.80	0.2~0.5		50	C			0.70	0.2~0.5		
17	C			0.65	0.2~0.5		33	C			0.65	0.2~0.5		51	C			0.70	0.2~0.5		
18	C			0.65	0.2~0.5		34	C			0.65	0.2~0.5			小計			11.25	(19)		
	小計			11.70	(16)			小計			4.75	(18)									

表4						表5							
番号	下地	計算式	浮き面積 m ²	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m	番号	下地	計算式	浮き面積 m ²	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m
101	C			0.65	0.5~1.0								
102	C			0.8	0.5~1.0								
103	C			0.65	0.5~1.0								
	小計			2.10	(20)								
	番号	下地	計算式	欠損面積 m ²	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m						
欠1	C	200×2000	0.4										
欠2	C	200×200	0.04										
欠3	C	150×680	0.10										
欠4	C	200×1200	0.24										
	小計		0.78	(21)									
									</				

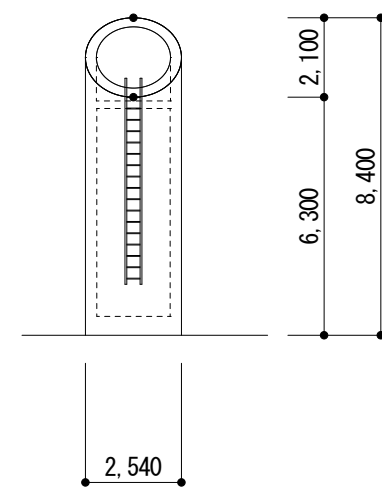
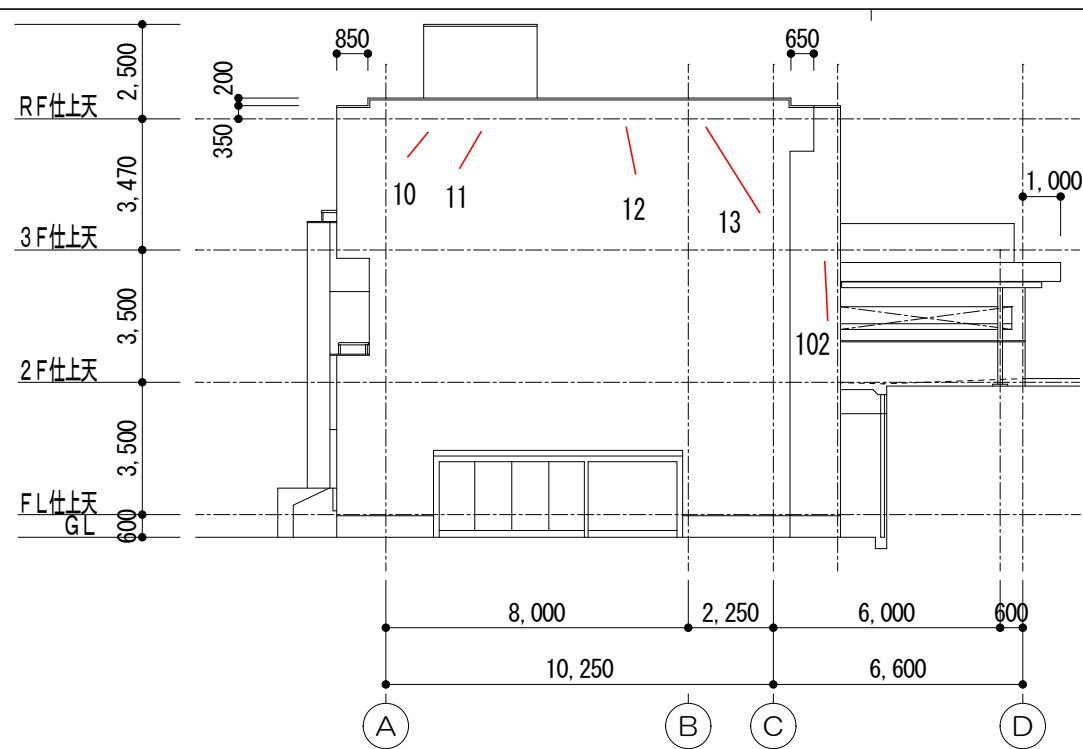
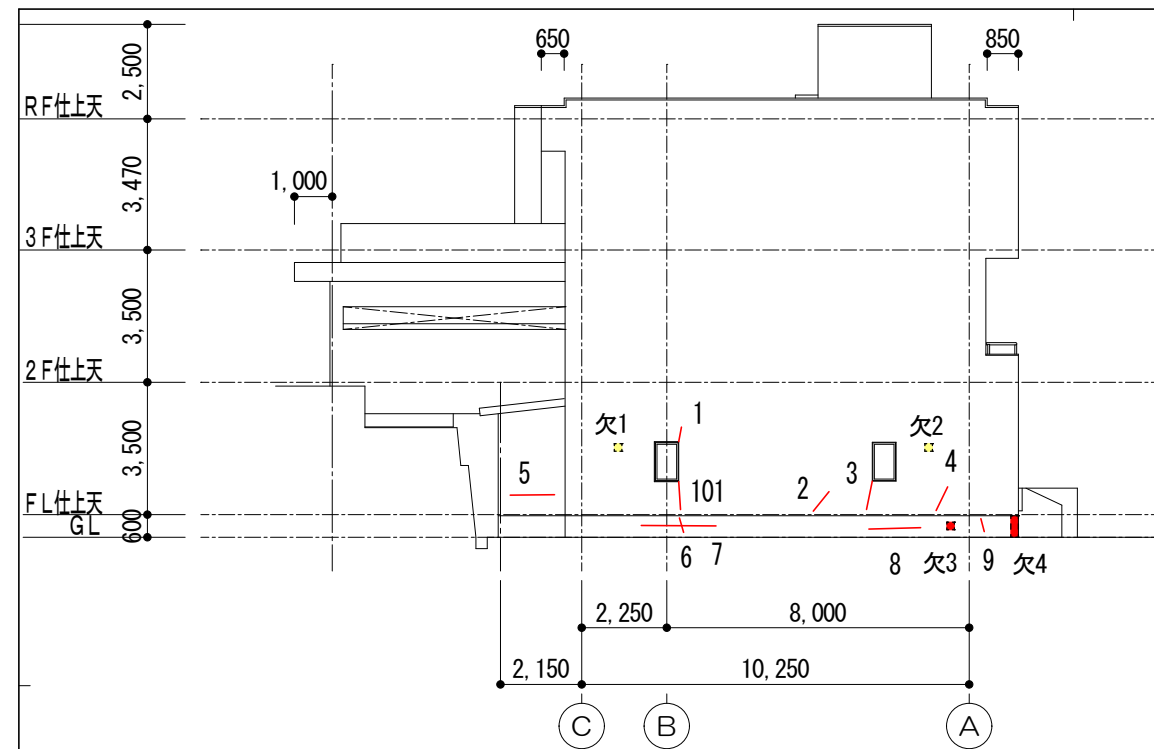


東面立面図



西面立面図

番号		下地	計算式	浮き面積	㎡	ひび割長	㎞	ひび割巾	㎜	錆鉄筋長	㎞	番号		下地	計算式	浮き面積	㎡	ひび割長	㎞	ひび割巾	㎜	錆鉄筋長	㎞	番号		下地	計算式	浮き面積	㎡	ひび割長	㎞	ひび割巾	㎜	錆鉄筋長	㎞																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1	C					1.10		0.2~0.5				7	C					0.65		0.2~0.5				22	C					0.80		0.2~0.5				104	M					0.55		0.5~1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						



番号	下地	計算式	浮き面積 m ²	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m
1	C			0.45	0.2~0.5	
2	C			0.45	0.2~0.5	
3	C			0.75	0.2~0.5	
4	C			0.75	0.2~0.5	
	小計			2.40 (31)		
番号	下地	計算式	浮き面積 m ²	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m
5	M			1.50	0.2~0.5	
6	M			1.80	0.2~0.5	
7	M			0.45	0.2~0.5	
8	M			1.00	0.2~0.5	
9	M			0.45	0.2~0.5	
	小計			5.20 (32)		
番号	下地	計算式	浮き面積 m ²	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m
10	C			0.65	0.2~0.5	
11	C			0.65	0.2~0.5	
12	C			0.65	0.2~0.5	
13	C			0.95	0.2~0.5	
	小計			2.90 (33)		
番号	下地	計算式	浮き面積 m ²	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m
101	C			0.75	0.5~1.0	
	小計			0.75 (34)		
102	C			1.10	0.5~1.0	
	小計			1.10 (35)		
番号	下地	計算式	欠損面積 m ²	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m
欠1	C	200×200	0.04			
欠2	C	200×200	0.04			
	小計		0.08 (36)			
番号	下地	計算式	浮き面積 m ²	ひび割長 m	ひび割巾 mm	錆鉄筋長 m
欠3	M	200×200	0.04			
欠4	M	200×570	0.11			
	小計		0.15 (37)			

集計表

浮き狭幅部長さ

(1) + (2) + (7) + (8) + (11) + (12) =168.31m
9.55 12.55 45.47 43.27 45.26 12.21

モルタル浮き面積

(3) + (4) + (9) + (13) + (14) = 50.65 m²
16.49 0.24 14.23 4.37 15.32

ひび割れ長さ(モルタル下地) 0.2~0.5

(5) + (10) + (15) + (34) = 9.97 m
0.72 2.25 1.8 5.2

ひび割れ長さ(コンクリート下地) 0.2~0.5

(16) + (17) + (18) + (19) + (22) + (23) + (24) + (31) + (33) = 60.35 m
11.7 6.5 4.75 11.25 6.15 10.05 4.65 2.4 2.9

ひび割れ長さ(モルタル下地) 0.5~1.0

(6) + (26) = 2.13 m
0.48 1.65

ひび割れ長さ(コンクリート下地) 0.5~1.0

(20) + (25) + (34) + (35) = 5.9 m
2.1 1.95 0.75 1.1

欠損部(モルタル下地)

(39) + (37) = 0.19 m²
0.04 0.15

錆鉄筋長さ(モルタル下地)

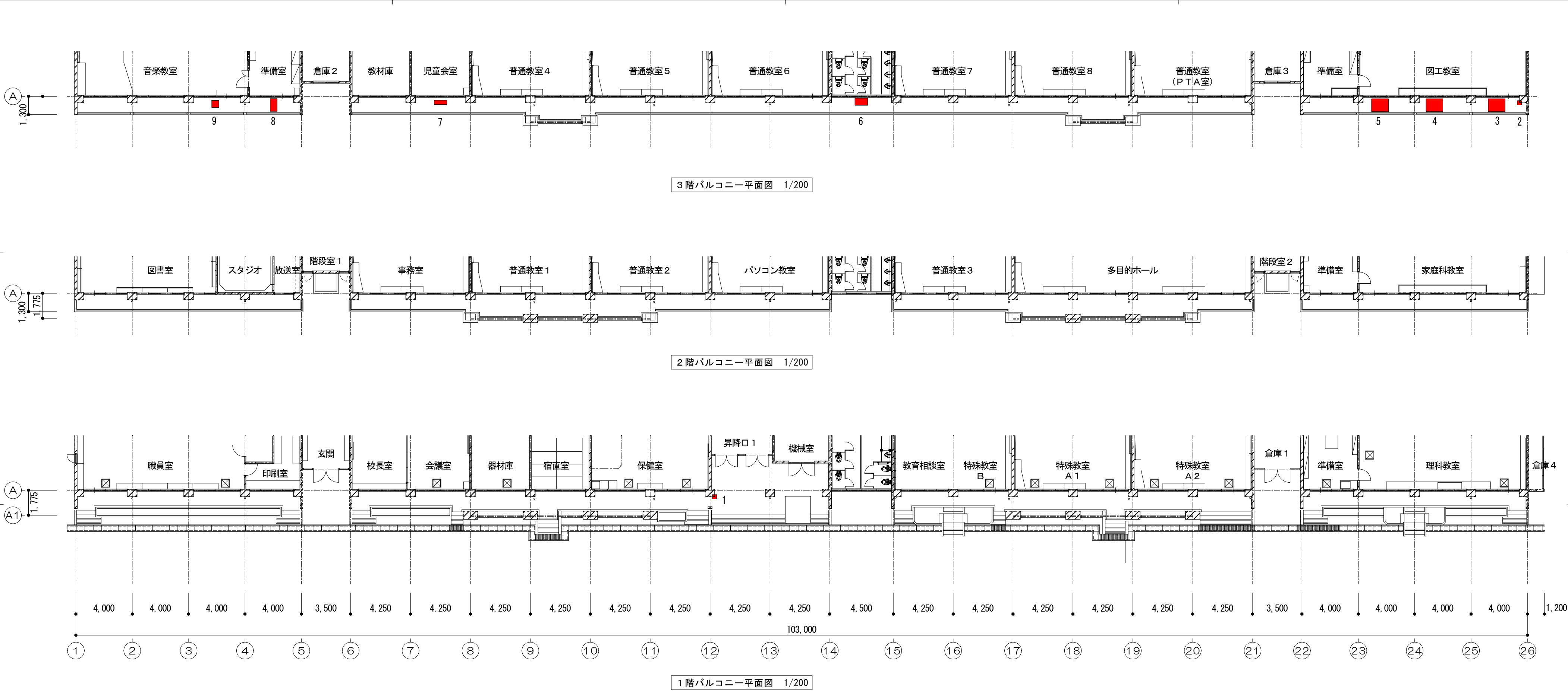
(30)
0.1 m

欠損部(コンクリート下地)

(21) + (27) + (36) = 0.91 m²
0.78 0.05 0.08

錆鉄筋長さ(コンクリート下地)

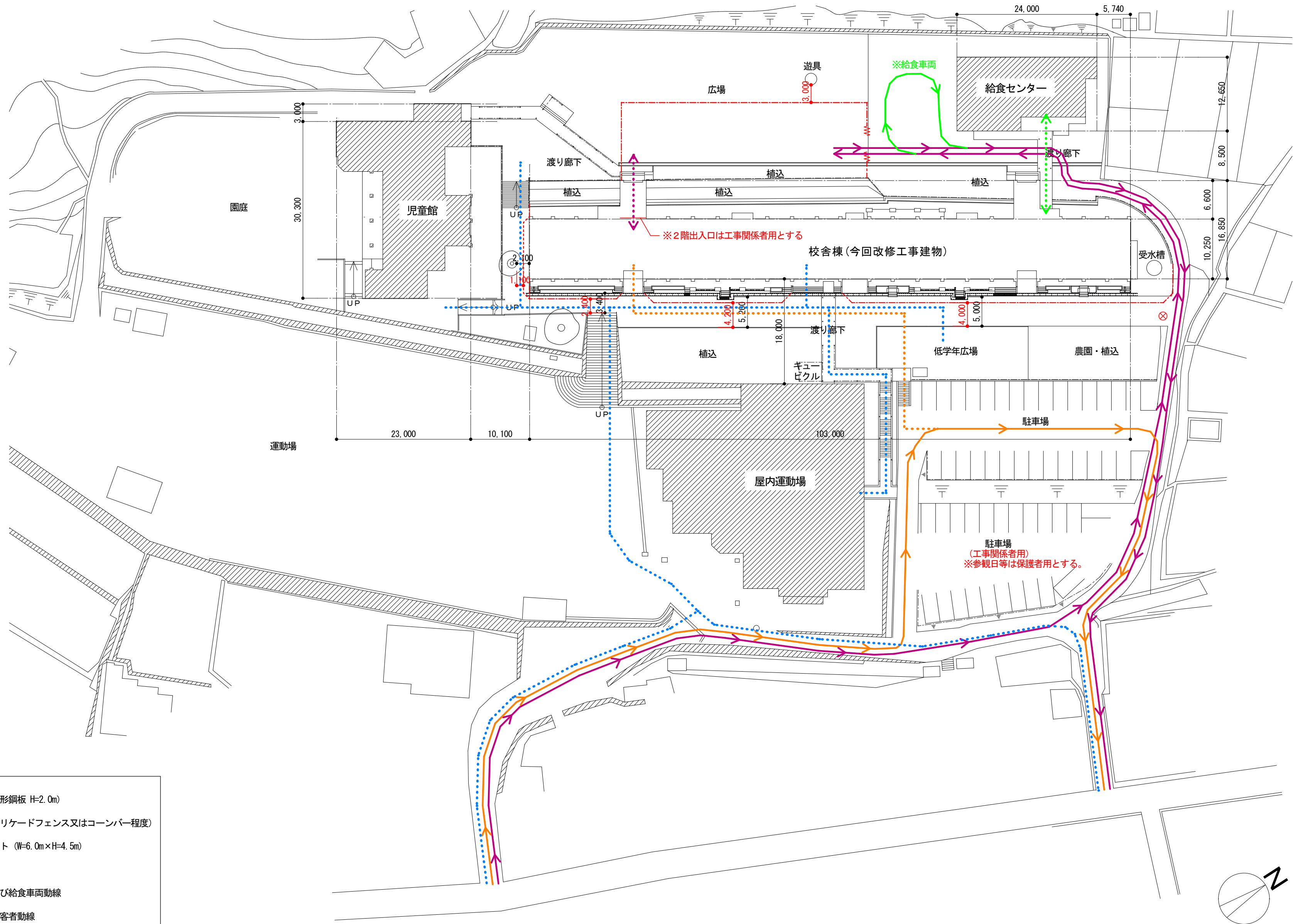
(28)
0.1 m



番号	部位	計算式	面積 m ² <small>小数点第三位以下四捨五入</small>	
1	巾木	0.2 × 0.2	0.04	—タイル浮き部撤去の上 モルタル金コテ仕上 t30 新設
2	巾木	0.1 × 0.2	0.02	
3	床	0.9 × 1.2	1.08	
4	床	0.9 × 1.2	1.08	
5	床	0.9 × 1.2	1.08	
6	床	0.5 × 0.9	0.45	
7	床	0.3 × 0.9	0.27	
8	床	0.9 × 0.5	0.45	
9	床	0.5 × 0.5	0.25	
合計			4.72	

株式会社 近代設計コンサルタント
広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号
TEL (082) 243-5555(代) 小 瀧 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号
照 査	設 計 担 当	向原小学校大規模改修工事	A
劣化調査図 7		SCALE	66
		1/200	



凡 例

仮囲い (成形銅板 H=2.0m)

仮囲い (バリケードフェンス又はコーンバー程度)

シートゲート (W=6.0m×H=4.5m)

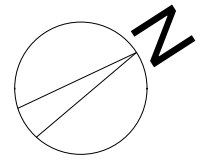
交通誘導員


工事車両及び給食車両動線

職員及び来客者動線

生徒動線

※原則として、登下校時の資材搬入及び搬出は行わないこと。



<div><div></div><div>株式会社 近代設計コンサルタント</div></div> <div>広島市中区国泰寺一丁目8番30号 TEL (082) 243-5555(代)</div> <div>一級建築士 登録第277978号 小 瀧 宏 治</div>	年月日	整理番号	工事名 向原小学校大規模改修工事		図面番号 A 67
	照 査	設 計 担 当	図面名 仮設計画図（参考）	SCALE 1/500	

Ⅰ. 工 事 概 要


1. 工事名称 向原小学校改修工事

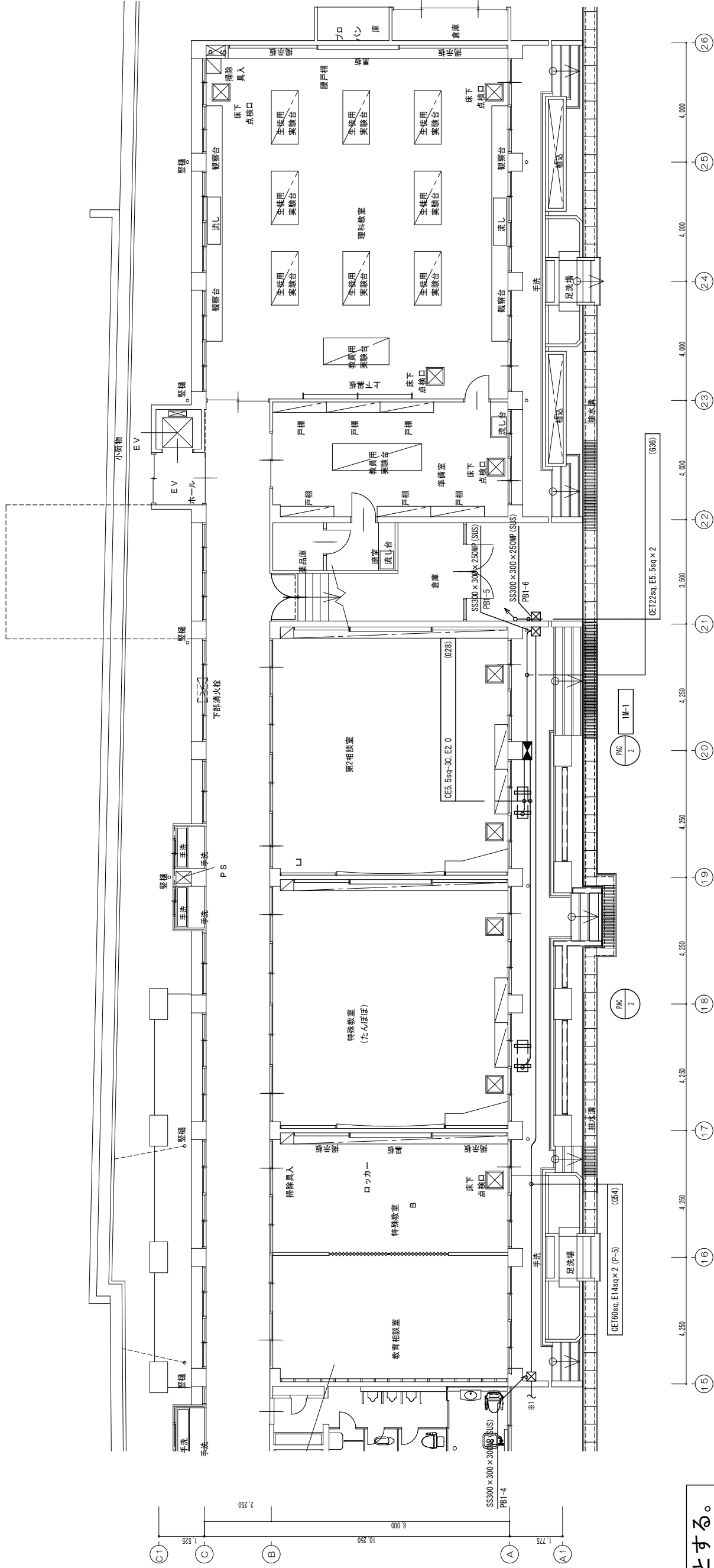
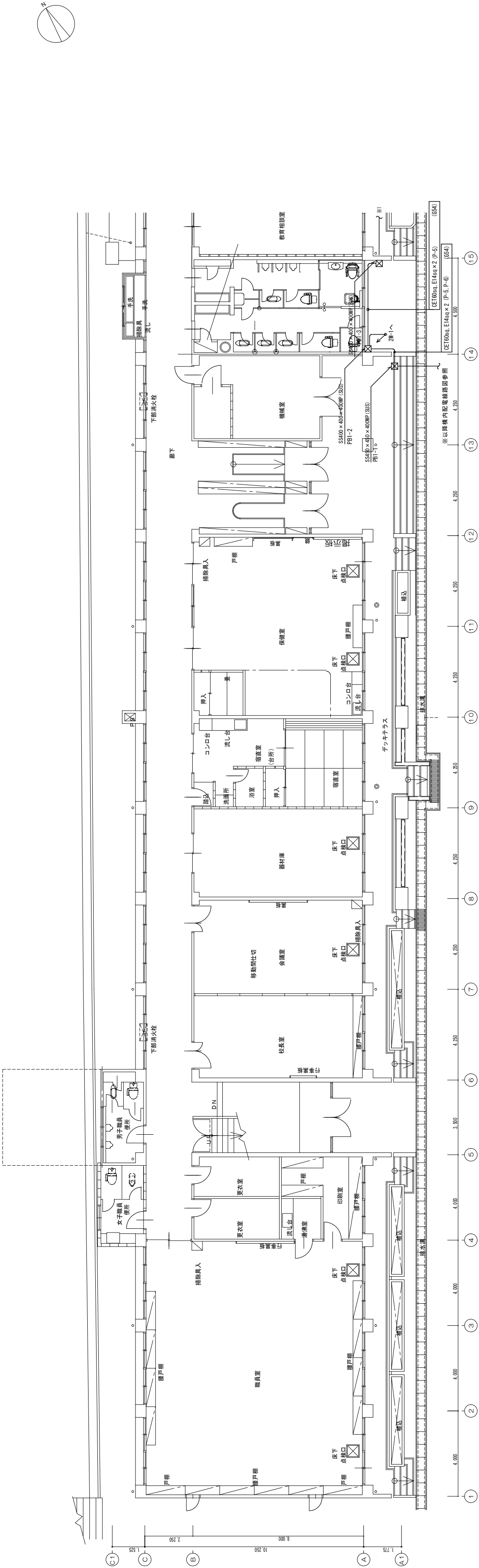
2. 工事場所 安芸高田市向原町坂10060-1

3. 建築物概要

建築物名称	構造	階数	建築基準法による 延べ面積(㎡)	消防法施行令 別添表一の区分	備考
向原小学校	鉄筋コンクリート造	3階	***.00	7項	既存

[illegible]

 <p>株式会社 近代設計コンサルタント</p> <p>広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) TEL 082-243-5555 (代表)</p> <p>一級建築士 登録第27978号 小 瀧 宏 治</p>	年月日		整理番号		工事名	図面番号
	承認	審査	設計	担当	図面名	SCALE A2 - N-S A3 - 71%縮小
					既設分電盤リスト	02



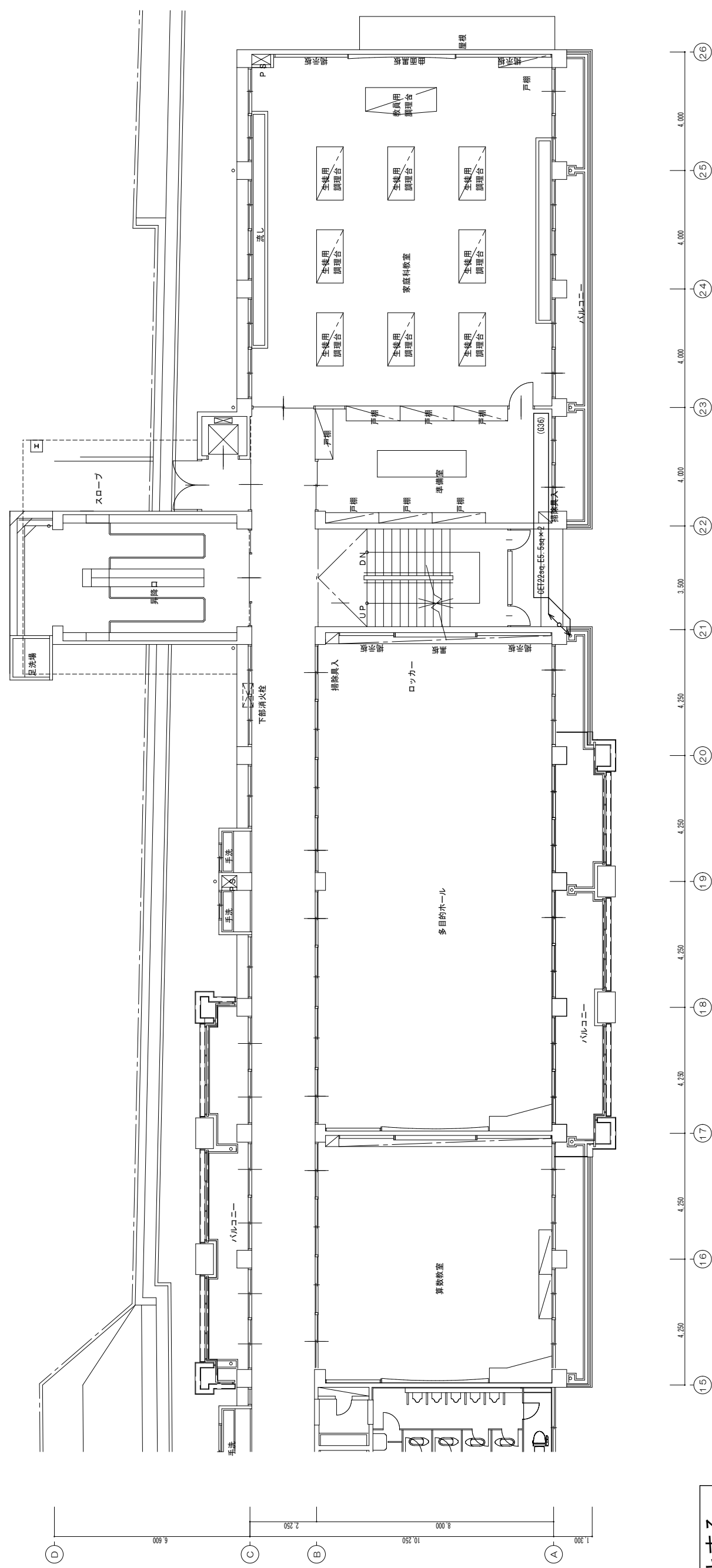
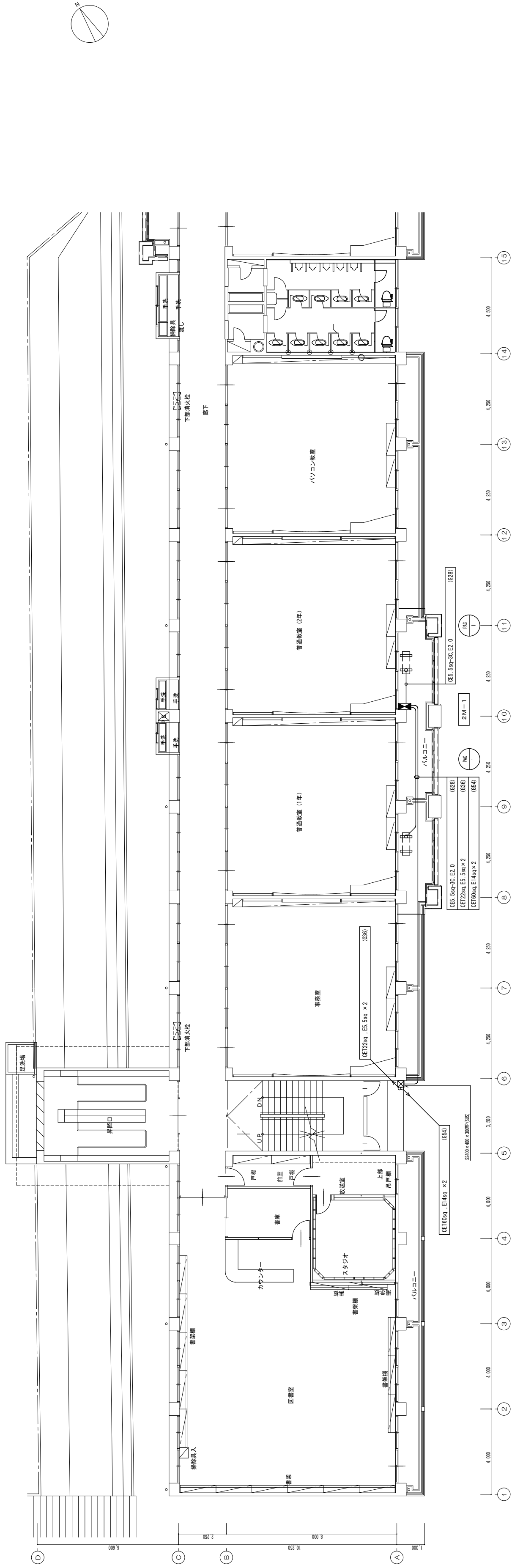
配線特記

1) 図中記入なき配線配線は下記による。


〃	CEE1. 25sq-20	(天井内)
〃	CEE1. 25sq-20	(床下)
〃	CEE1. 25sq-20	(天井内)
〃	CEE1. 25sq-20	(床下)

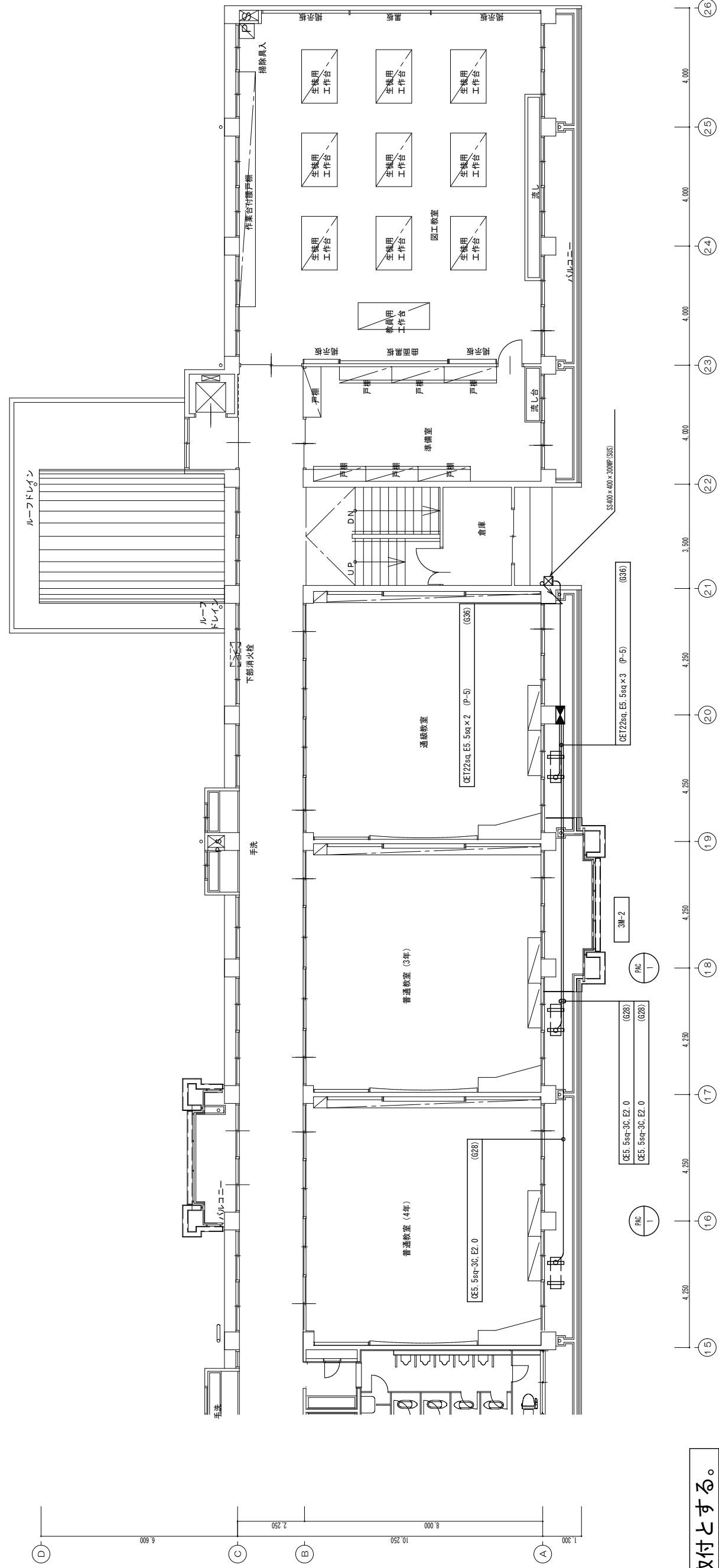
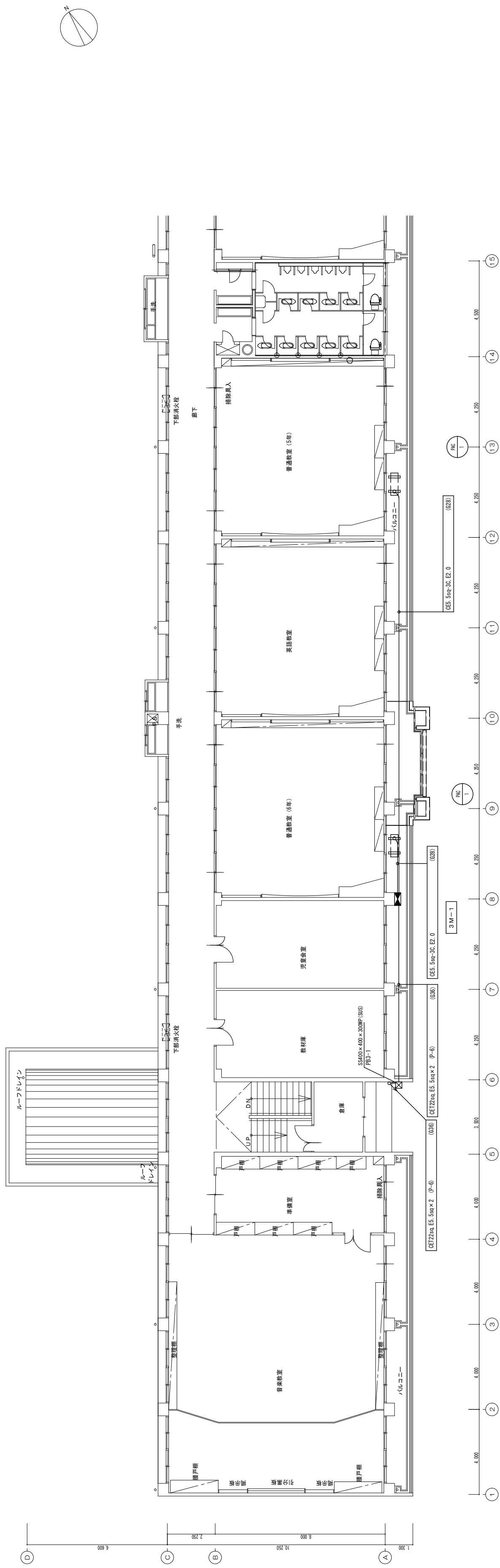
外壁改修に伴い図中機器及び配管・配線は一時取外し再取付とする。

<div>株式会社 近代設計コンサルタント</div> <div>広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) TEL 082-243-5555 (代表)</div> <div>一級建築士 登録第277975号 小瀬 宏 治</div>	年月日		整理番号		工事名		図面番号		
	承認		審査		設計		E		
	担当		設計		図面名		SCALE		
					向原小学校大規模改修工事		A 2 - 1:150		
					幹線動力設備 1 階平面図		A 3 - 71%縮小		
								O 3	




外壁改修に伴い図中機器及び配管・配線は一時取外し再取付とする。

<div></div> <div>株式会社 近代設計コンサルタント</div> <div>広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第277978号 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治</div>	年月日		整理番号		工事名		図面番号	
	承認		審査		設計		図面名	
							S C A L E A 2 - 1:150 A 3 - 71%縮小	
					担当		幹線動力設備 2 階平面 図	



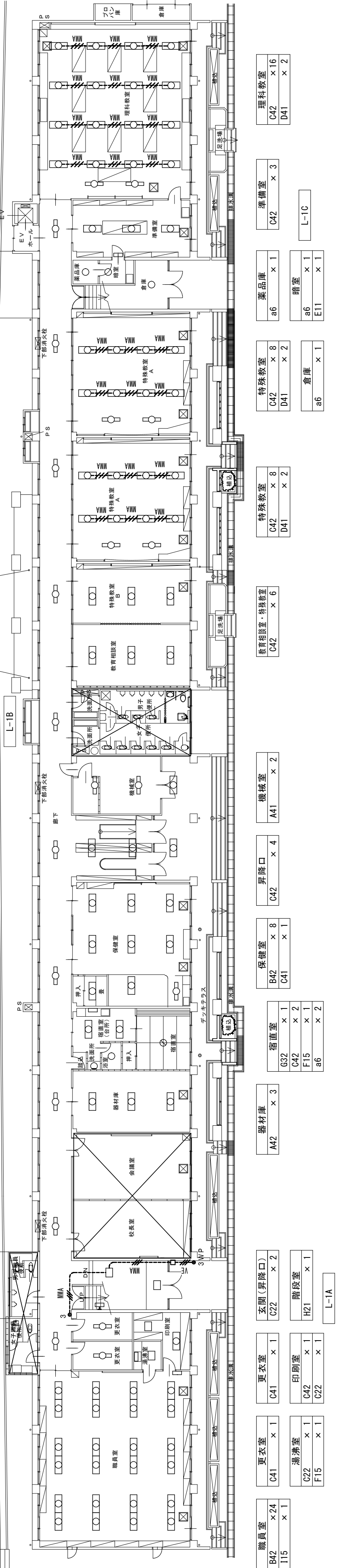
外壁改修に伴い図中機器及び配管・配線は一時取外し再取付とする。

 株式会社 近代設計コンサルタント 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第277978号 TEL 082-243-5555 (代表) 小 瀧 宏 治	年月日		整理番号		工事名		図面番号
	承認	審査	設計	担当	図面名		SCALE A2 - 1:150 A3 - 71%縮小
					向原小学校大規模改修工事		

株式会社 近代設計コンサルタント														図面番号		
向原小学校大規模改修工事														E		
照明器具 要 図														SCALE A 2 - N : S A 3 - 71%縮小		
図面名														SC A L E		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図														A 3 - 71%縮小		
照 明 器 具 要 図																

2階平面図 (改修後)

廊下 × 10
C41



今回工事対象外を示す

1階平面図 (改修後)

株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国薬寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第277976号
TEL 082-243-5555 (代表) 小 瀬 宏 治

年月日

整理番号

工事名

承認

審査

設計

担当

図面名

向原小学校大規模改修工事

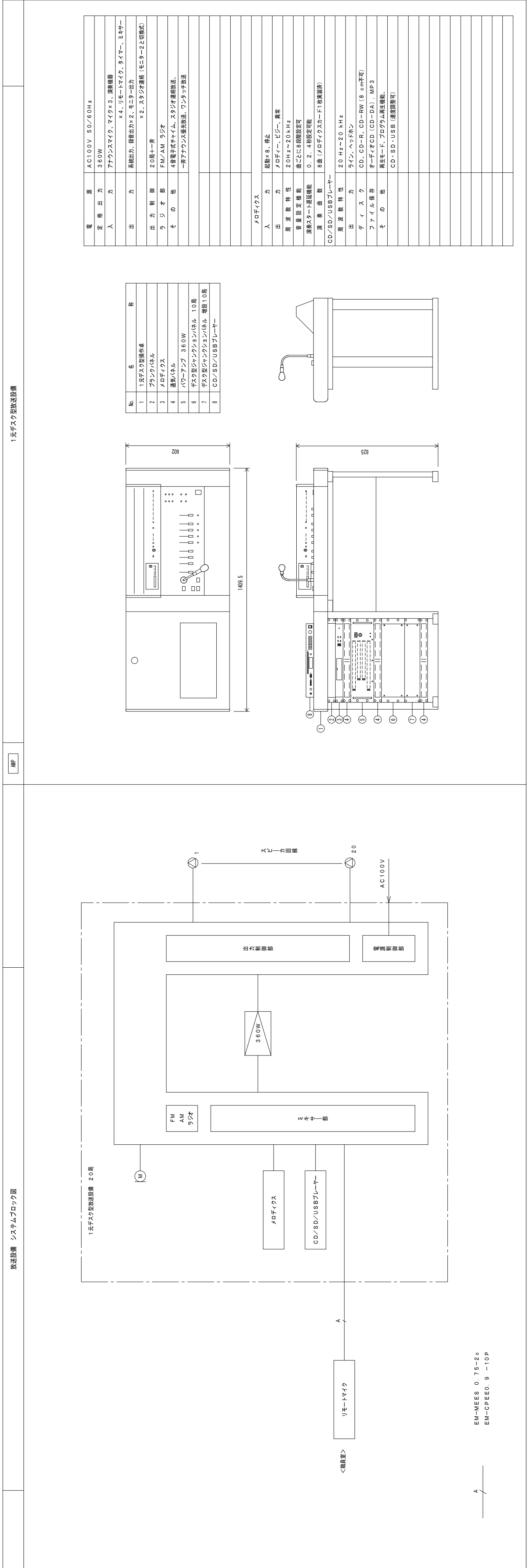
電灯設備 1・2階平面図 (改修後)

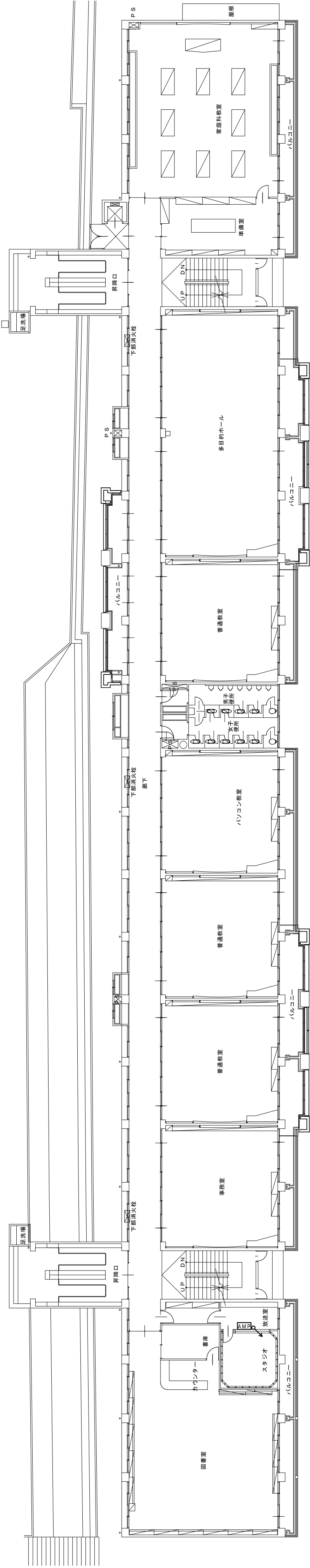
図面番号

E

SCALE 1:200
A 2 -
A 3 - 71%縮小

0 7





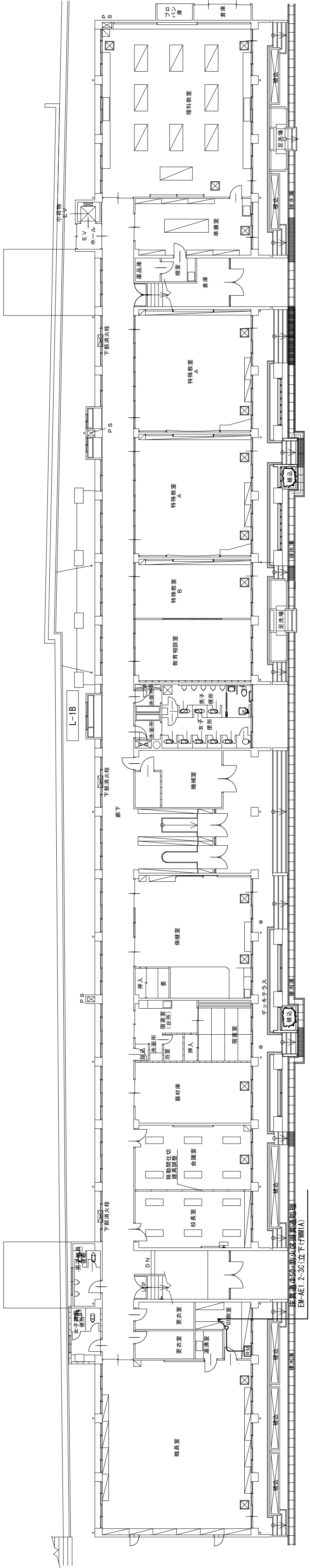
2階平面図(改修後)

2階 放送室内アンプ更新

- 1. 業務放送アンプ更新 120W 10局+一斉 フリアンプパネル モニターパネル デジタルアナウンスマシン 年間プログラムタイマー SD/USB対応CDプレーヤー
- 2. ディスク型放送設備 高袖10局120W 更新 1元デスク型操作卓 10局 高袖 パワーアンプ240W マイクミキサー

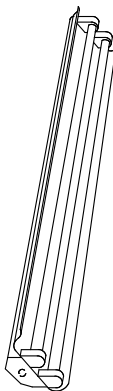
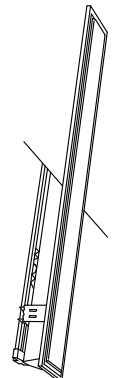
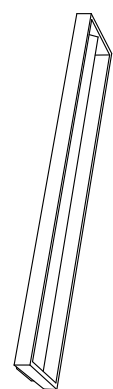
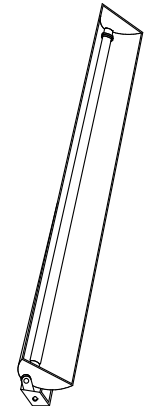
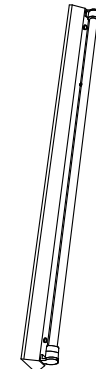
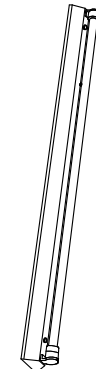
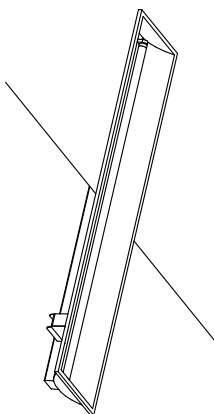
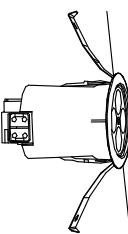



1階 職員室(旧印刷室) リモートマイク新設

- 1. リモートマイク新設 卓上型 A/U×入出力、制御入出力、音声出力 ×各1 音声明瞭化機能



1階平面図(改修後)

照明器具姿図

																
A	A631	FHF 63W x 1	B	B632	FHF 63W x 2	C	C632	FHF 63W x 2	D	D631	FHF 63W x 1	E	E631	FHF 63W x 1	F	
	A632	FHF 63W x 2														
																
L	L631	FHF 63W x 1	M	M632	FHF 63W x 2	N	N5	LED 5. 2W	O	O42	FHF 4. 2W x 2					
																
G			H			I	I631	FHF 63W x 1	J			K				
																
																
																

照 明 器 具 注 記（特記なきは、下記による）															
注 1）蛍光灯ランプ／安定器等の仕様（該当欄に●印）															
ラ ン プ															
○ 一般型															
○ 省電力型															
○ 安定器（電圧・始動方式・力率）															
FL15W以下（100V）															
○ グロー（低力率）															
○ ラビット（高力率）															
○ 省電力グロー															
○ 省電力ラビット															
FL20～30W（100V）															
○ グロー（高力率）															
○ グロー（低力率）															
誘 導 灯（100V）															
○ グロー（低力率）															
注 2）放電ランプ（H I D等）の安定器仕様（該当欄に●印）															
使 用 電 圧（***V）															
○ 一 般 型（低力率）															
○ 一 般 型（高力率）															
○ 定 電 力 型															
○ 低始動電圧型															
注 3）記号符号は、次による。															
B：電池内蔵型															
C：チエーン吊															
D：非常照明用電線組込型															
（電 流 別 量 型）															
P：ハイク吊															
S：誘導灯（片面）															
T：誘導灯（両面）															
W：防水型															
：															
：															
：															
H F形（ V）															
P N：定格出力（固定）															
P H：高出力（固定）															
P C：3.2/4.5W切替え															
P T：段階光（番号切替え）															
P D：連続点光															
注 4）誘 導 灯：誘導灯認定委員会合格品を使用の事。															
非常照明：防災性能評定委員会認定品を使用の事。															
注 5）特記なき仕上げは、下記による。（仕上方法に●印）															
（ O メーカー標準色仕上 O 指定色仕上 ）															

照明器具 注 記 (特記なきは、下記による)
注1) 蛍光灯／安定器等の仕様 (該当欄に●印)
ラ ン プ

- ☐ 一般型
- ☐ 省電力型

安定器 (電圧・始動方式・力率)

- ☐ FL15W以下 (100V)

☐ グロー低力率
- ☐ FL20~30W (100V)

☐ グロー高力率

☐ グロー低力率
- ☐ FL40W以上 (**V)

☐ グロー (高力率)

☐ ラビット (高力率)

☐ 省電力グロー

☐ 省電力ラビット

- ☐ 誘導灯 (100V)
- ☐ グロー低力率

注2) 放電ランプ (HID等) の安定器仕様 (該当欄に●印)

- ☐ 使用電圧 (**V)
- ☐ 一般型 (低力率)

☐ 一般型 (高力率)

☐ 定電流型

☐ 低始動電流型

注3) 記号符号は、次による。

- B:電池内蔵型

C:チーン吊

D:非常照明用電球組込型 (電池器直型)

P:パイプ吊

S:誘導灯 (片面)

T:誘導灯 (両面)

W:防水型

:

:

:

Hf形 (V)

PN:定格出力 (固定)

PH:高出力 (固定)

PG:32/45W切替え

PT:点滅光 (番号切替え)

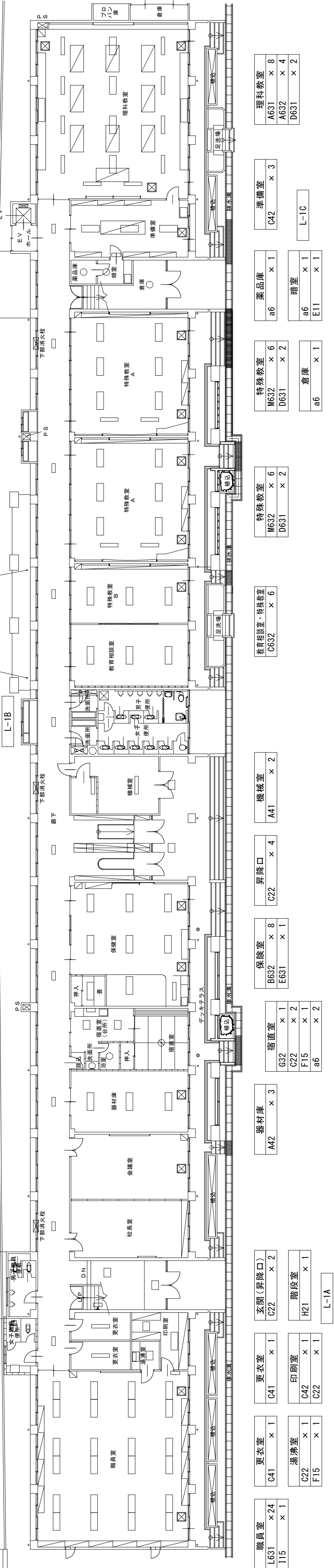
PD:連続調光

注4) 誘導灯 : 誘導灯認定委員会合格品を使用の事。
非常照明 : 防災性能評定委員会認定品を使用の事。

注5) 特記なき仕上げは、下記による。(仕上方法に●印)
(O :メーカー標準色仕上 O :指定色仕上)

2階平面図(改修前)

廊下 ×10
C21



1階平面図(改修前)



株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第277976号
TEL 082-243-5555 (代表) 小 瀬 宏 治

工事名 向原小学校大規模改修工事

図面名

電灯・拡声設備 1・2階平面図 (撤去図)

SCALE 1:200
A 2 -
A 3 -


71%縮小

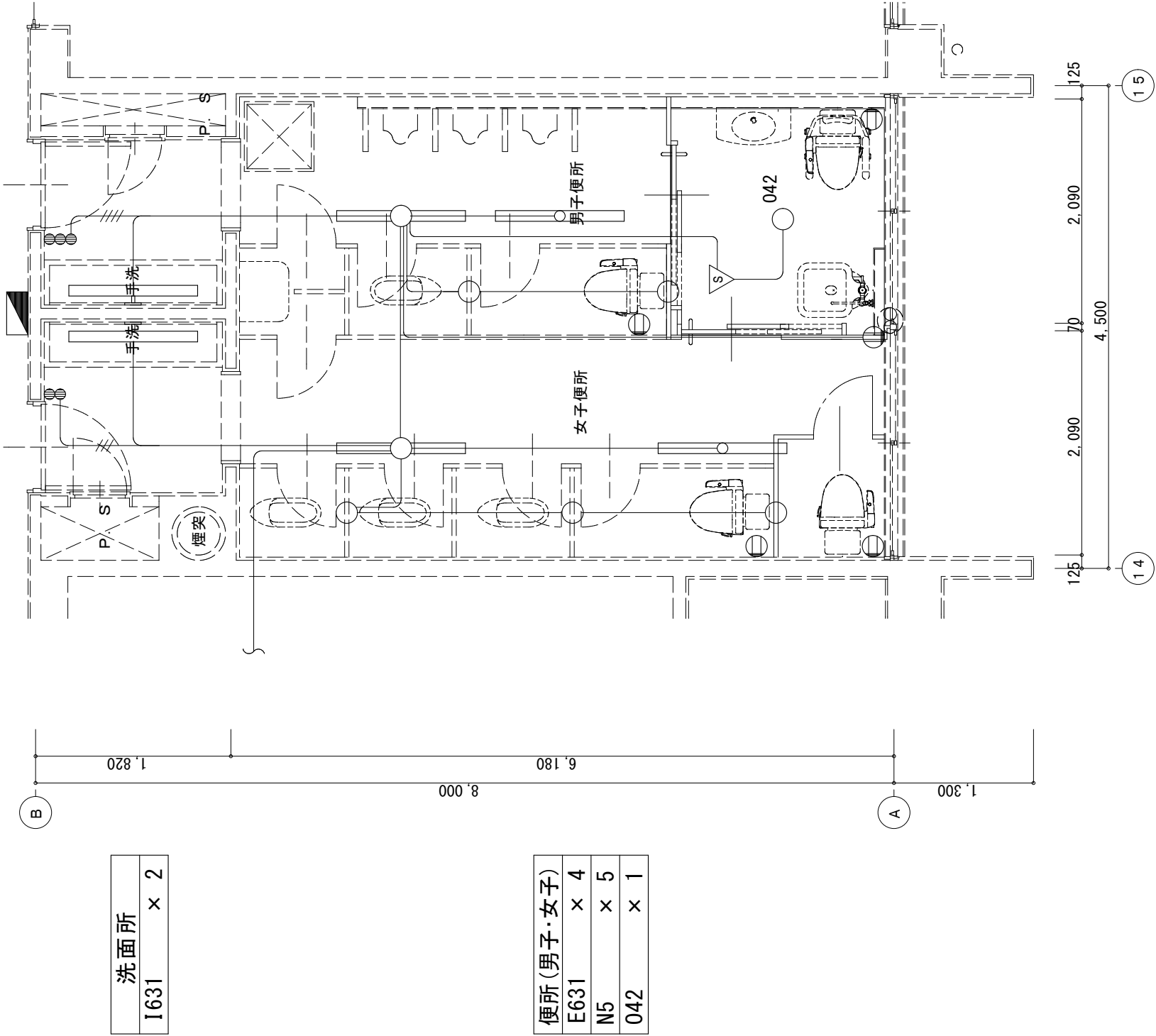
図面番号 E

1 2

照 明 器 具 姿 态 图

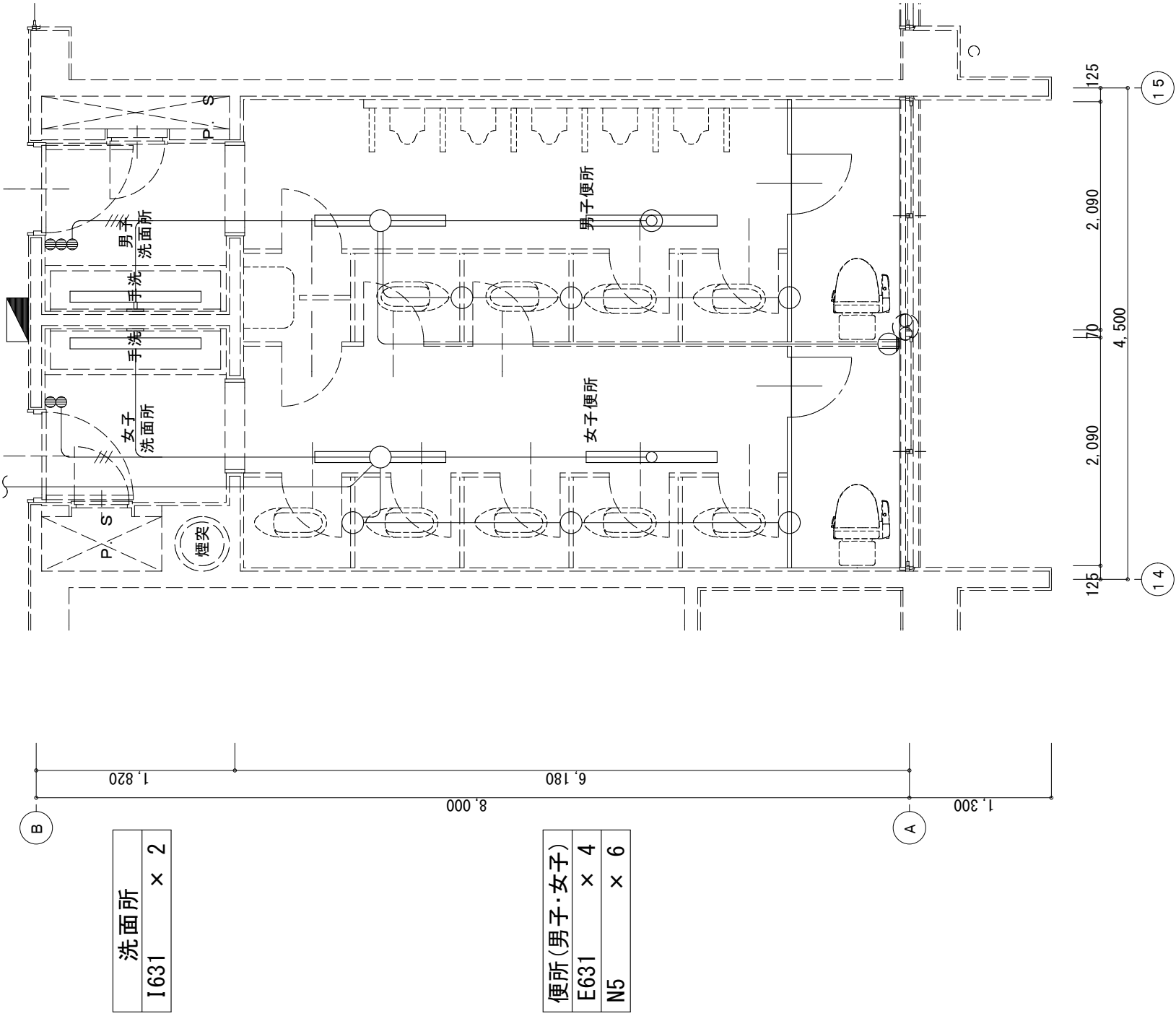
[illegible]

 <p>株式会社 近代設計コンサルタント</p> <p>広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) TEL 082-243-5555 (代表)</p> <p>一級建築士 登録第277976号 小 瀬 宏 治</p>	年月日		整理番号		工事名	図面番号
	承認	審査	設計	担当	図面名	SCALE A 2 - N・S A 3 - 71%縮小
	向原小学校大規模改修工事 既設照明器具姿図 (便所廻り)					
<div> <div>E</div> <div>1 4</div> </div>						



洗面所	× 2
I631	

便所(男子・女子)	
E631	× 4
N5	× 5
042	× 1

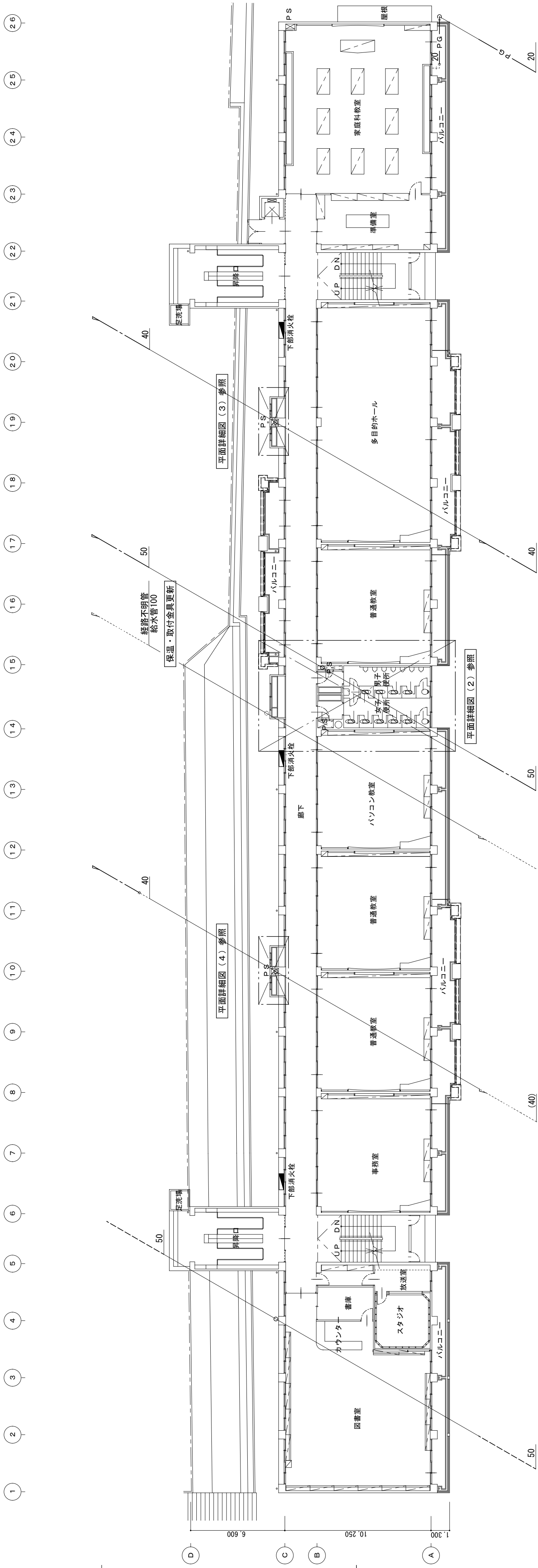


洗面所	× 2
I631	

便所(男子・女子)	
E631	× 4
N5	× 6

[illegible]


[illegible]

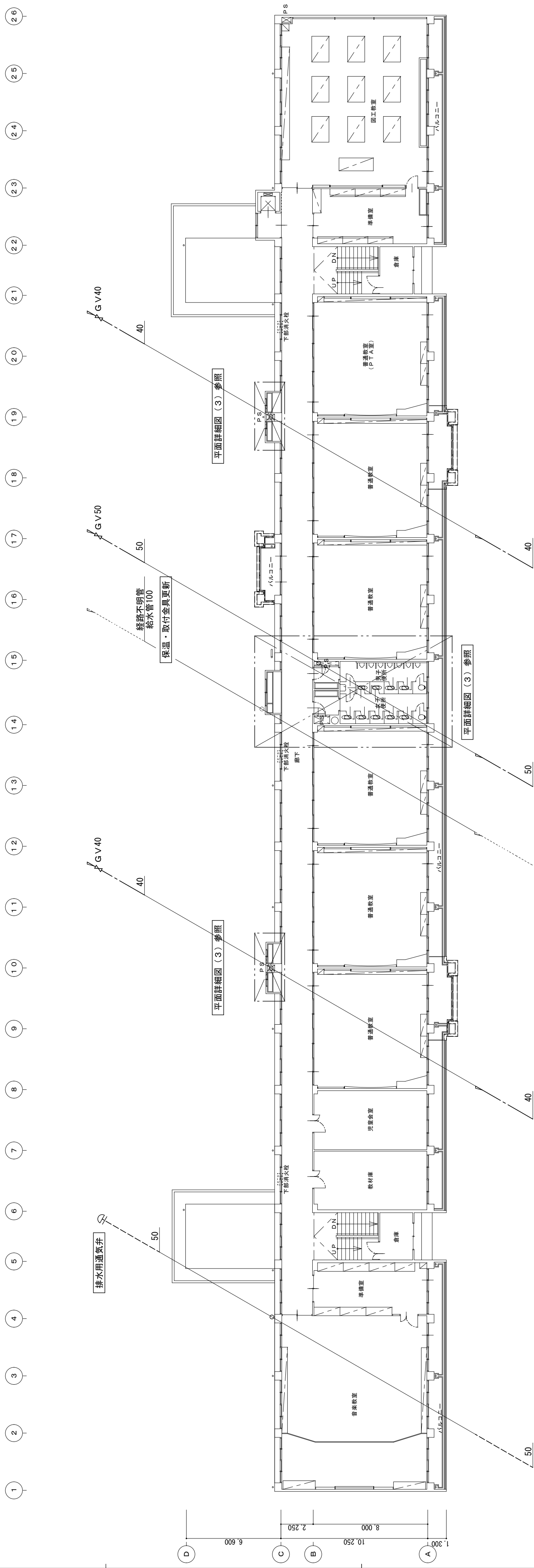


2階平面図 (改修後) $S=1:200$

＜凡例＞


.....(口聲).....	既設配管（残置）を示す。
—————	既設配管と新設配管の接続箇所を示す。
—————	新設配管・機器を示す。
——口聲——	

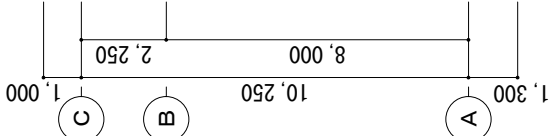
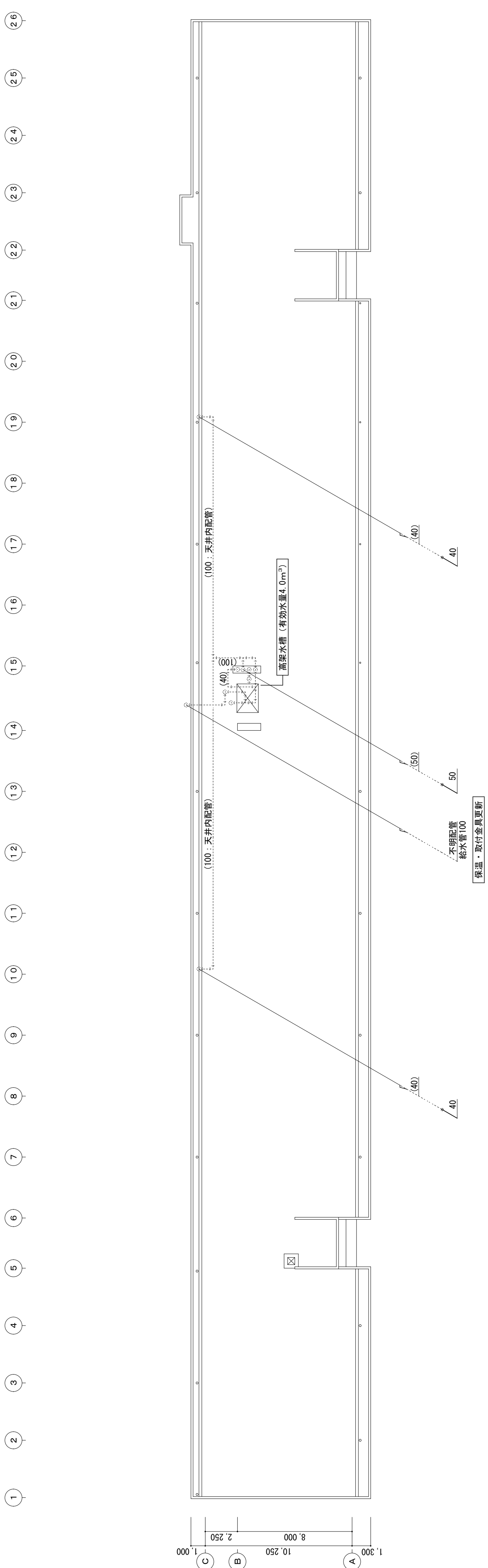
<div></div> <div>株式会社 近代設計コンサルタント</div> <div>広島市中区国薬寺町1-8-30 (SHビル) TEL 082-243-5555 (代表)</div> <div>一級建築士 登録第277978号 小 瀧 宏 治</div>	年 月 日		整理番号		工事名		図面番号	
	承 認		査 査		設 計		図 面 名	
	給排水衛生設備		2 階 平 面 図 (改 修 後)		S C A L E		A 2 - 1 : 2 0 0	
	給排水衛生設備		2 階 平 面 図 (改 修 後)		A 3 - 1 : 2 8 2		0 7	



3階平面図 (改修後) $S=1:200$

<p><凡例></p> <p>.....(口徑).....</p> <p>.....—.....</p> <p>.....口徑.....</p>	<p>既設配管（残置）を示す。</p> <p>既設配管と新設配管の接続箇所を示す。</p> <p>新設配管・機器を示す。</p>
--	--

 株式会社 近代設計コンサルタント 一級建築士 登録第277978号 広島市中区国楽寺町1-8-30 (SHビル) TEL 082-243-5555 (代表)	年月日		整理番号		工事名 向原小学校大規模改修工事		図面番号 M
	承認	審査	設計	担当	図面名 給排水衛生設備 3階平面図 (改修後)		SCALE A2- 1:200 A3- 1:282



(100 : 天井内配管)	(100 : 天井内配管)

(40)

(40)

高架水槽 (有効水量 4.0m^3)

40

(40)

30~~(5)~~

40

(40)


不明配管
給水管100

不明配管
給水管100

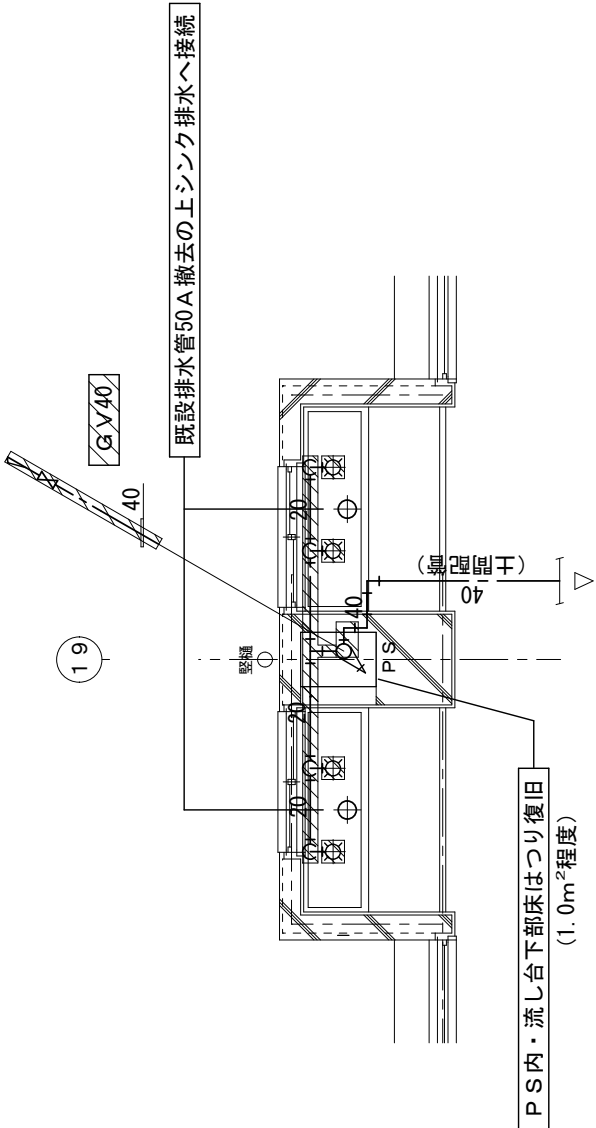
保温・取付金具更新

R階平面図 (改修後) S=1:200

<p><凡例></p>	<p>既設配管（残置）を示す。</p> <p>——（口葎）</p> <p>既設配管と新設配管の接続箇所を示す。</p> <p>——口葎</p> <p>新設配管・機器を示す。</p>
-------------------	--

<div></div> <div>株式会社 近代設計コンサルタント</div> <div>広島市中区国泰寺一丁目8番30号 TEL (082) 243-5555(代)</div> <div>一級建築士 登録第277978号 小瀬 宏 治</div>	年月日	整理番号		工事名	図面番号 M / 09
	照査	設計	担当	向原小学校大規模改修工事 給排水衛生設備 R 階平面図 (改修後)	

<手続>		
単水栓		4
化粧鏡		2



1 階平面詳細図 (5) (撤去図) S=1:50

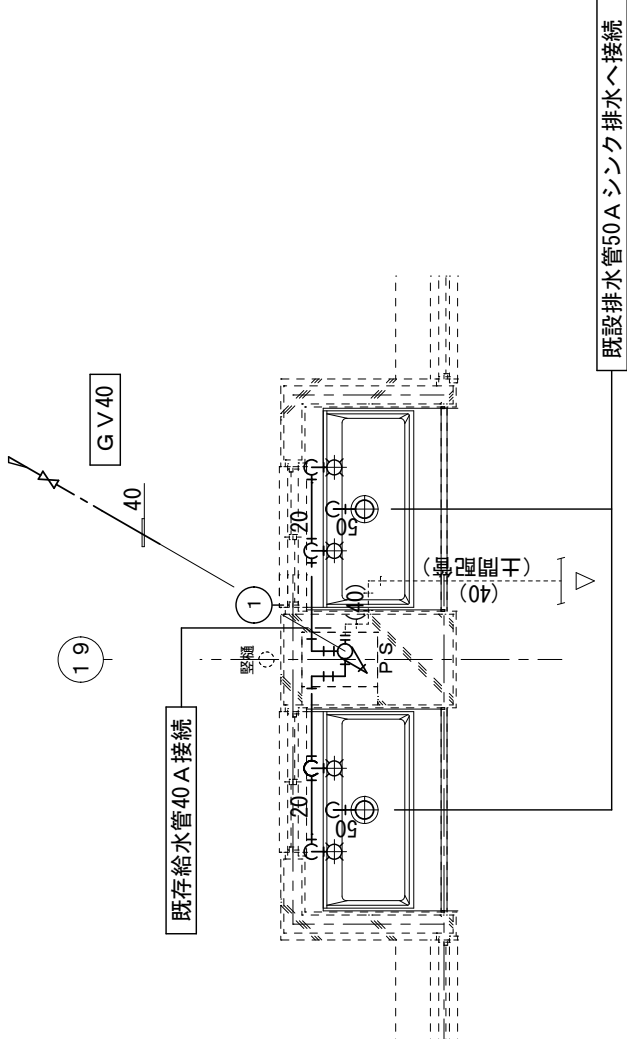
<凡例>

撤去配管・器具を示す。

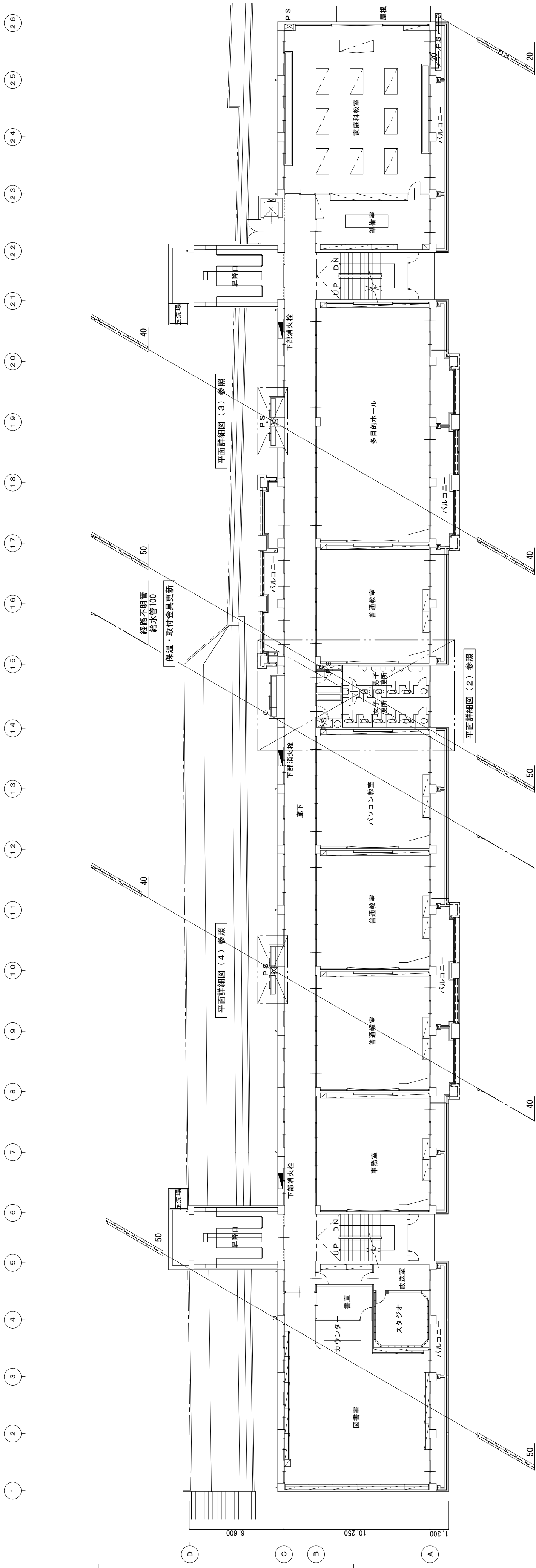
<凡例>

既設配管 (残置) を示す。
既設配管と新設配管の接続箇所を示す。
新設配管・機器を示す。

1 階平面詳細図 (5) (改修後) S=1:50




衛生器具表				
設置場所	品 名	仕様・型式・寸法	数 量	参考型番
1 階 廊 下	流し台 (東側)	L=1,300・排水トラップ付 (接続は本工事)	(2)	(建築工事)
	単 水 栓	立水栓・スパウト回転式・泡沫キャップ付	4	TOTO : TL106AOR LIXIL : LF-1404XU
	化 粧 鏡	耐食形・350×450程度	2	TOTO : YM3545F LIXIL : KF-3545A
	流し台 (中央)	L=1,400・排水トラップ付 (接続は本工事)	(2)	(建築工事)
	単 水 栓	立水栓・スパウト回転式・泡沫キャップ付	6	TOTO : TL106AOR LIXIL : LF-1404XU
	化 粧 鏡	耐食形・350×450程度	2	TOTO : YM3545F LIXIL : KF-3545A
2 階 廊 下	流し台 (東西側)	L=1,300・排水トラップ付 (接続は本工事)	(4)	(建築工事)
	単 水 栓	立水栓・スパウト回転式・泡沫キャップ付	8	TOTO : TL106AOR LIXIL : LF-1404XU
	化 粧 鏡	耐食形・350×450程度	4	TOTO : YM3545F LIXIL : KF-3545A
	流し台 (中央)	L=1,400・排水トラップ付 (接続は本工事)	(2)	(建築工事)
	単 水 栓	立水栓・スパウト回転式・泡沫キャップ付	6	TOTO : TL106AOR LIXIL : LF-1404XU
	化 粧 鏡	耐食形・350×450程度	2	TOTO : YM3545F LIXIL : KF-3545A
3 階 廊 下	流し台 (東西側)	L=1,300・排水トラップ付 (接続は本工事)	(4)	(建築工事)
	単 水 栓	立水栓・スパウト回転式・泡沫キャップ付	8	TOTO : TL106AOR LIXIL : LF-1404XU
	化 粧 鏡	耐食形・350×450程度	4	TOTO : YM3545F LIXIL : KF-3545A
	流し台 (中央)	L=1,400・排水トラップ付 (接続は本工事)	(2)	(建築工事)
	単 水 栓	立水栓・スパウト回転式・泡沫キャップ付	6	TOTO : TL106AOR LIXIL : LF-1404XU
	化 粧 鏡	耐食形・350×450程度	2	TOTO : YM3545F LIXIL : KF-3545A

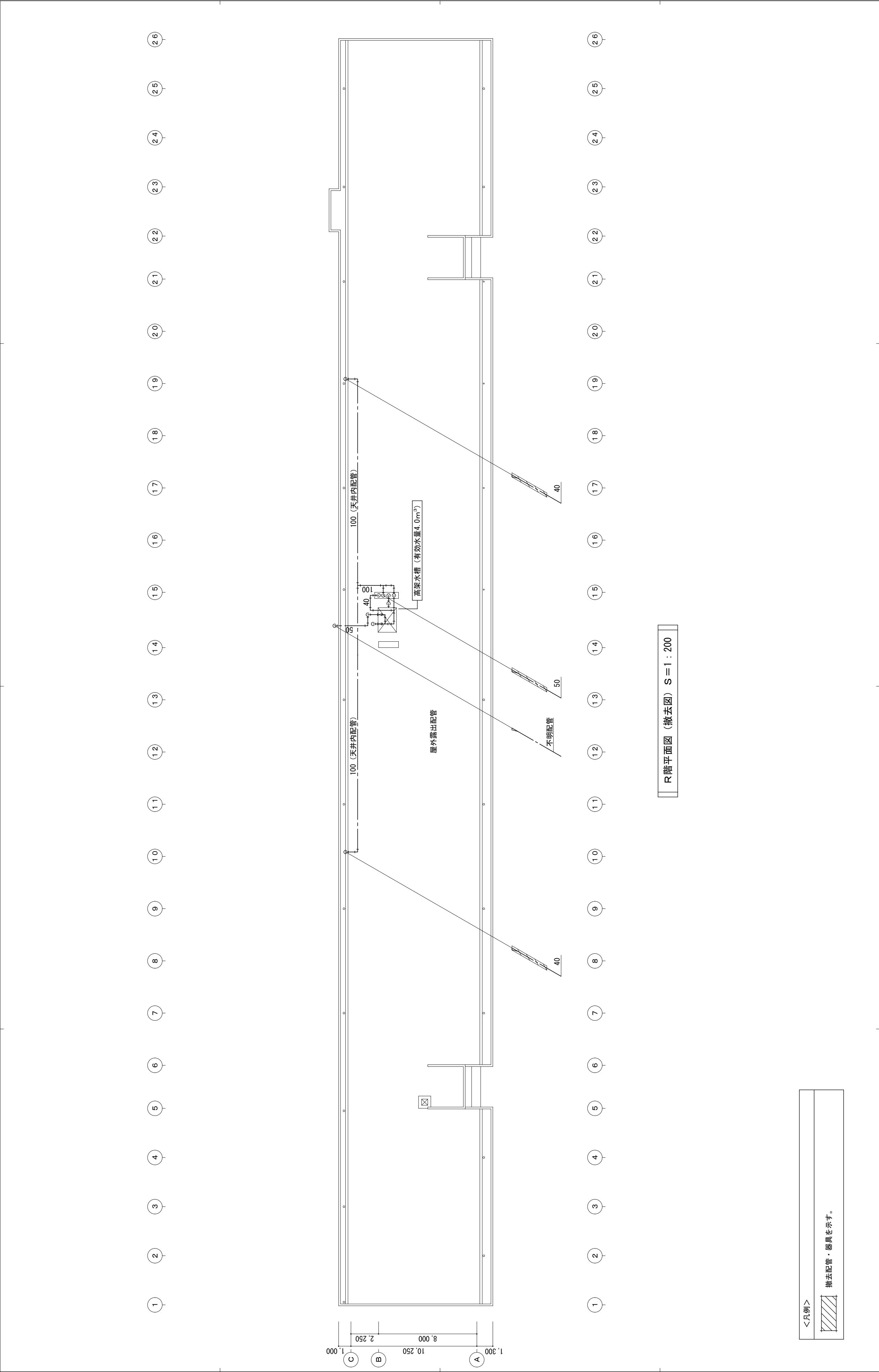


2階平面図(散去図) $S=1:200$

<凡例>


撤去配管・器具を示す。

<div></div> <div>株式会社 近代設計コンサルタント</div> <div>広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) TEL 082-243-5555 (代表) 一級建築士 登録第277978号 小 瀧 宏 治</div>	年月日	整理番号	工事名	図面番号
	承認	審査	設計	担当
	給排水衛生設備 2階平面図 (撤去図)			SCALE A2- 1:200 A3- 1:282



<凡例>

撤去配管・器具を示す。

<div></div> <div>株式会社 近代設計コンサルタント</div> <div>広島市中区国泰寺一丁目8番30号 登録第277978号 TEL (082) 243-5555(代) 小 瀧 宏 治 一級建築士</div>	年月日	整理番号	工事名			図面番号
	照査	設計	担当	向原小学校大規模改修工事		SCALE A2- 1:200 A3- 1:282
				給排水衛生設備 R階平面図 (撤去図)		
M 17						